子育て等に関する県民意識・ニーズ調査

報　告　書

令和６年３月

福　岡　県

はじめに

福岡県では、少子化に歯止めをかけ、若者が結婚、子育てに夢や希望を持ち、その希望をかなえ、子どもを安心して生み育てることができ、子どもが健やかに育つ社会づくり、子育てを地域全体で支え応援する社会づくりを進めるため、令和２年３月に、令和６年度までの５年間を計画期間とする「第２期ふくおか子ども・子育て応援総合プラン」を策定しました。このプランに基づき、出会い、結婚、出産、育児など人それぞれのライフステージに応じた支援をきめ細かく、切れ目なく行っているところです。

本県の合計特殊出生率は、1.25 と最も低い値となった平成 16 年（2004 年）以降、上昇傾向が続いた後、平成 27 年（2015 年）の 1.52 をピークに減少傾向に転じています。令和４年（2022 年）は 1.33 まで低下しており、現状の人口を維持するために必要な 2.07 を下回り続けています。急速に進む少子化に歯止めをかけるためには、より一層、地域の実情に即した取組の充実が必要です。

このたび、今後の本県における少子化対策を検討、推進する上での基礎資料とするため、県民の皆様の子育てや結婚などについての意識を把握することを目的として「子育て等に関する県民意識・ニーズ調査」を実施しました。

本調査で得られた結果を参考にして、国や市町村をはじめ関係機関や関係団体との連携を図りながら、少子化対策の充実を図ってまいります。

この報告書が、多くの皆様にも御活用いただければ幸いです。

本調査に御協力いただきました県民の皆様をはじめ、関係各位に深く感謝申し上げます。

令和６年３月

福岡県福祉労働部長　徳永　吉之

目　次

Ⅰ　調査の概要 …… 1
１．調査の目的 …… 1
２．調査の性格 …… 1
３．回収結果 …… 2
４．調査企画と実施機関 …… 2
５．調査結果の分析者 …… 2
６．回答者の属性 …… 2
７．回答者の属性（詳細） …… 3
８．調査結果利用上の注意 …… 7

Ⅱ　調査結果
第１章　少子化問題について …… 9
１．出生率低下について …… 9
（１）こどもの数の減少に対する意識 …… 9
（２）出生率低下の原因 …… 11
２．結婚年齢上昇の原因 …… 13
３．結婚したいと思う人が結婚するために必要な要素・支援策 …… 15
（１）結婚するために必要な要素 …… 15
（２）結婚するために必要な支援・応援策 …… 17
４．こどもを産み育てる意味 …… 19
５．理想のこどもの数 …… 21
（１）理想のこどもの数 …… 21
（２）理想のこどもの数が３人以上の理由 …… 23
（３）こどもがいらない理由 …… 25
６．実際にもつつもりのこどもの数 …… 27
（１）実際にもつつもりのこどもの数 …… 27
（２）理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての負担面） …… 29
（３）理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての環境面） …… 31
７．こどもをもちたいと思う制度・環境 …… 33

第２章　子育て環境と支援策について …… 35
１．子育てを取り巻く環境についての評価 …… 35
２．ことばや行政の施策・制度の認知 …… 42
３．少子化対策に必要な施策 …… 46
４．「こどもまんなか社会」の実現について …… 48
５．こどもに必要な居場所 …… 52
６．こども食堂のイメージ …… 54
７．こどもを健やかに産み育てるために期待する施策 …… 56

８．男女ともに子育てに参加するために必要な施策 60

第３章　子育てについて 62
１．こどもの数の現状 62
２．こどもの状況 64
３．子育ての楽しさ 65
４．子育ての悩みや不安 69
（１）子育ての悩みや不安の有無 69
（２）子育ての悩みや不安の内容（心理面） 71
（３）子育ての悩みや不安の内容（環境面） 74
（４）子育ての悩みや不安の相談相手 76
（５）子育ての悩みや不安を相談した施設・人物 78
５．子育てに関する情報の入手方法 80
６．育児への関わり方の自己評価 82
７．配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価 87
８．地域でのこどもを通じた付き合い 92
（１）地域でのこどもを通じた付き合いの有無 92
（２）地域でのこどもを通じて関わっている人 94
９．子育てサークルへの参加 96
（１）子育てサークルへの参加の有無 96
（２）子育てサークルに参加して感じたこと 98
（３）子育てサークルに参加しない理由 100
10．こどもの急病時の対応 102
11．小児救急医療について困ったこと 104
（１）小児救急医療について困ったことの有無 104
（２）小児救急医療について困ったことの内容 106
12．病児保育（病後児保育を含む）の利用について 108
（１）病児保育（病後児保育を含む）の利用状況 108
（２）こどもが病気の時の対応 110
（３）病児保育（病後児保育を含む）を利用するために充実してほしい施策 112

第４章　家庭と仕事の状況について 114
１．過去１年間の家庭の状況 114
２．こどもの進学 119
（１）こどもの進学段階 119
（２）そう思う理由 121
３．妊娠・出産と仕事の状況 123
（１）妊娠・出産を機に仕事を辞めたことの有無 123
（２）仕事を辞めた理由 125
（３）仕事を続けたかったのに辞めた理由 127

４．今後の就業意向 …… 129
（１）今後の就業意向 …… 129
（２）就業時に優先すること …… 130
（３）希望する就業時間 …… 131

第５章　結婚に対する意識について …… 132
１．結婚のイメージ …… 132
２．独身生活の利点 …… 134
３．結婚の利点 …… 136
４．自分自身の結婚について …… 138
（１）結婚の意向 …… 138
（２）希望する結婚年齢 …… 140
（３）結婚相手を決めるときに重視するもの …… 142
（４）独身でいる理由 …… 144
（５）結婚するつもりはない理由 …… 147
５．「出会い・結婚応援事業」について …… 149
（１）「出会い・結婚応援事業」の認知状況 …… 149
（２）「出会い・結婚応援事業」への参加意向 …… 151

Ⅲ　参考資料（使用した調査票） …… 153

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

この調査は、結婚や子育てについての県民の意識やこどもたちの置かれた状況を把握し、少子化対策を進める上での基礎資料を得ることを目的として実施した。

２．調査の性格

（１）調査地域　福岡県全域

（２）調査対象者　県内に居住する満 18 歳から 49 歳までの男女

（３）標本数　10,000 サンプル

（４）標本抽出方法　選挙人名簿から層化二段無作為抽出法
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、500 地点を無作為抽出。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から１地点 20 名、合計 10,000 名を抽出した。

（５）調査方法　郵送法（郵送回収または、インターネット回答）

（６）調査期間　令和５年 11 月６日（月）～11 月 30 日（木）

（７）地域区分　今回の調査では、地域区分として①４地域、②広域行政圏、③市郡別を使用しているが、その地域区分は以下のとおりである。

	福岡地域		筑後地域			筑豊地域			北九州地域	
	福岡都市圏	朝倉 広域市町村圏	久留米 広域市町村圏	有明 広域市町村圏	八女･筑後 広域市町村圏	飯塚 広域市町村圏	田川 広域市町村圏	直方･鞍手 広域市町村圏	北九州 都市圏	京築 広域市町村圏
政令指定都市	○ 福岡市								○ 北九州市	
都市部	○ 筑紫野市 ○ 春日市 ○ 大野城市 ○ 宗像市 ○ 太宰府市 ○ 古賀市 ○ 福津市 ○ 糸島市 ○ 那珂川市	○ 朝倉市	○ 久留米市 ○ 大川市 ○ 小郡市 ○ みやま市	○ 大牟田市 ○ 柳川市 ○ みやま市	○ 八女市 ○ 筑後市	○ 飯塚市 ○ 嘉麻市	○ 田川市	○ 直方市 ○ 宮若市	○ 中間市	○ 行橋市 ○ 豊前市
郡部	○ 宇美町 ○ 篠栗町 ○ 志免町 ○ 須恵町 ○ 新宮町 ○ 久山町 ○ 粕屋町	○ 筑前町 東峰村	○ 大刀洗町 ○ 大木町		○ 広川町	○ 桂川町	○ 香春町 ○ 添田町 ○ 糸田町 ○ 川崎町 大任町 赤村 ○ 福智町	○ 小竹町 ○ 鞍手町	○ 芦屋町 ○ 水巻町 ○ 岡垣町 ○ 遠賀町	○ 苅田町 ○ みやこ町 吉富町 ○ 上毛町 ○ 築上町

※　○印は調査対象市町村

３．回収結果

	調査対象数（人）	有効回収数（人）		有効回収率（%）
福 岡 地 域	5,200	1,313	（504）	25.3
筑 後 地 域	1,560	343	（106）	22.0
筑 豊 地 域	780	161	（43）	20.6
北九州地域	2,460	550	（193）	22.4
無　回　答	－	69	（16）	－
合　　計	10,000	2,436	（862）	24.4

うち（　）内WEB回答者数

４．調査企画と実施機関

（１）調査企画　　　　福岡県福祉労働部こども未来課

（２）調査実施機関　　特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所

５．調査結果の分析者

分析　特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所　嘱託研究員　阪井俊文

監修　特定非営利活動法人福岡ジェンダー研究所　理事　倉富史枝

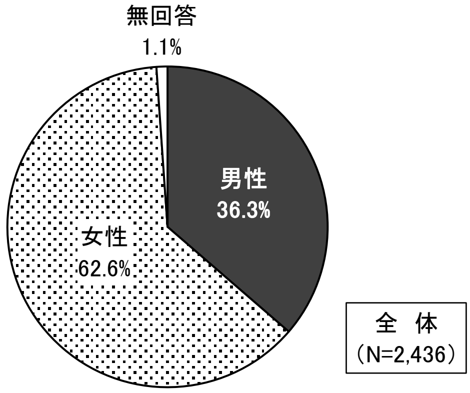
６．回答者の属性

全 体		全 体			男 性			女 性			無回答		
		2,436(人)	(862)	100.0 (%)	885(人)	(337)	36.3 (%)	1,524(人)	(517)	62.6 (%)	27(人)	(8)	1.1 (%)
年齢	18～24歳	268	(103)	11.0	105	(30)	11.9	163	(73)	10.7	－	－	－
	25～29歳	255	(116)	10.5	102	(45)	11.5	153	(71)	10.0	－	－	－
	30～34歳	368	(135)	15.1	117	(50)	13.2	249	(85)	16.3	2	－	7.4
	35～39歳	435	(136)	17.9	150	(57)	16.9	283	(79)	18.6	2	－	7.4
	40～44歳	543	(197)	22.3	197	(86)	22.3	344	(110)	22.6	2	(1)	7.4
	45～49歳	538	(167)	22.1	211	(68)	23.8	326	(99)	21.4	1	－	3.7
	無回答	29	(8)	1.2	3	(1)	0.3	6	－	0.4	20	(7)	74.1
配偶関係	未婚	859	(284)	35.3	321	(98)	36.3	524	(186)	34.4	14	－	51.9
	配偶者（パートナー）がいる	1,415	(520)	58.1	529	(227)	59.8	883	(292)	57.9	3	(1)	11.1
	配偶者（パートナー）と死別した	4	(1)	0.2	－	－	－	4	(1)	0.3	－	－	－
	配偶者（パートナー）と離別した	138	(45)	5.7	30	(9)	3.4	107	(36)	7.0	1	－	3.7
	無回答	20	(12)	0.8	5	(3)	0.6	6	(2)	0.4	9	(7)	33.3
居住地域別	福岡地域	1,313	(504)	53.9	468	(198)	35.6	841	(304)	64.1	4	(2)	0.3
	筑後地域	343	(106)	14.1	128	(40)	37.3	214	(66)	62.4	1	－	0.3
	筑豊地域	161	(43)	6.6	52	(16)	32.3	107	(27)	66.5	2	－	1.2
	北九州地域	550	(193)	22.6	218	(76)	39.6	331	(117)	60.2	1	－	0.2
	無回答	69	(16)	2.8	19	(7)	27.5	31	(3)	44.9	19	(6)	27.5

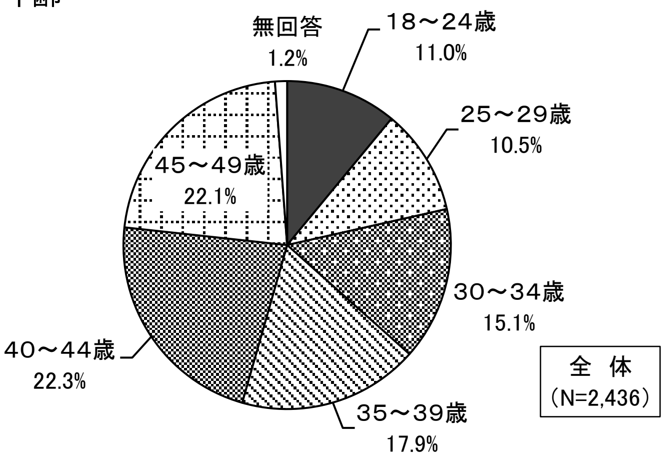
うち（　）内WEB回答者数

７．回答者の属性（詳細）

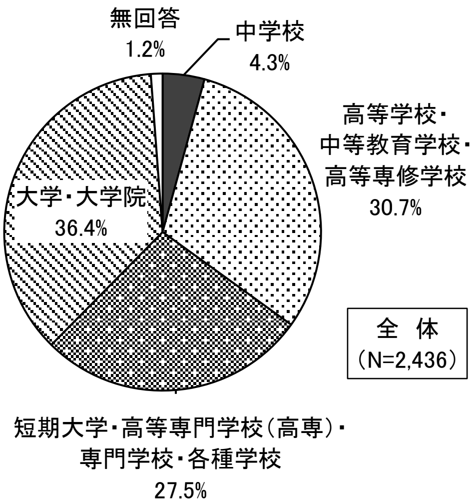
◎性別



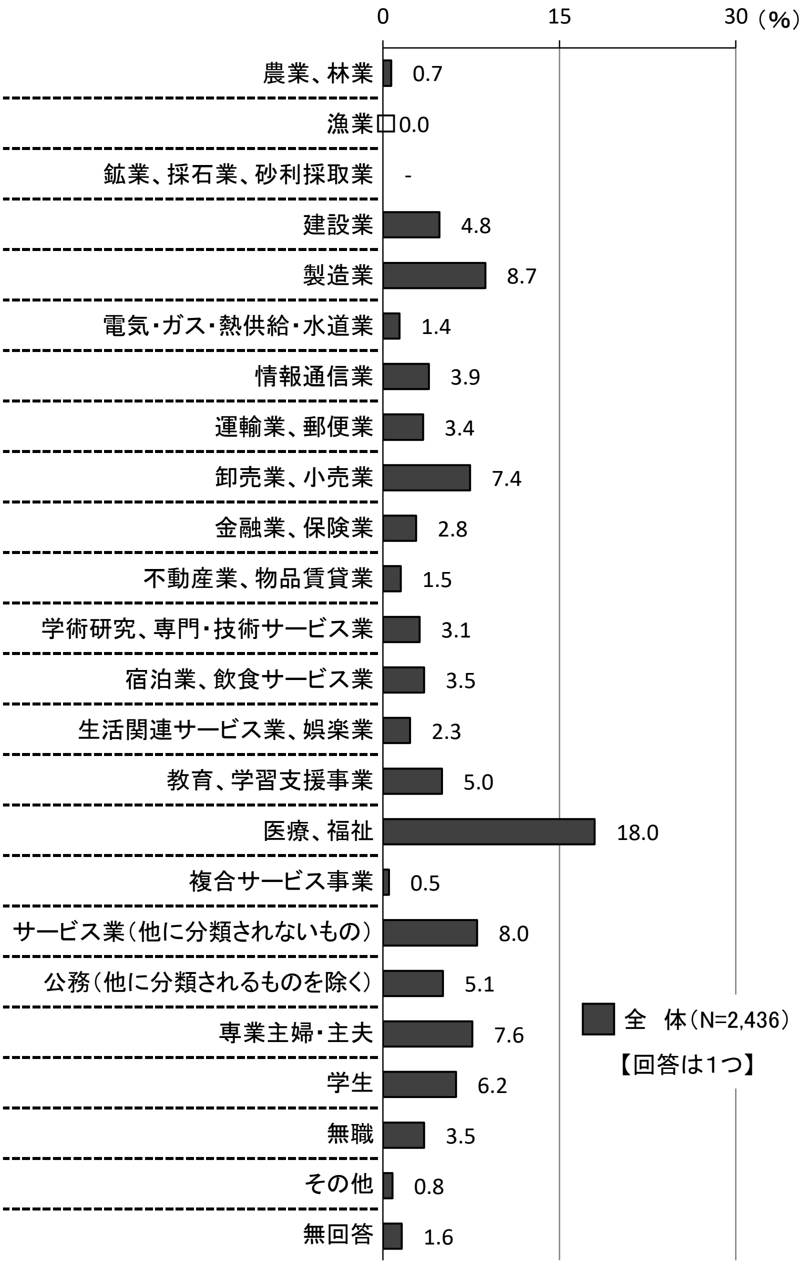
◎年齢



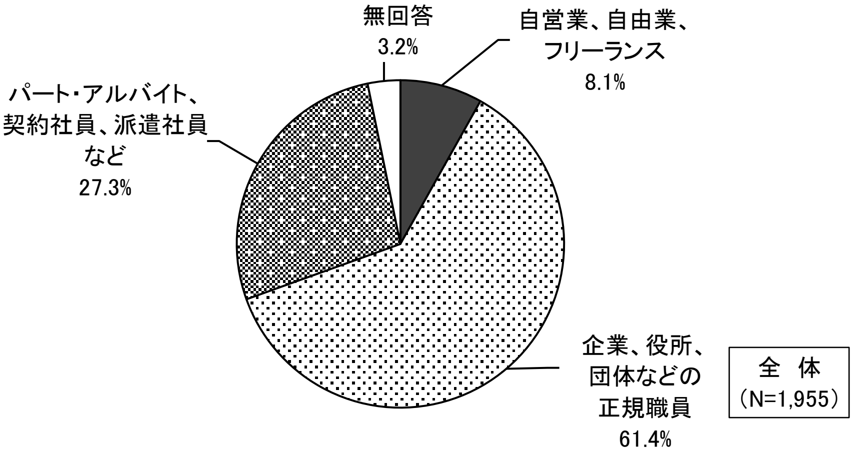
◎最終学歴



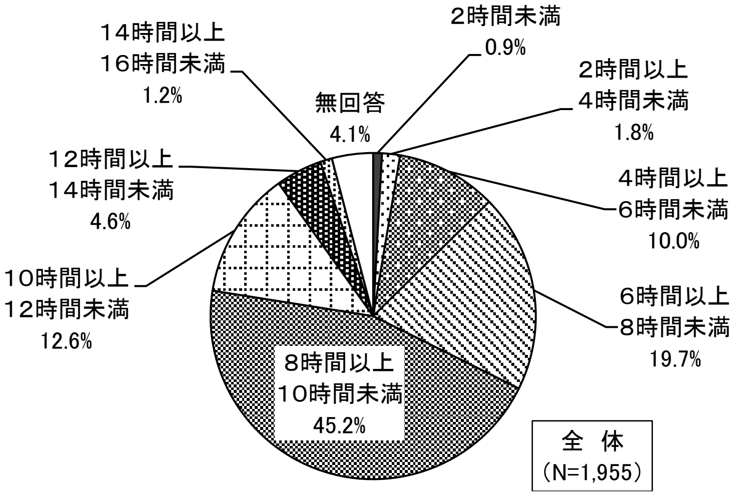
◎職業



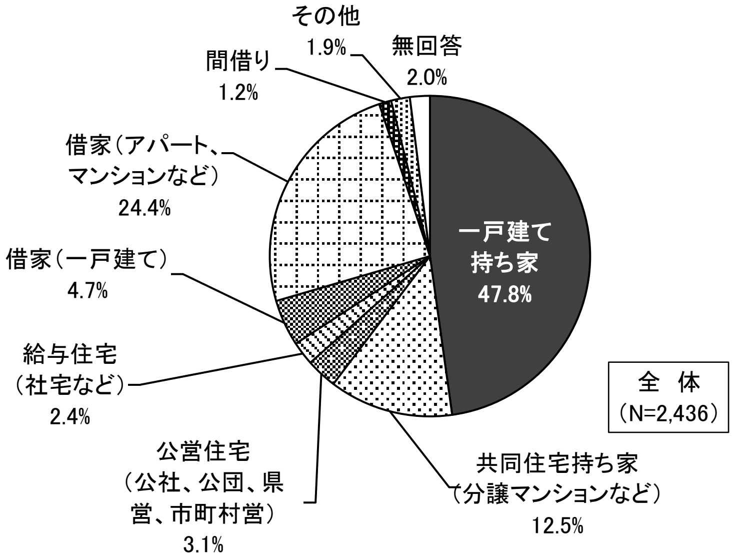
◎雇用・労働形態



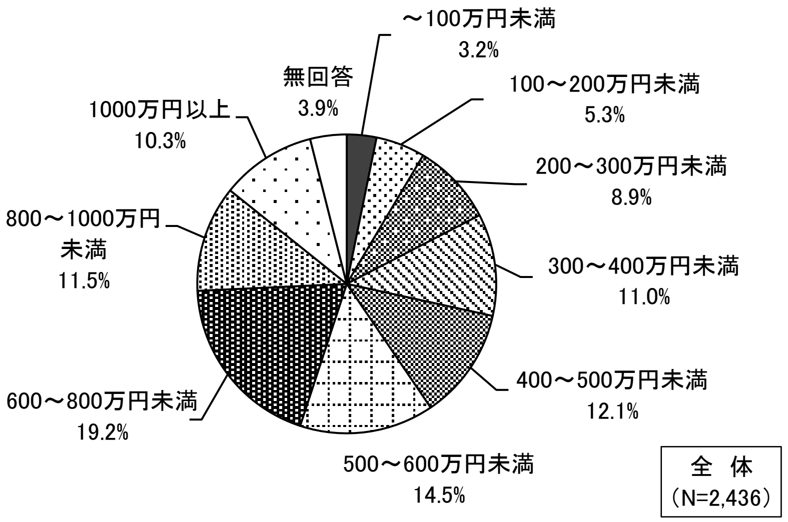
◎１日の労働時間



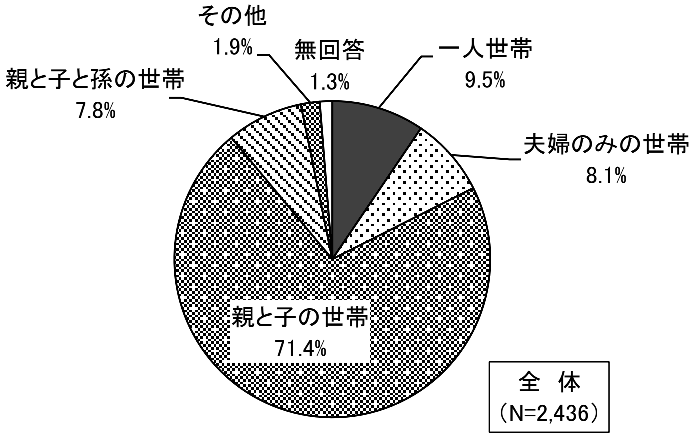
◎住まいの形態



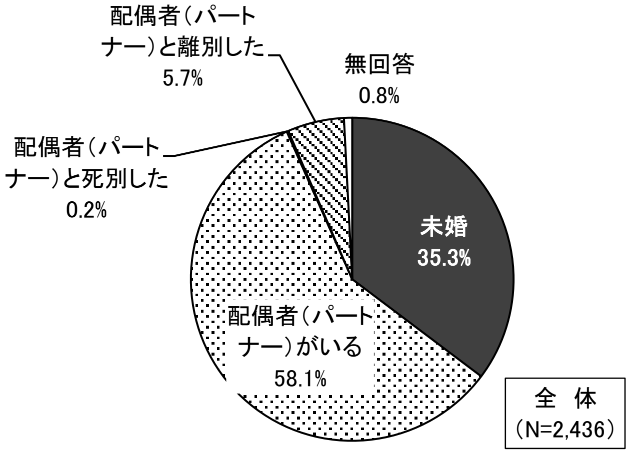
◎世帯収入



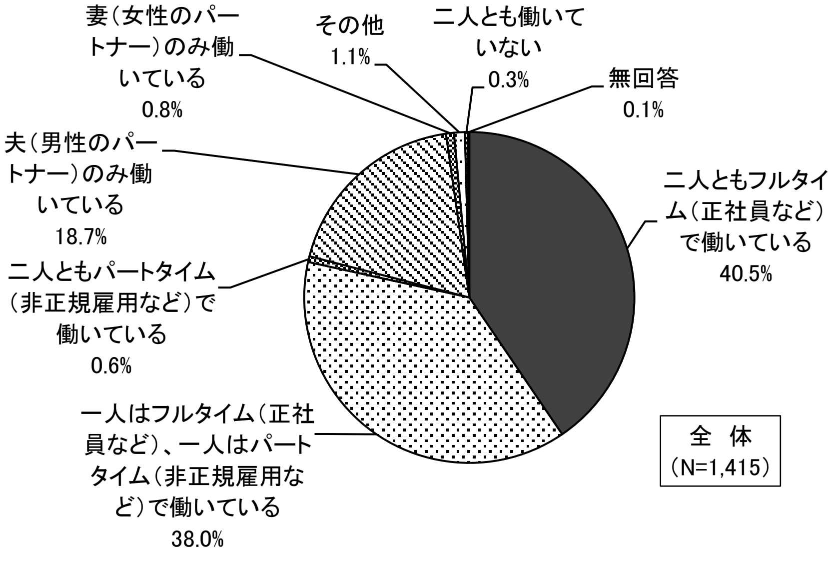
◎家族構成



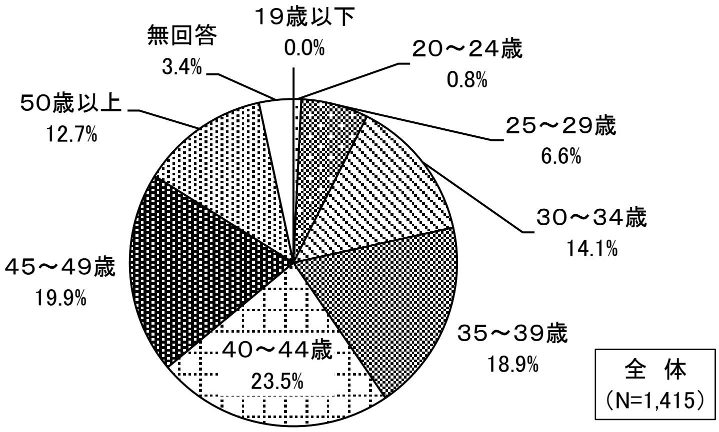
◎配偶関係



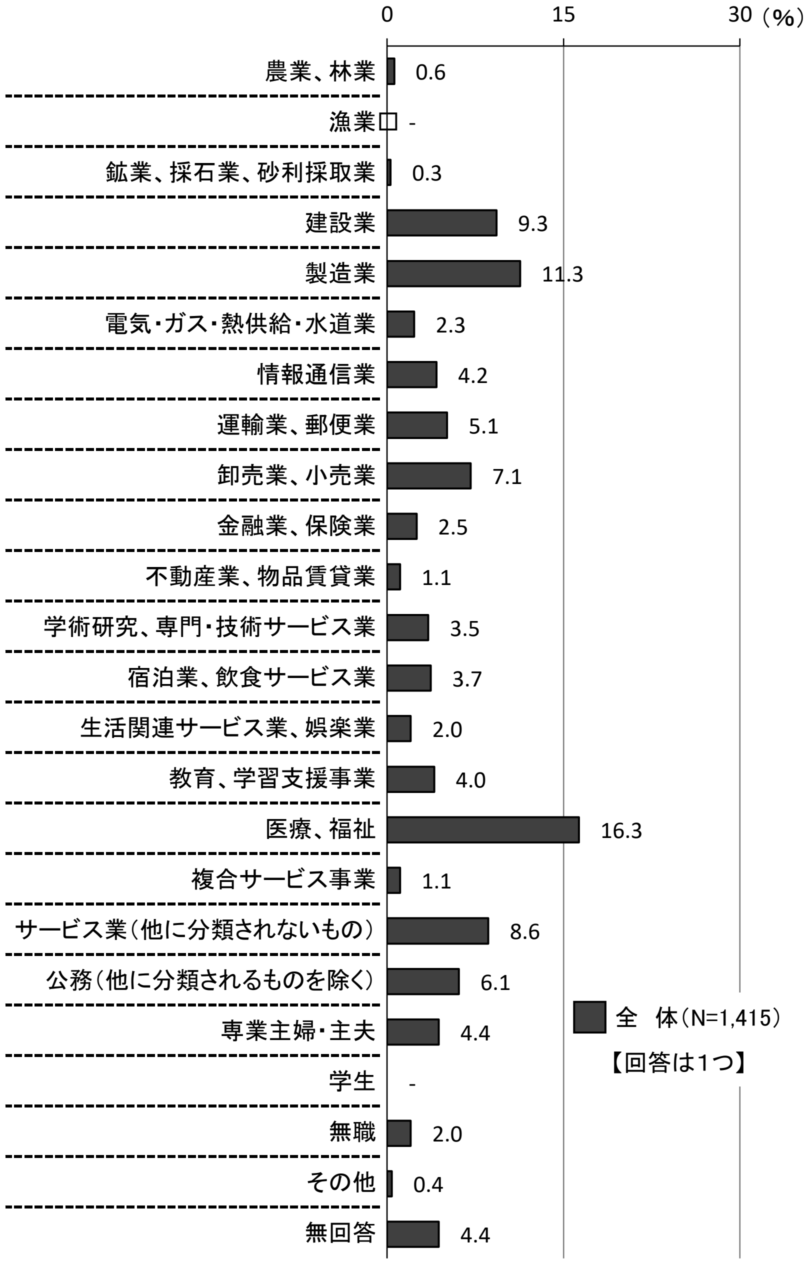
◎共働きの状況



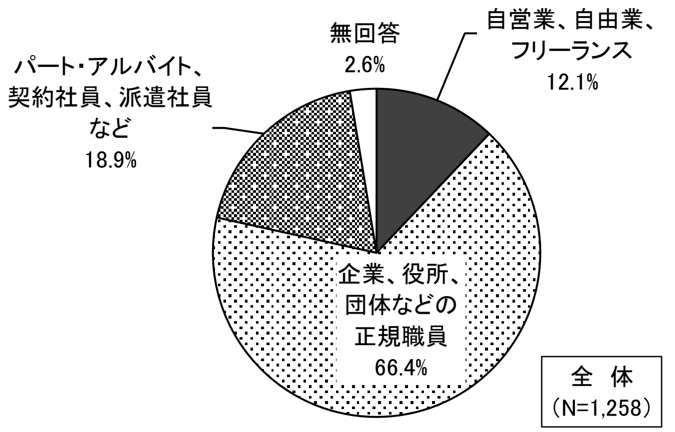
◎配偶者（パートナー）の年齢



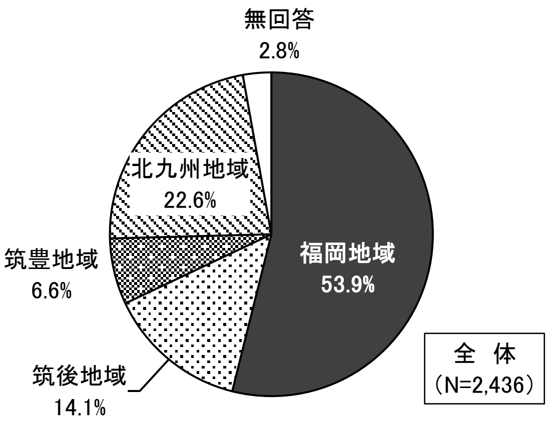
◎配偶者（パートナー）の職業



◎配偶者（パートナー）の雇用・労働形態



◎居住地域



８．調査結果利用上の注意

（１）単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100％としている。なお、回答率は百分比の小数点以下第２位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100％にならない場合がある。

（２）２つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。したがって、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は 100％を超える場合がある。

（３）数表、図表、文中に示すＮは、回答率算出上の基数（標本数）である。

（４）ＳＱは前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問（Sub-Question の略)である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。

（５）数表、図表に示す選択肢はスペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

（６）文中の選択肢の表記は「　」で行い、選択肢のうち、２つ以上のものを合計して表す場合は『　』としている。

（７）小数点以下第２位を四捨五入している関係上、図表中に「0.0」と表記されている場合がある。これは、標本数は発生しているが、小数点第１位の表記では表せない数値であることを示す。数表中の「－」は、該当する選択肢の回答がないことを示す。

（８）属性別の分析において、サンプル数（標本数）が少ないものについては、分析コメントを割愛する場合がある。

（９）本調査は、次の資料と比較分析を行っている。

・福岡県「子育て等に関する県民意識調査」平成 31 年 3 月

・福岡県「子育て等に関する県民意識調査」平成 26 年 3 月

Ⅱ　調査結果

Ⅱ　調査結果

第１章　少子化問題について

１．出生率低下について

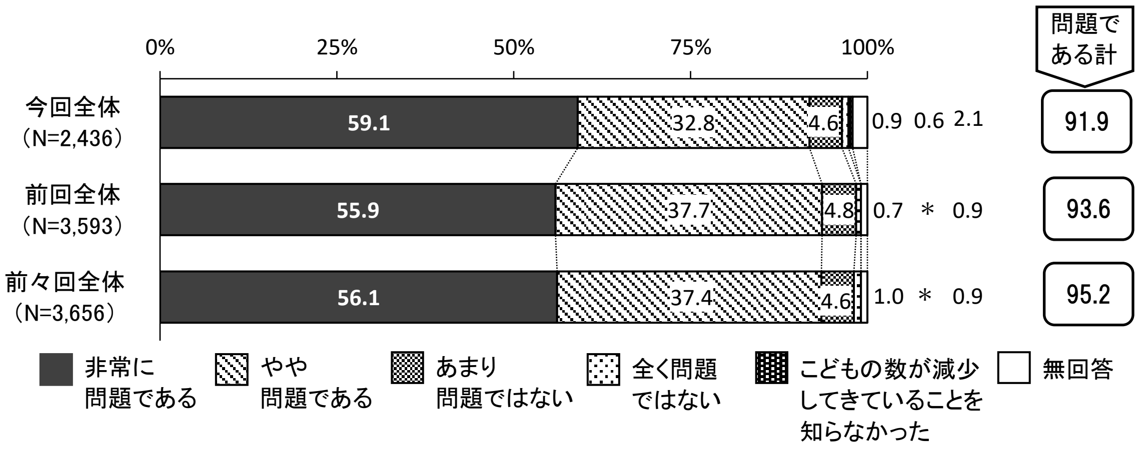
（１）こどもの数の減少に対する意識

> 問１ 出生率が低下し、こどもの数が減少してきていますが、あなたはこのことについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つだけ選んでください。（○は1つ）

こどもの数が減少することについてたずねたところ、「非常に問題である」が 59.1％で最も高く、次いで「やや問題である」が 32.8％で、これら２項目を合わせた『問題である』の割合は 91.9％となっており、９割以上の人が問題意識を持っている。

平成 31 年度調査（以下、前回調査という）や平成 26 年度調査（以下、前々回調査という）の結果と比較すると、「非常に問題である」の割合は今回調査が最も高くなっている。

図表１－１　こどもの数の減少に対する意識［全体］



※前回調査までは出生率低下を知っている人のみ回答
＊前回・前々回調査ではなかった項目

Ⅱ　調査結果

【性別】

「非常に問題である」は、男性が 65.6％で女性（56.1％）より 9.5 ポイント高くなっており、出生率の低下を問題と捉える傾向は男性の方が強くなっている。

【性別・年代別】

男性では、年齢が高い方が「非常に問題である」の割合が高くなる傾向がみられ、45～49 歳で 69.2％である。女性では、18～24 歳で「非常に問題である」が 49.7％と他の年代に比べて低くなっている。

【配偶関係別】

未婚者は「非常に問題である」（51.2％）の割合が全体よりも 7.9 ポイント低くなっている。

図表１－２　こどもの数の減少に対する意識
［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

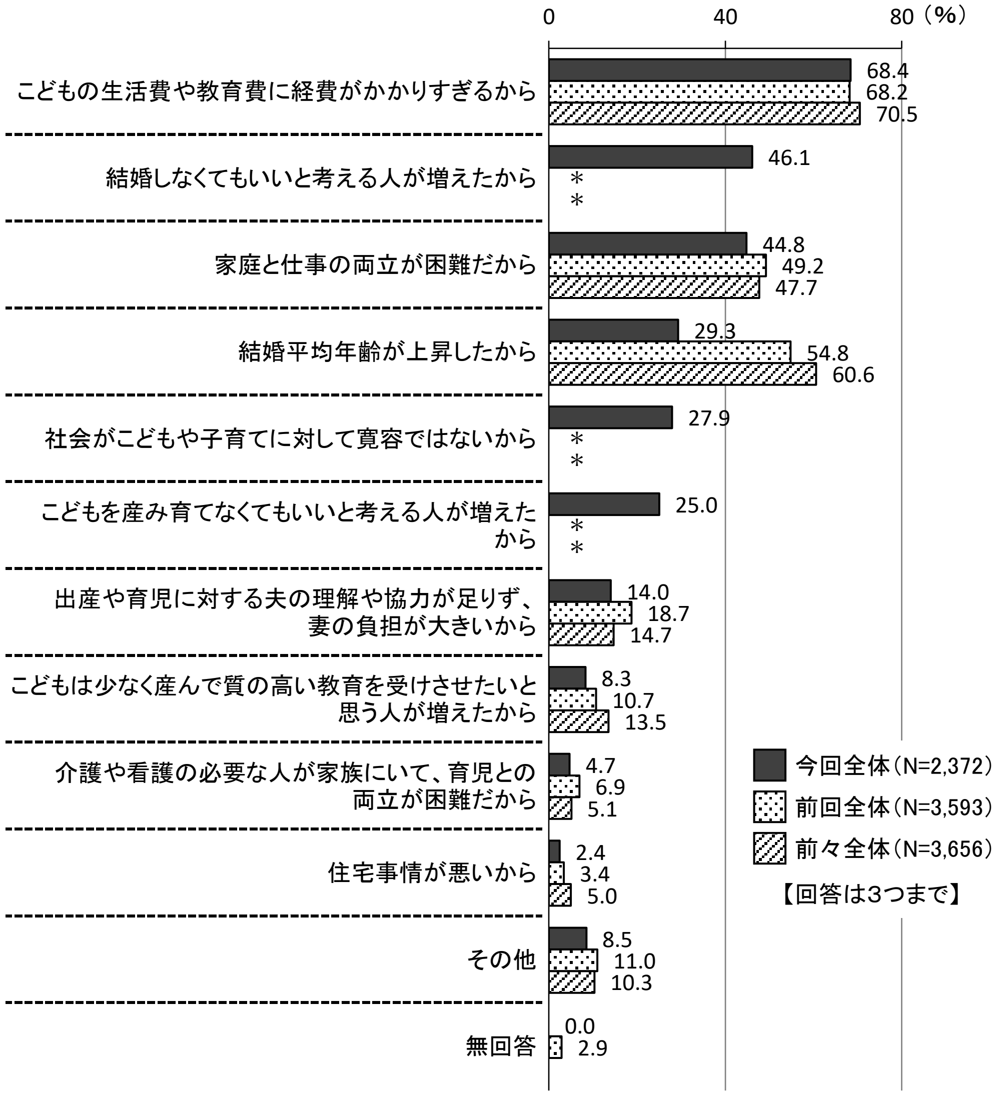
		標本数	非常に問題である	やや問題である	あまり問題ではない	全く問題ではない	こどもの数が減少してきていることを知らなかった	無回答	**『問題である』計**
全体		2,436	1,440	800	111	21	14	50	**2,240**
		100.0	59.1	32.8	4.6	0.9	0.6	2.1	**91.9**
性別	男性	885	65.6	26.6	4.4	0.9	1.0	1.5	**92.2**
	女性	1,524	56.1	36.9	4.7	0.8	0.3	1.1	**93.0**
	無回答	27	14.8	7.4	－	3.7	－	74.1	**22.2**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	61.9	28.6	4.8	2.9	1.0	1.0	**90.5**
	男性:25～29歳	102	66.7	21.6	7.8	2.0	1.0	1.0	**88.3**
	男性:30～34歳	117	62.4	29.9	6.8	－	－	0.9	**92.3**
	男性:35～39歳	150	64.0	26.0	4.7	－	2.0	3.3	**90.0**
	男性:40～44歳	197	66.0	28.4	3.0	－	1.0	1.5	**94.4**
	男性:45～49歳	211	69.2	25.1	2.4	1.4	0.9	0.9	**94.3**
	女性:18～24歳	163	49.7	42.9	5.5	0.6	－	1.2	**92.6**
	女性:25～29歳	153	52.3	37.3	6.5	2.0	－	2.0	**89.6**
	女性:30～34歳	249	60.2	33.3	4.0	0.8	0.4	1.2	**93.5**
	女性:35～39歳	283	55.5	38.2	4.6	0.4	0.7	0.7	**93.7**
	女性:40～44歳	344	56.4	36.6	5.8	0.6	0.3	0.3	**93.0**
	女性:45～49歳	326	58.3	35.9	3.1	0.9	0.3	1.5	**94.2**
	無回答	36	27.8	11.1	－	2.8	－	58.3	**38.9**
配偶関係別	未婚	859	51.2	37.8	6.5	1.2	1.2	2.1	**89.0**
	配偶者（パートナー）がいる	1,415	64.2	30.1	3.5	0.6	0.2	1.3	**94.3**
	配偶者（パートナー）と離・死別した	142	59.2	33.8	3.5	2.1	0.7	0.7	**93.0**
	無回答	20	35.0	5.0	－	－	－	60.0	**40.0**
居住地域別	福岡地域	1,313	60.5	33.1	4.1	1.0	0.5	0.8	**93.6**
	筑後地域	343	59.5	34.1	5.5	0.3	0.3	0.3	**93.6**
	筑豊地域	161	55.9	37.9	4.3	0.6	1.2	－	**93.8**
	北九州地域	550	60.4	31.8	4.7	0.9	0.9	1.3	**92.2**
	無回答	69	27.5	18.8	7.2	1.4	－	44.9	**46.3**

（２）出生率低下の原因

SQ1 【問1で 1～4 と答えた方に】 あなたは、この出生率の低下の原因は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

前問で「こどもの数が減少してきていることを知らなかった」と答えた人以外に、出生率低下の原因についてたずねたところ、「こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから」が 68.4%で最も高く、次いで「結婚しなくてもいいと考える人が増えたから」が 46.1%、「家庭と仕事の両立が困難だから」が 44.8%、「結婚平均年齢が上昇したから」が 29.3%、「社会がこどもや子育てに対して寛容でないから」が 27.9%、「こどもを産み育てなくてもいいと考える人が増えたから」が 25.0%となっている。

図表１－３　出生率低下の原因［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目

Ⅱ　調査結果

【性別】

男性は「こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから」（男性 71.1%、女性 66.8%）や「結婚しなくてもいいと考える人が増えたから」（同 49.4%、44.1%）が女性よりも高く、女性は「家庭と仕事の両立が困難だから」（同 42.6%、46.1%）、「出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず妻の負担が大きいから」（同 7.3%、17.6%）が男性よりも高くなっている。

【性別・年代別】

「こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから」は男女ともに年齢が低い層で割合が高い傾向がみられる。

【配偶関係別】

配偶者がいる人では、「こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから」（71.2%）や「家庭と仕事の両立が困難だから」（46.7%）、「結婚しなくてもいいと考える人が増えたから」（40.8%）の割合が他の場合よりも高くなっている。

図表１－４　出生率低下の原因［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

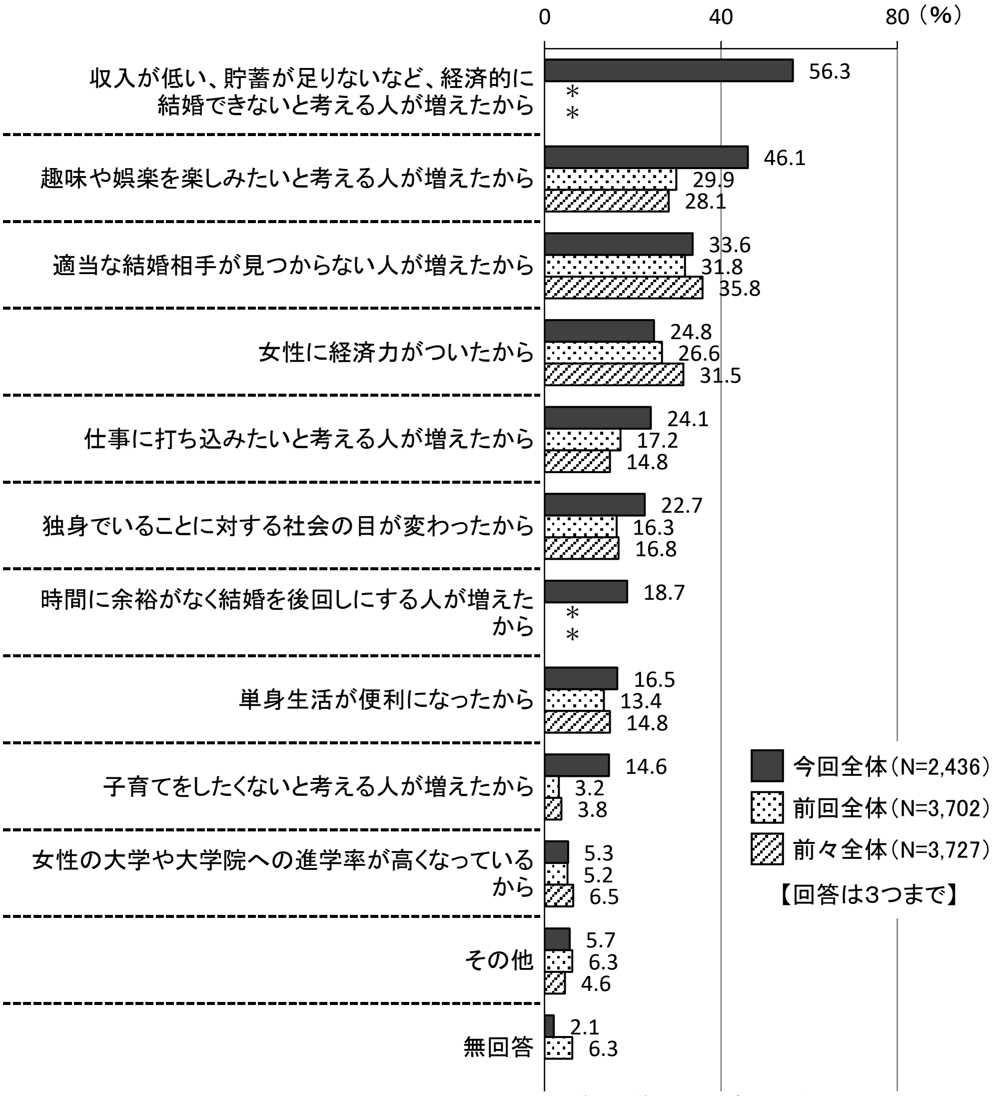
		標本数	住宅事情が悪いから	こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから	出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから	こどもは少なく産んで質の高い教育を受けさせたいと思う人が増えたから	家庭と仕事の両立が困難だから	結婚平均年齢が上昇したから	介護や看護の必要な家族について、育児との両立が困難だから	結婚しなくてもいいと考える人が増えたから	こどもを産み育てなくてもいいと考える人が増えたから	社会がこどもや子育てに対して寛容ではないから	その他	無回答
全体		2,372	57	1,623	331	197	1,063	696	111	1,094	592	662	202	1
		100.0	2.4	68.4	14.0	8.3	44.8	29.3	4.7	46.1	25.0	27.9	8.5	－
性別	男性	863	3.6	71.1	7.3	8.0	42.6	25.5	5.4	49.4	26.7	25.8	11.0	0.1
	女性	1,502	1.7	66.8	17.6	8.5	46.1	31.6	4.3	44.1	24.0	29.2	7.1	－
	無回答	7	－	85.7	42.9	－	42.9	14.3	－	71.4	28.6	14.3	－	－
性別・年代別	男性:18～24歳	103	1.0	75.7	7.8	9.7	44.7	16.5	6.8	49.5	28.2	28.2	7.8	1.0
	男性:25～29歳	100	4.0	77.0	12.0	9.0	41.0	14.0	5.0	39.0	24.0	35.0	11.0	－
	男性:30～34歳	116	5.2	76.7	3.4	7.8	40.5	30.2	5.2	46.6	24.1	29.3	11.2	－
	男性:35～39歳	142	2.1	67.6	6.3	7.0	46.5	29.6	4.2	50.0	24.6	28.9	12.7	－
	男性:40～44歳	192	3.1	68.2	8.3	8.3	41.7	27.1	4.2	52.6	31.3	17.2	12.0	－
	男性:45～49歳	207	5.3	68.1	6.8	6.8	41.5	29.0	7.2	52.2	25.6	24.6	10.6	－
	女性:18～24歳	161	2.5	72.0	13.0	6.2	39.1	23.0	1.9	58.4	32.9	25.5	5.0	－
	女性:25～29歳	150	1.3	80.0	12.7	4.0	52.7	18.0	3.3	44.7	23.3	36.0	6.0	－
	女性:30～34歳	245	0.8	66.5	18.8	6.9	50.6	29.0	4.5	38.8	23.7	34.3	8.6	－
	女性:35～39歳	279	1.8	65.9	17.2	8.6	51.3	36.2	5.4	40.1	23.7	28.7	5.4	－
	女性:40～44歳	342	3.2	63.2	18.7	9.4	43.6	35.4	4.1	43.0	22.2	30.1	8.2	－
	女性:45～49歳	320	0.6	62.5	20.9	12.2	40.9	36.3	5.0	45.9	21.9	23.4	8.1	－
	無回答	15	－	80.0	20.0	6.7	53.3	20.0	－	53.3	33.3	13.3	－	－
配偶関係別	未婚	831	2.4	64.5	11.4	6.3	41.9	26.0	7.3	54.5	27.8	23.9	9.6	0.1
	配偶者(パートナー)がいる	1,393	2.6	71.2	14.9	9.8	46.7	31.2	3.2	40.8	23.1	30.6	7.8	－
	配偶者(パートナー)と離・死別した	140	0.7	62.9	19.3	6.4	42.1	30.7	4.3	50.0	27.1	24.3	8.6	－
	無回答	8	－	87.5	25.0	－	62.5	25.0	－	37.5	12.5	37.5	12.5	－
居住地域別	福岡地域	1,296	3.0	68.5	14.4	9.0	45.1	29.6	4.8	43.8	25.8	28.5	8.1	－
	筑後地域	341	1.5	68.0	13.5	6.7	45.5	31.4	5.9	46.0	23.8	26.1	9.4	－
	筑豊地域	159	－	70.4	17.6	8.2	45.3	25.8	5.0	54.7	23.9	25.8	5.7	－
	北九州地域	538	2.4	67.1	12.8	8.2	44.8	28.3	3.5	47.8	24.0	28.4	10.0	0.2
	無回答	38	－	78.9	2.6	2.6	26.3	34.2	5.3	68.4	26.3	26.3	5.3	－

２．結婚年齢上昇の原因

問２　近年、結婚しない人の割合や、結婚する年齢が高くなっていますが、あなたはその原因は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

結婚しない人の増加や結婚年齢の上昇について、その原因をたずねたところ、「収入が低い、貯蓄が足りないなど、経済的に結婚できないと考える人が増えたから」が 56.3%、「趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えたから」が 46.1%で高くなっている。「適当な結婚相手が見つからない人が増えたから」も 33.6%と比較的高い。

図表１－５　結婚年齢上昇の原因［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目
前回・前々回調査は2つまで選択
「定職に就かない若者、非正規雇用の若者が増えたから」前回調査28.2%、前々回調査39.9%あり

Ⅱ　調査結果

【性別】

「収入が低い、貯蓄が足りないなど、経済的に結婚できないと考える人が増えたから」（男性65.4％、女性 51.6％）は男性の方が 13.8 ポイント高い。「女性に経済力がついたから」（同18.1％、29.1％）と「仕事に打ち込みたいと考える人が増えたから」（同 17.9％、28.0％）は女性の方が 10.1～11 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「収入が低い、貯蓄が足りないなど、経済的に結婚できないと考える人が増えたから」は 25～29 歳の男性で 79.4％と最も高く、女性でも 60.8％と全体よりも高い。

【配偶関係別】

未婚者では「適当な結婚相手が見つからない人が増えたから」（40.7％）の割合が、婚姻歴がある場合よりも 10.4～10.8 ポイント高くなっている。

図表１－６　結婚年齢上昇の原因［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

		標本数	趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えたから	仕事に打ち込みたいと考える人が増えたから	子育てをしたくないと考える人が増えたから	適当な結婚相手が見つからない人が増えたから	女性の大学や大学院への進学率が高くなっているから	女性に経済力がついたから	独身でいることに対する社会の目が変わったから	単身生活が便利になったから	収入が低い、貯蓄が足りないなど、経済的に結婚できないと考える人が増えたから	時間に余裕がなく結婚を後回しにする人が増えたから	その他	無回答
全体		2,436	1,123	586	356	819	128	604	553	403	1,371	456	140	50
		100.0	46.1	24.1	14.6	33.6	5.3	24.8	22.7	16.5	56.3	18.7	5.7	2.1
性別	男性	885	49.0	17.9	15.5	32.9	4.9	18.1	19.5	17.3	65.4	21.1	6.1	1.6
	女性	1,524	45.1	28.0	14.4	34.5	5.6	29.1	24.8	16.3	51.6	17.6	5.6	1.0
	無回答	27	7.4	7.4	－	7.4	－	－	7.4	3.7	18.5	3.7	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	60.0	15.2	16.2	36.2	5.7	13.3	12.4	14.3	56.2	24.8	5.7	1.0
	男性:25～29歳	102	46.1	18.6	21.6	28.4	4.9	18.6	15.7	10.8	79.4	18.6	3.9	1.0
	男性:30～34歳	117	53.8	17.9	13.7	35.9	5.1	12.0	20.5	15.4	62.4	22.2	8.5	0.9
	男性:35～39歳	150	52.0	15.3	16.0	29.3	4.7	18.0	26.0	22.0	64.0	23.3	5.3	3.3
	男性:40～44歳	197	47.7	19.8	16.2	33.5	3.0	22.3	19.3	13.2	69.0	17.3	5.1	2.0
	男性:45～49歳	211	41.2	19.0	12.3	33.6	6.2	19.0	19.9	23.7	62.6	22.3	7.6	0.9
	女性:18～24歳	163	48.5	37.4	19.6	35.0	8.0	20.9	22.7	11.7	44.8	20.9	3.7	1.2
	女性:25～29歳	153	47.1	24.8	19.6	30.7	3.9	19.0	20.9	15.7	60.8	17.6	4.6	2.0
	女性:30～34歳	249	45.8	30.5	14.5	29.7	4.0	29.3	22.9	14.5	52.2	23.3	5.2	1.2
	女性:35～39歳	283	47.0	29.0	11.3	39.6	6.4	34.3	24.0	16.3	48.8	17.0	3.5	0.7
	女性:40～44歳	344	42.7	27.3	15.1	32.3	5.5	33.4	27.9	15.4	54.4	16.3	6.4	0.3
	女性:45～49歳	326	42.6	22.4	10.7	37.7	5.8	29.1	26.1	21.8	50.3	13.5	8.3	1.5
	無回答	36	19.4	11.1	5.6	13.9	－	8.3	16.7	2.8	25.0	5.6	2.8	55.6
配偶関係別	未婚	859	44.7	20.6	14.9	40.7	4.8	19.2	22.9	16.3	56.9	21.2	6.4	1.9
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	47.4	26.4	14.6	29.9	5.7	27.7	22.5	16.5	56.4	17.5	5.2	1.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	46.5	22.5	12.0	30.3	4.9	32.4	25.4	19.7	56.3	16.9	6.3	0.7
	無回答	20	10.0	20.0	25.0	15.0	－	5.0	5.0	10.0	20.0	15.0	10.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	44.9	25.8	14.5	32.9	5.0	25.3	24.4	15.9	58.4	19.3	6.0	0.8
	筑後地域	343	43.4	24.5	13.7	38.5	5.0	24.8	24.5	16.6	57.7	19.2	4.1	0.6
	筑豊地域	161	50.9	21.1	19.9	29.8	3.7	28.0	22.4	22.4	54.7	15.5	5.6	－
	北九州地域	550	51.6	21.6	14.0	35.1	7.1	24.5	19.3	16.9	54.5	18.0	6.5	1.3
	無回答	69	27.5	14.5	13.0	20.3	1.4	10.1	8.7	11.6	26.1	17.4	2.9	43.5

３．結婚したいと思う人が結婚するために必要な要素・支援策

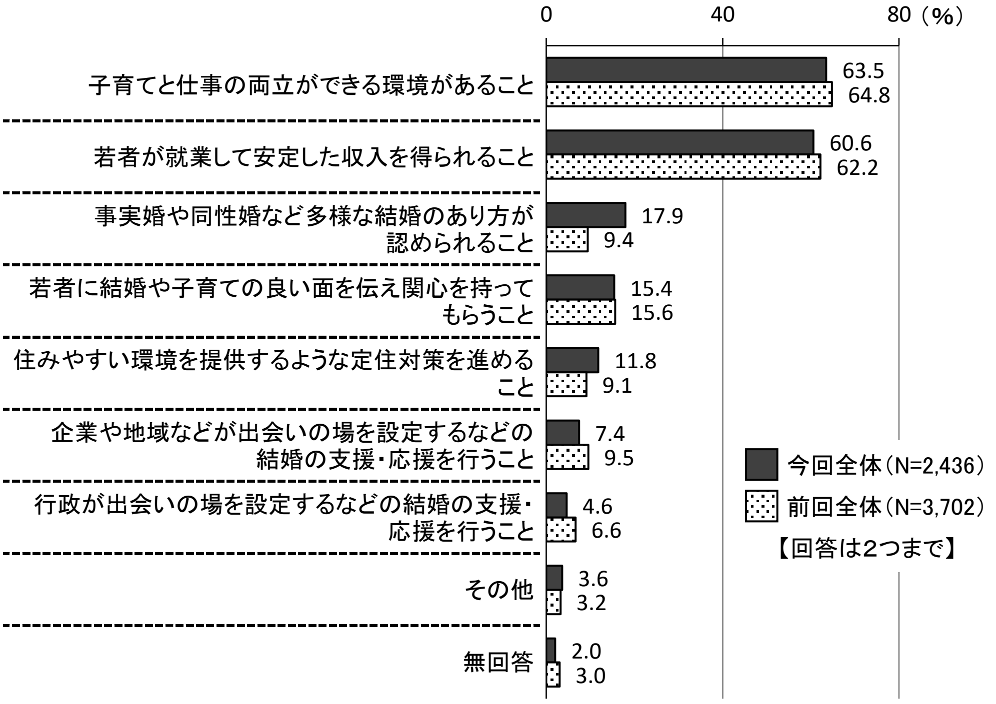
（１）結婚するために必要な要素

問３　結婚したいと思う人が結婚するためには、どのようなことが必要と考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

結婚したいと思う人が結婚するために必要と考えることをたずねたところ、「子育てと仕事の両立ができる環境があること」が 63.5％、「若者が就業して安定した収入を得られること」が 60.6％と高くなっている。

前回調査と比較すると、「事実婚や同性婚など多様な結婚のあり方は認められること」（17.9％）が 8.5 ポイント増加している。

図表１－７　結婚するために必要な要素［全体］



Ⅱ　調査結果

【性別】

「事実婚や同性婚など多様な結婚のあり方が認められること」（男性 10.7%、女性 22.1%）や「子育てと仕事の両立ができる環境があること」（同 59.9%、66.4%）は女性の方が男性より 6.5～11.4 ポイント高く、「若者が就業して安定した収入を得られること」（同 65.5%、58.7%）は男性の方が 6.8 ポイント高い。

【性別・年代別】

「若者が就業して安定した収入を得られること」は男性の 18～20 歳代で７割を超えて特に高くなっている。「事実婚や同性婚など多様な結婚のあり方が認められること」は 18～24 歳の女性で 31.3%と全体より 13.4 ポイント高くなっている。

【配偶関係別】

「若者が就業して安定した収入を得られること」は未婚者で 62.7%と高くなっている。一方で、「子育てと仕事の両立ができる環境があること」は婚姻歴がある場合に未婚者よりも 10 ポイント以上高くなっている。

図表１－８　結婚するために必要な要素［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

		標本数	若者が就業して安定した収入を得られること	若者に結婚や子育ての良い面を伝え関心を持ってもらうこと	住みやすい環境を提供するような定住対策を進めること	企業や地域などが出会いの場を設定するなどの結婚の支援・応援を行うこと	行政が出会いの場を設定するなどの結婚の支援・応援を行うこと	事実婚や同性婚など多様な結婚のあり方が認められること	子育てと仕事の両立ができる環境があること	その他	無回答
全体		2,436	1,477	374	287	180	112	435	1,548	87	48
		100.0	60.6	15.4	11.8	7.4	4.6	17.9	63.5	3.6	2.0
性別	男性	885	65.5	16.8	13.7	7.9	5.6	10.7	59.9	4.9	1.5
	女性	1,524	58.7	14.7	10.8	7.2	4.1	22.1	66.4	2.9	1.0
	無回答	27	11.1	3.7	3.7	－	－	11.1	22.2	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	73.3	15.2	14.3	3.8	5.7	12.4	55.2	4.8	－
	男性:25～29歳	102	72.5	11.8	16.7	5.9	8.8	9.8	55.9	2.0	3.9
	男性:30～34歳	117	67.5	18.8	16.2	6.8	8.5	9.4	54.7	10.3	－
	男性:35～39歳	150	58.7	18.7	13.3	9.3	4.7	14.0	62.0	2.7	2.7
	男性:40～44歳	197	61.9	16.8	10.2	11.2	4.6	11.7	62.9	4.6	2.0
	男性:45～49歳	211	64.9	18.0	13.7	7.6	4.3	8.1	63.0	4.7	0.5
	女性:18～24歳	163	64.4	8.6	18.4	2.5	1.8	31.3	61.3	3.1	0.6
	女性:25～29歳	153	65.4	11.8	12.4	3.9	2.6	21.6	62.7	2.6	2.0
	女性:30～34歳	249	57.0	12.4	11.2	8.0	4.0	21.3	70.7	2.4	1.6
	女性:35～39歳	283	62.5	14.8	9.2	10.6	4.9	21.6	66.1	2.8	0.4
	女性:40～44歳	344	54.1	17.4	7.0	8.4	4.9	22.1	66.6	2.6	0.9
	女性:45～49歳	326	55.2	17.8	11.7	5.8	4.3	18.7	67.8	3.7	0.9
	無回答	36	27.8	5.6	5.6	5.6	－	13.9	27.8	2.8	55.6
配偶関係別	未婚	859	62.7	11.4	14.9	8.3	6.5	19.6	56.5	4.1	2.1
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	60.6	17.8	10.3	6.7	3.5	16.7	67.8	3.3	1.2
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	52.1	15.5	9.2	9.2	4.2	21.1	68.3	3.5	1.4
	無回答	20	30.0	10.0	－	5.0	5.0	5.0	30.0	5.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	60.4	16.1	12.2	6.9	4.3	18.5	64.4	3.8	1.1
	筑後地域	343	57.7	16.6	10.5	9.9	4.1	18.1	64.4	4.1	0.6
	筑豊地域	161	62.1	13.0	15.5	5.0	7.5	21.1	61.5	0.6	1.2
	北九州地域	550	64.2	14.0	11.6	7.8	5.1	15.8	64.2	3.6	1.5
	無回答	69	47.8	10.1	2.9	5.8	2.9	13.0	43.5	2.9	31.9

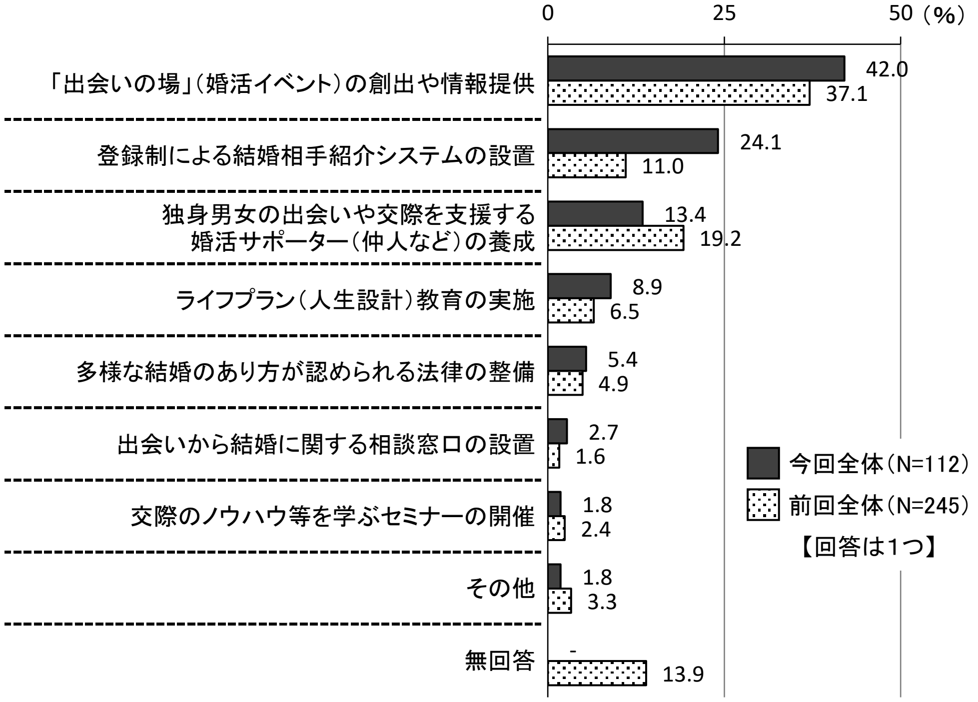
（２）結婚するために必要な支援・応援策

ＳＱ１【問３で ５ と回答した方に】結婚したいと思う人が結婚するために、今後、行政に実施してほしい結婚支援・応援策は何ですか。（○は１つ）

行政に求める結婚の支援・応援策としては、「『出会いの場』（婚活イベント）の創出や情報提供」が 42.0％で最も高く、次いで「登録制による結婚相手紹介システムの設置」が 24.1％、「独身男女の出会いや交際を支援する婚活サポーター（仲人など）の養成」が 13.4％となっている。

前回調査と比較すると、「登録制による結婚相手紹介システムの設置」が 13.1 ポイント増加し、「独身男女の出会いや交際を支援する婚活サポーター（仲人など）の養成」が 5.8 ポイント減少している。

図表１－９　結婚するために必要な支援・応援策［全体］



【性別】

標本数が少ないことに留意が必要であるが、「『出会いの場』（婚活イベント）の創出や情報提供」（男性 28.0%、女性 53.2%）は女性の方が 25.2 ポイント高く、男女の差が大きい。「ライフプラン（人生設計）教育の実施」（同 14.0%、4.8%）は男性の方が 9.2 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「『出会いの場』（婚活イベント）の創出や情報提供」は女性の 45～49 歳で 71.4%と最も高い。「登録制による結婚相手紹介システムの設置」は男女ともに 35～44 歳、「独身男女の出会いや交際を支援する婚活サポーター（仲人など）の養成」は男女とも年代の低い層での割合が高い。

【配偶関係別】

「『出会いの場』（婚活イベント）の創出や情報提供」は未婚者では 37.5%と全体より 4.5 ポイント低くなっている。

図表１－10　結婚するために必要な支援・応援策
［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

		標本数	「出会いの場」（婚活イベント）の創出や情報提供	独身男女の出会いや交際を支援する婚活サポーター（仲人など）の養成	登録制による結婚相手紹介システムの設置	ライフプラン（人生設計）教育の実施	出会いから結婚に関する相談窓口の設置	交際のノウハウ等を学ぶセミナーの開催	多様な結婚のあり方が認められる法律の整備	その他	無回答
全体		112	47	15	27	10	3	2	6	2	－
		100.0	42.0	13.4	24.1	8.9	2.7	1.8	5.4	1.8	－
性別	男性	50	28.0	18.0	26.0	14.0	2.0	2.0	8.0	2.0	－
	女性	62	53.2	9.7	22.6	4.8	3.2	1.6	3.2	1.6	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
性別・年代別	男性:18～24歳	6	33.3	33.3	－	16.7	－	－	16.7	－	－
	男性:25～29歳	9	－	33.3	22.2	－	11.1	－	22.2	11.1	－
	男性:30～34歳	10	30.0	20.0	20.0	30.0	－	－	－	－	－
	男性:35～39歳	7	42.9	14.3	42.9	－	－	－	－	－	－
	男性:40～44歳	9	33.3	－	44.4	11.1	－	－	11.1	－	－
	男性:45～49歳	9	33.3	11.1	22.2	22.2	－	11.1	－	－	－
	女性:18～24歳	3	66.7	33.3	－	－	－	－	－	－	－
	女性:25～29歳	4	50.0	－	25.0	－	－	25.0	－	－	－
	女性:30～34歳	10	50.0	20.0	10.0	10.0	10.0	－	－	－	－
	女性:35～39歳	14	42.9	14.3	28.6	7.1	7.1	－	－	－	－
	女性:40～44歳	17	47.1	5.9	29.4	－	－	－	11.8	5.9	－
	女性:45～49歳	14	71.4	－	21.4	7.1	－	－	－	－	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
配偶関係別	未婚	56	37.5	17.9	23.2	7.1	3.6	3.6	3.6	3.6	－
	配偶者（パートナー）がいる	49	44.9	8.2	26.5	12.2	2.0	－	6.1	－	－
	配偶者（パートナー）と離・死別した	6	66.7	－	16.7	－	－	－	16.7	－	－
	無回答	1	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－
居住地域別	福岡地域	56	51.8	7.1	21.4	8.9	1.8	3.6	1.8	3.6	－
	筑後地域	14	28.6	7.1	28.6	7.1	7.1	－	21.4	－	－
	筑豊地域	12	33.3	25.0	16.7	－	8.3	－	16.7	－	－
	北九州地域	28	35.7	21.4	28.6	14.3	－	－	－	－	－
	無回答	2	－	50.0	50.0	－	－	－	－	－	－

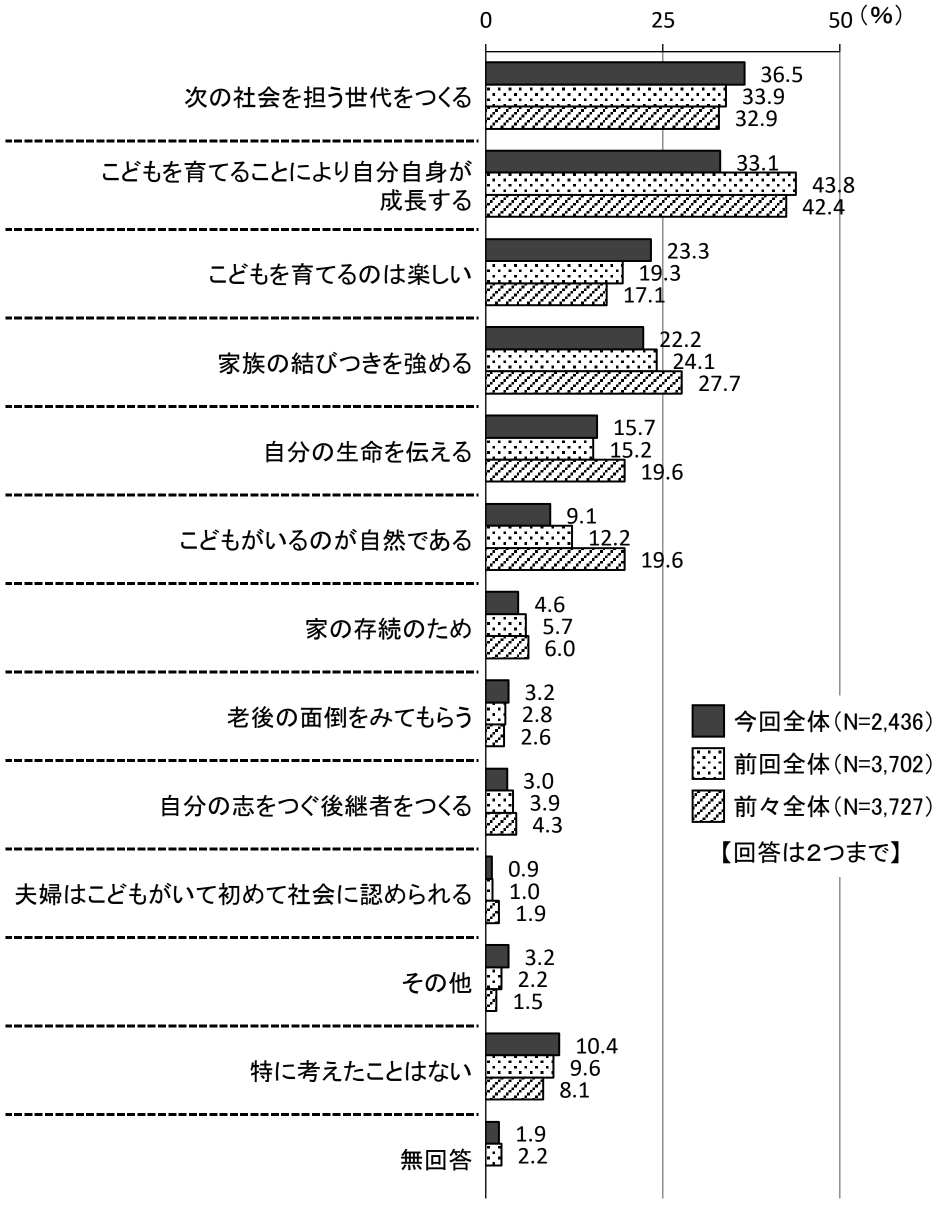
４．こどもを産み育てる意味

問４　あなたにとって、こどもを産み育てるということは、どのような意味を持つと思いますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

こどもを産み育てることの意味についてたずねたところ、「次の社会を担う世代をつくる」が 36.5％、「こどもを育てることにより自分自身が成長する」が 33.1％と高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「次の社会を担う世代をつくる」と「こどもを育てるのは楽しい」は前々回から増加傾向が続いている。一方で、「家族の結びつきを強める」や「こどもがいるのが自然である」は減少傾向となっている。「こどもを育てることにより自分自身が成長する」は前回調査から 10.7 ポイント減少している。

図表１－11　こどもを産み育てる意味［全体］



Ⅱ　調査結果

【性別】

男女の差が大きいのは「こどもを育てることにより自分自身が成長する」（男性 27.8%、女性 36.5%）で、女性の方が 8.7 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「次の社会を担う世代をつくる」は女性の 18～24 歳で 44.2%と最も高い。

【配偶関係別】

「次の社会を担う世代をつくる」は未婚者で 42.6%と高くなっている。「こどもを育てることにより自分自身が成長する」や「家族の結びつきを強める」「こどもを育てるのは楽しい」などは、配偶者がいる人で割合が高くなっている。

図表１－12　こどもを産み育てる意味［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

		標本数	自分の生命を伝える	自分の志をつぐ後継者をつくる	家の存続のため	次の社会を担う世代をつくる	家族の結びつきを強める	老後の面倒をみてもらう	こどもを育てることにより自分自身が成長する	こどもを育てるのは楽しい	夫婦はこどもがいて初めて社会に認められる	こどもがいるのが自然である	その他	特に考えたことはない	無回答
全 体		2,436	383	74	113	890	542	79	807	568	21	222	79	253	46
		100.0	15.7	3.0	4.6	36.5	22.2	3.2	33.1	23.3	0.9	9.1	3.2	10.4	1.9
性別	男性	885	15.9	5.0	8.4	39.7	22.3	3.4	27.8	23.2	1.1	10.7	3.3	9.4	1.4
	女性	1,524	15.8	2.0	2.6	35.2	22.5	3.2	36.5	23.7	0.7	8.3	3.3	11.2	0.9
	無回答	27	3.7	－	－	11.1	7.4	－	14.8	7.4	－	－	－	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	22.9	5.7	10.5	38.1	14.3	2.9	22.9	21.0	1.9	10.5	1.0	14.3	－
	男性:25～29歳	102	18.6	7.8	7.8	31.4	25.5	4.9	23.5	21.6	－	7.8	3.9	14.7	2.0
	男性:30～34歳	117	13.7	6.0	5.1	41.9	32.5	0.9	28.2	29.9	1.7	6.0	5.1	5.1	－
	男性:35～39歳	150	13.3	6.7	8.0	39.3	19.3	4.7	29.3	22.7	－	12.7	3.3	9.3	2.7
	男性:40～44歳	197	16.2	4.6	8.1	37.1	25.4	2.5	30.5	24.4	0.5	9.6	2.0	8.6	2.5
	男性:45～49歳	211	14.2	1.9	10.0	45.0	18.5	4.3	28.4	20.4	2.4	14.7	4.3	7.6	0.5
	女性:18～24歳	163	16.6	3.7	6.1	44.2	17.8	4.3	27.6	21.5	－	3.1	3.7	12.9	0.6
	女性:25～29歳	153	13.1	2.0	2.0	30.7	16.3	2.0	34.6	28.8	－	5.9	2.6	18.3	2.0
	女性:30～34歳	249	13.7	2.8	1.2	32.1	28.1	5.2	39.0	23.3	0.8	6.0	3.2	10.4	0.8
	女性:35～39歳	283	17.0	1.8	1.8	31.4	22.6	3.5	35.7	26.5	1.4	15.5	2.8	7.4	0.7
	女性:40～44歳	344	16.6	0.9	3.2	36.6	26.7	2.9	38.4	23.0	1.2	6.4	3.5	9.3	0.9
	女性:45～49歳	326	16.9	1.8	2.1	36.8	18.7	1.5	38.7	21.5	0.3	9.5	3.7	12.6	0.9
	無回答	36	2.8	－	－	22.2	11.1	2.8	22.2	8.3	－	2.8	－	2.8	55.6
配偶関係別	未婚	859	17.1	3.8	7.8	42.6	15.9	5.8	27.2	13.6	0.6	5.2	3.5	15.0	1.9
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	14.8	2.5	3.0	33.4	26.4	1.7	35.8	29.6	0.9	11.2	3.0	8.1	1.2
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	17.6	3.5	2.1	33.8	21.8	2.8	45.1	19.7	2.1	11.3	4.9	5.6	1.4
	無回答	20	5.0	－	－	20.0	5.0	5.0	15.0	20.0	－	10.0	－	5.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	15.2	3.1	4.4	37.6	22.2	3.3	34.0	23.3	0.8	9.3	3.3	10.3	0.9
	筑後地域	343	13.4	5.0	6.7	37.3	20.1	2.9	31.8	22.2	1.5	9.6	2.6	12.5	0.6
	筑豊地域	161	16.1	0.6	7.5	30.4	21.1	2.5	39.8	24.2	1.2	9.9	1.9	11.2	0.6
	北九州地域	550	18.7	2.4	3.1	37.3	25.1	3.8	30.5	24.4	0.5	8.7	3.8	9.5	1.8
	無回答	69	11.6	2.9	4.3	20.3	14.5	1.4	27.5	18.8	－	4.3	4.3	7.2	30.4

５．理想のこどもの数

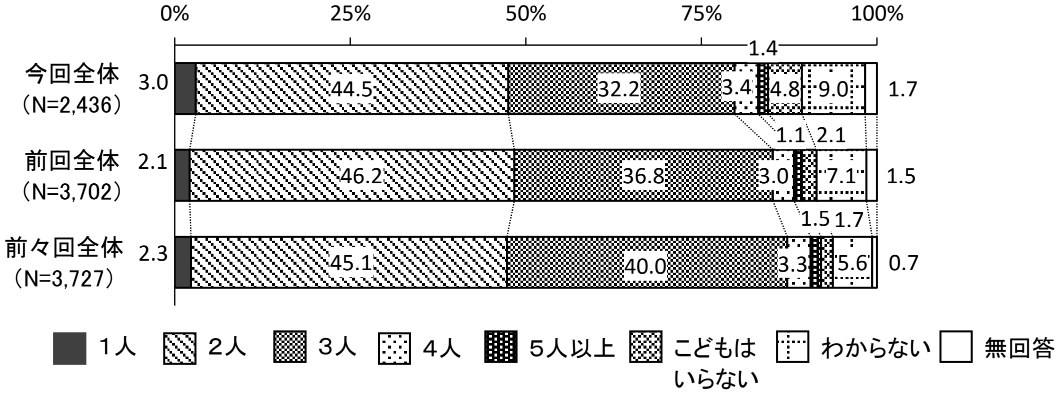
（１）理想のこどもの数

問５　あなたにとって理想とするこどもの数は、何人ですか。（○は１つ）

理想とするこどもの数についてたずねたところ、「２人」が 44.5％で最も高く、次いで「３人」が 32.2％となっている。「１人」と「４人」、「５人以上」はいずれも１割以下の低い割合となっている。

過去の調査結果との比較では、大きな変化は認められないが、前々回から今回にかけて「３人」がやや減少し、「わからない」がやや増加する傾向がみられる。

図表１－13　理想のこどもの数［全体］



【性別】

男女でほぼ同様の結果となっている。

【性別・年代別】

男性の 18～24 歳では「３人」が 25.7％と最も低くなっている。また、「こどもはいらない」は男女とも年代の低い層で割合が高くなっている。

【配偶関係別】

未婚者では、「３人」が 21.2％で全体よりも 11 ポイント低く、「こどもはいらない」（10.8％）と「わからない」（14.2％）が１割強とやや高くなっている。

【働き方別】

「二人ともフルタイム」と「フルタイム＋パートタイム」の場合に、「３人」が４割強と他の場合より高くなっており、「夫のみ働いている」と「妻のみ働いている」では、「２人」が約５割と高くなっている。

【世帯収入別】

「３人」は世帯収入が高くなると割合が高く、「こどもはいらない」と「わからない」は収入が低いと割合が高くなる傾向がみられる。

図表１－14　理想のこどもの数

［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、働き方別、世帯収入別、居住地域別］

(%)

		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	こどもはいらない	わからない	無回答
全体		2,436	74	1,084	785	83	33	116	219	42
		100.0	3.0	44.5	32.2	3.4	1.4	4.8	9.0	1.7
性別	男性	885	2.9	46.3	32.8	2.3	1.6	3.3	9.5	1.4
	女性	1,524	3.1	44.0	32.3	4.1	1.2	5.7	8.8	0.7
	無回答	27	－	11.1	11.1	－	－	－	3.7	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	5.7	51.4	25.7	－	1.0	6.7	9.5	－
	男性:25～29歳	102	3.9	47.1	27.5	1.0	2.0	4.9	11.8	2.0
	男性:30～34歳	117	1.7	52.1	29.9	1.7	1.7	3.4	9.4	－
	男性:35～39歳	150	4.7	44.0	36.0	3.3	0.7	1.3	7.3	2.7
	男性:40～44歳	197	0.5	41.6	38.1	3.6	2.0	3.0	9.1	2.0
	男性:45～49歳	211	2.8	46.4	32.7	2.4	1.9	2.4	10.4	0.9
	女性:18～24歳	163	3.7	44.8	28.2	1.2	0.6	14.1	7.4	－
	女性:25～29歳	153	5.2	43.1	31.4	－	0.7	8.5	9.2	2.0
	女性:30～34歳	249	2.8	43.4	35.3	4.4	1.2	4.4	7.6	0.8
	女性:35～39歳	283	3.2	43.5	35.7	4.6	1.8	3.5	7.4	0.4
	女性:40～44歳	344	2.3	47.4	27.6	7.0	1.2	4.1	10.2	0.3
	女性:45～49歳	326	3.1	41.4	34.4	4.0	1.5	4.9	9.8	0.9
	無回答	36	－	19.4	19.4	－	－	－	5.6	55.6
配偶関係別	未婚	859	3.4	47.4	21.2	0.6	0.7	10.8	14.2	1.7
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	3.0	42.9	38.8	5.0	1.8	1.3	6.1	1.1
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	1.4	47.2	35.9	4.2	0.7	2.8	7.0	0.7
	無回答	20	－	15.0	15.0	5.0	5.0	－	5.0	55.0
働き方別	二人ともフルタイム	573	2.6	41.9	41.0	5.2	1.9	1.0	5.8	0.5
	フルタイム＋パートタイム	537	3.9	40.2	41.7	4.7	1.7	0.7	6.3	0.7
	二人ともパートタイム	8	－	50.0	－	－	－	50.0	－	－
	夫のみ働いている	265	2.6	50.9	30.6	6.0	0.8	1.5	5.7	1.9
	妻のみ働いている	11	－	54.5	27.3	－	9.1	－	9.1	－
	その他	15	－	33.3	33.3	－	6.7	－	6.7	20.0
	二人とも働いていない	4	－	25.0	25.0	－	－	25.0	25.0	－
	無回答	1,023	3.0	46.6	23.1	1.2	0.9	9.5	13.1	2.6
世帯収入別	200万円未満	208	2.4	43.3	24.5	2.9	1.9	11.1	13.9	－
	200～400万円未満	485	4.5	47.2	27.4	1.9	1.0	6.0	10.9	1.0
	400～600万円未満	648	2.3	45.1	33.3	3.4	1.7	4.2	8.8	1.2
	600～1000万円未満	748	3.3	43.2	36.8	4.7	0.8	3.1	7.5	0.7
	1000万円以上	251	1.6	47.4	34.3	3.6	2.0	4.8	5.6	0.8
	無回答	96	3.1	32.3	25.0	2.1	2.1	2.1	10.4	22.9
居住地域別	福岡地域	1,313	3.1	44.7	31.7	3.0	1.2	5.3	10.1	0.9
	筑後地域	343	2.3	42.3	37.6	3.8	2.0	2.9	8.7	0.3
	筑豊地域	161	1.9	45.3	31.1	5.6	1.9	3.7	9.9	0.6
	北九州地域	550	4.0	46.2	31.8	3.6	0.9	5.3	6.9	1.3
	無回答	69	－	36.2	21.7	1.4	2.9	2.9	4.3	30.4

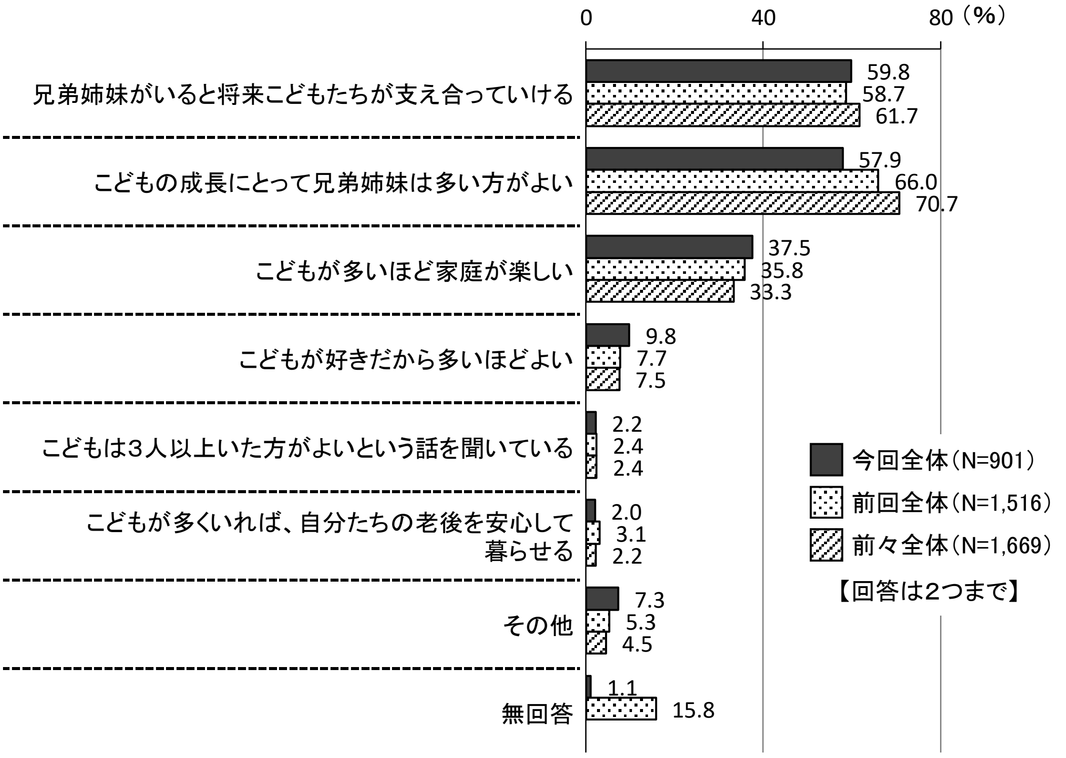
（２）理想のこどもの数が３人以上の理由

ＳＱ１【問５で ３～５ と答えた方に】あなたの理想とするこどもの数が３人以上なのは、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

理想のこどもの数が３人以上とする人に、その理由をたずねたところ、「兄弟姉妹がいると将来こどもたちが支え合っていける」が 59.8％、「こどもの成長にとって兄弟姉妹は多い方がよい」が 57.9％と高くなっている。「こどもが多いほど家族が楽しい」も 37.5％と比較的高い。

過去の調査結果と比較すると、「こどもの成長にとって兄弟姉妹は多い方がよい」は前々回から減少傾向となっており、「こどもが多いほど家族が楽しい」がやや増加傾向となっている。

図表１－15　理想のこどもの数が３人以上の理由［全体］



【性別】

「兄弟姉妹がいると将来こどもたちが支え合っていける」は、女性が 64.3％で男性（52.2％）より 12.1 ポイント高くなっている。一方で、「こどもが多いほど家族が楽しい」は、男性が 42.0％で女性（35.2％）よりも 6.8 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「こどもの成長にとって兄弟姉妹は多い方がよい」は、男性では年代が高い層で割合が高い傾向がみられる。

【配偶関係別】

「こどもが多いほど家族が楽しい」は、配偶者がいる人で 40.8％と高く、「兄弟姉妹がいると将来こどもたちが支え合っていける」は配偶者がいる人と離・死別の人で 74.1％と高くなっている。

図表１－16　理想のこどもの数が３人以上の理由
［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

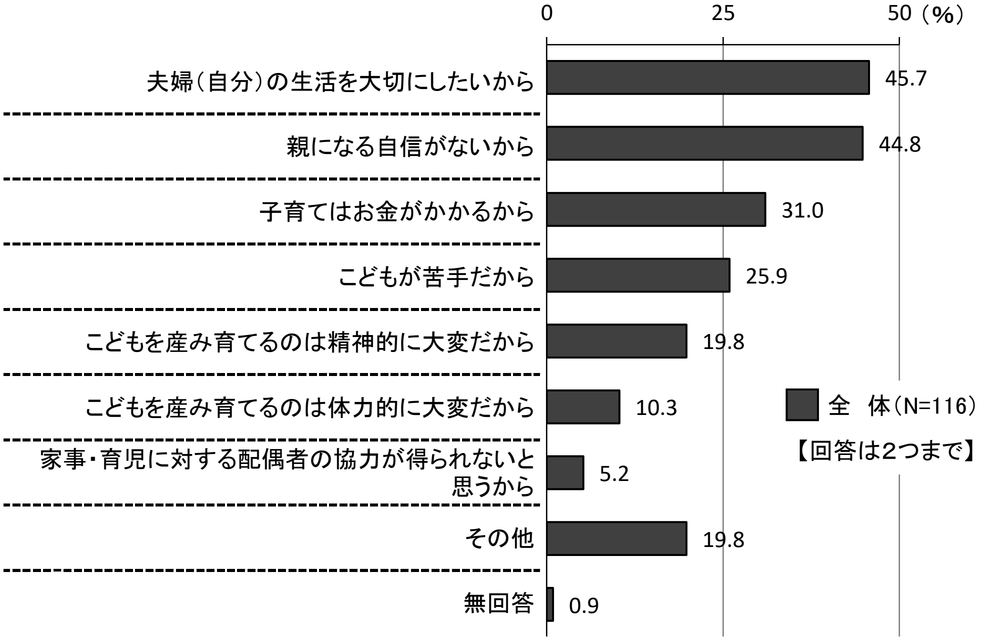
		標本数	こどもの成長にとって兄弟姉妹は多い方がよい	こどもが多いほど家庭が楽しい	こどもが多くいれば、自分たちの老後を安心して暮らせる	兄弟姉妹がいると将来こどもたちが支え合っていける	こどもは3人以上いた方がよいという話を聞いている	こどもが好きだから多いほどよい	その他	無回答
全体		901 100.0	522 57.9	338 37.5	18 2.0	539 59.8	20 2.2	88 9.8	66 7.3	10 1.1
性別	男性	324	61.1	42.0	3.1	52.2	3.1	7.4	8.6	0.9
	女性	574	56.1	35.2	1.2	64.3	1.7	11.0	6.6	1.2
	無回答	3	66.7	−	33.3	33.3	−	33.3	−	−
性別・年代別	男性:18～24歳	28	46.4	46.4	3.6	53.6	7.1	10.7	14.3	−
	男性:25～29歳	31	51.6	32.3	3.2	54.8	9.7	9.7	19.4	−
	男性:30～34歳	39	43.6	53.8	2.6	41.0	−	15.4	12.8	2.6
	男性:35～39歳	60	66.7	35.0	10.0	53.3	5.0	6.7	5.0	−
	男性:40～44歳	86	64.0	47.7	−	52.3	2.3	8.1	7.0	−
	男性:45～49歳	78	70.5	37.2	1.3	55.1	−	1.3	5.1	2.6
	女性:18～24歳	49	61.2	44.9	−	59.2	−	10.2	6.1	−
	女性:25～29歳	49	51.0	32.7	2.0	61.2	2.0	12.2	10.2	−
	女性:30～34歳	102	51.0	42.2	−	62.7	1.0	11.8	5.9	2.9
	女性:35～39歳	119	51.3	40.3	1.7	61.3	−	14.3	5.9	1.7
	女性:40～44歳	123	63.4	25.2	0.8	67.5	3.3	11.4	7.3	1.6
	女性:45～49歳	130	57.7	31.5	2.3	68.5	3.1	6.9	6.2	−
	無回答	7	71.4	28.6	14.3	42.9	−	14.3	−	−
配偶関係別	未婚	193	58.5	29.0	3.1	59.6	3.1	9.8	15.0	1.0
	配偶者（パートナー）がいる	645	57.5	40.8	1.7	58.8	2.0	10.1	4.7	1.2
	配偶者（パートナー）と離・死別した	58	62.1	24.1	1.7	74.1	1.7	5.2	12.1	−
	無回答	5	40.0	100.0	−	40.0	−	20.0	−	−
居住地域別	福岡地域	472	56.8	37.3	1.9	58.9	2.3	8.9	7.4	1.1
	筑後地域	149	59.7	40.3	2.0	57.7	2.0	12.1	6.0	0.7
	筑豊地域	62	62.9	35.5	1.6	71.0	−	8.1	8.1	1.6
	北九州地域	200	59.0	35.5	2.0	61.0	2.5	9.5	8.5	1.5
	無回答	18	44.4	50.0	5.6	50.0	5.6	22.2	−	−

（３）こどもがいらない理由

ＳＱ２【問５で ６ と答えた方に】こどもがいらないのは、どのような理由からですか。
次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

こどもがいらないと回答した理由については、「夫婦（自分）の生活を大切にしたいから」45.7％、「親になる自信がないから」が 44.8％と高く、次いで「子育てはお金がかかるから」が31.0％、「こどもが苦手だから」が 25.9％となっている。

図表１－17　こどもがいらない理由［全体］



Ⅱ　調査結果

【性別】

「親になる自信がないから」（男性 51.7%、女性 42.5%）と「子育てはお金がかかるから」（同 44.8%、26.4%）、「こどもを産み育てるのは精神的に大変だから」（同 24.1%、18.4%）などは男性の方が、「夫婦（自分）の生活を大切にしたいから」（同 34.5%、49.4%）と「こどもを産み育てるのは体力的に大変だから」（同 3.4%、12.6%）は女性の方が割合は高くなっている。

【配偶関係別】

未婚者では「親になる自信がないから」が 50.5%と高い割合になっている。

図表１－18　こどもがいらない理由［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

		標本数	こどもが苦手だから	子育てはお金がかかるから	こどもを産み育てるのは体力的に大変だから	こどもを産み育てるのは精神的に大変だから	親になる自信がないから	夫婦（自分）の生活を大切にしたいから	家事・育児に対する配偶者の協力が得られないと思うから	その他	無回答
全体		116	30	36	12	23	52	53	6	23	1
		100.0	25.9	31.0	10.3	19.8	44.8	45.7	5.2	19.8	0.9
性別	男性	29	24.1	44.8	3.4	24.1	51.7	34.5	−	20.7	−
	女性	87	26.4	26.4	12.6	18.4	42.5	49.4	6.9	19.5	1.1
	無回答	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
性別・年代別	男性:18～24歳	7	14.3	57.1	−	14.3	71.4	42.9	−	28.6	−
	男性:25～29歳	5	20.0	20.0	20.0	60.0	40.0	20.0	−	20.0	−
	男性:30～34歳	4	25.0	50.0	−	−	50.0	75.0	−	25.0	−
	男性:35～39歳	2	50.0	50.0	−	50.0	−	50.0	−	−	−
	男性:40～44歳	6	16.7	50.0	−	16.7	83.3	16.7	−	16.7	−
	男性:45～49歳	5	40.0	40.0	−	20.0	20.0	20.0	−	20.0	−
	女性:18～24歳	23	21.7	47.8	8.7	17.4	60.9	56.5	−	13.0	−
	女性:25～29歳	13	23.1	15.4	15.4	38.5	46.2	69.2	7.7	23.1	−
	女性:30～34歳	11	27.3	36.4	18.2	18.2	27.3	54.5	9.1	27.3	−
	女性:35～39歳	10	30.0	10.0	20.0	10.0	40.0	50.0	20.0	10.0	−
	女性:40～44歳	14	28.6	14.3	14.3	14.3	28.6	35.7	−	21.4	7.1
	女性:45～49歳	16	31.3	18.8	6.3	12.5	37.5	31.3	12.5	25.0	−
	無回答	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
配偶関係別	未婚	93	26.9	33.3	9.7	17.2	50.5	47.3	4.3	17.2	1.1
	配偶者(パートナー)がいる	19	21.1	21.1	15.8	36.8	21.1	36.8	10.5	26.3	−
	配偶者(パートナー)と離・死別した	4	25.0	25.0	−	−	25.0	50.0	−	50.0	−
	無回答	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
居住地域別	福岡地域	69	29.0	24.6	11.6	24.6	40.6	46.4	7.2	21.7	−
	筑後地域	10	20.0	40.0	10.0	10.0	60.0	60.0	−	30.0	−
	筑豊地域	6	33.3	66.7	−	−	50.0	50.0	16.7	16.7	−
	北九州地域	29	17.2	34.5	10.3	17.2	48.3	37.9	−	13.8	3.4
	無回答	2	50.0	50.0	−	−	50.0	50.0	−	−	−

６．実際にもつつもりのこどもの数

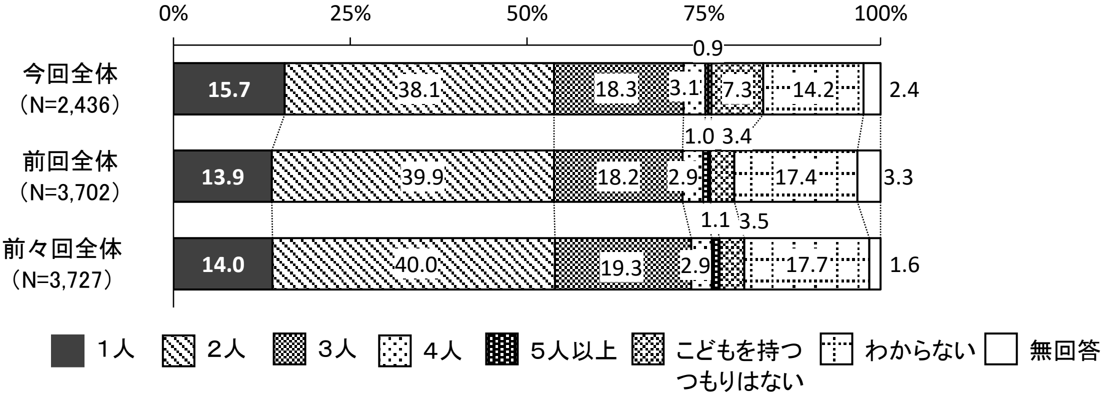
（１）実際にもつつもりのこどもの数

問６　あなたは、実際に何人のこどもを育てられると思いますか（現在おられるお子さんを含む）。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は１つ）

実際に育てることができると思うこどもの数については、「２人」が 38.1%で最も高く、次いで「３人」が 18.3%、「１人」が 15.7%となっている。

過去の調査結果と比較では、前々回から今回までほとんど変化はみられない。

図表１－19　実際にもつつもりのこどもの数［全体］



【性別】

「３人」は、男性が 20.5％で女性（18.3％）より 3.1 ポイント高いが、その他にはほとんど男女の差はみられない。

【性別・年代別】

「３人」は男女ともに年代が高い層で割合が高い傾向にあり、35～49 歳では２割前後から約３割となっている。18～20 歳代では、男女ともに「わからない」が２割前後と他の年代より高くなっている。

【配偶関係別】

未婚者は「わからない」が 29.8％となっている。配偶者がいる人では「２人」が 44.5％と高い割合を占めている。

図表１－20　実際にもつつもりのこどもの数

［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	こどもを持つつもりはない	わからない	無回答
全体		2,436	382	927	446	75	23	178	346	59
		100.0	15.7	38.1	18.3	3.1	0.9	7.3	14.2	2.4
性別	男性	885	14.8	38.3	20.5	2.4	1.5	6.4	14.4	1.8
	女性	1,524	16.5	38.4	17.4	3.5	0.7	7.9	14.1	1.5
	無回答	27	－	11.1	－	－	－	－	14.8	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	13.3	38.1	14.3	－	1.0	11.4	21.9	－
	男性:25～29歳	102	18.6	40.2	11.8	1.0	－	5.9	20.6	2.0
	男性:30～34歳	117	17.1	45.3	15.4	－	1.7	3.4	17.1	－
	男性:35～39歳	150	14.0	42.0	22.0	2.0	0.7	4.7	10.7	4.0
	男性:40～44歳	197	14.2	30.5	32.0	4.6	0.5	6.1	9.6	2.5
	男性:45～49歳	211	13.7	37.9	18.5	3.8	3.8	7.6	13.3	1.4
	女性:18～24歳	163	10.4	35.6	12.3	1.2	－	14.7	24.5	1.2
	女性:25～29歳	153	17.6	39.2	11.1	－	－	9.8	18.3	3.9
	女性:30～34歳	249	20.1	40.6	14.5	4.0	0.4	4.4	14.5	1.6
	女性:35～39歳	283	18.0	38.9	18.7	4.2	1.8	4.9	13.1	0.4
	女性:40～44歳	344	17.4	35.8	18.9	4.7	0.9	8.7	12.2	1.5
	女性:45～49歳	326	13.8	40.2	22.1	4.0	0.3	8.3	9.8	1.5
	無回答	36	2.8	19.4	8.3	2.8	－	－	11.1	55.6
配偶関係別	未婚	859	16.9	28.8	6.3	0.3	0.1	15.0	29.8	2.8
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	14.3	44.5	25.6	4.7	1.5	2.8	5.1	1.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	23.9	34.5	20.4	2.8	0.7	6.3	9.9	1.4
	無回答	20	5.0	10.0	5.0	5.0	－	－	20.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	16.4	40.1	17.2	2.1	0.9	8.3	13.5	1.5
	筑後地域	343	12.8	37.3	22.7	3.8	1.2	3.5	18.1	0.6
	筑豊地域	161	13.0	31.1	19.3	8.1	0.6	9.3	16.1	2.5
	北九州地域	550	17.3	37.3	18.5	3.3	1.1	7.1	13.5	2.0
	無回答	69	10.1	26.1	13.0	4.3	－	4.3	10.1	31.9

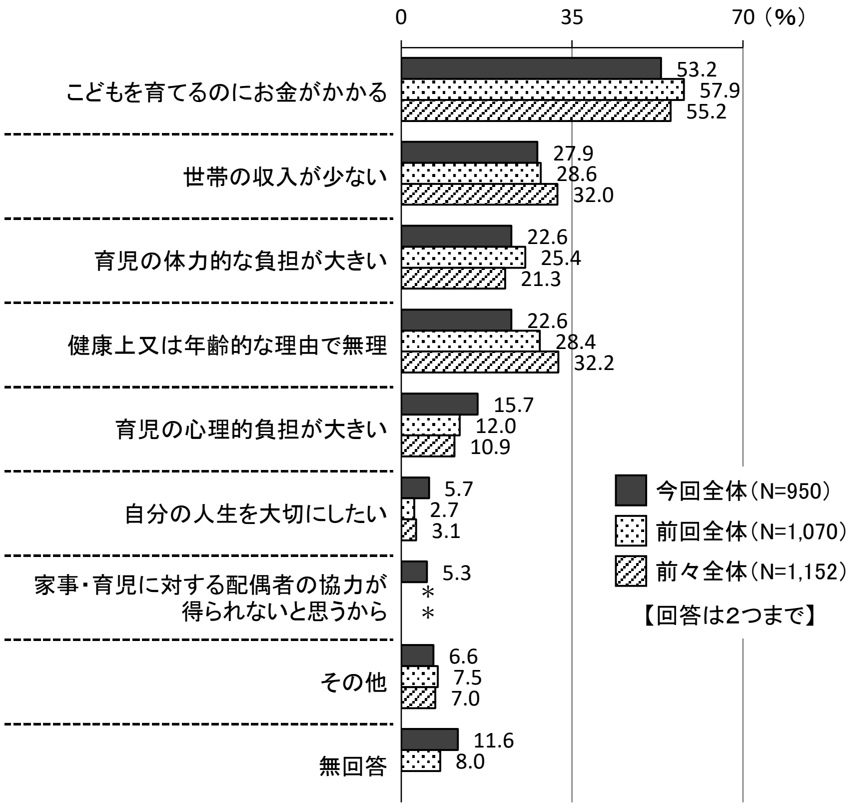
（２）理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての負担面）

> ＳＱ１【問６の実際のこどもの数が、問５の理想のこどもの数より少ない方に】実際のこどもの数が、理想とするこどもの数よりも少ないのは、子育ての負担という点で考えた場合、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由のうち、子育ての負担面についてたずねたところ、「こどもを育てるのにお金がかかる」が 53.2％で最も高くなっている。次いで、「世帯の収入が少ない」が 27.9％、「育児の体力的な負担が大きい」が 22.6％、「健康上又は年齢的な理由で無理」が 22.6％となっている。

過去の調査結果と比較すると、「こどもを育てるのにお金がかかる」や「健康上又は年齢的な理由で無理」など、前回調査よりも割合が減少している項目が多いが、「育児の心理的な負担が大きい」と「自分の人生を大切にしたい」は増加傾向となっている。

図表１－21　理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての負担面）［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目

【性別】

「こどもを育てるのにお金がかかる」（男性 60.4％、女性 49.3％）と「世帯の収入が少ない」（同 37.5％、23.0％）という経済的な問題については、いずれも男性の方が割合は高くなっている。一方で、「育児の体力的な負担が大きい」（同 18.3％、24.6％）や「育児の心理的な負担が大きい」（同 13.1％、16.9％）、「健康上又は年齢的な理由で無理」（同 17.7％、25.4％）という出産・育児負担の問題については女性の方が割合は高くなっている。

Ⅱ　調査結果

【性別・年代別】

「育児の体力的な負担が大きい」は女性の 30～34 歳で 35.7％、「健康上又は年齢的な理由で無理」は女性の 40～44 歳で 42.1％と高くなっている。

【配偶関係別】

配偶者がいる人は「こどもを育てるのにお金がかかる」が 60.4％と高い割合になっている。

【世帯収入別】

「世帯の収入が少ない」は、世帯収入が低いほど割合が高く、「こどもを育てるのにお金がかかる」は 400～1000 万円未満で割合が高くなっている。

図表１－22　理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての負担面）
［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、世帯収入別、居住地域別］

（%）

		標本数	育児の体力的な負担が大きい	育児の心理的負担が大きい	健康上又は年齢的な理由で無理	自分の人生を大切にしたい	こどもを育てるのにお金がかかる	世帯の収入が少ない	家事・育児に対する配偶者の協力が得られないと思うから	その他	無回答
全体		950	215	149	215	54	505	265	50	63	110
		100.0	22.6	15.7	22.6	5.7	53.2	27.9	5.3	6.6	11.6
性別	男性	328	18.3	13.1	17.7	4.0	60.4	37.5	3.0	6.7	11.0
	女性	617	24.6	16.9	25.4	6.6	49.3	23.0	6.5	6.6	11.8
	無回答	5	60.0	40.0	－	－	60.0	－	－	－	20.0
性別・年代別	男性:18～24歳	37	21.6	18.9	－	8.1	51.4	18.9	2.7	－	32.4
	男性:25～29歳	37	13.5	10.8	10.8	－	81.1	51.4	－	8.1	5.4
	男性:30～34歳	46	19.6	13.0	6.5	4.3	69.6	41.3	2.2	6.5	8.7
	男性:35～39歳	54	27.8	16.7	16.7	9.3	53.7	38.9	5.6	9.3	7.4
	男性:40～44歳	71	12.7	12.7	22.5	2.8	60.6	40.8	4.2	7.0	7.0
	男性:45～49歳	82	17.1	9.8	30.5	1.2	54.9	34.1	2.4	7.3	11.0
	女性:18～24歳	65	15.4	15.4	1.5	10.8	56.9	26.2	1.5	6.2	26.2
	女性:25～29歳	65	18.5	7.7	4.6	10.8	63.1	27.7	7.7	9.2	18.5
	女性:30～34歳	115	35.7	21.7	17.4	6.1	49.6	27.8	5.2	3.5	11.3
	女性:35～39歳	117	22.2	21.4	28.2	5.1	54.7	24.8	6.0	9.4	6.0
	女性:40～44歳	140	26.4	15.7	42.1	5.7	43.6	19.3	2.9	7.1	7.9
	女性:45～49歳	113	23.0	15.0	36.3	5.3	38.1	15.9	13.3	5.3	11.5
	無回答	8	37.5	25.0	12.5	－	50.0	12.5	25.0	－	12.5
配偶関係別	未婚	380	20.0	14.7	20.5	7.4	46.8	26.6	2.9	4.5	20.3
	配偶者(パートナー)がいる	497	25.4	15.7	25.2	4.6	60.4	29.6	6.4	7.8	3.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	66	16.7	21.2	18.2	4.5	37.9	22.7	10.6	10.6	18.2
	無回答	7	28.6	14.3	－	－	28.6	28.6	－	－	42.9
世帯収入別	200万円未満	84	14.3	14.3	20.2	2.4	36.9	44.0	6.0	9.5	19.0
	200～400万円未満	204	20.1	14.2	22.5	4.9	47.5	37.7	3.4	3.9	14.2
	400～600万円未満	257	18.3	15.2	21.0	5.4	59.9	35.4	5.1	5.8	8.9
	600～1000万円未満	292	29.8	15.8	26.4	5.8	61.0	16.8	5.1	7.2	7.2
	1000万円以上	84	28.6	17.9	22.6	13.1	38.1	6.0	9.5	11.9	15.5
	無回答	29	13.8	27.6	6.9	－	44.8	20.7	6.9	3.4	27.6
居住地域別	福岡地域	514	26.5	16.3	22.2	5.6	55.1	27.4	4.5	6.4	9.9
	筑後地域	136	15.4	16.9	24.3	3.7	49.3	33.1	8.8	3.7	13.2
	筑豊地域	63	20.6	15.9	19.0	6.3	49.2	15.9	4.8	3.2	23.8
	北九州地域	215	19.1	13.5	24.2	7.4	52.6	29.8	5.6	8.8	10.2
	無回答	22	18.2	13.6	18.2	－	50.0	22.7	－	18.2	18.2

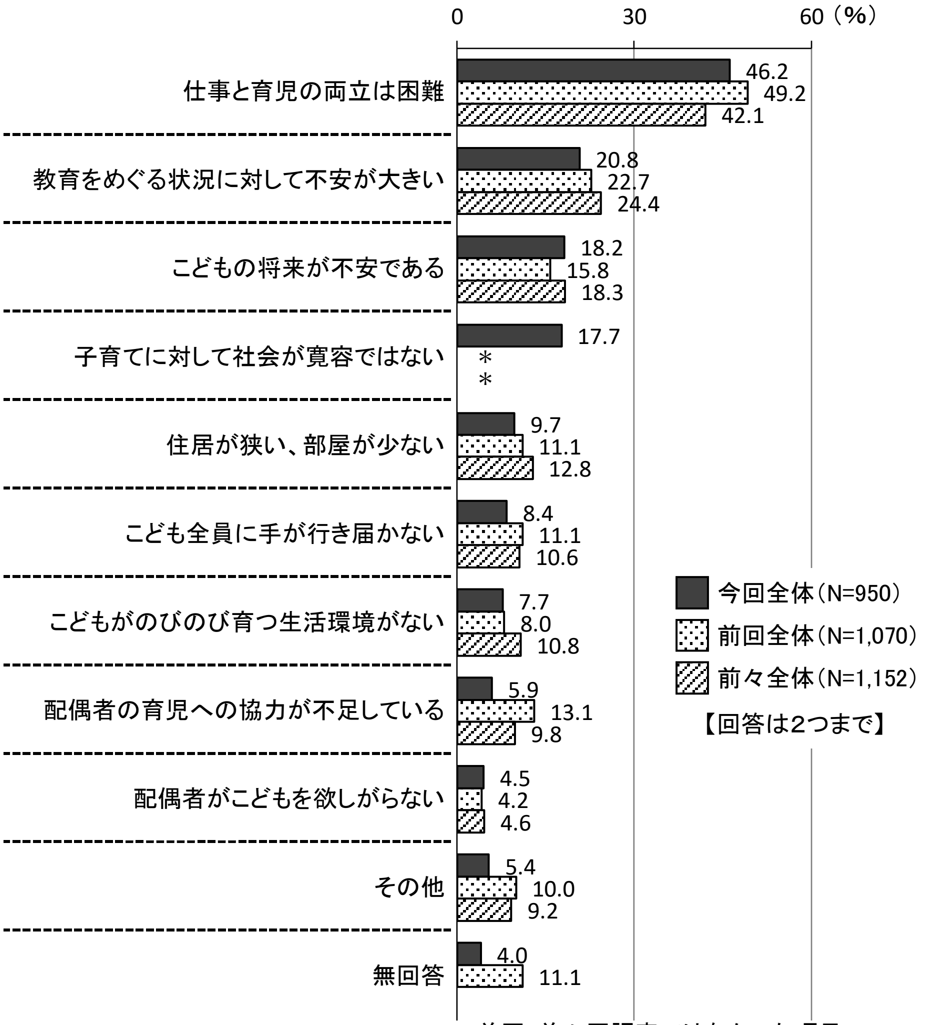
（３）理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての環境面）

ＳＱ２**【問６の実際のこどもの数が、問５の理想のこどもの数より少ない方に】**実際のこどもの数が、理想とするこどもの数よりも少ないのは、子育て環境という点で考えた場合、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由のうち、子育て環境についてたずねたところ、「仕事と育児の両立は困難」が 46.2％で最も高くなっている。次いで、「教育をめぐる状況に対して不安が大きい」が 20.8％、「こどもの将来が不安である」が 18.2％となっている。

過去の調査結果との比較では、選択肢が変更されている点に留意が必要ではあるが、「配偶者の育児への協力が不足している」は前回調査から 7.2 ポイント減少している。

図表１－23　理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての環境面）［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目

【性別】

「仕事と育児の両立は困難」（男性 42.7%、女性 48.5%）と「配偶者の育児への協力が不足している」（同 1.5%、8.3%）は女性の方が 5.8～6.8 ポイント高くなっている。「住居が狭い、部屋が少ない」（同 14.9%、7.0%）は男性の方が 7.9 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「こどもの将来が不安である」と「子育てに対して社会が寛容ではない」は、男女ともに年代の低い層で高くなっている。「仕事と育児の両立は困難」は、女性はどの年代も４割台半ばから５割強と高いのに対して、男性では 30～34 歳で 52.2%と高くなっている。

【配偶関係別】

配偶者がいる人では「仕事と育児の両立は困難」（48.1%）や「教育をめぐる状況に対して不安が大きい」（24.5%）、未婚者では「こどもの将来が不安である」（22.6%）の割合が他の配偶関係に比べて高い。

図表１－24　理想より実際にもつつもりのこどもの数が少ない理由（子育ての環境面）

［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

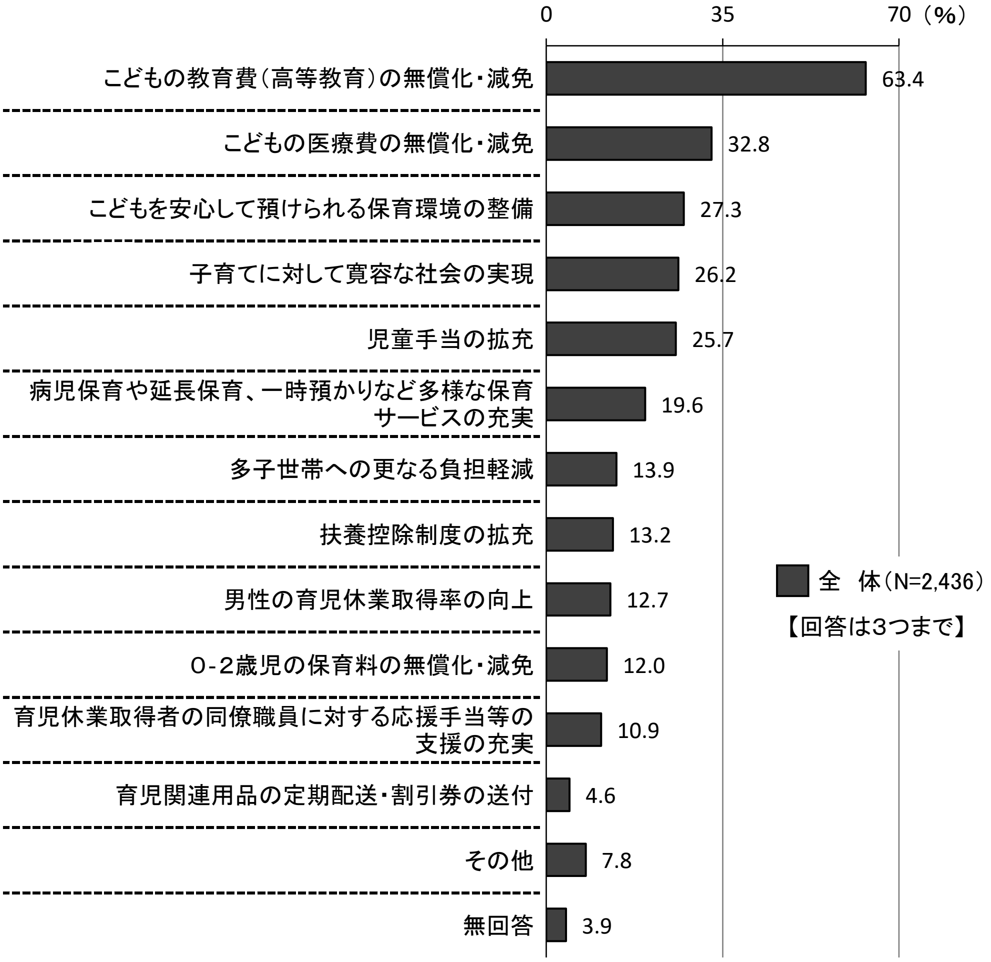
		標本数	住居が狭い、部屋が少ない	仕事と育児の両立は困難	こどもがのびのび育つ生活環境がない	こどもの将来が不安である	配偶者がこどもを欲しがらない	配偶者の育児への協力が不足している	こども全員に手が行き届かない	教育をめぐる状況に対して不安が大きい	子育てに対して社会が寛容ではない	その他	無回答
全体		950	92	439	73	173	43	56	80	198	168	51	38
		100.0	9.7	46.2	7.7	18.2	4.5	5.9	8.4	20.8	17.7	5.4	4.0
性別	男性	328	14.9	42.7	9.8	18.3	7.0	1.5	6.1	22.0	17.4	4.9	3.7
	女性	617	7.0	48.5	6.6	17.8	3.2	8.3	9.7	20.1	18.0	5.7	4.2
	無回答	5	－	－	－	60.0	－	－	－	40.0	－	－	－
性別・年代別	男性:18～24歳	37	10.8	24.3	13.5	21.6	－	2.7	5.4	8.1	13.5	2.7	13.5
	男性:25～29歳	37	16.2	37.8	2.7	37.8	－	－	2.7	21.6	37.8	2.7	2.7
	男性:30～34歳	46	10.9	52.2	8.7	10.9	4.3	－	8.7	21.7	19.6	2.2	－
	男性:35～39歳	54	22.2	46.3	9.3	18.5	11.1	－	11.1	22.2	13.0	7.4	5.6
	男性:40～44歳	71	9.9	46.5	7.0	18.3	8.5	4.2	4.2	25.4	15.5	5.6	2.8
	男性:45～49歳	82	18.3	42.7	13.4	12.2	11.0	1.2	4.9	25.6	13.4	6.1	1.2
	女性:18～24歳	65	3.1	44.6	9.2	20.0	1.5	4.6	7.7	13.8	21.5	－	4.6
	女性:25～29歳	65	4.6	46.2	7.7	24.6	－	3.1	7.7	16.9	23.1	6.2	7.7
	女性:30～34歳	115	8.7	52.2	7.0	21.7	－	8.7	9.6	23.5	20.0	1.7	5.2
	女性:35～39歳	117	6.8	44.4	7.7	14.5	1.7	6.8	14.5	27.4	16.2	6.8	5.1
	女性:40～44歳	140	9.3	53.6	5.7	17.1	7.1	6.4	7.1	19.3	16.4	7.9	1.4
	女性:45～49歳	113	6.2	46.9	4.4	12.4	6.2	15.0	10.6	15.9	14.2	8.8	3.5
	無回答	8	－	－	12.5	50.0	－	25.0	－	25.0	12.5	－	－
配偶関係別	未婚	380	6.1	44.5	10.3	22.6	0.3	1.8	6.3	16.3	16.1	3.2	5.5
	配偶者（パートナー）がいる	497	13.1	48.1	5.6	15.9	7.8	8.5	10.7	24.5	19.1	7.0	2.2
	配偶者（パートナー）と離・死別した	66	4.5	39.4	6.1	12.1	4.5	10.6	4.5	19.7	15.2	6.1	7.6
	無回答	7	14.3	71.4	28.6	－	－	－	－	14.3	28.6	－	14.3
居住地域別	福岡地域	514	13.0	46.1	7.4	18.9	4.1	5.8	9.5	19.6	16.7	6.4	3.7
	筑後地域	136	5.1	50.7	5.9	16.2	5.9	11.0	5.1	22.1	16.9	2.2	5.1
	筑豊地域	63	4.8	36.5	11.1	17.5	4.8	4.8	6.3	20.6	15.9	3.2	4.8
	北九州地域	215	6.0	47.4	8.4	18.1	5.1	3.3	7.4	22.8	20.0	6.0	3.7
	無回答	22	9.1	36.4	9.1	18.2	－	4.5	18.2	22.7	27.3	－	4.5

７．こどもをもちたいと思う制度や環境

> 問７　あなたは、仮にどのような制度や環境があれば、（さらに）こどもをもちたいと思いますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

こどもをもちたいと思うような制度や環境についてたずねたところ、「こどもの教育費（高等教育）の無償化・減免」が 63.4％で最も高くなっている。以下、「こどもの医療費の無償化・減免」が 32.8％、「こどもを安心して預けられる保育環境の整備」が 27.3％、「子育てに対して寛容な社会の実現」が 26.2％で続いている。

図表１－25　こどもをもちたいと思う制度や環境［全体］



【性別】

「子育てに対して寛容な社会の実現」（男性 21.2％、女性 29.5％）と「病児保育や延長保育、一時預かりなど多様な保育サービスの充実」（同 15.4％、22.3％）は、女性の方が 6.9～8.3 ポイント高くなっている。「多子世帯への更なる負担軽減」（同 17.4％、12.1％）と「扶養控除制度の拡充」（同 16.8％、11.3％）は男性の方が 5.3～5.5 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

男女ともに 18～24 歳で「こどもの教育費（高等教育）の無償化・減免」が７割を超えて高くなっている。

【配偶関係別】

「こどもを安心して預けられる保育環境の整備」は未婚者で 37.4％と高く、全体より 10.1 ポイント高い。「児童手当の拡充」は配偶者がいる人や配偶者と離・死別した人で３割台と未婚者よりも高い。また、「こどもの教育費（高等教育）の無償化・減免」は配偶者がいる人、「こどもの医療費の無償化・減免」は配偶者と離・死別した人で割合が他の配偶関係よりも高くなっている。

【世帯収入別】

「こどもの医療費の無償化・減免」は、世帯収入が低い層で割合が高くなる傾向がみられる。

図表１－26　こどもをもちたいと思う制度や環境
［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、世帯収入別、居住地域別］

(%)

		標本数	こどもの教育費（高等教育）の無償化・減免	こどもの医療費の無償化・減免	０-２歳児の保育料の無償化・減免	こどもを安心して預けられる保育環境の整備	扶養控除制度の拡充	児童手当の拡充	多子世帯への更なる負担軽減	育児関連用品の定期配送・割引券の送付	病児保育や延長保育、一時預かりなど多様な保育サービスの充実	男性の育児休業取得率の向上	育児休業取得者の同僚職員に対する応援手当等の支援の充実	子育てに対して寛容な社会の実現	その他	無回答
全体		2,436	1,544	798	293	664	322	625	338	112	477	309	266	639	190	94
		100.0	63.4	32.8	12.0	27.3	13.2	25.7	13.9	4.6	19.6	12.7	10.9	26.2	7.8	3.9
性別	男性	885	66.4	35.9	12.2	25.0	16.8	26.6	17.4	4.5	15.4	14.0	7.9	21.2	8.8	4.1
	女性	1,524	62.5	31.3	12.1	29.0	11.3	25.3	12.1	4.7	22.3	12.1	12.9	29.5	7.3	2.5
	無回答	27	14.8	11.1	3.7	3.7	3.7	18.5	－	－	3.7	－	－	7.4	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	74.3	39.0	13.3	30.5	11.4	18.1	17.1	5.7	15.2	23.8	9.5	24.8	5.7	1.9
	男性:25～29歳	102	65.7	36.3	17.6	24.5	23.5	29.4	13.7	10.8	14.7	11.8	6.9	17.6	5.9	3.9
	男性:30～34歳	117	62.4	29.9	17.1	33.3	17.9	24.8	16.2	5.1	18.8	17.1	7.7	15.4	11.1	3.4
	男性:35～39歳	150	67.3	34.7	14.7	27.3	16.0	26.7	23.3	4.7	16.0	15.3	7.3	18.7	8.0	6.0
	男性:40～44歳	197	66.5	37.6	12.2	21.3	18.3	32.5	16.2	2.5	14.7	11.2	10.2	20.8	8.6	4.6
	男性:45～49歳	211	64.5	36.0	4.7	19.9	14.2	24.6	17.1	1.9	14.2	10.4	6.2	27.0	11.4	3.8
	女性:18～24歳	163	71.8	35.0	10.4	35.0	4.9	18.4	8.6	4.3	18.4	18.4	14.1	26.4	3.7	1.2
	女性:25～29歳	153	68.0	27.5	15.0	31.4	12.4	33.3	10.5	8.5	24.2	15.7	15.0	28.8	1.3	5.2
	女性:30～34歳	249	59.8	30.9	20.5	32.9	12.0	23.7	16.1	7.6	25.3	9.6	16.5	24.1	4.0	2.4
	女性:35～39歳	283	63.3	27.2	15.5	27.2	12.7	29.0	15.5	6.7	21.2	11.3	9.9	26.1	8.5	1.8
	女性:40～44歳	344	57.6	30.2	7.8	29.1	12.8	25.3	11.6	3.5	22.4	10.2	13.1	33.4	11.6	2.9
	女性:45～49歳	326	61.7	36.2	6.1	23.3	10.4	23.0	8.9	0.6	22.1	12.0	11.0	34.0	9.2	2.1
	無回答	36	27.8	22.2	8.3	8.3	11.1	19.4	2.8	2.8	5.6	2.8	－	11.1	－	55.6
配偶関係別	未婚	859	59.8	33.1	8.8	37.4	10.0	16.3	9.5	4.1	24.1	16.2	12.6	26.8	6.2	4.8
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	66.1	32.2	14.0	21.6	15.4	30.9	17.0	5.0	16.8	11.2	9.8	25.4	8.5	2.5
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	62.0	38.0	12.7	23.9	12.0	32.4	9.9	4.2	22.5	7.7	12.7	33.1	12.0	4.2
	無回答	20	30.0	20.0	5.0	20.0	5.0	10.0	10.0	－	－	5.0	5.0	15.0	－	55.0
世帯収入別	200万円未満	208	59.6	38.0	10.6	25.5	10.6	27.4	12.5	5.8	18.8	11.1	11.1	26.4	10.1	4.8
	200～400万円未満	485	63.1	36.5	13.0	32.4	14.2	25.4	10.3	5.2	22.1	13.8	10.3	25.2	5.8	2.5
	400～600万円未満	648	65.4	31.8	12.2	22.7	15.0	28.4	16.0	6.5	17.6	13.9	11.9	27.6	6.6	3.4
	600～1000万円未満	748	67.2	33.8	12.4	26.9	13.6	26.7	15.5	3.1	20.2	10.4	10.4	25.4	8.3	2.4
	1000万円以上	251	58.2	26.3	10.0	31.9	9.6	19.5	13.9	2.0	21.1	13.9	12.7	27.9	11.2	2.8
	無回答	96	42.7	17.7	11.5	27.1	8.3	12.5	7.3	5.2	13.5	16.7	6.3	24.0	8.3	26.0
居住地域別	福岡地域	1,313	63.1	31.7	11.4	27.3	13.4	24.9	14.5	3.8	20.6	12.9	11.8	27.0	8.6	3.0
	筑後地域	343	68.2	36.4	12.2	29.2	14.3	26.2	14.3	6.7	15.7	13.1	7.9	25.7	7.0	2.6
	筑豊地域	161	61.5	37.9	14.3	23.6	14.3	31.1	14.3	6.8	18.6	12.4	7.5	24.8	5.6	3.1
	北九州地域	550	63.6	32.5	13.3	28.5	12.5	26.2	12.9	4.7	20.4	12.9	12.5	25.8	7.1	3.5
	無回答	69	47.8	24.6	7.2	15.9	7.2	20.3	7.2	2.9	14.5	4.3	4.3	21.7	7.2	30.4

第２章　子育て環境と支援策について

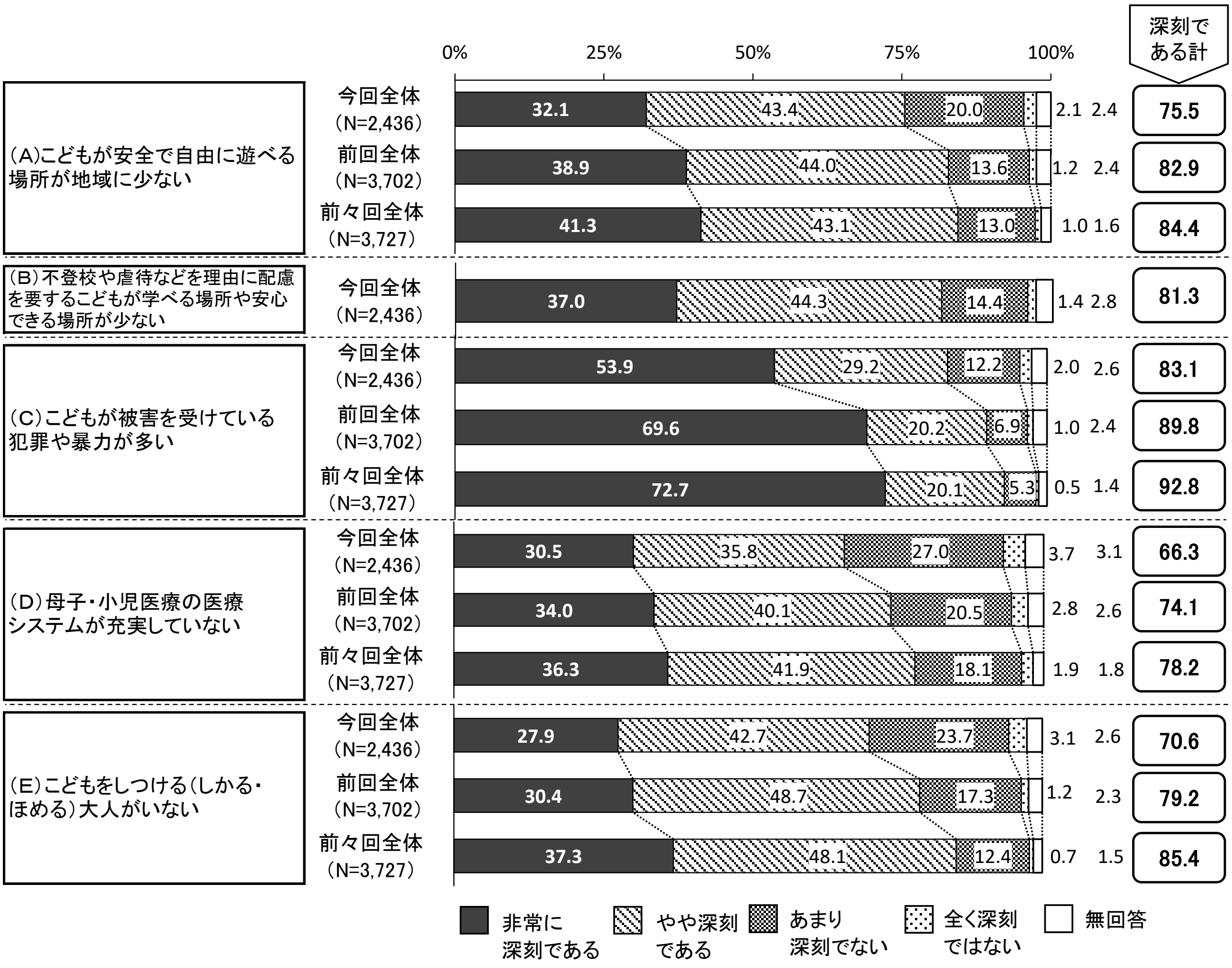
１．子育てを取り巻く環境についての評価

問8 こどもを健やかに育てる上で、次の(A)～(P)のような環境はどの程度深刻な環境だと思いますか。あなたの考えに最も近いものをそれぞれの項目について選んでください。（○はそれぞれ1つ）

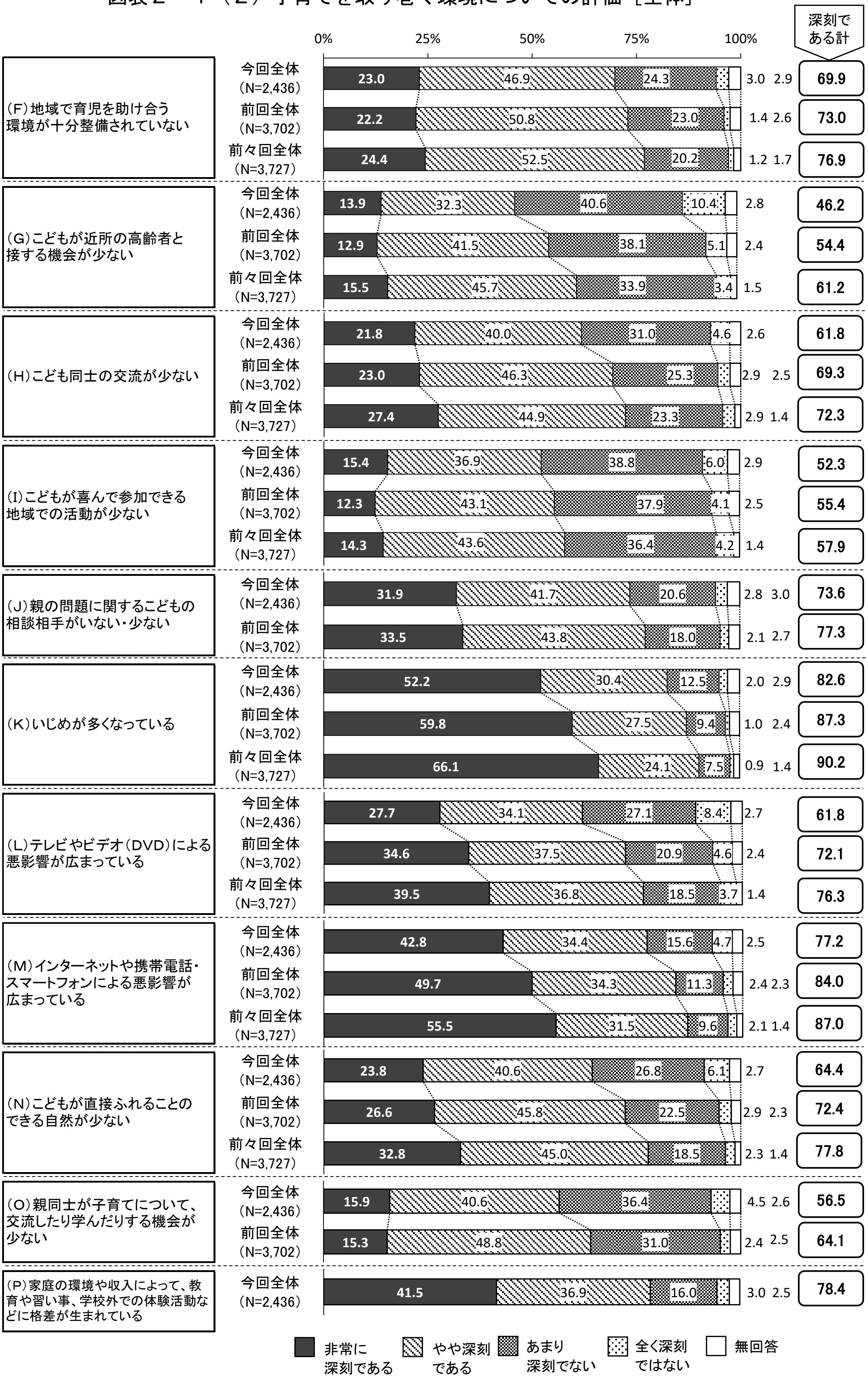
こどもを取り巻く環境の問題 16 項目について、それらの深刻度をたずねたところ、「非常に深刻である」と「やや深刻である」を合わせた『深刻である』の割合は、「（C）こどもが被害を受けている犯罪や暴力が多い」が 83.1%、「（K）いじめが多くなっている」が 82.6%、「（B）不登校や虐待などを理由に配慮を要するこどもが学べる場所や安心できる場所が少ない」が 81.3%とこの３項目が特に高くなっている。『深刻である』の割合は、その他のほとんどの項目で５割を超えているが、「（G）こどもが近所の高齢者と接する機会が少ない」だけは 46.2%と低くなっている。

過去の調査と比較が可能な項目のすべてにおいて、『深刻である』の割合が減少傾向となっている。

図表２－１（１）子育てを取り巻く環境についての評価［全体］



図表２－１（２）子育てを取り巻く環境についての評価［全体］



【性別】

『深刻である』の割合は、多くの項目で女性の方が高くなっており、特に「（L）テレビやビデオ（ＤＶＤ）による悪影響が広まっている」（男性 55.2％、女性 66.3％）と「（M）インターネットや携帯電話・スマートフォンによる悪影響が広まっている」（同 69.5％、82.7％）では男女の差が 10 ポイント以上と大きくなっている。

【性別・年代別】

『深刻である』の割合は、多くの項目で男女ともに年代が低い層で高くなっており、子育て環境に関する問題を若い世代の方がより深刻に捉えていることがうかがえる。「（G）こどもが近所の高齢者と接する機会が少ない」と「（M）インターネットや携帯電話・スマートフォンによる悪影響が広まっている」、「（L）テレビやビデオ（ＤＶＤ）による悪影響が広まっている」の３項目は、年代が高い層で『深刻である』とする割合が高くなっている。

図表２－２（１）[全体、性別、性別・年代別、居住地域別]

(%)

		標本数	(A)こどもが安全で自由に遊べる場所が地域に少ない						(B)不登校や虐待などを理由に配慮を要するこどもが学べる場所や安心できる場所が少ない					
			非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**
全体		2,436	782	1,058	486	52	58	**1,840**	902	1,080	352	33	69	**1,982**
		100	32.1	43.4	20.0	2.1	2.4	**75.5**	37.0	44.3	14.4	1.4	2.8	**81.3**
性別	男性	885	31.4	43.1	21.0	2.6	1.9	**74.5**	35.1	41.6	19.2	1.8	2.3	**76.7**
	女性	1,524	33.0	44.2	19.6	1.9	1.4	**77.2**	38.7	46.5	11.9	1.1	1.8	**85.2**
	無回答	27	3.7	14.8	7.4	－	74.1	**18.5**	3.7	14.8	3.7	－	77.8	**18.5**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	38.1	44.8	14.3	1.9	1.0	**82.9**	41.0	37.1	18.1	2.9	1.0	**78.1**
	男性:25～29歳	102	38.2	46.1	13.7	1.0	1.0	**84.3**	46.1	39.2	11.8	1.0	2.0	**85.3**
	男性:30～34歳	117	32.5	47.9	16.2	2.6	0.9	**80.4**	29.9	50.4	15.4	2.6	1.7	**80.3**
	男性:35～39歳	150	32.0	39.3	22.0	2.7	4.0	**71.3**	33.3	39.3	22.7	0.7	4.0	**72.6**
	男性:40～44歳	197	28.9	41.1	25.4	2.0	2.5	**70.0**	35.5	39.6	20.3	2.0	2.5	**75.1**
	男性:45～49歳	211	26.1	42.2	26.1	4.3	1.4	**68.3**	30.8	43.6	21.8	1.9	1.9	**74.4**
	女性:18～24歳	163	31.9	50.9	14.7	1.2	1.2	**82.8**	47.2	44.2	6.1	0.6	1.8	**91.4**
	女性:25～29歳	153	38.6	42.5	15.0	1.3	2.6	**81.1**	41.2	41.8	14.4	－	2.6	**83.0**
	女性:30～34歳	249	37.8	39.8	20.5	0.8	1.2	**77.6**	39.0	46.2	12.4	0.8	1.6	**85.2**
	女性:35～39歳	283	29.0	44.5	21.2	3.2	2.1	**73.5**	35.3	49.5	11.7	1.4	2.1	**84.8**
	女性:40～44歳	344	34.3	41.9	20.9	2.0	0.9	**76.2**	43.0	39.5	14.0	1.5	2.0	**82.5**
	女性:45～49歳	326	29.4	46.6	20.9	2.1	0.9	**76.0**	30.7	55.2	11.3	1.5	1.2	**85.9**
	無回答	36	11.1	27.8	5.6	－	55.6	**38.9**	19.4	16.7	5.6	－	58.3	**36.1**
居住地域別	福岡地域	1,313	32.5	43.3	20.3	2.6	1.4	**75.8**	38.2	43.2	15.2	1.5	1.9	**81.4**
	筑後地域	343	28.9	46.6	21.6	1.5	1.5	**75.5**	32.9	52.5	11.1	1.2	2.3	**85.4**
	筑豊地域	161	41.6	42.2	13.7	1.2	1.2	**83.8**	38.5	46.6	11.2	1.9	1.9	**85.1**
	北九州地域	550	32.2	43.8	20.2	1.6	2.2	**76.0**	38.2	43.3	15.3	1.1	2.2	**81.5**
	無回答	69	17.4	30.4	18.8	2.9	30.4	**47.8**	23.2	29.0	17.4	－	30.4	**52.2**

図表２－２（２）［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	(C)こどもが被害を受けている犯罪や暴力が多い：非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計	(D)母子・小児医療の医療システムが充実していない：非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計
全体		2,436	1,314	712	298	48	64	**2,026**	742	872	658	89	75	**1,614**
		100	53.9	29.2	12.2	2.0	2.6	**83.1**	30.5	35.8	27.0	3.7	3.1	**66.3**
性別	男性	885	46.9	31.2	16.7	3.1	2.1	**78.1**	29.4	35.4	27.5	5.0	2.8	**64.8**
	女性	1,524	58.7	28.6	9.7	1.4	1.6	**87.3**	31.4	36.6	27.1	3.0	1.9	**68.0**
	無回答	27	14.8	－	7.4	－	77.8	**14.8**	11.1	3.7	7.4	－	77.8	**14.8**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	51.4	29.5	14.3	4.8	－	**80.9**	33.3	37.1	19.0	7.6	2.9	**70.4**
	男性:25～29歳	102	57.8	20.6	14.7	4.9	2.0	**78.4**	46.1	30.4	16.7	3.9	2.9	**76.5**
	男性:30～34歳	117	45.3	30.8	20.5	1.7	1.7	**76.1**	32.5	38.5	26.5	0.9	1.7	**71.0**
	男性:35～39歳	150	42.0	34.7	17.3	2.0	4.0	**76.7**	26.7	33.3	30.7	4.7	4.7	**60.0**
	男性:40～44歳	197	44.2	32.0	19.8	1.5	2.5	**76.2**	24.9	32.0	33.5	6.6	3.0	**56.9**
	男性:45～49歳	211	46.4	34.6	12.8	4.3	1.9	**81.0**	24.2	39.8	28.9	5.2	1.9	**64.0**
	女性:18～24歳	163	63.8	28.2	4.9	1.2	1.8	**92.0**	46.6	36.8	14.7	0.6	1.2	**83.4**
	女性:25～29歳	153	63.4	24.8	8.5	0.7	2.6	**88.2**	43.8	28.8	21.6	3.3	2.6	**72.6**
	女性:30～34歳	249	64.3	26.5	7.2	0.8	1.2	**90.8**	36.1	34.9	24.5	2.0	2.4	**71.0**
	女性:35～39歳	283	56.5	28.3	11.7	1.8	1.8	**84.8**	24.7	36.7	30.4	5.7	2.5	**61.4**
	女性:40～44歳	344	59.3	25.9	12.2	1.5	1.2	**85.2**	27.9	35.2	31.7	3.5	1.7	**63.1**
	女性:45～49歳	326	50.9	35.6	10.1	1.8	1.5	**86.5**	23.9	43.3	29.8	1.8	1.2	**67.2**
	無回答	36	25.0	2.8	13.9	－	58.3	**27.8**	13.9	8.3	19.4	－	58.3	**22.2**
居住地域別	福岡地域	1,313	55.7	28.3	12.1	2.0	1.9	**84.0**	32.2	34.7	26.7	4.2	2.2	**66.9**
	筑後地域	343	53.6	27.4	14.9	2.3	1.7	**81.0**	25.4	37.9	31.5	2.9	2.3	**63.3**
	筑豊地域	161	55.9	28.0	12.4	2.5	1.2	**83.9**	36.6	39.8	17.4	4.3	1.9	**76.4**
	北九州地域	550	52.2	33.5	11.3	1.3	1.8	**85.7**	30.0	36.5	28.2	2.9	2.4	**66.5**
	無回答	69	31.9	24.6	8.7	4.3	30.4	**56.5**	11.6	30.4	24.6	1.4	31.9	**42.0**

		標本数	(E)こどもをしつける(しかる・ほめる)大人がいない：非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計	(F)地域で育児を助け合う環境が十分整備されていない：非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計
全体		2,436	680	1,041	577	75	63	**1,721**	560	1,143	591	72	70	**1,703**
		100	27.9	42.7	23.7	3.1	2.6	**70.6**	23.0	46.9	24.3	3.0	2.9	**69.9**
性別	男性	885	29.9	38.5	25.6	3.7	2.1	**68.4**	23.2	45.1	25.6	3.6	2.5	**68.3**
	女性	1,524	27.2	45.8	22.7	2.8	1.5	**73.0**	23.3	48.8	23.6	2.6	1.8	**72.1**
	無回答	27	－	7.4	14.8	－	77.8	**7.4**	－	3.7	18.5	－	77.8	**3.7**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	40.0	30.5	23.8	4.8	1.0	**70.5**	20.0	51.4	23.8	3.8	1.0	**71.4**
	男性:25～29歳	102	28.4	42.2	25.5	2.0	2.0	**70.6**	30.4	46.1	17.6	2.9	2.9	**76.5**
	男性:30～34歳	117	29.9	43.6	21.4	4.3	0.9	**73.5**	30.8	45.3	16.2	6.0	1.7	**76.1**
	男性:35～39歳	150	26.7	35.3	28.7	5.3	4.0	**62.0**	21.3	42.7	26.7	5.3	4.0	**64.0**
	男性:40～44歳	197	28.4	38.6	27.4	3.0	2.5	**67.0**	20.3	40.6	33.0	3.0	3.0	**60.9**
	男性:45～49歳	211	29.9	39.3	25.6	3.3	1.9	**69.2**	21.3	46.4	28.4	1.9	1.9	**67.7**
	女性:18～24歳	163	32.5	41.1	23.3	1.8	1.2	**73.6**	23.9	53.4	18.4	3.1	1.2	**77.3**
	女性:25～29歳	153	29.4	46.4	19.0	2.6	2.6	**75.8**	34.6	37.9	24.8	－	2.6	**72.5**
	女性:30～34歳	249	28.5	46.6	21.3	2.4	1.2	**75.1**	24.5	50.2	22.1	1.6	1.6	**74.7**
	女性:35～39歳	283	20.1	47.0	25.8	4.6	2.5	**67.1**	19.4	45.6	28.3	4.2	2.5	**65.0**
	女性:40～44歳	344	27.3	48.3	21.5	2.0	0.9	**75.6**	26.2	48.5	21.5	2.6	1.2	**74.7**
	女性:45～49歳	326	28.5	43.9	23.6	2.8	1.2	**72.4**	16.9	53.7	24.5	3.1	1.8	**70.6**
	無回答	36	5.6	19.4	16.7	－	58.3	**25.0**	5.6	16.7	19.4	－	58.3	**22.3**
居住地域別	福岡地域	1,313	27.9	40.9	26.0	3.5	1.8	**68.8**	22.8	46.1	25.5	3.4	2.2	**68.9**
	筑後地域	343	27.4	46.4	22.4	2.3	1.5	**73.8**	22.4	51.9	22.7	1.5	1.5	**74.3**
	筑豊地域	161	31.1	46.6	17.4	3.1	1.9	**77.7**	24.2	49.7	21.1	3.7	1.2	**73.9**
	北九州地域	550	29.1	45.5	20.7	2.7	2.0	**74.6**	24.9	48.2	21.8	2.9	2.2	**73.1**
	無回答	69	14.5	29.0	24.6	1.4	30.4	**43.5**	11.6	21.7	34.8	－	31.9	**33.3**

図表２－２（３）［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	(G)こどもが近所の高齢者と接する機会が少ない						(H)こども同士の交流が少ない					
			非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**
全体		2,436	338	788	988	254	68	**1,126**	531	975	754	113	63	**1,506**
		100	13.9	32.3	40.6	10.4	2.8	**46.2**	21.8	40.0	31.0	4.6	2.6	**61.8**
性別	男性	885	14.5	29.7	40.3	13.1	2.4	**44.2**	22.7	39.8	30.8	4.4	2.3	**62.5**
	女性	1,524	13.8	34.4	41.1	9.0	1.7	**48.2**	21.7	40.7	31.4	4.9	1.4	**62.4**
	無回答	27	－	3.7	14.8	3.7	77.8	**3.7**	－	11.1	11.1	－	77.8	**11.1**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	12.4	21.9	48.6	15.2	1.9	**34.3**	23.8	35.2	32.4	6.7	1.9	**59.0**
	男性:25～29歳	102	17.6	19.6	45.1	14.7	2.9	**37.2**	27.5	42.2	21.6	5.9	2.9	**69.7**
	男性:30～34歳	117	12.8	28.2	40.2	17.9	0.9	**41.0**	20.5	43.6	33.3	1.7	0.9	**64.1**
	男性:35～39歳	150	12.7	32.0	34.0	17.3	4.0	**44.7**	22.0	36.7	30.7	6.7	4.0	**58.7**
	男性:40～44歳	197	16.2	29.9	41.1	10.2	2.5	**46.1**	24.4	40.1	30.5	2.5	2.5	**64.5**
	男性:45～49歳	211	13.7	37.4	38.4	8.5	1.9	**51.1**	20.4	40.8	33.2	4.3	1.4	**61.2**
	女性:18～24歳	163	12.3	30.7	44.2	11.7	1.2	**43.0**	33.7	39.3	21.5	4.3	1.2	**73.0**
	女性:25～29歳	153	16.3	28.8	39.9	12.4	2.6	**45.1**	24.2	39.9	28.1	4.6	3.3	**64.1**
	女性:30～34歳	249	10.8	34.5	43.8	9.2	1.6	**45.3**	21.7	41.0	31.3	4.8	1.2	**62.7**
	女性:35～39歳	283	12.7	30.4	42.8	11.3	2.8	**43.1**	22.3	37.5	31.8	6.7	1.8	**59.8**
	女性:40～44歳	344	14.8	36.3	40.4	7.3	1.2	**51.1**	17.2	43.9	32.8	5.2	0.9	**61.1**
	女性:45～49歳	326	15.3	40.2	37.4	5.8	1.2	**55.5**	18.7	40.8	35.9	3.4	1.2	**59.5**
	無回答	36	8.3	11.1	19.4	2.8	58.3	**19.4**	2.8	19.4	19.4	－	58.3	**22.2**
居住地域別	福岡地域	1,313	13.2	31.4	41.4	12.0	2.1	**44.6**	22.3	37.9	32.1	5.9	1.8	**60.2**
	筑後地域	343	12.8	35.6	40.8	8.7	2.0	**48.4**	19.5	45.8	30.3	2.9	1.5	**65.3**
	筑豊地域	161	15.5	32.3	42.2	9.3	0.6	**47.8**	25.5	47.2	21.7	5.0	0.6	**72.7**
	北九州地域	550	16.2	34.0	39.1	8.5	2.2	**50.2**	22.0	41.3	31.8	2.5	2.4	**63.3**
	無回答	69	10.1	21.7	30.4	7.2	30.4	**31.8**	13.0	24.6	27.5	4.3	30.4	**37.6**

		標本数	(I)こどもが喜んで参加できる地域での活動が少ない						(J)親の問題に関するこどもの相談相手がいない・少ない					
			非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**
全体		2,436	376	900	944	146	70	**1,276**	778	1,016	502	67	73	**1,794**
		100	15.4	36.9	38.8	6.0	2.9	**52.3**	31.9	41.7	20.6	2.8	3.0	**73.6**
性別	男性	885	17.1	36.9	36.3	6.9	2.8	**54.0**	29.4	42.0	22.9	2.8	2.8	**71.4**
	女性	1,524	14.8	37.5	40.6	5.6	1.6	**52.3**	34.0	42.0	19.5	2.8	1.8	**76.0**
	無回答	27	－	7.4	14.8	－	77.8	**7.4**	－	14.8	7.4	－	77.8	**14.8**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	19.0	37.1	37.1	3.8	2.9	**56.1**	39.0	37.1	20.0	1.9	1.9	**76.1**
	男性:25～29歳	102	25.5	42.2	23.5	4.9	3.9	**67.7**	39.2	40.2	14.7	2.0	3.9	**79.4**
	男性:30～34歳	117	17.1	38.5	35.0	7.7	1.7	**55.6**	25.6	52.1	18.8	2.6	0.9	**77.7**
	男性:35～39歳	150	15.3	30.7	41.3	8.7	4.0	**46.0**	32.0	33.3	26.7	4.0	4.0	**65.3**
	男性:40～44歳	197	14.2	36.5	38.6	7.6	3.0	**50.7**	24.4	45.7	24.4	2.5	3.0	**70.1**
	男性:45～49歳	211	15.6	38.9	36.5	7.1	1.9	**54.5**	24.6	42.7	26.5	3.3	2.8	**67.3**
	女性:18～24歳	163	20.2	39.9	31.9	6.1	1.8	**60.1**	51.5	38.7	6.7	0.6	2.5	**90.2**
	女性:25～29歳	153	20.3	39.9	33.3	3.3	3.3	**60.2**	40.5	35.3	19.0	2.6	2.6	**75.8**
	女性:30～34歳	249	16.5	39.0	37.8	5.6	1.2	**55.5**	34.5	45.0	16.9	2.4	1.2	**79.5**
	女性:35～39歳	283	13.4	35.0	43.5	6.4	1.8	**48.4**	27.2	45.9	21.6	2.5	2.8	**73.1**
	女性:40～44歳	344	13.4	34.9	44.5	6.1	1.2	**48.3**	32.6	40.1	21.8	4.4	1.2	**72.7**
	女性:45～49歳	326	11.0	38.3	44.2	5.2	1.2	**49.3**	29.8	42.6	23.6	2.8	1.2	**72.4**
	無回答	36	2.8	16.7	22.2	－	58.3	**19.5**	2.8	25.0	13.9	－	58.3	**27.8**
居住地域別	福岡地域	1,313	15.0	35.2	40.2	7.3	2.3	**50.2**	32.9	42.2	20.0	2.9	2.1	**75.1**
	筑後地域	343	11.1	42.9	39.7	5.0	1.5	**54.0**	28.0	46.4	21.9	2.0	1.7	**74.4**
	筑豊地域	161	21.7	41.6	29.8	6.2	0.6	**63.3**	38.5	35.4	21.1	3.7	1.2	**73.9**
	北九州地域	550	18.4	37.6	37.6	4.0	2.4	**56.0**	32.5	40.4	21.3	2.7	3.1	**72.9**
	無回答	69	7.2	24.6	36.2	1.4	30.4	**31.8**	13.0	34.8	20.3	1.4	30.4	**47.8**

図表２－２（４）［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	(K)いじめが多くなっている						(L)テレビやビデオ(DVD)による悪影響が広まっている					
			非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計
全体		2,436	1,272	741	304	49	70	**2,013**	674	830	661	205	66	**1,504**
		100	52.2	30.4	12.5	2.0	2.9	**82.6**	27.7	34.1	27.1	8.4	2.7	**61.8**
性別	男性	885	47.9	30.2	16.8	2.6	2.5	**78.1**	24.5	30.7	30.5	12.1	2.1	**55.2**
	女性	1,524	55.4	31.1	10.0	1.7	1.8	**86.5**	29.9	36.4	25.6	6.4	1.7	**66.3**
	無回答	27	14.8	－	7.4	－	77.8	**14.8**	7.4	11.1	3.7	－	77.8	**18.5**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	61.0	27.6	7.6	2.9	1.0	**88.6**	23.8	32.4	28.6	14.3	1.0	**56.2**
	男性:25～29歳	102	62.7	22.5	9.8	2.9	2.0	**85.2**	27.5	29.4	27.5	13.7	2.0	**56.9**
	男性:30～34歳	117	53.0	27.4	13.7	3.4	2.6	**80.4**	21.4	32.5	32.5	12.8	0.9	**53.9**
	男性:35～39歳	150	40.7	31.3	20.0	2.7	5.3	**72.0**	17.3	26.7	33.3	18.0	4.7	**44.0**
	男性:40～44歳	197	45.2	30.5	18.8	3.0	2.5	**75.7**	25.4	32.5	29.9	9.6	2.5	**57.9**
	男性:45～49歳	211	39.8	35.5	21.8	1.4	1.4	**75.3**	29.9	31.3	29.4	8.1	1.4	**61.2**
	女性:18～24歳	163	66.9	27.6	3.1	0.6	1.8	**94.5**	25.2	36.8	29.4	6.7	1.8	**62.0**
	女性:25～29歳	153	60.1	27.5	7.8	1.3	3.3	**87.6**	27.5	33.3	28.8	7.2	3.3	**60.8**
	女性:30～34歳	249	67.1	25.7	6.0	－	1.2	**92.8**	30.9	35.7	25.7	5.6	2.0	**66.6**
	女性:35～39歳	283	52.7	29.0	12.7	3.2	2.5	**81.7**	29.7	37.1	21.2	9.9	2.1	**66.8**
	女性:40～44歳	344	49.4	34.0	13.1	2.0	1.5	**83.4**	32.3	35.8	25.0	6.1	0.9	**68.1**
	女性:45～49歳	326	46.9	37.7	12.0	2.1	1.2	**84.6**	30.1	38.7	26.1	4.0	1.2	**68.8**
	無回答	36	22.2	5.6	13.9	－	58.3	**27.8**	11.1	11.1	19.4	－	58.3	**22.2**
居住地域別	福岡地域	1,313	52.8	29.6	12.8	2.6	2.3	**82.4**	27.7	34.4	26.4	9.4	2.1	**62.1**
	筑後地域	343	50.4	31.5	14.6	1.7	1.7	**81.9**	27.1	34.4	29.4	7.6	1.5	**61.5**
	筑豊地域	161	55.9	32.9	8.7	1.2	1.2	**88.8**	31.1	32.9	28.6	6.8	0.6	**64.0**
	北九州地域	550	54.2	30.9	11.6	1.3	2.0	**85.1**	28.9	33.5	28.4	7.1	2.2	**62.4**
	無回答	69	26.1	31.9	11.6	－	30.4	**58.0**	11.6	33.3	15.9	8.7	30.4	**44.9**

		標本数	(M)インターネットや携帯電話・スマートフォンによる悪影響が広まっている						(N)こどもが直接ふれることのできる自然が少ない					
			非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	『深刻である』計
全体		2,436	1,043	838	380	114	61	**1,881**	579	990	652	149	66	**1,569**
		100	42.8	34.4	15.6	4.7	2.5	**77.2**	23.8	40.6	26.8	6.1	2.7	**64.4**
性別	男性	885	39.2	30.3	20.6	7.8	2.1	**69.5**	24.7	38.0	27.3	7.6	2.4	**62.7**
	女性	1,524	45.5	37.2	12.9	3.0	1.4	**82.7**	23.6	42.8	26.7	5.2	1.6	**66.4**
	無回答	27	11.1	11.1	3.7	－	74.1	**22.2**	－	3.7	11.1	7.4	77.8	**3.7**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	40.0	33.3	19.0	6.7	1.0	**73.3**	32.4	37.1	23.8	4.8	1.9	**69.5**
	男性:25～29歳	102	40.2	25.5	21.6	10.8	2.0	**65.7**	31.4	45.1	13.7	5.9	3.9	**76.5**
	男性:30～34歳	117	31.6	31.6	25.6	9.4	1.7	**63.2**	33.3	36.8	22.2	6.8	0.9	**70.1**
	男性:35～39歳	150	32.0	31.3	22.0	10.7	4.0	**63.3**	20.0	37.3	29.3	9.3	4.0	**57.3**
	男性:40～44歳	197	40.6	31.0	18.3	7.6	2.5	**71.6**	22.3	38.1	29.4	7.6	2.5	**60.4**
	男性:45～49歳	211	46.4	29.4	18.5	4.3	1.4	**75.8**	19.0	36.0	35.1	8.5	1.4	**55.0**
	女性:18～24歳	163	36.8	37.4	20.9	3.1	1.8	**74.2**	29.4	41.1	23.9	3.7	1.8	**70.5**
	女性:25～29歳	153	39.2	41.2	13.7	3.3	2.6	**80.4**	31.4	39.9	24.2	1.3	3.3	**71.3**
	女性:30～34歳	249	47.0	34.9	14.1	2.4	1.6	**81.9**	27.3	44.6	20.5	6.0	1.6	**71.9**
	女性:35～39歳	283	41.7	39.2	14.5	2.8	1.8	**80.9**	20.5	42.8	29.0	6.0	1.8	**63.3**
	女性:40～44歳	344	49.1	35.8	9.9	4.4	0.9	**84.9**	21.2	43.6	28.2	5.8	1.2	**64.8**
	女性:45～49歳	326	50.6	36.8	9.8	1.8	0.9	**87.4**	19.9	42.0	31.0	6.1	0.9	**61.9**
	無回答	36	22.2	13.9	8.3	－	55.6	**36.1**	－	22.2	11.1	8.3	58.3	**22.2**
居住地域別	福岡地域	1,313	43.0	34.0	15.8	5.4	1.8	**77.0**	24.4	40.4	26.7	6.5	2.0	**64.8**
	筑後地域	343	41.1	35.3	16.6	5.5	1.5	**76.4**	19.2	43.4	29.2	6.7	1.5	**62.6**
	筑豊地域	161	44.1	37.9	15.5	1.2	1.2	**82.0**	29.8	37.3	23.0	9.3	0.6	**67.1**
	北九州地域	550	44.7	34.9	15.5	3.1	1.8	**79.6**	24.7	41.5	27.1	4.4	2.4	**66.2**
	無回答	69	30.4	24.6	7.2	7.2	30.4	**55.0**	13.0	31.9	21.7	2.9	30.4	**44.9**

図表２－２（５）［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	(O)親同士が子育てについて、交流したり学んだりする機会が少ない						(P)家庭の環境や収入によって、教育や習い事、学校外での体験活動などに格差が生まれている					
			非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない	無回答	**『深刻である』計**
全体		2,436	388	988	886	110	64	**1,376**	1,011	900	390	73	62	**1,911**
		100	15.9	40.6	36.4	4.5	2.6	**56.5**	41.5	36.9	16.0	3.0	2.5	**78.4**
性別	男性	885	16.5	41.0	35.4	5.0	2.1	**57.5**	42.4	36.3	15.8	3.6	1.9	**78.7**
	女性	1,524	15.9	41.0	37.2	4.3	1.6	**56.9**	41.5	37.8	16.4	2.7	1.6	**79.3**
	無回答	27	－	－	22.2	－	77.8	**－**	11.1	11.1	－	－	77.8	**22.2**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	20.0	42.9	30.5	5.7	1.0	**62.9**	46.7	36.2	13.3	3.8	－	**82.9**
	男性:25～29歳	102	20.6	42.2	30.4	3.9	2.9	**62.8**	52.9	35.3	6.9	2.9	2.0	**88.2**
	男性:30～34歳	117	23.1	45.3	26.5	4.3	0.9	**68.4**	36.8	45.3	12.0	5.1	0.9	**82.1**
	男性:35～39歳	150	16.7	39.3	33.3	6.7	4.0	**56.0**	44.7	32.0	15.3	4.0	4.0	**76.7**
	男性:40～44歳	197	12.2	41.1	39.6	4.6	2.5	**53.3**	44.2	35.0	15.7	2.5	2.5	**79.2**
	男性:45～49歳	211	13.3	37.9	42.7	4.7	1.4	**51.2**	35.5	36.0	23.2	3.8	1.4	**71.5**
	女性:18～24歳	163	20.9	47.9	26.4	3.7	1.2	**68.8**	44.8	33.7	17.2	3.1	1.2	**78.5**
	女性:25～29歳	153	26.1	38.6	29.4	3.3	2.6	**64.7**	53.6	28.8	13.7	1.3	2.6	**82.4**
	女性:30～34歳	249	12.4	44.2	37.8	4.0	1.6	**56.6**	40.6	38.6	17.3	1.6	2.0	**79.2**
	女性:35～39歳	283	13.8	39.2	39.6	4.9	2.5	**53.0**	38.9	36.4	19.4	3.5	1.8	**75.3**
	女性:40～44歳	344	16.0	41.9	36.3	4.9	0.9	**57.9**	41.9	39.0	14.8	3.5	0.9	**80.9**
	女性:45～49歳	326	13.2	37.1	44.2	4.3	1.2	**50.3**	37.4	42.9	15.6	2.5	1.5	**80.3**
	無回答	36	－	11.1	30.6	－	58.3	**11.1**	11.1	22.2	8.3	－	58.3	**33.3**
居住地域別	福岡地域	1,313	17.1	38.8	37.1	5.0	1.9	**55.9**	43.0	36.9	15.1	3.3	1.7	**79.9**
	筑後地域	343	13.7	45.8	35.9	2.9	1.7	**59.5**	39.4	39.1	17.5	2.6	1.5	**78.5**
	筑豊地域	161	15.5	46.0	34.2	3.7	0.6	**61.5**	42.2	36.0	16.8	3.1	1.9	**78.2**
	北九州地域	550	15.5	41.6	36.5	4.4	2.0	**57.1**	41.1	37.5	16.7	2.7	2.0	**78.6**
	無回答	69	8.7	26.1	29.0	5.8	30.4	**34.8**	24.6	24.6	18.8	1.4	30.4	**49.2**

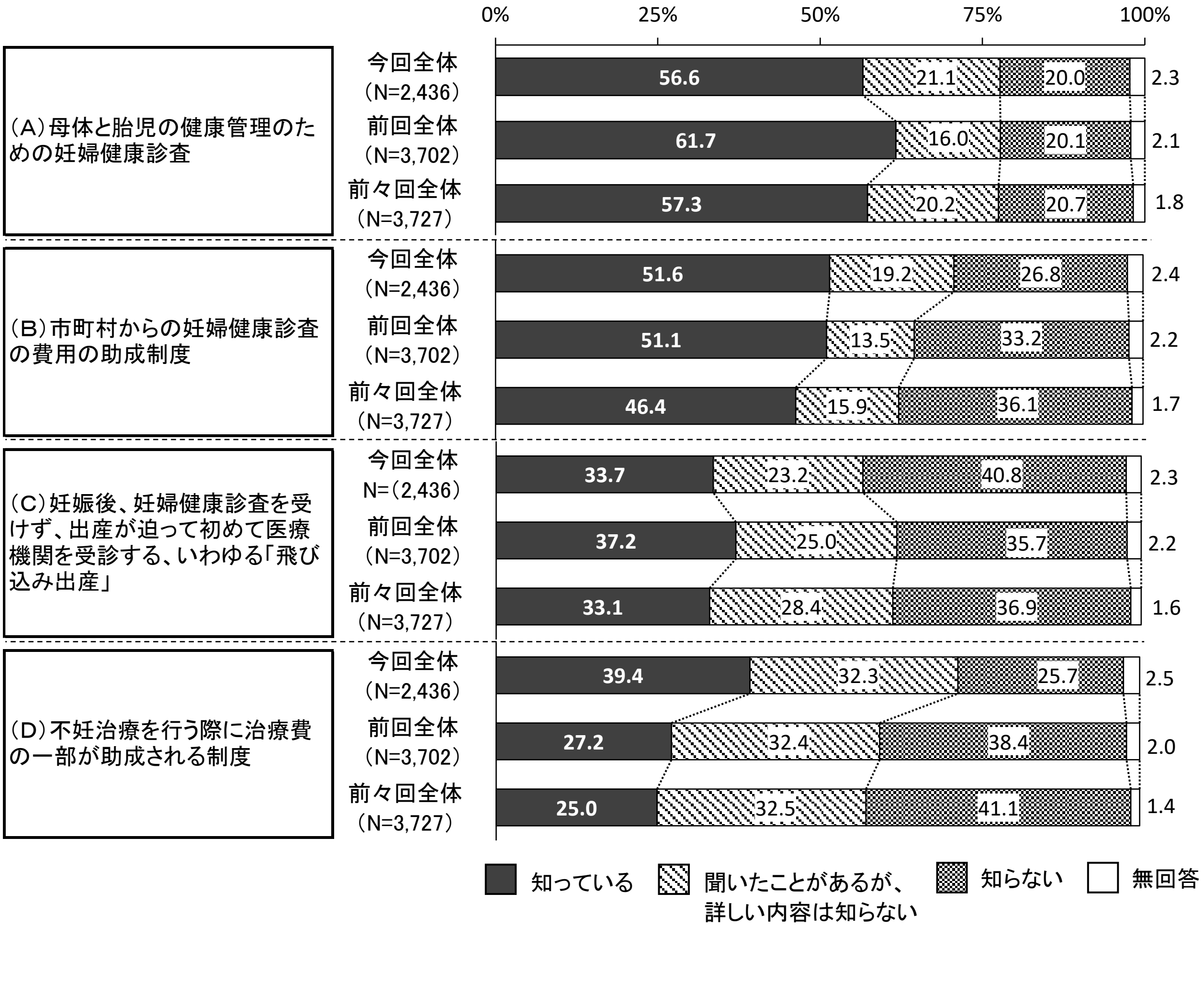
２．ことばや行政の施策・制度の認知

> 問9　あなたは、次の(A)～(K)のことばや行政の施策・制度について、どの程度知っていますか。最も近いものをそれぞれの項目について選んでください。(○はそれぞれ1つ)

子育てに関係することばや施策・制度についての認知度は、「（A）母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査」（56.6％）と「（B）市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度」（51.6％）、「（K）本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども『ヤングケアラー』」（51.3％）の３項目で「知っている」が５割を超えて高くなっている。一方で、「（E）毎年 11 月に企業や店舗、団体が家族で楽しめるイベントや割引サービスを展開する『ふくおか・みんなで家族月間』」（1.9％）と「（Ｉ）結婚応援に関する自主宣言を行い、出会いイベントに関する活動を行う『出会い応援団体』」（6.4％）、「（Ｊ）常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える『こどもまんなか社会』」（4.8％）の３項目は「知っている」が１割に満たず認知度は低い。

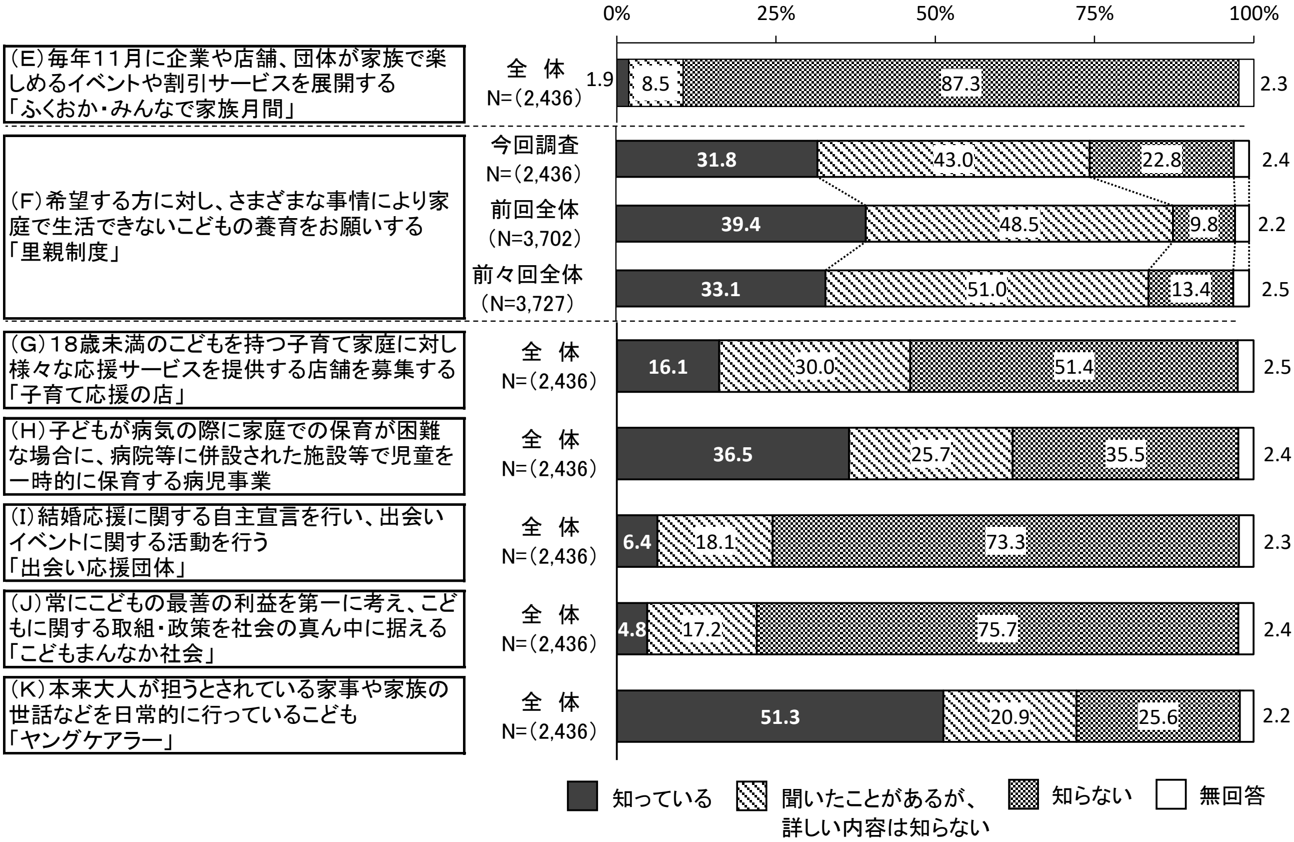
過去の調査と比較可能な項目の中では、「（D）不妊治療を行う際に治療費の一部が助成される制度」を「知っている」が 39.4％と前回調査よりも 12.2 ポイント増加している。

図表２－３（１）ことばや行政の施策・制度の認知［全体］



項目		知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答
(A)母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査	今回全体 (N=2,436)	56.6	21.1	20.0	2.3
	前回全体 (N=3,702)	61.7	16.0	20.1	2.1
	前々回全体 (N=3,727)	57.3	20.2	20.7	1.8
(B)市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度	今回全体 (N=2,436)	51.6	19.2	26.8	2.4
	前回全体 (N=3,702)	51.1	13.5	33.2	2.2
	前々回全体 (N=3,727)	46.4	15.9	36.1	1.7
(C)妊娠後、妊婦健康診査を受けず、出産が迫って初めて医療機関を受診する、いわゆる「飛び込み出産」	今回全体 N=(2,436)	33.7	23.2	40.8	2.3
	前回全体 (N=3,702)	37.2	25.0	35.7	2.2
	前々回全体 (N=3,727)	33.1	28.4	36.9	1.6
(D)不妊治療を行う際に治療費の一部が助成される制度	今回全体 (N=2,436)	39.4	32.3	25.7	2.5
	前回全体 (N=3,702)	27.2	32.4	38.4	2.0
	前々回全体 (N=3,727)	25.0	32.5	41.1	1.4

図表２－３（２）ことばや行政の施策・制度の認知［全体］



【性別】

「知っている」割合は、ほとんどの項目で女性の方が高くなっており、特に「（A）母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査」（男性 41.0%、女性 66.3%）や「（B）市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度」（同 36.0%、61.3%）、「（C）妊娠後、妊婦健康診査を受けず、出産が迫って初めて医療機関を受診する、いわゆる『飛び込み出産』」（同 19.2%、42.7%）など、妊娠・出産に関わる項目でその差が大きい。また、「（K）本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども『ヤングケアラー』」も、女性の認知度は 59.8%と高く、男性（37.9%）との差が 21.9 ポイントと大きい。

【性別・年代別】

男女ともに年代が高い層で「知っている」割合が高い項目が多いが、特に、「（A）母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査」や「（B）市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度」、「（G）18 歳未満のこどもを持つ子育て家庭に対し様々な応援サービスを提供する店舗を募集する『子育て応援の店』」など、妊娠・出産と育児に関わる項目でその傾向が顕著である。

【配偶関係別】

「（A）母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査」や「（B）市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度」「（C）妊娠後、妊婦健康診査を受けず、出産が迫って初めて医療機関を受診する、いわゆる『飛び込み出産』」「（D）不妊治療を行う際に治療費の一部が助成される制度」など、妊娠・出産に関わる項目は、未婚者よりも配偶者がいる人や離・死別の人の方が「知っている」割合が高い。「（Ｉ）結婚応援に関する自主宣言を行い、出会いイベントに関する活動を行う『出会い応援団体』の認知度は、未婚者でも 6.2%と１割に満たない。

図表２－４（１）ことばや行政の施策・制度の認知
［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

		標本数	(A)母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査				(B)市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度				(C)妊娠後、妊婦健康診査を受けず、出産が迫って初めて医療機関を受診する、いわゆる「飛び込み出産」			
			知っている	聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない	知らない	無回答	知っている	聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない	知らない	無回答	知っている	聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない	知らない	無回答
全体		2,436	1,379	514	488	55	1,257	467	654	58	821	565	995	55
		100.0	56.6	21.1	20.0	2.3	51.6	19.2	26.8	2.4	33.7	23.2	40.8	2.3
性別	男性	885	41.0	25.9	31.1	2.0	36.0	24.2	37.7	2.0	19.2	23.7	55.1	1.9
	女性	1,524	66.3	18.6	13.9	1.1	61.3	16.5	20.9	1.3	42.7	23.1	33.1	1.2
	無回答	27	18.5	3.7	3.7	74.1	14.8	7.4	3.7	74.1	3.7	11.1	11.1	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	19.0	24.8	55.2	1.0	12.4	23.8	63.8	－	13.3	19.0	67.6	－
	男性:25～29歳	102	38.2	24.5	35.3	2.0	32.4	20.6	45.1	2.0	18.6	21.6	56.9	2.9
	男性:30～34歳	117	36.8	32.5	29.1	1.7	35.9	23.9	38.5	1.7	17.1	22.2	59.8	0.9
	男性:35～39歳	150	46.0	24.7	26.0	3.3	41.3	23.3	32.0	3.3	15.3	30.0	51.3	3.3
	男性:40～44歳	197	49.2	22.3	25.9	2.5	45.2	19.8	32.5	2.5	21.8	26.9	48.7	2.5
	男性:45～49歳	211	44.5	27.0	27.0	1.4	37.4	30.3	30.3	1.9	23.7	20.4	54.5	1.4
	女性:18～24歳	163	40.5	36.8	21.5	1.2	20.9	24.5	53.4	1.2	24.5	19.0	55.2	1.2
	女性:25～29歳	153	58.2	20.9	19.0	2.0	48.4	21.6	28.1	2.0	37.9	22.9	37.3	2.0
	女性:30～34歳	249	65.9	16.9	16.1	1.2	62.2	15.3	21.3	1.2	41.8	22.5	34.5	1.2
	女性:35～39歳	283	76.7	13.4	8.8	1.1	73.1	13.4	12.0	1.4	47.3	22.6	29.0	1.1
	女性:40～44歳	344	72.4	17.2	9.9	0.6	71.5	14.0	13.4	1.2	50.0	22.4	26.7	0.9
	女性:45～49歳	326	68.1	16.3	14.4	1.2	65.3	16.6	16.9	1.2	43.3	26.4	29.1	1.2
	無回答	36	27.8	8.3	8.3	55.6	27.8	11.1	5.6	55.6	8.3	19.4	16.7	55.6
配偶関係別	未婚	859	29.0	32.6	35.9	2.6	17.8	27.2	52.4	2.6	20.8	19.9	56.8	2.4
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	72.9	14.7	11.0	1.5	71.0	14.8	12.5	1.7	41.2	25.0	32.2	1.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	67.6	16.2	15.5	0.7	66.9	15.5	16.9	0.7	40.8	26.8	31.7	0.7
	無回答	20	15.0	15.0	15.0	55.0	20.0	10.0	15.0	55.0	5.0	10.0	30.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	56.9	21.9	19.8	1.4	51.9	20.0	26.7	1.4	34.9	23.4	40.4	1.3
	筑後地域	343	58.6	21.3	19.5	0.6	52.2	20.4	26.2	1.2	36.2	22.7	40.5	0.6
	筑豊地域	161	55.3	23.6	19.3	1.9	46.6	16.8	34.2	2.5	36.6	23.6	37.9	1.9
	北九州地域	550	58.2	18.5	21.3	2.0	53.8	17.8	26.4	2.0	30.9	23.6	43.3	2.2
	無回答	69	31.9	18.8	18.8	30.4	36.2	14.5	18.8	30.4	14.5	17.4	37.7	30.4

		標本数	(D)不妊治療を行う際に治療費の一部が助成される制度				(E)毎年11月に企業や店舗、団体が家族で楽しめるイベントや割引サービスを展開する「ふくおか・みんなで家族月間」				(F)希望する方に対し、さまざまな事情により家庭で生活できないこどもの養育をお願いする「里親制度」			
			知っている	聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない	知らない	無回答	知っている	聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない	知らない	無回答	知っている	聞いたことがあるが、内容は詳しく知らない	知らない	無回答
全体		2,436	961	788	625	62	47	208	2,126	55	775	1,047	555	59
		100.0	39.4	32.3	25.7	2.5	1.9	8.5	87.3	2.3	31.8	43.0	22.8	2.4
性別	男性	885	30.8	32.3	35.0	1.8	2.8	9.7	85.5	1.9	21.6	44.2	32.3	1.9
	女性	1,524	45.0	32.8	20.5	1.7	1.4	7.9	89.4	1.2	38.2	42.7	17.7	1.4
	無回答	27	7.4	7.4	11.1	74.1	－	3.7	22.2	74.1	7.4	18.5	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	17.1	26.7	56.2	－	3.8	10.5	85.7	－	22.9	39.0	38.1	－
	男性:25～29歳	102	29.4	31.4	37.3	2.0	3.9	6.9	87.3	2.0	24.5	39.2	34.3	2.0
	男性:30～34歳	117	23.9	41.0	34.2	0.9	1.7	6.8	90.6	0.9	19.7	43.6	35.9	0.9
	男性:35～39歳	150	38.0	32.7	26.0	3.3	2.0	10.7	83.3	4.0	22.7	45.3	28.7	3.3
	男性:40～44歳	197	38.6	28.9	29.9	2.5	4.1	8.6	84.8	2.5	20.3	48.7	27.9	3.0
	男性:45～49歳	211	29.9	33.6	35.1	1.4	1.9	12.3	84.4	1.4	20.9	44.1	33.6	1.4
	女性:18～24歳	163	25.2	39.3	34.4	1.2	－	8.0	90.8	1.2	46.0	34.4	18.4	1.2
	女性:25～29歳	153	33.3	33.3	30.1	3.3	1.3	9.8	86.9	2.0	38.6	40.5	19.0	2.0
	女性:30～34歳	249	41.8	33.3	22.1	2.8	0.4	7.2	91.2	1.2	34.5	40.6	22.5	2.4
	女性:35～39歳	283	51.6	29.0	17.7	1.8	2.5	6.0	90.5	1.1	37.8	45.2	15.5	1.4
	女性:40～44歳	344	54.4	31.7	13.1	0.9	1.7	8.1	89.5	0.6	39.5	45.1	14.5	0.9
	女性:45～49歳	326	47.9	32.5	18.4	1.2	1.8	9.2	87.4	1.5	36.2	45.4	17.2	1.2
	無回答	36	11.1	22.2	11.1	55.6	－	5.6	38.9	55.6	11.1	22.2	11.1	55.6
配偶関係別	未婚	859	21.3	37.0	39.2	2.4	1.5	8.0	88.1	2.3	30.2	41.3	26.2	2.3
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	50.1	30.0	17.9	2.0	1.9	9.0	87.6	1.6	33.1	43.9	21.1	1.8
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	47.2	29.6	22.5	0.7	4.9	7.7	85.9	1.4	31.0	47.2	20.4	1.4
	無回答	20	10.0	20.0	15.0	55.0	－	5.0	40.0	55.0	15.0	20.0	10.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	41.4	32.8	24.1	1.6	1.5	8.2	88.9	1.4	33.7	43.3	21.6	1.4
	筑後地域	343	38.2	32.4	28.0	1.5	2.6	9.6	87.2	0.6	29.4	44.0	25.7	0.9
	筑豊地域	161	39.8	29.2	29.8	1.2	3.7	5.6	89.4	1.2	36.0	44.7	16.8	2.5
	北九州地域	550	37.1	32.9	27.6	2.4	2.2	10.0	85.6	2.2	29.1	43.1	25.6	2.2
	無回答	69	26.1	26.1	17.4	30.4	－	4.3	65.2	30.4	18.8	27.5	23.2	30.4

図表２－４（２）ことばや行政の施策・制度の認知

［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

		標本数	(G)18歳未満のこどもを持つ子育て家庭に対し様々な応援サービスを提供する店舗を募集する「子育て応援の店」 知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答	(H)子どもが病気の際に家庭での保育が困難な場合に、病院等に併設された施設等で児童を一時的に保育する病児事業 知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答	(I)結婚応援に関する自主宣言を行い、出会いイベントに関する活動を行う「出会い応援団体」 知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,436	393	732	1,251	60	889	625	864	58	155	441	1,785	55
		100.0	16.1	30.0	51.4	2.5	36.5	25.7	35.5	2.4	6.4	18.1	73.3	2.3
性別	男性	885	11.5	25.8	60.7	2.0	23.5	26.2	48.4	1.9	5.6	19.4	73.1	1.8
	女性	1,524	19.0	32.9	46.7	1.4	44.5	25.7	28.5	1.4	6.8	17.5	74.4	1.2
	無回答	27	7.4	7.4	11.1	74.1	11.1	7.4	7.4	74.1	3.7	7.4	14.8	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	8.6	20.0	71.4	－	17.1	22.9	60.0	－	2.9	19.0	78.1	－
	男性:25～29歳	102	8.8	26.5	62.7	2.0	23.5	24.5	50.0	2.0	8.8	14.7	74.5	2.0
	男性:30～34歳	117	6.8	20.5	70.9	1.7	22.2	18.8	58.1	0.9	7.7	16.2	75.2	0.9
	男性:35～39歳	150	16.0	27.3	53.3	3.3	26.0	30.0	40.7	3.3	6.7	20.7	69.3	3.3
	男性:40～44歳	197	12.7	29.4	55.3	2.5	28.4	27.9	41.1	2.5	5.6	17.8	74.1	2.5
	男性:45～49歳	211	12.3	26.5	59.2	1.9	21.3	28.0	48.8	1.9	3.8	24.2	70.6	1.4
	女性:18～24歳	163	6.7	26.4	65.6	1.2	24.5	24.5	49.7	1.2	4.3	9.8	84.7	1.2
	女性:25～29歳	153	13.7	28.1	55.6	2.6	33.3	26.1	38.6	2.0	5.9	16.3	75.8	2.0
	女性:30～34歳	249	16.5	31.7	50.2	1.6	42.6	20.1	35.7	1.6	7.2	12.4	79.1	1.2
	女性:35～39歳	283	23.3	30.7	44.9	1.1	53.0	26.9	19.1	1.1	7.4	18.4	73.1	1.1
	女性:40～44歳	344	24.4	35.8	38.7	1.2	51.5	26.2	21.5	0.9	8.1	18.9	71.8	1.2
	女性:45～49歳	326	20.2	38.3	39.9	1.5	46.0	28.8	23.3	1.8	6.4	23.9	68.4	1.2
	無回答	36	8.3	13.9	22.2	55.6	19.4	13.9	11.1	55.6	2.8	8.3	33.3	55.6
配偶関係別	未婚	859	8.8	23.2	65.4	2.6	19.0	24.2	54.2	2.6	6.2	17.7	73.8	2.3
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	20.5	34.1	43.5	1.8	46.4	26.8	25.1	1.7	6.1	18.2	74.1	1.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	19.0	32.4	47.9	0.7	47.2	23.9	28.2	0.7	10.6	21.1	67.6	0.7
	無回答	20	－	20.0	25.0	55.0	10.0	20.0	15.0	55.0	5.0	5.0	35.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	16.3	31.8	50.3	1.5	38.6	25.5	34.4	1.4	5.6	17.1	75.9	1.4
	筑後地域	343	18.7	28.9	51.3	1.2	33.5	28.6	37.0	0.9	8.5	21.6	69.1	0.9
	筑豊地域	161	18.0	23.0	56.5	2.5	34.2	20.5	44.1	1.2	11.8	17.4	69.6	1.2
	北九州地域	550	14.7	29.6	53.6	2.0	35.5	26.7	35.5	2.4	5.5	19.5	73.1	2.0
	無回答	69	7.2	21.7	40.6	30.4	24.6	17.4	27.5	30.4	4.3	10.1	55.1	30.4

		標本数	(J)常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」 知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答	(K)本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども「ヤングケアラー」 知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答
全体		2,436	117	418	1,843	58	1,250	509	623	54
		100.0	4.8	17.2	75.7	2.4	51.3	20.9	25.6	2.2
性別	男性	885	3.3	17.1	77.7	1.9	37.9	23.8	36.5	1.8
	女性	1,524	5.8	17.4	75.5	1.4	59.8	19.4	19.6	1.2
	無回答	27	－	7.4	18.5	74.1	11.1	11.1	3.7	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	4.8	16.2	79.0	－	34.3	21.9	43.8	－
	男性:25～29歳	102	2.0	12.7	83.3	2.0	27.5	17.6	52.9	2.0
	男性:30～34歳	117	2.6	15.4	81.2	0.9	35.0	26.5	37.6	0.9
	男性:35～39歳	150	4.0	18.0	74.0	4.0	41.3	23.3	32.0	3.3
	男性:40～44歳	197	3.0	16.8	77.7	2.5	40.1	23.4	34.0	2.5
	男性:45～49歳	211	2.8	19.9	75.8	1.4	41.2	27.0	30.3	1.4
	女性:18～24歳	163	5.5	9.8	83.4	1.2	55.8	17.8	25.2	1.2
	女性:25～29歳	153	4.6	15.7	77.8	2.0	52.3	22.9	22.9	2.0
	女性:30～34歳	249	6.4	16.5	75.9	1.2	56.6	16.9	25.3	1.2
	女性:35～39歳	283	6.4	18.4	73.9	1.4	61.1	16.6	21.2	1.1
	女性:40～44歳	344	6.7	20.9	71.5	0.9	63.1	21.8	14.2	0.9
	女性:45～49歳	326	4.6	18.1	75.5	1.8	63.8	20.2	14.7	1.2
	無回答	36	2.8	11.1	30.6	55.6	19.4	13.9	11.1	55.6
配偶関係別	未婚	859	4.4	14.3	78.9	2.3	48.2	20.4	29.1	2.3
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	5.1	19.1	74.0	1.8	53.9	21.0	23.6	1.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	4.9	16.9	77.5	0.7	50.0	25.4	23.9	0.7
	無回答	20	－	5.0	40.0	55.0	15.0	5.0	25.0	55.0
居住地域別	福岡地域	1,313	3.9	17.0	77.7	1.4	54.3	21.1	23.3	1.3
	筑後地域	343	5.5	19.2	74.3	0.9	49.0	21.3	28.9	0.9
	筑豊地域	161	5.6	11.2	82.0	1.2	55.9	13.7	29.2	1.2
	北九州地域	550	6.7	19.3	71.6	2.4	47.1	23.1	27.8	2.0
	無回答	69	1.4	7.2	60.9	30.4	29.0	14.5	26.1	30.4

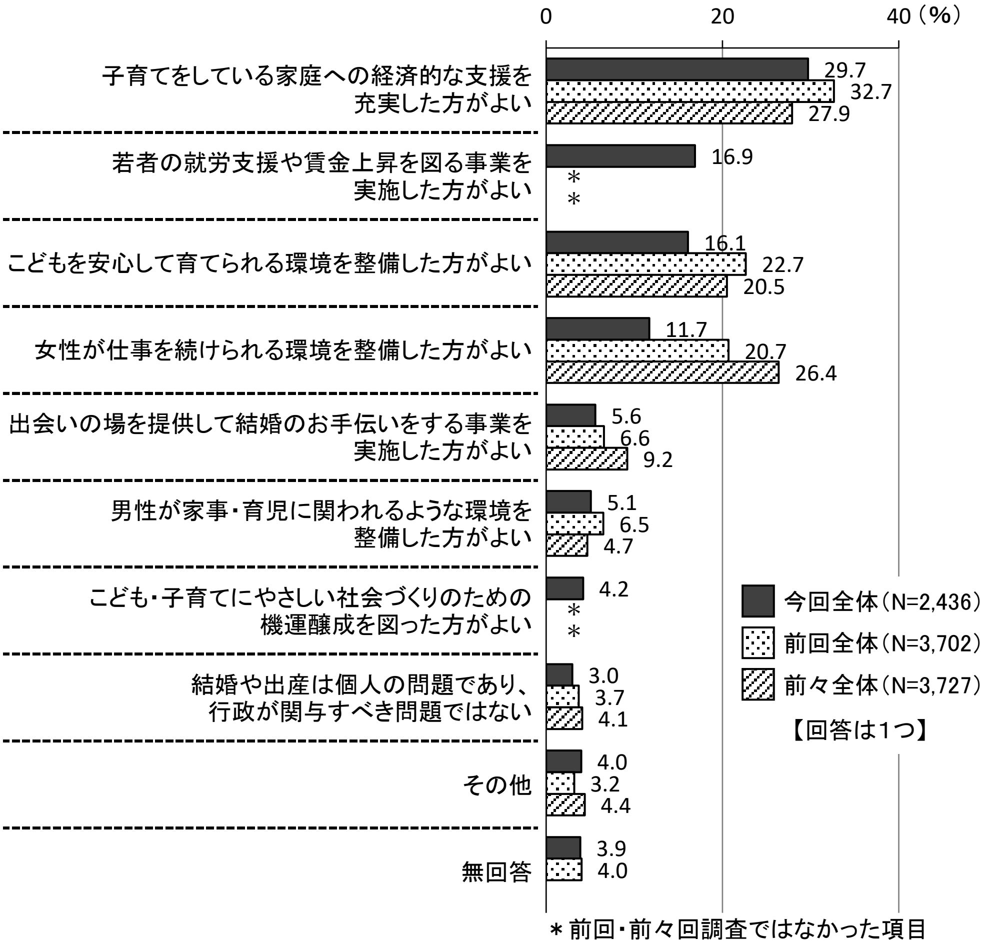
３．少子化対策に必要な施策

> 問10　あなたは、少子化対策として、どのような施策が必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

少子化対策として最も必要と思う施策についてたずねたところ、「子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい」が 29.7％で最も高く、次いで「若者の就労支援や賃金上昇を図る事業を実施した方がよい」（16.9％）と「こどもを安心して育てられる環境を整備した方がよい」（16.1％）、「女性が仕事を続けられる環境を整備した方がよい」（11.7％）となっている。

過去の調査結果と比較すると、今回調査では選択肢が増えていることに留意が必要であるが、「子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい」の割合が最も高いという傾向は前々回から続いている。

図表２－５　少子化対策に必要な施策［全体］



【性別】

「女性が仕事を続けられる環境を整備した方がよい」は、女性が 15.7％で男性（5.2％）より 10.5 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい」は、男女ともにいずれの年代でも最も高くなっている。

【配偶関係別】

未婚者では「出会いの場を提供して結婚のお手伝いをする事業を実施した方がよい」が 10.0％で、配偶者がいる人よりも高くなっている。また、未婚者では「若者の就労支援や賃金上昇を図る事業を実施した方がよい」（21.7％）が配偶者がいる人や配偶者と離・死別した人よりも割合が高く、「子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい」（20.1％）は割合が低くなっている。

図表２－６　少子化対策に必要な施策［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

		標本数	出会いの場を提供して結婚のお手伝いをする事業を実施した方がよい	こどもを安心して育てられる環境を整備した方がよい	女性が仕事を続けられる環境を整備した方がよい	子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい	男性が家事・育児に関われるような環境を整備した方がよい	結婚や出産は個人の問題であり、行政が関与すべき問題ではない	若者の就労支援や賃金上昇を図る事業を実施した方がよい	こども・子育てにやさしい社会づくりのための機運醸成を図った方がよい	その他	無回答
全体		2,436	136	391	285	723	124	73	411	102	97	94
		100.0	5.6	16.1	11.7	29.7	5.1	3.0	16.9	4.2	4.0	3.9
性別	男性	885	6.8	17.7	5.2	31.6	3.4	2.7	18.6	4.6	5.1	4.2
	女性	1,524	5.0	15.3	15.7	28.9	6.2	3.1	16.0	4.0	3.4	2.4
	無回答	27	－	3.7	－	11.1	－	3.7	7.4	－	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	3.8	25.7	2.9	22.9	3.8	3.8	21.9	1.0	8.6	5.7
	男性:25～29歳	102	10.8	14.7	5.9	32.4	2.0	1.0	21.6	3.9	2.0	5.9
	男性:30～34歳	117	11.1	19.7	1.7	29.9	2.6	－	22.2	6.0	4.3	2.6
	男性:35～39歳	150	8.7	15.3	2.0	37.3	5.3	1.3	16.0	5.3	3.3	5.3
	男性:40～44歳	197	6.1	14.2	7.1	41.6	2.5	3.6	12.2	4.1	3.6	5.1
	男性:45～49歳	211	3.3	19.0	8.5	23.7	3.8	4.7	21.8	5.7	7.6	1.9
	女性:18～24歳	163	4.9	12.3	13.5	33.7	7.4	3.7	18.4	3.7	0.6	1.8
	女性:25～29歳	153	3.3	13.7	6.5	34.6	3.3	2.0	25.5	4.6	2.6	3.9
	女性:30～34歳	249	6.4	12.0	16.1	35.7	6.4	2.0	13.7	3.2	2.0	2.4
	女性:35～39歳	283	4.2	13.8	19.4	33.6	4.2	1.4	15.5	2.8	1.8	3.2
	女性:40～44歳	344	5.2	18.9	16.9	20.3	6.1	3.2	16.3	5.8	5.2	2.0
	女性:45～49歳	326	4.9	17.5	16.6	23.6	8.6	5.5	12.0	3.7	5.8	1.8
	無回答	36	2.8	8.3	－	11.1	－	5.6	11.1	2.8	2.8	55.6
配偶関係別	未婚	859	10.0	16.2	9.9	20.1	5.6	4.3	21.7	3.7	4.1	4.4
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	3.4	15.8	13.1	35.8	4.9	1.9	14.3	4.2	4.1	2.5
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	0.7	18.3	10.6	28.9	4.9	6.3	14.1	7.7	2.8	5.6
	無回答	20	5.0	10.0	－	15.0	－	－	10.0	－	－	60.0
居住地域別	福岡地域	1,313	4.8	15.6	12.4	28.7	5.1	3.1	17.9	5.0	4.1	3.2
	筑後地域	343	7.9	16.3	10.2	30.9	6.7	2.9	14.9	3.8	3.5	2.9
	筑豊地域	161	8.1	17.4	11.2	31.1	5.0	3.1	18.6	3.1	0.6	1.9
	北九州地域	550	5.1	16.2	12.0	31.6	4.5	2.7	16.5	2.9	5.5	2.9
	無回答	69	7.2	18.8	4.3	23.2	1.4	2.9	5.8	2.9	－	33.3

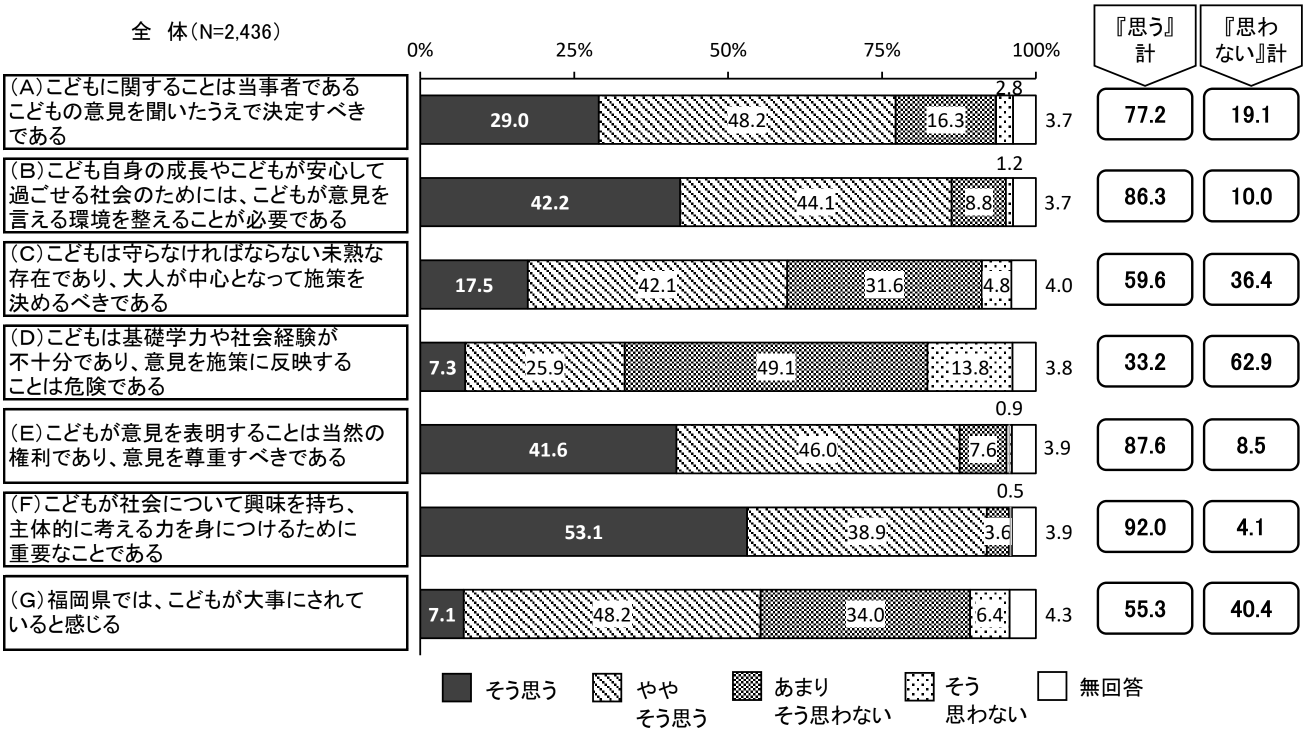
４．「こどもまんなか社会」の実現について

問11　こども基本法の制定により、こどもに関する取組を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こどもの意見を行政の施策に反映させることになりました。次の(A)～(G)について、あなたの考えに最も近いものそれぞれの項目について選んでください。

「こどもまんなか社会」の実現に関連する様々な考え方について賛否をたずねたところ、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』は、「（A）こどもに関することは当事者であるこどもの意見を聞いたうえで決定すべきである」（77.2%）や「（B）こども自身の成長やこどもが安心して過ごせる社会のためには、こどもが意見を言える環境を整えることが必要である」（86.3%）など、「こどもまんなか社会」の理念に沿った項目はいずれも７割以上と高くなっている。一方で、「こどもまんなか社会」の理念とは異なる内容の２項目、「（C）こどもは守らなければならない未熟な存在であり、大人が中心となって施策を決めるべきである」と「（D）こどもは基礎学力や社会経験が不十分であり、意見を施策に反映することは危険である」については、『思う』がそれぞれ 59.6%と 33.2%となっている。

「（G）福岡県では、こどもが大事にされていると感じる」は、『思う』が 55.3%で過半数を超えているが、『思わない』も 40.4%ある。

図表２－７　「こどもまんなか社会」の実現について［全体］



【性別】

「こどもまんなか社会」の理念に沿った考えである「（A）こどもに関することは当事者であるこどもの意見を聞いたうえで決定すべきである」（男性 72.4％、女性 80.9％）と「（B）こども自身の成長やこどもが安心して過ごせる社会のためには、こどもが意見を言える環境を整えることが必要である」（同 81.2％、90.4％）について『思う』割合は、いずれも女性の方が 8.5～9.2 ポイント高くなっている。一方で、「（C）こどもは守らなければならない未熟な存在であり、大人が中心となって施策を決めるべきである」（同 61.5％、59.3％）と「（D）こどもは基礎学力や社会経験が不十分であり、意見を施策に反映することは危険である」（同 36.9％、31.6％）については、男性の方が『思う』の割合は 2.2～5.3 ポイント高い。

【性別・年代別】

「（A）こどもに関することは当事者であるこどもの意見を聞いたうえで決定すべきである」は女性の 18～24 歳（85.3％）、「（B）こども自身の成長やこどもが安心して過ごせる社会のためには、こどもが意見を言える環境を整えることが必要である」は女性の 30～34 歳（92.4％）で、「（C）こどもは守らなければならない未熟な存在であり、大人が中心となって施策を決めるべきである」は男性の 45～49 歳（69.2％）、「（D）こどもは基礎学力や社会経験が不十分であり、意見を施策に反映することは危険である」は男性の 25～29 歳（42.1％）で他の年代に比べて割合が高くなっている。

図表２－８（１）「こどもまんなか社会」の実現について［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	(A)こどもに関することは当事者であるこどもの意見を聞いたうえで決定すべきである							(B)こども自身の成長やこどもが安心して過ごせる社会のためには、こどもが意見を言える環境を整えることが必要である						
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計
全体		2,436	707	1,174	397	67	91	**1,881**	**464**	1,027	1,075	215	29	90	**2,102**	**244**
		100.0	29.0	48.2	16.3	2.8	3.7	**77.2**	**19.1**	42.2	44.1	8.8	1.2	3.7	**86.3**	**10.0**
性別	男性	885	26.3	46.1	19.3	4.2	4.1	**72.4**	**23.5**	38.1	43.1	12.9	1.9	4.1	**81.2**	**14.8**
	女性	1,524	31.0	49.9	14.8	2.0	2.3	**80.9**	**16.8**	45.1	45.3	6.6	0.8	2.2	**90.4**	**7.4**
	無回答	27	7.4	18.5	－	－	74.1	**25.9**	**－**	11.1	14.8	－	－	74.1	**25.9**	**－**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	28.6	46.7	17.1	2.9	4.8	**75.3**	**20.0**	41.9	42.9	8.6	1.9	4.8	**84.8**	**10.5**
	男性:25～29歳	102	30.4	45.1	15.7	3.9	4.9	**75.5**	**19.6**	46.1	39.2	7.8	2.0	4.9	**85.3**	**9.8**
	男性:30～34歳	117	22.2	52.1	22.2	1.7	1.7	**74.3**	**23.9**	30.8	48.7	16.2	1.7	2.6	**79.5**	**17.9**
	男性:35～39歳	150	28.0	42.0	16.0	7.3	6.7	**70.0**	**23.3**	43.3	36.7	11.3	2.0	6.7	**80.0**	**13.3**
	男性:40～44歳	197	21.3	50.8	18.8	4.6	4.6	**72.1**	**23.4**	38.6	42.6	12.7	1.5	4.6	**81.2**	**14.2**
	男性:45～49歳	211	28.9	41.2	23.7	3.8	2.4	**70.1**	**27.5**	32.2	46.4	17.1	2.4	1.9	**78.6**	**19.5**
	女性:18～24歳	163	39.9	45.4	9.2	3.1	2.5	**85.3**	**12.3**	50.9	40.5	4.3	1.8	2.5	**91.4**	**6.1**
	女性:25～29歳	153	35.9	44.4	14.4	1.3	3.9	**80.3**	**15.7**	52.3	37.3	5.9	0.7	3.9	**89.6**	**6.6**
	女性:30～34歳	249	30.5	49.0	16.1	2.0	2.4	**79.5**	**18.1**	49.0	43.4	5.6	－	2.0	**92.4**	**5.6**
	女性:35～39歳	283	31.4	50.2	13.8	2.1	2.5	**81.6**	**15.9**	46.6	44.2	6.0	0.7	2.5	**90.8**	**6.7**
	女性:40～44歳	344	27.6	51.5	17.4	1.5	2.0	**79.1**	**18.9**	42.7	45.3	9.0	0.9	2.0	**88.0**	**9.9**
	女性:45～49歳	326	26.7	54.3	15.3	2.1	1.5	**81.0**	**17.4**	36.5	54.0	7.1	0.9	1.5	**90.5**	**8.0**
	無回答	36	22.2	22.2	－	－	55.6	**44.4**	**－**	22.2	22.2	－	－	55.6	**44.4**	**－**
居住地域別	福岡地域	1,313	30.1	46.9	17.1	2.8	3.0	**77.0**	**19.9**	42.2	44.3	9.3	1.2	3.0	**86.5**	**10.5**
	筑後地域	343	28.3	49.6	16.6	2.6	2.9	**77.9**	**19.2**	41.4	43.7	10.5	1.5	2.9	**85.1**	**12.0**
	筑豊地域	161	39.8	44.1	13.0	1.2	1.9	**83.9**	**14.2**	53.4	37.3	6.8	0.6	1.9	**90.7**	**7.4**
	北九州地域	550	25.1	52.9	15.6	3.5	2.9	**78.0**	**19.1**	41.1	46.9	7.8	1.3	2.9	**88.0**	**9.1**
	無回答	69	18.8	37.7	11.6	－	31.9	**56.5**	**11.6**	27.5	36.2	4.3	－	31.9	**63.7**	**4.3**

		標本数	(C)こどもは守らなければならない未熟な存在であり、大人が中心となって施策を決めるべきである							(D)こどもは基礎学力や社会経験が不十分であり、意見を施策に反映することは危険である						
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計
全体		2,436	427	1,025	769	117	98	**1,452**	**886**	177	632	1,197	337	93	**809**	**1,534**
		100.0	17.5	42.1	31.6	4.8	4.0	**59.6**	**36.4**	7.3	25.9	49.1	13.8	3.8	**33.2**	**62.9**
性別	男性	885	19.8	41.7	29.2	4.7	4.6	**61.5**	**33.9**	9.3	27.6	45.9	13.0	4.3	**36.9**	**58.9**
	女性	1,524	16.5	42.8	33.3	4.9	2.4	**59.3**	**38.2**	6.2	25.4	51.6	14.5	2.3	**31.6**	**66.1**
	無回答	27	－	11.1	14.8	－	74.1	**11.1**	**14.8**	－	3.7	18.5	3.7	74.1	**3.7**	**22.2**
性別・年代別	男性:18～24歳	105	21.0	41.0	27.6	4.8	5.7	**62.0**	**32.4**	11.4	28.6	40.0	14.3	5.7	**40.0**	**54.3**
	男性:25～29歳	102	16.7	41.2	30.4	4.9	6.9	**57.9**	**35.3**	7.8	34.3	41.2	10.8	5.9	**42.1**	**52.0**
	男性:30～34歳	117	18.8	38.5	33.3	6.0	3.4	**57.3**	**39.3**	6.0	30.8	50.4	11.1	1.7	**36.8**	**61.5**
	男性:35～39歳	150	22.0	36.0	27.3	7.3	7.3	**58.0**	**34.6**	10.7	20.0	48.7	13.3	7.3	**30.7**	**62.0**
	男性:40～44歳	197	17.8	42.6	31.0	4.1	4.6	**60.4**	**35.1**	6.6	27.9	47.2	13.7	4.6	**34.5**	**60.9**
	男性:45～49歳	211	21.8	47.4	26.1	2.8	1.9	**69.2**	**28.9**	12.3	27.5	45.5	12.8	1.9	**39.8**	**58.3**
	女性:18～24歳	163	14.1	41.1	35.6	6.7	2.5	**55.2**	**42.3**	3.1	25.2	55.8	13.5	2.5	**28.3**	**69.3**
	女性:25～29歳	153	26.1	32.0	33.3	4.6	3.9	**58.1**	**37.9**	7.8	26.1	44.4	17.6	3.9	**33.9**	**62.0**
	女性:30～34歳	249	18.5	43.4	30.9	5.2	2.0	**61.9**	**36.1**	8.4	24.1	50.2	15.3	2.0	**32.5**	**65.5**
	女性:35～39歳	283	14.8	50.5	26.9	4.9	2.8	**65.3**	**31.8**	5.7	23.0	55.5	13.1	2.8	**28.7**	**68.6**
	女性:40～44歳	344	14.8	42.4	36.9	3.8	2.0	**57.2**	**40.7**	5.5	27.9	50.0	14.5	2.0	**33.4**	**64.5**
	女性:45～49歳	326	13.8	42.9	36.2	4.9	2.1	**56.7**	**41.1**	6.4	26.1	51.8	14.1	1.5	**32.5**	**65.9**
	無回答	36	13.9	11.1	16.7	2.8	55.6	**25.0**	**19.5**	2.8	2.8	27.8	11.1	55.6	**5.6**	**38.9**
居住地域別	福岡地域	1,313	16.4	42.4	32.4	5.6	3.2	**58.8**	**38.0**	7.0	23.8	50.9	15.2	3.1	**30.8**	**66.1**
	筑後地域	343	20.7	43.1	29.4	3.2	3.5	**63.8**	**32.6**	6.7	31.8	46.6	12.0	2.9	**38.5**	**58.6**
	筑豊地域	161	18.6	37.9	34.8	6.2	2.5	**56.5**	**41.0**	8.1	29.2	44.7	16.1	1.9	**37.3**	**60.8**
	北九州地域	550	18.7	43.1	30.9	4.0	3.3	**61.8**	**34.9**	8.4	27.1	49.3	12.2	3.1	**35.5**	**61.5**
	無回答	69	11.6	31.9	24.6	－	31.9	**43.5**	**24.6**	4.3	20.3	37.7	5.8	31.9	**24.6**	**43.5**

図表２－８（２）「こどもまんなか社会」の実現について［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	(E)こどもが意見を表明することは当然の権利であり、意見を尊重すべきである そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計	(F)こどもが社会について興味を持ち、主体的に考える力を身につけるために重要なことである そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計
全体		2,436	1,013	1,121	184	23	95	2,134	207	1,293	948	87	12	96	2,241	99
		100.0	41.6	46.0	7.6	0.9	3.9	87.6	8.5	53.1	38.9	3.6	0.5	3.9	92.0	4.1
性別	男性	885	38.6	47.3	8.1	1.5	4.4	85.9	9.6	50.5	39.9	4.2	0.8	4.6	90.4	5.0
	女性	1,524	43.8	45.9	7.3	0.7	2.4	89.7	8.0	55.2	38.9	3.2	0.3	2.3	94.1	3.5
	無回答	27	14.8	11.1	－	－	74.1	25.9	－	14.8	7.4	3.7	－	74.1	22.2	3.7
性別・年代別	男性:18～24歳	105	44.8	41.9	5.7	1.9	5.7	86.7	7.6	55.2	33.3	4.8	－	6.7	88.5	4.8
	男性:25～29歳	102	46.1	44.1	2.0	2.9	4.9	90.2	4.9	53.9	37.3	2.0	2.0	4.9	91.2	4.0
	男性:30～34歳	117	37.6	52.1	7.7	0.9	1.7	89.7	8.6	43.6	48.7	4.3	1.7	1.7	92.3	6.0
	男性:35～39歳	150	43.3	40.7	8.0	0.7	7.3	84.0	8.7	53.3	34.0	4.7	1.3	6.7	87.3	6.0
	男性:40～44歳	197	33.0	48.7	12.2	1.0	5.1	81.7	13.2	46.2	43.7	3.0	0.5	6.6	89.9	3.5
	男性:45～49歳	211	34.1	52.6	9.0	1.9	2.4	86.7	10.9	51.7	40.8	5.7	－	1.9	92.5	5.7
	女性:18～24歳	163	49.7	40.5	6.7	0.6	2.5	90.2	7.3	46.6	45.4	5.5	－	2.5	92.0	5.5
	女性:25～29歳	153	51.6	41.2	3.3	－	3.9	92.8	3.3	56.9	35.3	3.9	－	3.9	92.2	3.9
	女性:30～34歳	249	43.8	49.0	4.8	0.4	2.0	92.8	5.2	57.8	36.5	3.2	0.4	2.0	94.3	3.6
	女性:35～39歳	283	47.3	44.2	4.6	1.1	2.8	91.5	5.7	60.4	35.7	0.7	0.4	2.8	96.1	1.1
	女性:40～44歳	344	40.7	47.7	9.0	0.6	2.0	88.4	9.6	53.8	40.4	3.2	0.6	2.0	94.2	3.8
	女性:45～49歳	326	36.8	48.2	12.3	0.9	1.8	85.0	13.2	53.4	40.8	4.0	0.3	1.5	94.2	4.3
	無回答	36	27.8	16.7	－	－	55.6	44.5	－	33.3	8.3	2.8	－	55.6	41.6	2.8
居住地域別	福岡地域	1,313	43.3	45.4	7.0	1.1	3.1	88.7	8.1	54.7	38.2	3.5	0.4	3.3	92.9	3.9
	筑後地域	343	40.8	46.9	9.0	0.3	2.9	87.7	9.3	52.2	41.4	3.2	－	3.2	93.6	3.2
	筑豊地域	161	44.7	47.2	5.6	0.6	1.9	91.9	6.2	55.9	37.3	4.3	0.6	1.9	93.2	4.9
	北九州地域	550	39.1	47.8	8.5	1.1	3.5	86.9	9.6	51.1	40.5	4.2	1.1	3.1	91.6	5.3
	無回答	69	24.6	36.2	7.2	－	31.9	60.8	7.2	36.2	31.9	－	－	31.9	68.1	－

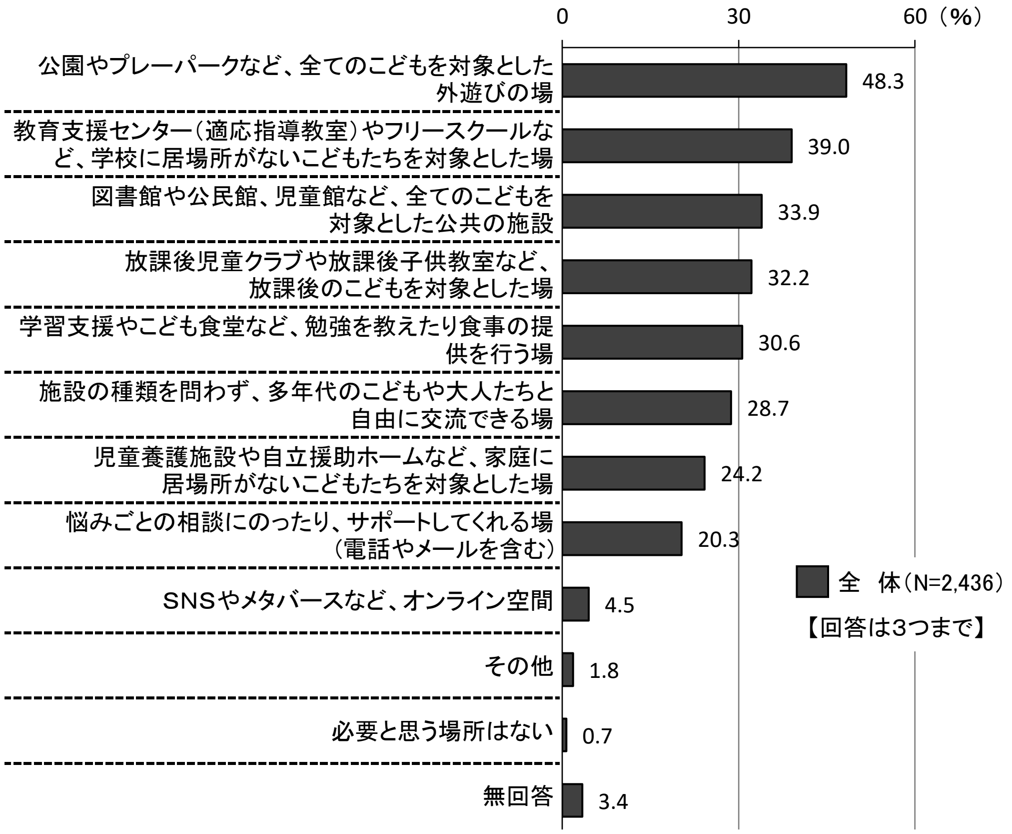
		標本数	(G)福岡県では、こどもが大事にされていると感じる そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	『思う』計	『思わない』計
全体		2,436	174	1,173	829	156	104	1,347	985
		100.0	7.1	48.2	34.0	6.4	4.3	55.3	40.4
性別	男性	885	8.2	45.9	34.2	7.3	4.3	54.1	41.5
	女性	1,524	6.6	50.0	34.4	6.0	3.0	56.6	40.4
	無回答	27	－	18.5	7.4	－	74.1	18.5	7.4
性別・年代別	男性:18～24歳	105	8.6	48.6	32.4	4.8	5.7	57.2	37.2
	男性:25～29歳	102	16.7	50.0	23.5	3.9	5.9	66.7	27.4
	男性:30～34歳	117	3.4	50.4	38.5	6.0	1.7	53.8	44.5
	男性:35～39歳	150	9.3	40.7	35.3	8.0	6.7	50.0	43.3
	男性:40～44歳	197	7.1	46.7	32.5	9.1	4.6	53.8	41.6
	男性:45～49歳	211	6.6	42.7	39.3	9.0	2.4	49.3	48.3
	女性:18～24歳	163	8.0	54.0	31.9	3.7	2.5	62.0	35.6
	女性:25～29歳	153	6.5	43.8	39.9	5.2	4.6	50.3	45.1
	女性:30～34歳	249	7.2	48.6	36.5	5.2	2.4	55.8	41.7
	女性:35～39歳	283	8.1	53.7	29.0	5.7	3.5	61.8	34.7
	女性:40～44歳	344	5.5	47.7	36.3	7.6	2.9	53.2	43.9
	女性:45～49歳	326	5.2	52.1	33.4	6.7	2.5	57.3	40.1
	無回答	36	5.6	19.4	16.7	－	58.3	25.0	16.7
居住地域別	福岡地域	1,313	7.2	50.8	32.3	6.2	3.4	58.0	38.5
	筑後地域	343	6.4	42.6	40.2	7.3	3.5	49.0	47.5
	筑豊地域	161	5.0	47.2	36.6	8.1	3.1	52.2	44.7
	北九州地域	550	7.6	48.0	34.7	6.0	3.6	55.6	40.7
	無回答	69	10.1	29.0	24.6	4.3	31.9	39.1	28.9

５．こどもに必要な居場所

> 問12　あなたは、学校や家庭以外のこどもの居場所としてどのような居場所が必要と思いますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

こどもの居場所として必要と思う場についてたずねたところ、「公園やプレーパークなど、全てのこどもを対象とした外遊びの場」が 48.3％で最も高く、次いで、「教育支援センター（適応指導教室）やフリースクールなど、学校に居場所がないこどもたちを対象とした場」（39.0％）と「図書館や公民館、児童館など、全てのこどもを対象とした公共の施設」（33.9％）、「放課後児童クラブや放課後子供教室など、放課後のこどもを対象とした場」（32.2％）、「学習支援やこども食堂など、勉強を教えたり食事の提供を行う場」（30.6％）となっており、多様なこどもの居場所が望まれている。

図表２－９　こどもに必要な居場所［全体］



【性別】

「公園やプレーパークなど、全てのこどもを対象とした外遊びの場」は男性では 55.3％と女性（44.9％）より 10.4 ポイント高い。一方で、「教育支援センター（適応指導教室）やフリースクールなど、学校に居場所がないこどもたちを対象とした場」は女性が 43.2％で男性（32.7％）よりも 10.5 ポイント高い。

【性別・年代別】

「公園やプレーパークなど、全てのこどもを対象とした外遊びの場」は男性の 25～34 歳で６割を超え、他の年代よりも高くなっている。「教育支援センター（適応指導教室）やフリースクールなど、学校に居場所がないこどもたちを対象とした場」は女性の 40～44 歳で 49.4％と高い。

【配偶関係別】

「公園やプレーパークなど、全てのこどもを対象とした外遊びの場」は、配偶者がいる人で 53.6％と、未婚者（42.6％）よりも 11 ポイント高い。「児童養護施設や自立援助ホームなど、家庭に居場所がないこどもたちを対象とした場」は、未婚者で 29.8％と、配偶者がいる人（21.2％）より 8.6 ポイント高い。

図表２－10　こどもに必要な居場所［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、居住地域別］

（%）

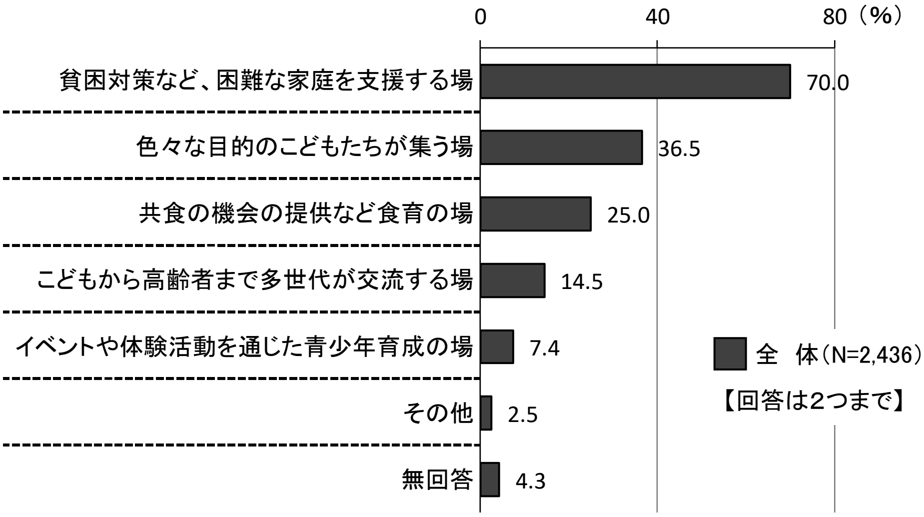
		標本数	図書館や公民館、児童館など、全てのこどもを対象とした公共の施設	公園やプレーパークなど、全てのこどもを対象とした外遊びの場	施設の種類を問わず、多年代のこどもや大人たちと自由に交流できる場	放課後児童クラブや放課後子供教室など、放課後のこどもを対象とした場	学習支援やこども食堂など、勉強を教えたり食事の提供を行う場	教育支援センター（適応指導教室）やフリースクールなど、学校に居場所がないこどもたちを対象とした場	児童養護施設や自立援助ホームなど、家庭に居場所がないこどもたちを対象とした場	悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場（電話やメールを含む）	SNSやメタバースなど、オンライン空間	その他	必要と思う場所はない	無回答
全体		2,436	826	1,176	698	784	746	950	589	495	110	43	18	83
		100.0	33.9	48.3	28.7	32.2	30.6	39.0	24.2	20.3	4.5	1.8	0.7	3.4
性別	男性	885	34.5	55.3	29.4	31.1	28.0	32.7	21.8	19.0	6.8	1.7	1.0	3.6
	女性	1,524	34.1	44.9	28.5	33.3	32.5	43.2	25.9	21.3	3.3	1.8	0.6	2.0
	無回答	27	7.4	11.1	11.1	3.7	11.1	11.1	3.7	7.4	－	－	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	29.5	53.3	26.7	31.4	28.6	31.4	22.9	23.8	8.6	2.9	1.9	4.8
	男性:25～29歳	102	35.3	61.8	24.5	38.2	23.5	29.4	20.6	18.6	7.8	2.0	－	4.9
	男性:30～34歳	117	34.2	65.8	19.7	33.3	35.0	28.2	26.5	21.4	5.1	1.7	－	0.9
	男性:35～39歳	150	32.7	54.7	30.0	27.3	26.7	36.0	18.7	16.0	10.7	2.0	1.3	6.0
	男性:40～44歳	197	36.0	56.3	34.5	32.0	25.9	33.0	20.8	17.3	6.1	0.5	－	4.1
	男性:45～49歳	211	36.0	46.0	33.2	28.0	28.9	34.6	22.7	19.4	4.3	1.9	2.4	1.9
	女性:18～24歳	163	31.3	49.1	19.6	31.9	33.7	37.4	35.6	26.4	5.5	0.6	0.6	1.8
	女性:25～29歳	153	33.3	47.7	25.5	35.3	32.0	35.9	23.5	20.3	5.2	－	0.7	3.9
	女性:30～34歳	249	32.9	46.2	31.7	38.6	35.3	41.8	18.1	23.3	4.4	0.4	－	2.0
	女性:35～39歳	283	39.2	51.9	25.4	36.7	27.2	42.0	25.8	18.7	3.9	1.8	－	2.1
	女性:40～44歳	344	34.6	43.0	32.0	29.9	31.4	49.4	25.0	18.0	2.0	2.9	1.7	2.0
	女性:45～49歳	326	31.6	36.2	31.0	30.1	35.9	44.5	28.5	23.9	1.2	3.4	0.3	1.2
	無回答	36	16.7	25.0	16.7	8.3	13.9	22.2	13.9	5.6	－	－	－	55.6
配偶関係別	未婚	859	30.4	42.6	30.3	26.9	32.9	38.0	29.8	25.4	6.4	1.5	1.2	3.7
	配偶者(パートナー)がいる	1,415	37.1	53.6	27.6	35.3	29.3	39.6	21.2	16.5	3.6	1.6	0.6	2.3
	配偶者(パートナー)と離・死別した	142	26.1	33.1	32.4	33.8	32.4	42.3	21.8	28.9	2.8	4.9	－	4.2
	無回答	20	15.0	20.0	5.0	25.0	15.0	15.0	10.0	10.0	－	－	－	60.0
居住地域別	福岡地域	1,313	35.1	48.1	29.2	32.6	31.2	39.4	25.7	19.6	3.4	1.8	1.1	2.7
	筑後地域	343	28.3	49.3	28.6	34.1	30.3	44.0	22.7	23.0	5.0	1.5	－	2.0
	筑豊地域	161	38.5	49.7	28.6	26.7	30.4	37.9	21.1	23.0	9.3	2.5	1.2	1.2
	北九州地域	550	34.2	48.7	27.6	32.5	29.8	38.4	23.6	21.5	6.0	1.8	0.4	2.9
	無回答	69	26.1	39.1	26.1	24.6	29.0	14.5	14.5	5.8	1.4	1.4	－	31.9

６．こども食堂のイメージ

問13　こどもの居場所の一つであるこども食堂に対してどのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（○は2つまで）

こども食堂に抱くイメージは、「貧困対策など、困難な家庭を支援する場」が 70.0％と突出して高く、次いで「色々な目的のこどもたちが集う場」（36.5％）、「共食の機会の提供など食育の場」（25.0％）の順となっている。「こどもから高齢者まで多世代が交流する場」（14.5％）と「イベントや体験活動を通じた青少年育成の場」（7.4％）というイメージの割合は低い。

図表２－11　こども食堂のイメージ［全体］



【性別】

「貧困対策など、困難な家庭を支援する場」は、女性が 72.7％で男性（67.0％）よりも 5.7 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「貧困対策など、困難な家庭を支援する場」は男性では年代が高い層で割合が高い傾向があり、女性は 25～29 歳と 35～39 歳で７割台半ばを超えて高い。一方で、「色々な目的のこどもたちが集う場」は男女とも年代の低い層で割合が高い傾向があり、また「共食の機会の提供など食育の場」は、男性の 25～29 歳で 32.4％と他の年代に比べて高いなど、こども食堂に対して若い世代の方が幅広いイメージを持っている傾向がある。

図表２－12　こども食堂のイメージ［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	色々な目的のこどもたちが集う場	こどもから高齢者まで多世代が交流する場	貧困対策など、困難な家庭を支援する場	共食の機会の提供など食育の場	イベントや体験活動を通じた青少年育成の場	その他	無回答
全体		2,436 100.0	889 36.5	354 14.5	1,704 70.0	608 25.0	180 7.4	60 2.5	104 4.3
性別	男性	885	34.8	14.5	67.0	27.0	9.5	2.7	5.0
	女性	1,524	37.9	14.7	72.7	24.1	6.3	2.4	2.6
	無回答	27	14.8	7.4	11.1	7.4	－	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	40.0	12.4	60.0	25.7	10.5	1.9	5.7
	男性:25～29歳	102	37.3	14.7	61.8	32.4	9.8	1.0	5.9
	男性:30～34歳	117	38.5	13.7	60.7	28.2	13.7	5.1	5.1
	男性:35～39歳	150	34.7	14.7	67.3	26.0	8.7	3.3	8.0
	男性:40～44歳	197	33.5	13.2	74.6	28.9	6.6	1.5	4.6
	男性:45～49歳	211	30.3	16.6	70.1	22.7	9.5	3.3	2.4
	女性:18～24歳	163	41.7	9.8	71.2	23.3	7.4	3.7	2.5
	女性:25～29歳	153	37.3	6.5	75.2	24.8	5.2	0.7	5.2
	女性:30～34歳	249	40.6	14.1	72.3	27.3	4.8	1.6	3.2
	女性:35～39歳	283	35.0	14.5	75.3	25.4	6.7	2.5	2.5
	女性:40～44歳	344	39.2	14.8	72.1	24.1	5.2	3.5	2.0
	女性:45～49歳	326	35.3	21.2	71.2	20.6	8.3	1.8	1.8
	無回答	36	19.4	13.9	19.4	13.9	2.8	－	55.6
居住地域別	福岡地域	1,313	36.0	14.7	71.8	25.7	6.9	2.3	3.6
	筑後地域	343	37.9	18.1	66.8	21.9	9.0	3.2	2.3
	筑豊地域	161	46.0	9.9	75.8	23.6	5.6	1.9	3.7
	北九州地域	550	34.4	13.3	69.3	25.8	8.5	2.7	3.8
	無回答	69	33.3	14.5	42.0	23.2	4.3	1.4	31.9

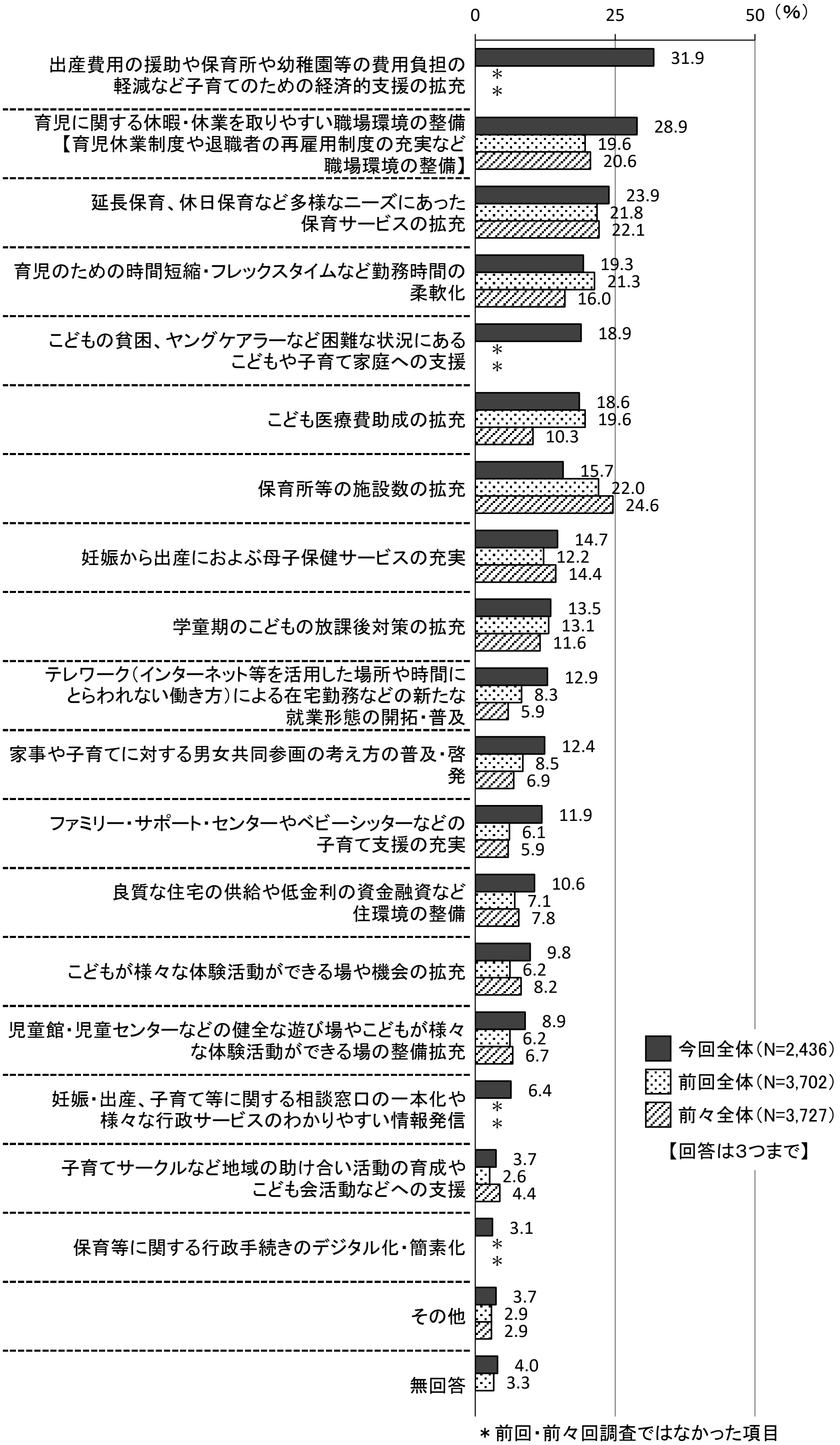
７．こどもを健やかに産み育てるために期待する施策

問14　あなたは、こどもを健やかに産み育てるためには、県や市町村の子育て支援及び少子化対策にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

こどもを健やかに生み育てるために期待する施策についてたずねたところ、「出産費用の援助や保育所や幼稚園等の費用負担の軽減など子育てのための経済的支援の拡充」（31.9％）と「育児に関する休暇・休業を取りやすい職場環境の整備」（28.9％）の２つが約３割で高くなっている。以下、「延長保育、休日保育など多様なニーズにあった保育サービスの拡充」（23.9％）、「育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化」（19.3％）、「こどもの貧困、ヤングケアラーなど困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援」（18.9％）、「こども医療費助成の拡充」（18.6％）となっている。

過去の調査との比較では、項目が一部変更されている点に留意が必要であるが、「育児に関する休暇・休業を取りやすい職場環境の整備」は前回・前々回調査よりも約９ポイント増加している。「保育所等の施設数の拡充」は前々回調査から減少傾向が続いている。

図表２－13　こどもを健やかに産み育てるために期待する施策［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目
【　】内は前回・前々回調査の項目
前回・前々回調査では「子育てのための経済的支援の拡充」38.8%、40.6%
「保育所や幼稚園などの費用負担の軽減」26.8%、32.8%　あり

【性別】

全体的に男女の差は小さいが、「こどもの貧困、ヤングケアラーなど困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援」（男性 13.6％、女性 22.2％）は女性の方が 8.6 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「出産費用の援助や保育所や幼稚園等の費用負担の軽減など子育てのための経済的支援の拡充」は、25～34 歳の年代が低い層で割合が高くなっており、特に女性でその傾向が顕著である。

図表２－14　こどもを健やかに産み育てるために期待する施策

［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	家事や子育てに対する男女共同参画の考え方の普及・啓発	妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実	保育所等の施設数の拡充	延長保育、休日保育など多様なニーズにあった保育サービスの拡充	ファミリー・サポート・センターやベビーシッターなどの子育て支援の充実	学童期のこどもの放課後対策の拡充	児童館・児童センターなどの健全な遊び場やこどもが様々な体験活動ができる場の整備拡充	子育てサークルなど地域の助け合い活動の育成やこども会活動などへの支援	育児に関する休暇・休業を取りやすい職場環境の整備	育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化
全体		2,436	301	358	383	582	291	330	218	89	705	469
		100.0	12.4	14.7	15.7	23.9	11.9	13.5	8.9	3.7	28.9	19.3
性別	男性	885	10.3	15.4	17.7	22.6	9.7	12.7	10.1	3.6	27.1	17.5
	女性	1,524	13.6	14.6	14.7	25.1	13.4	14.2	8.5	3.7	30.3	20.5
	無回答	27	11.1	－	7.4	－	3.7	3.7	－	－	11.1	3.7
性別・年代別	男性:18～24歳	105	15.2	18.1	20.0	17.1	5.7	10.5	9.5	1.9	33.3	20.0
	男性:25～29歳	102	8.8	22.5	19.6	19.6	13.7	6.9	6.9	5.9	21.6	15.7
	男性:30～34歳	117	12.0	17.9	23.9	16.2	12.0	12.0	9.4	3.4	23.1	21.4
	男性:35～39歳	150	11.3	14.0	18.0	28.0	10.0	12.0	9.3	4.0	26.7	14.0
	男性:40～44歳	197	7.6	14.7	12.7	22.8	9.1	13.2	10.7	3.0	27.9	22.8
	男性:45～49歳	211	9.5	10.9	17.1	26.1	9.0	17.1	11.8	3.8	28.4	12.3
	女性:18～24歳	163	18.4	25.2	14.1	21.5	7.4	5.5	3.1	3.1	38.0	17.2
	女性:25～29歳	153	9.2	21.6	14.4	30.7	10.5	7.8	5.2	5.9	28.8	20.9
	女性:30～34歳	249	13.7	18.5	15.7	22.5	14.1	13.7	6.8	3.2	31.3	19.3
	女性:35～39歳	283	14.8	12.7	17.7	22.3	16.3	18.0	11.0	2.5	29.0	23.7
	女性:40～44歳	344	12.2	11.9	11.3	29.4	13.1	16.3	11.3	2.6	31.4	21.2
	女性:45～49歳	326	13.2	7.4	15.0	24.5	15.3	16.6	8.9	5.8	26.4	19.6
	無回答	36	13.9	2.8	11.1	2.8	2.8	5.6	2.8	－	16.7	8.3
居住地域別	福岡地域	1,313	13.0	14.6	16.6	24.5	12.2	13.0	8.5	3.5	28.0	20.5
	筑後地域	343	12.8	17.5	12.8	20.7	10.2	14.0	10.2	4.1	31.5	18.1
	筑豊地域	161	9.9	13.0	9.9	29.2	11.2	11.8	9.9	5.0	28.6	20.5
	北九州地域	550	11.8	14.0	17.5	24.2	13.6	15.3	8.9	3.3	30.4	18.0
	無回答	69	7.2	11.6	13.0	13.0	4.3	11.6	8.7	4.3	24.6	8.7

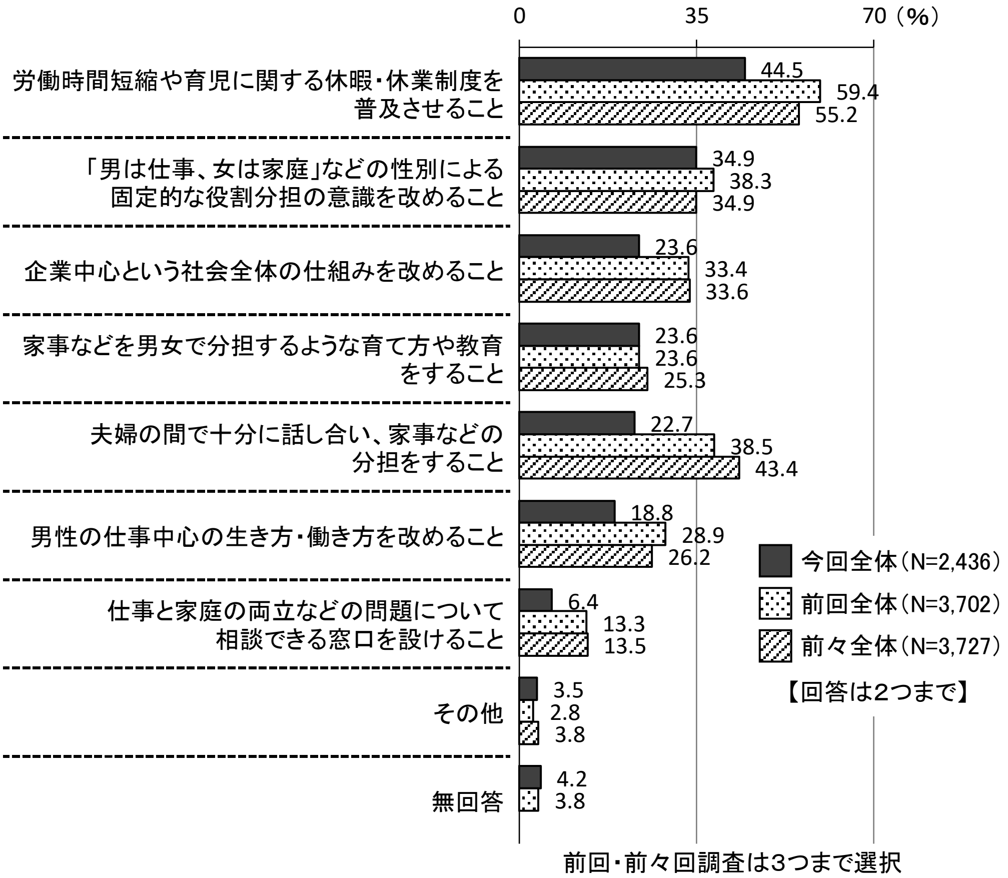
		標本数	テレワーク（インターネット等を活用した場所や時間にとらわれない働き方）による在宅勤務などの新たな就業形態の開拓・普及	良質な住宅の供給や低金利の資金融資など住環境の整備	出産費用の援助や保育所や幼稚園等の費用負担の軽減など子育てのための経済的支援の拡充	こども医療費助成の拡充	こどもが様々な体験活動ができる場や機会の拡充	保育等に関する行政手続きのデジタル化・簡素化	妊娠・出産、子育て等に関する相談窓口の一本化や様々な行政サービスのわかりやすい情報発信	こどもの貧困、ヤングケアラーなど困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援	その他	無回答
全体		2,436	314	258	777	453	238	75	156	461	91	98
		100.0	12.9	10.6	31.9	18.6	9.8	3.1	6.4	18.9	3.7	4.0
性別	男性	885	11.8	13.6	33.9	21.1	12.3	2.8	6.6	13.6	4.3	4.0
	女性	1,524	13.8	9.1	31.2	17.3	8.5	3.3	6.4	22.2	3.5	2.8
	無回答	27	－	－	7.4	7.4	－	－	3.7	11.1	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	13.3	15.2	33.3	13.3	13.3	1.9	9.5	18.1	1.9	1.9
	男性:25～29歳	102	14.7	21.6	47.1	18.6	6.9	2.9	4.9	9.8	5.9	3.9
	男性:30～34歳	117	12.8	17.9	39.3	23.9	6.8	3.4	7.7	10.3	1.7	4.3
	男性:35～39歳	150	11.3	11.3	29.3	16.7	17.3	4.7	4.7	14.0	4.7	7.3
	男性:40～44歳	197	9.1	9.6	39.1	23.9	12.2	3.0	3.0	14.2	4.1	4.1
	男性:45～49歳	211	11.8	11.8	23.7	24.6	13.7	1.4	10.0	14.2	6.2	2.4
	女性:18～24歳	163	16.0	12.3	38.7	13.5	9.2	1.2	4.9	21.5	1.8	1.8
	女性:25～29歳	153	14.4	10.5	47.7	11.1	4.6	6.5	7.8	9.8	3.3	6.5
	女性:30～34歳	249	12.0	10.4	43.4	16.5	6.8	4.4	5.6	12.9	3.6	3.6
	女性:35～39歳	283	13.8	10.6	31.1	17.7	11.0	3.2	4.6	18.7	3.9	1.4
	女性:40～44歳	344	14.8	6.1	22.1	18.9	8.7	3.8	6.4	27.0	3.5	2.3
	女性:45～49歳	326	12.9	7.4	20.2	20.6	8.9	1.5	8.3	32.8	3.7	2.8
	無回答	36	－	2.8	8.3	16.7	2.8	－	5.6	16.7	2.8	55.6
居住地域別	福岡地域	1,313	14.3	11.3	31.5	18.2	9.7	3.2	6.2	20.3	3.6	3.1
	筑後地域	343	12.8	9.9	31.5	21.6	10.5	1.5	5.2	16.3	4.1	3.2
	筑豊地域	161	11.2	8.7	33.5	23.6	9.9	3.1	8.7	17.4	5.6	3.1
	北九州地域	550	10.9	10.0	33.1	17.3	9.6	3.6	6.2	19.1	3.6	3.5
	無回答	69	5.8	8.7	29.0	10.1	8.7	4.3	13.0	8.7	1.4	31.9

８．男女ともに子育てに参加するために必要な施策

> 問15　あなたは、今後、男女がともに子育てをしていく、いわゆる「共育て」の推進のためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（○は2つまで）

男女がともに子育てに参加するために必要なことについてたずねたところ、「労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度を普及させること」44.5％で最も高く、次いで「『男は仕事、女は家庭』などの性別による固定的な役割分担の意識を改めること」（34.9％）、「企業中心という社会全体の仕組みを改めること」（23.6％）、「家事などを男女で分担するような育て方や教育をすること」（23.6％）の順となっている。

図表２－15　男女ともに子育てに参加するために必要な施策［全体］



【性別】

男女で差の大きい項目が多く見られ、「『男は仕事、女は家庭』などの性別による固定的な役割分担の意識を改めること」（男性 29.6%、女性 38.4%）と「家事などを男女で分担するような育て方や教育をすること」（同 17.7%、27.2%）は 8.8～9.5 ポイント女性の方が高くなっている。一方で、「企業中心という社会全体の仕組みを改めること」（同 30.7%、19.9%）は男性の方が 10.8 ポイント高く、「夫婦の間で十分に話し合い、家事などの分担をすること」（同 26.1%、20.9%）も男性の方が 5.2 ポイント高い。

【性別・年代別】

「労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度を普及させること」は、男女ともに年代が低い層で割合が高くなっており、女性でその傾向が顕著である。

図表２－16　男女ともに子育てに参加するために必要な施策
［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定的な役割分担の意識を改めること	企業中心という社会全体の仕組みを改めること	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度を普及させること	夫婦の間で十分に話し合い、家事などの分担をすること	家事などを男女で分担するような育て方や教育をすること	男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること	その他	無回答
全体		2,436	850	575	157	1,083	554	574	457	85	103
		100.0	34.9	23.6	6.4	44.5	22.7	23.6	18.8	3.5	4.2
性別	男性	885	29.6	30.7	7.2	46.1	26.1	17.7	15.4	3.5	4.5
	女性	1,524	38.4	19.9	6.1	44.2	20.9	27.2	20.9	3.5	2.8
	無回答	27	11.1	－	－	7.4	14.8	7.4	11.1	－	74.1
性別・年代別	男性:18～24歳	105	32.4	22.9	7.6	59.0	23.8	19.0	13.3	3.8	2.9
	男性:25～29歳	102	32.4	35.3	6.9	49.0	26.5	11.8	12.7	1.0	4.9
	男性:30～34歳	117	29.1	31.6	7.7	52.1	27.4	14.5	11.1	4.3	3.4
	男性:35～39歳	150	31.3	34.7	6.7	40.0	28.7	16.0	13.3	2.7	7.3
	男性:40～44歳	197	26.4	26.4	8.1	45.7	23.4	20.8	20.8	4.1	4.1
	男性:45～49歳	211	29.4	33.6	6.6	38.9	27.5	19.9	16.1	4.3	4.3
	女性:18～24歳	163	44.8	17.2	4.3	52.1	20.9	25.8	17.2	1.2	3.1
	女性:25～29歳	153	36.6	22.2	6.5	53.6	15.7	24.2	19.0	0.7	5.2
	女性:30～34歳	249	38.2	19.3	6.4	49.8	21.7	23.7	18.5	4.0	3.6
	女性:35～39歳	283	32.5	17.3	6.0	45.9	25.4	30.7	23.7	2.8	1.8
	女性:40～44歳	344	38.4	22.7	4.9	38.7	18.3	27.3	23.3	4.9	2.9
	女性:45～49歳	326	41.4	19.6	8.0	35.3	21.5	29.4	20.6	4.9	1.8
	無回答	36	13.9	5.6	－	25.0	16.7	8.3	13.9	－	55.6
居住地域別	福岡地域	1,313	35.0	24.8	6.8	44.6	22.1	24.3	19.4	3.7	3.3
	筑後地域	343	35.0	21.6	8.5	48.4	22.2	21.9	20.7	1.7	2.6
	筑豊地域	161	42.2	16.1	5.0	44.1	23.0	30.4	16.1	4.3	2.5
	北九州地域	550	34.0	25.1	5.1	42.9	25.5	21.3	17.1	4.2	4.5
	無回答	69	23.2	15.9	4.3	36.2	15.9	20.3	15.9	－	31.9

第３章　子育てについて

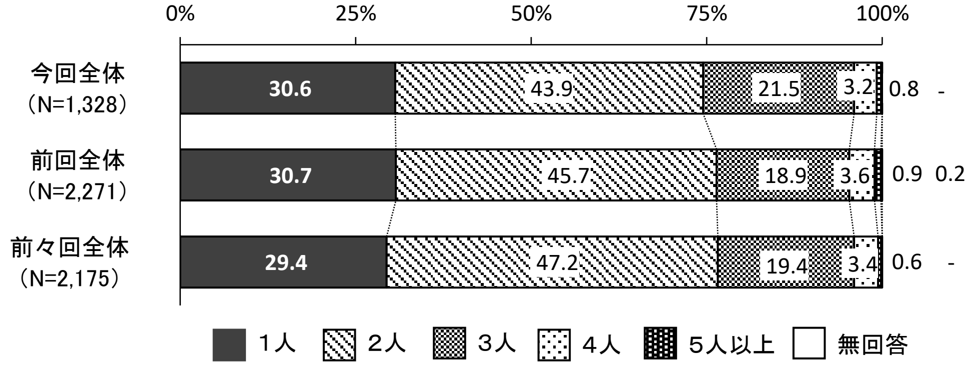
１．こどもの数の現状

問16 現在、あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

現在のこどもの数は、「２人」が 43.9％で最も高く、次いで「１人」が 30.6％、「３人」が 21.5％となっている。

過去の調査結果との比較では、前々回からほぼ同様の結果が続いている。

図表３－１　こどもの数の現状［全体］



【世帯収入別】

「１人」は世帯収入が低い層で割合が高くなっており、「３人」は世帯収入が高い層で割合が高いという傾向がみられる。「４人」と「５人以上」は、世帯収入が「200 万円未満」で他の世帯よりも割合が高くなっている。

図表３－２　こどもの数の現状［全体、性別、性別・年代別、世帯収入別、居住地域別］

(%)

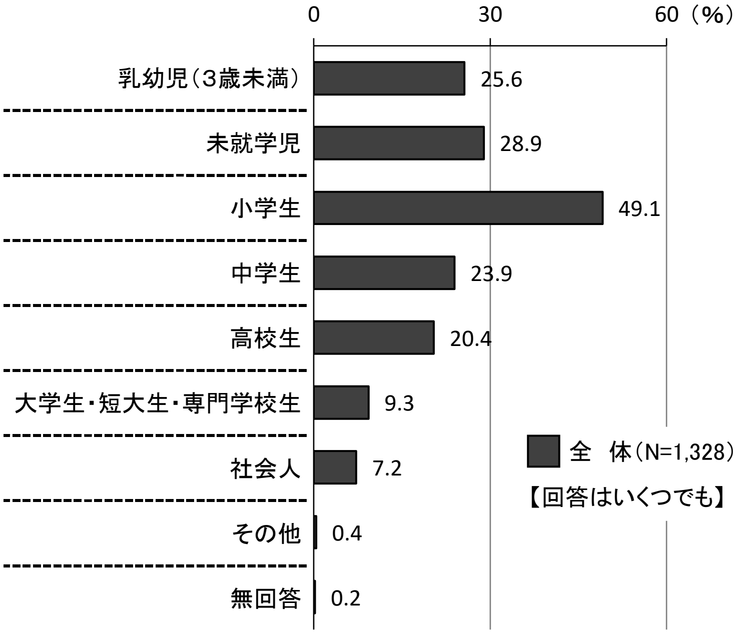
		標本数	1人	2人	3人	4人	5人以上	無回答
全体		1,328	406	583	286	43	10	－
		100.0	30.6	43.9	21.5	3.2	0.8	－
性別	男性	460	29.6	44.1	23.3	2.0	1.1	－
	女性	862	31.1	43.6	20.8	3.9	0.6	－
	無回答	6	33.3	66.7	－	－	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	58.8	32.4	8.8	－	－	－
	男性:30歳代	146	35.6	45.9	17.8	－	0.7	－
	男性:40歳代	277	23.1	44.0	28.2	3.2	1.4	－
	女性:18～20歳代	55	65.5	25.5	9.1	－	－	－
	女性:30歳代	328	34.5	42.4	18.6	4.3	0.3	－
	女性:40歳代	473	24.9	46.5	23.5	4.2	0.8	－
	無回答	15	20.0	66.7	13.3	－	－	－
世帯収入別	200万円未満	74	45.9	33.8	12.2	5.4	2.7	－
	200～400万円未満	184	32.6	42.9	19.0	4.9	0.5	－
	400～600万円未満	376	27.4	46.0	21.8	4.0	0.8	－
	600～1000万円未満	498	30.9	44.6	22.1	2.0	0.4	－
	1000万円以上	168	28.0	42.9	25.6	2.4	1.2	－
	無回答	28	28.6	42.9	25.0	3.6	－	－
居住地域別	福岡地域	717	32.6	45.0	19.0	2.6	0.7	－
	筑後地域	197	24.4	46.2	25.4	3.0	1.0	－
	筑豊地域	82	22.0	40.2	28.0	8.5	1.2	－
	北九州地域	306	31.7	40.8	23.9	3.3	0.3	－
	無回答	26	34.6	42.3	15.4	3.8	3.8	－

２．こどもの状況

問17　あなたのお子さんは、次のどれにあてはまりますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

こどもの状況については、「小学生」が 49.1％で最も高く、以下、「未就学児」が 28.9％、「乳幼児（３歳未満）」が 25.6％、「中学生」が 23.9％、「高校生」が 20.4％となっている。

図表３－３　こどもの状況［全体］



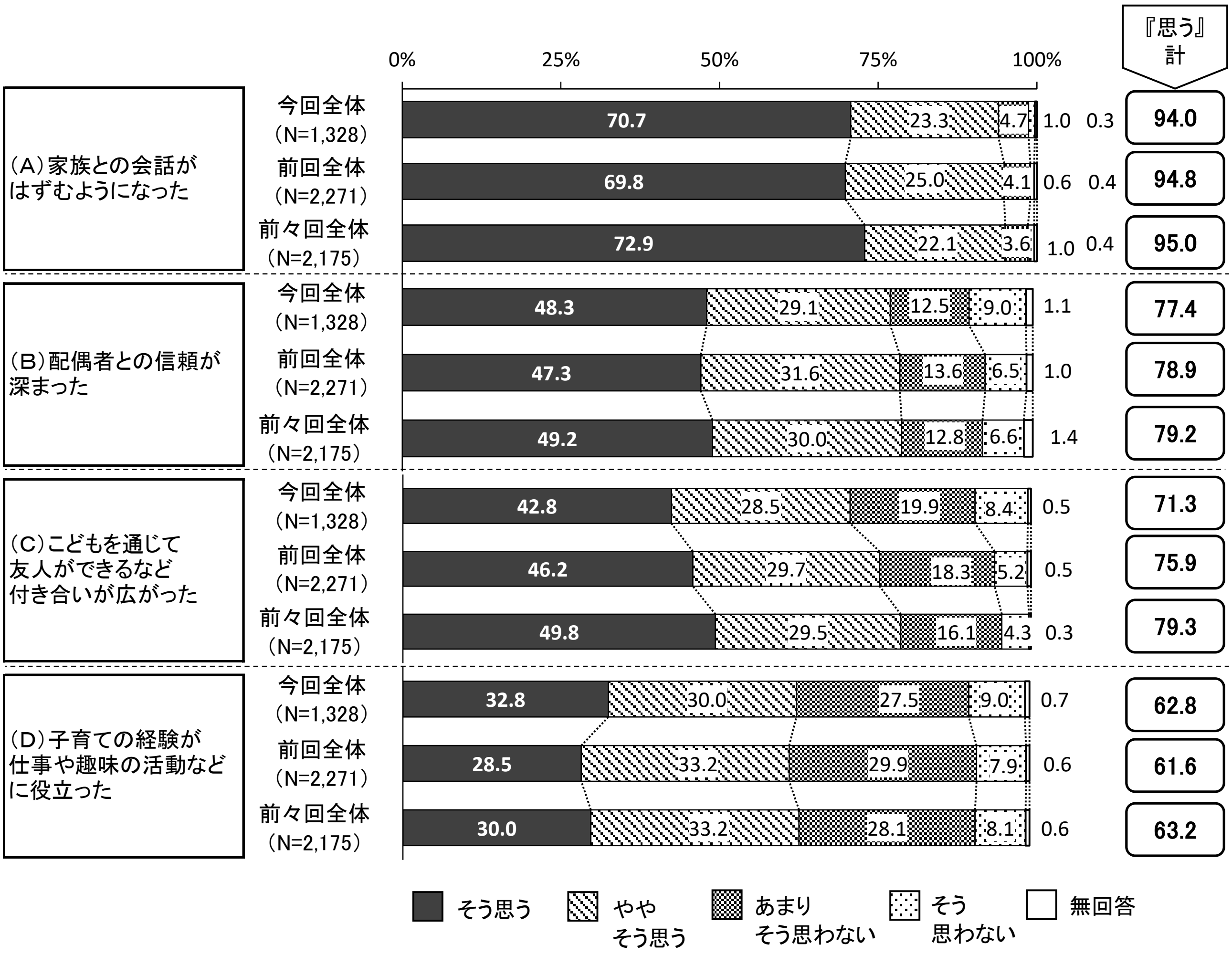
３．子育ての楽しさ

問18　あなたは、子育てをして良かったことや楽しかったことはありますか。ご自身の感じ方について、下の(A)～(H)の項目ごとにあてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

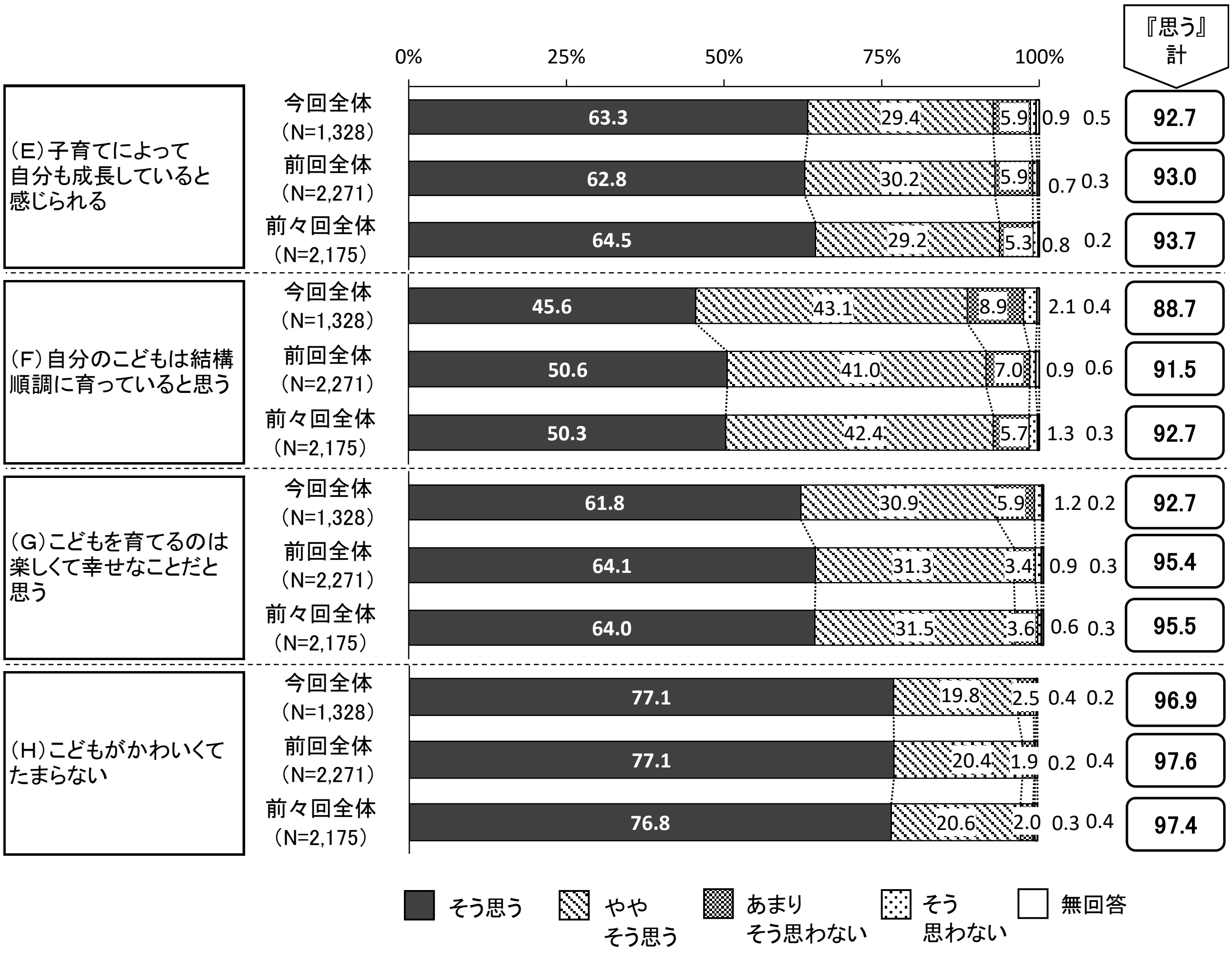
子育てをして良かったことや楽しかったことに関する８項目の評価についてみると、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた『思う』の割合は、いずれの項目も６割を超えている。特に、「(A) 家族との会話がはずむようになった」(94.0%) と「(E) 子育てによって自分も成長していると感じられる」(92.7%)、「(G) こどもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う」(92.7%)、「(H) こどもがかわいくてたまらない」(96.9%) の４項目は、『思う』が９割を超えてかなり高くなっている。

過去の調査との比較では、「(C) こどもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった」は、前々回調査から減少傾向が続いている。

図表３－４（１）子育ての楽しさ［全体］



図表３－４（２）子育ての楽しさ［全体］



【性別】

「（C）こどもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった」は、『思う』が女性は 76.0%で男性の 62.6%よりも 13.4 ポイント高くなっている。「（B）配偶者との信頼が深まった」は、『思う』が男性は 84.3%で女性の 73.5%よりも 10.8 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「（C）こどもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった」は、男女ともに 40 歳代で『思う』割合が高くなっており、特に女性では 81.4%と高い。「（D）子育ての経験が仕事や趣味の活動などに役立った」は男女ともに 18～20 歳代では『思う』割合が比較的低いが、30 歳代、40 歳代では高くなっており、特に男性の 30 歳代では 70.5%と高い。

図表３－５（１）子育ての楽しさ［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	(A)家族との会話がはずむようになった						(B)配偶者との信頼が深まった					
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	**『思う』計**	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	**『思う』計**
全体		1,328	939	310	62	13	4	**1,249**	641	386	166	120	15	**1,027**
		100.0	70.7	23.3	4.7	1.0	0.3	**94.0**	48.3	29.1	12.5	9.0	1.1	**77.4**
性別	男性	460	68.3	25.2	4.8	1.1	0.7	**93.5**	54.1	30.2	11.1	3.7	0.9	**84.3**
	女性	862	71.9	22.4	4.6	0.9	0.1	**94.3**	45.1	28.4	13.2	11.9	1.3	**73.5**
	無回答	6	83.3	16.7	－	－	－	**100.0**	50.0	33.3	16.7	－	－	**83.3**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	50.0	41.2	5.9	2.9	－	**91.2**	50.0	38.2	8.8	2.9	－	**88.2**
	男性:30歳代	146	72.6	19.9	4.8	1.4	1.4	**92.5**	66.4	19.9	9.6	2.7	1.4	**86.3**
	男性:40歳代	277	68.6	25.6	4.7	0.7	0.4	**94.2**	48.0	35.0	12.3	4.0	0.7	**83.0**
	女性:18～20歳代	55	72.7	20.0	7.3	－	－	**92.7**	56.4	20.0	12.7	9.1	1.8	**76.4**
	女性:30歳代	328	70.1	24.1	4.9	0.6	0.3	**94.2**	48.8	27.7	10.1	11.9	1.5	**76.5**
	女性:40歳代	473	73.2	21.6	4.0	1.3	－	**94.8**	41.4	29.6	15.4	12.5	1.1	**71.0**
	無回答	15	66.7	26.7	6.7	－	－	**93.4**	46.7	33.3	13.3	6.7	－	**80.0**
居住地域別	福岡地域	717	71.0	22.6	4.9	1.0	0.6	**93.6**	49.1	27.6	13.0	9.5	0.8	**76.7**
	筑後地域	197	67.5	26.4	4.6	1.5	－	**93.9**	44.7	34.5	11.2	8.6	1.0	**79.2**
	筑豊地域	82	75.6	17.1	6.1	1.2	－	**92.7**	52.4	20.7	11.0	14.6	1.2	**73.1**
	北九州地域	306	70.9	24.2	4.2	0.7	－	**95.1**	48.7	32.4	10.5	7.2	1.3	**81.1**
	無回答	26	69.2	30.8	－	－	－	**100.0**	34.6	15.4	38.5	3.8	7.7	**50.0**

		標本数	(C)こどもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった						(D)子育ての経験が仕事や趣味の活動などに役立った					
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	**『思う』計**	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	**『思う』計**
全体		1,328	568	379	264	111	6	**947**	435	399	365	120	9	**834**
		100.0	42.8	28.5	19.9	8.4	0.5	**71.3**	32.8	30.0	27.5	9.0	0.7	**62.8**
性別	男性	460	33.7	28.9	27.6	8.7	1.1	**62.6**	30.9	35.0	24.8	8.3	1.1	**65.9**
	女性	862	47.7	28.3	15.7	8.2	0.1	**76.0**	33.8	27.4	28.9	9.5	0.5	**61.2**
	無回答	6	33.3	33.3	33.3	－	－	**66.6**	33.3	33.3	33.3	－	－	**66.6**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	20.6	38.2	38.2	2.9	－	**58.8**	17.6	26.5	32.4	23.5	－	**44.1**
	男性:30歳代	146	32.9	24.7	28.1	12.3	2.1	**57.6**	34.9	35.6	19.2	8.2	2.1	**70.5**
	男性:40歳代	277	35.7	29.6	26.4	7.6	0.7	**65.3**	30.3	35.7	26.7	6.5	0.7	**66.0**
	女性:18～20歳代	55	40.0	23.6	25.5	10.9	－	**63.6**	16.4	34.5	40.0	9.1	－	**50.9**
	女性:30歳代	328	41.2	28.7	19.5	10.4	0.3	**69.9**	30.2	26.5	28.4	13.7	1.2	**56.7**
	女性:40歳代	473	52.9	28.5	12.1	6.6	－	**81.4**	38.1	27.1	28.1	6.8	－	**65.2**
	無回答	15	46.7	40.0	13.3	－	－	**86.7**	40.0	33.3	26.7	－	－	**73.3**
居住地域別	福岡地域	717	43.9	27.9	18.4	8.9	0.8	**71.8**	32.2	31.1	26.9	8.9	0.8	**63.3**
	筑後地域	197	43.1	30.5	20.3	6.1	－	**73.6**	28.9	34.5	27.4	8.1	1.0	**63.4**
	筑豊地域	82	51.2	19.5	23.2	6.1	－	**70.7**	37.8	20.7	34.1	6.1	1.2	**58.5**
	北九州地域	306	39.5	30.7	21.6	8.2	－	**70.2**	35.6	27.5	26.8	10.1	－	**63.1**
	無回答	26	19.2	34.6	26.9	19.2	－	**53.8**	26.9	26.9	30.8	15.4	－	**53.8**

図表３－５（２）子育ての楽しさ［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	(E)子育てによって自分も成長していると感じられる						(F)自分のこどもは結構順調に育っていると思う					
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	『思う』計	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	『思う』計
全体		1,328	841	390	78	12	7	**1,231**	605	572	118	28	5	**1,177**
		100.0	63.3	29.4	5.9	0.9	0.5	**92.7**	45.6	43.1	8.9	2.1	0.4	**88.7**
性別	男性	460	58.9	32.8	5.7	1.5	1.1	**91.7**	46.7	43.9	7.2	1.1	1.1	**90.6**
	女性	862	65.8	27.4	6.0	0.6	0.2	**93.2**	45.2	42.2	9.9	2.7	－	**87.4**
	無回答	6	50.0	50.0	－	－	－	**100.0**	－	100.0	－	－	－	**100.0**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	64.7	23.5	8.8	2.9	－	**88.2**	55.9	41.2	2.9	－	－	**97.1**
	男性:30歳代	146	58.2	32.9	6.2	0.7	2.1	**91.1**	50.0	40.4	6.2	0.7	2.7	**90.4**
	男性:40歳代	277	58.1	34.3	5.1	1.8	0.7	**92.4**	43.3	46.6	8.3	1.4	0.4	**89.9**
	女性:18～20歳代	55	67.3	27.3	5.5	－	－	**94.6**	52.7	40.0	5.5	1.8	－	**92.7**
	女性:30歳代	328	64.6	26.2	7.6	0.9	0.6	**90.8**	47.0	42.1	9.1	1.8	－	**89.1**
	女性:40歳代	473	66.2	28.3	5.1	0.4	－	**94.5**	43.1	42.9	10.6	3.4	－	**86.0**
	無回答	15	73.3	26.7	－	－	－	**100.0**	40.0	46.7	13.3	－	－	**86.7**
居住地域別	福岡地域	717	64.3	28.0	5.6	1.3	0.8	**92.3**	46.0	43.0	8.2	2.1	0.7	**89.0**
	筑後地域	197	59.9	31.5	8.1	0.5	－	**91.4**	42.6	45.2	9.6	2.5	－	**87.8**
	筑豊地域	82	64.6	30.5	4.9	－	－	**95.1**	43.9	43.9	11.0	1.2	－	**87.8**
	北九州地域	306	62.7	31.4	5.2	0.3	0.3	**94.1**	46.7	43.1	7.8	2.3	－	**89.8**
	無回答	26	65.4	23.1	7.7	3.8	－	**88.5**	46.2	26.9	26.9	－	－	**73.1**

		標本数	(G)こどもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う						(H)こどもがかわいくてたまらない					
			そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	『思う』計	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない	無回答	『思う』計
全体		1,328	821	410	78	16	3	**1,231**	1,024	263	33	5	3	**1,287**
		100.0	61.8	30.9	5.9	1.2	0.2	**92.7**	77.1	19.8	2.5	0.4	0.2	**96.9**
性別	男性	460	64.8	29.6	4.3	0.7	0.7	**94.4**	78.7	17.8	2.4	0.4	0.7	**96.5**
	女性	862	60.4	31.3	6.7	1.5	－	**91.7**	76.3	20.8	2.6	0.3	－	**97.1**
	無回答	6	33.3	66.7	－	－	－	**100.0**	66.7	33.3	－	－	－	**100.0**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	58.8	35.3	2.9	2.9	－	**94.1**	82.4	14.7	2.9	－	－	**97.1**
	男性:30歳代	146	71.9	21.9	3.4	0.7	2.1	**93.8**	84.9	11.6	1.4	－	2.1	**96.5**
	男性:40歳代	277	61.7	32.9	5.1	0.4	－	**94.6**	74.7	21.7	2.9	0.7	－	**96.4**
	女性:18～20歳代	55	69.1	27.3	3.6	－	－	**96.4**	89.1	9.1	1.8	－	－	**98.2**
	女性:30歳代	328	64.9	28.4	4.9	1.8	－	**93.3**	80.8	16.8	2.1	0.3	－	**97.6**
	女性:40歳代	473	56.2	33.8	8.5	1.5	－	**90.0**	71.7	24.9	3.0	0.4	－	**96.6**
	無回答	15	53.3	46.7	－	－	－	**100.0**	80.0	20.0	－	－	－	**100.0**
居住地域別	福岡地域	717	63.9	28.0	6.4	1.3	0.4	**91.9**	76.4	19.8	2.9	0.4	0.4	**96.2**
	筑後地域	197	60.4	32.0	6.6	1.0	－	**92.4**	78.7	19.8	1.0	0.5	－	**98.5**
	筑豊地域	82	53.7	39.0	6.1	1.2	－	**92.7**	75.6	20.7	3.7	－	－	**96.3**
	北九州地域	306	60.1	34.0	4.6	1.3	－	**94.1**	78.8	18.6	2.3	0.3	－	**97.4**
	無回答	26	61.5	38.5	－	－	－	**100.0**	69.2	30.8	－	－	－	**100.0**

４．子育ての悩みや不安

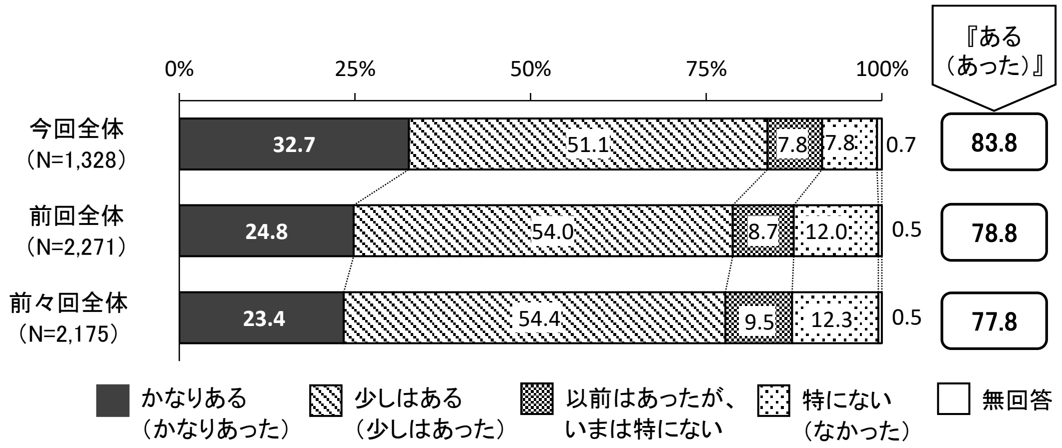
（１）子育ての悩みや不安の有無

問19 あなたは、子育てをする上で悩みや不安があります(した)か。次の中からあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

子育ての悩みや不安の有無をたずねたところ、「少しはある（少しはあった）」が 51.1％で最も高く、次いで「かなりある（かなりあった）」が 32.7％と、これら２つを合わせた『ある（あった）』の割合は 83.8％となっている。

過去の調査結果と比較すると、「かなりある（かなりあった）」が前回調査よりも 7.9 ポイント増加しており、強い悩みや不安を抱く人が増える傾向にある。

図表３－６　子育ての悩みや不安の有無［全体］



【性別】

「かなりある（かなりあった）」の割合は、女性が 35.2％、男性が 28.0％となっており、女性の方が 7.2 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「かなりある（かなりあった）」は、男性では年代による差はあまりないが、女性では年代が高くなるほど割合も高くなっており、40 歳代では 37.8％となっている。

【配偶関係別】

配偶者（パートナー）と離・死別した人に「かなりある（かなりあった）」の割合が 51.9％と高くなっている。

【世帯収入別】

世帯収入が「200 万円未満」と「200～400 万円未満」で、「かなりある（かなりあった）」の割合が４割以上と高くなっている。

図表３－７　子育ての悩みや不安の有無［全体、性別、性別・年代別、配偶関係別、世帯収入別、居住地域別］

（%）

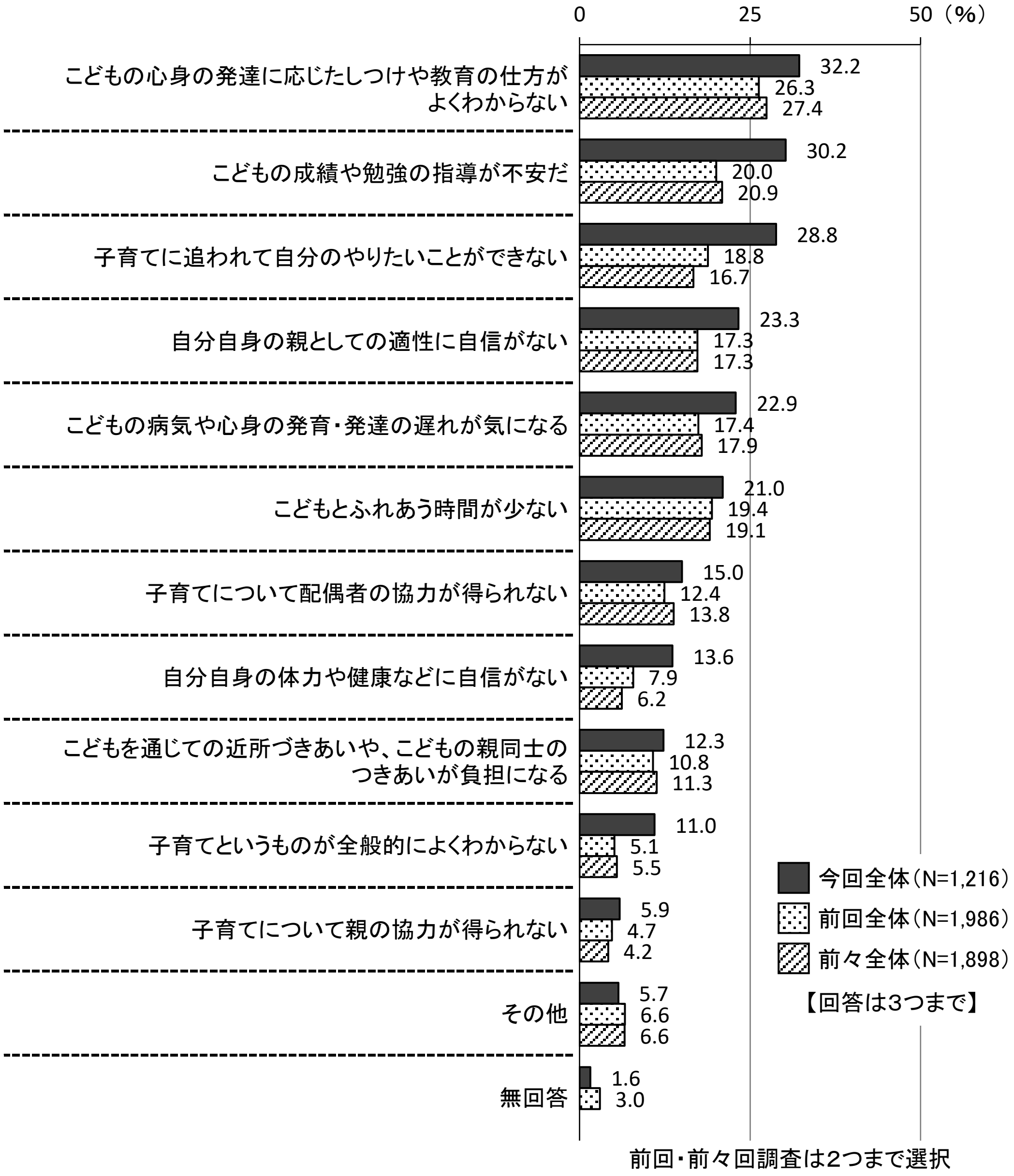
		標本数	かなりある（かなりあった）	少しはある（少しはあった）	以前はあったが、いまは特にない	特にない（なかった）	無回答
全体		1,328	434	679	103	103	9
		100.0	32.7	51.1	7.8	7.8	0.7
性別	男性	460	28.0	52.4	9.1	10.0	0.4
	女性	862	35.2	50.3	7.1	6.6	0.8
	無回答	6	33.3	66.7	－	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	26.5	52.9	8.8	11.8	－
	男性:30歳代	146	29.5	48.6	11.0	9.6	1.4
	男性:40歳代	277	27.8	54.9	7.9	9.4	－
	女性:18～20歳代	55	29.1	49.1	7.3	14.5	－
	女性:30歳代	328	31.4	56.7	4.3	6.4	1.2
	女性:40歳代	473	38.7	45.9	8.9	5.9	0.6
	無回答	15	20.0	53.3	13.3	13.3	－
配偶関係別	未婚	23	34.8	52.2	8.7	4.3	－
	配偶者（パートナー）がいる	1,190	31.0	52.4	7.6	8.2	0.8
	配偶者（パートナー）と離・死別した	108	51.9	34.3	9.3	4.6	－
	無回答	7	14.3	85.7	－	－	－
世帯収入別	200万円未満	74	40.5	47.3	9.5	2.7	－
	200～400万円未満	184	45.1	38.6	7.6	7.6	1.1
	400～600万円未満	376	35.1	50.0	6.6	7.4	0.8
	600～1000万円未満	498	27.3	56.2	8.2	7.4	0.8
	1000万円以上	168	26.2	52.4	9.5	11.9	－
	無回答	28	32.1	60.7	－	7.1	－
居住地域別	福岡地域	717	32.4	50.8	6.7	9.1	1.1
	筑後地域	197	32.5	51.8	8.6	6.6	0.5
	筑豊地域	82	37.8	47.6	8.5	6.1	－
	北九州地域	306	32.7	51.6	9.5	6.2	－
	無回答	26	26.9	61.5	7.7	3.8	－

（２）子育ての悩みや不安の内容（心理面）

SQ1【問19で 1～3 と答えた方に】心理的な面での、あなたの子育ての悩みはどんなことです(した)か。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

子育ての悩みや不安が『ある（あった)』と答えた人に、心理面での悩みや不安の内容についてたずねたところ、「こどもの心身の発達に応じたしつけや教育の仕方がよくわからない」（32.2%)、「こどもの成績や勉強の指導が不安だ」（30.2%)、「子育てに追われて自分のやりたいことができない」（28.8%）の順で高くなっている。また、「自分自身の親としての適性に自信がない」（23.3%）と「こどもの病気や心身の発育・発達の遅れが気になる」（22.9%)、「こどもとふれあう時間が少ない」（21.0%）の３項目も２割を超えて比較的高い。

図表３－８　子育ての悩みや不安の内容（心理面）［全体］



Ⅱ　調査結果

【性別】

特に男女の差が大きいのは「子育てについて配偶者の協力が得られない」で、女性が 21.3%であるのに対して男性は 3.2%に過ぎない。「子育てに追われて自分のやりたいことができない」（男性22.8%、女性 31.8%）も女性の方が９ポイント高くなっている。一方、「こどもとふれあう時間が少ない」は男性で 29.4%と高く、女性の 16.8%とは 12.6 ポイントの差がある。

【性別・年代別】

全体として年代による差がみられる項目が多くなっている。「子育てに追われて自分のやりたいことができない」は、女性の 18～20 歳代で 48.9%と特に高い。「こどもの成績や勉強の指導が不安だ」は、男女ともに 40 歳代で３割台と高くなっている。「子育てというものが全般的によくわからない」は、男性の 18～20 歳代で 23.3%、「自分自身の親としての適性に自信がない」は、女性の 18～20 歳代で 29.8%と高くなっている。

【子育ての悩みや不安別】

子育ての悩みや不安が「かなりある（かなりあった）」場合、「子育てについて配偶者の協力が得られない」（24.0%）や「自分自身の親としての適性に自信がない」（32.0%）などが全体でみたときよりも割合が高くなっている。

【こどもの状況別】

「子育てに追われて自分のやりたいことができない」は、こどもが乳幼児（３歳未満）の場合に 40.2%と特に高くなっている。また、「こどもの成績や勉強の指導が不安だ」は、こどもが中学生の場合に 49.8%と特に高くなっている 。

図表３－９　子育ての悩みや不安の内容（心理面）［全体、性別、性別・年代別、子育ての悩みや不安別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

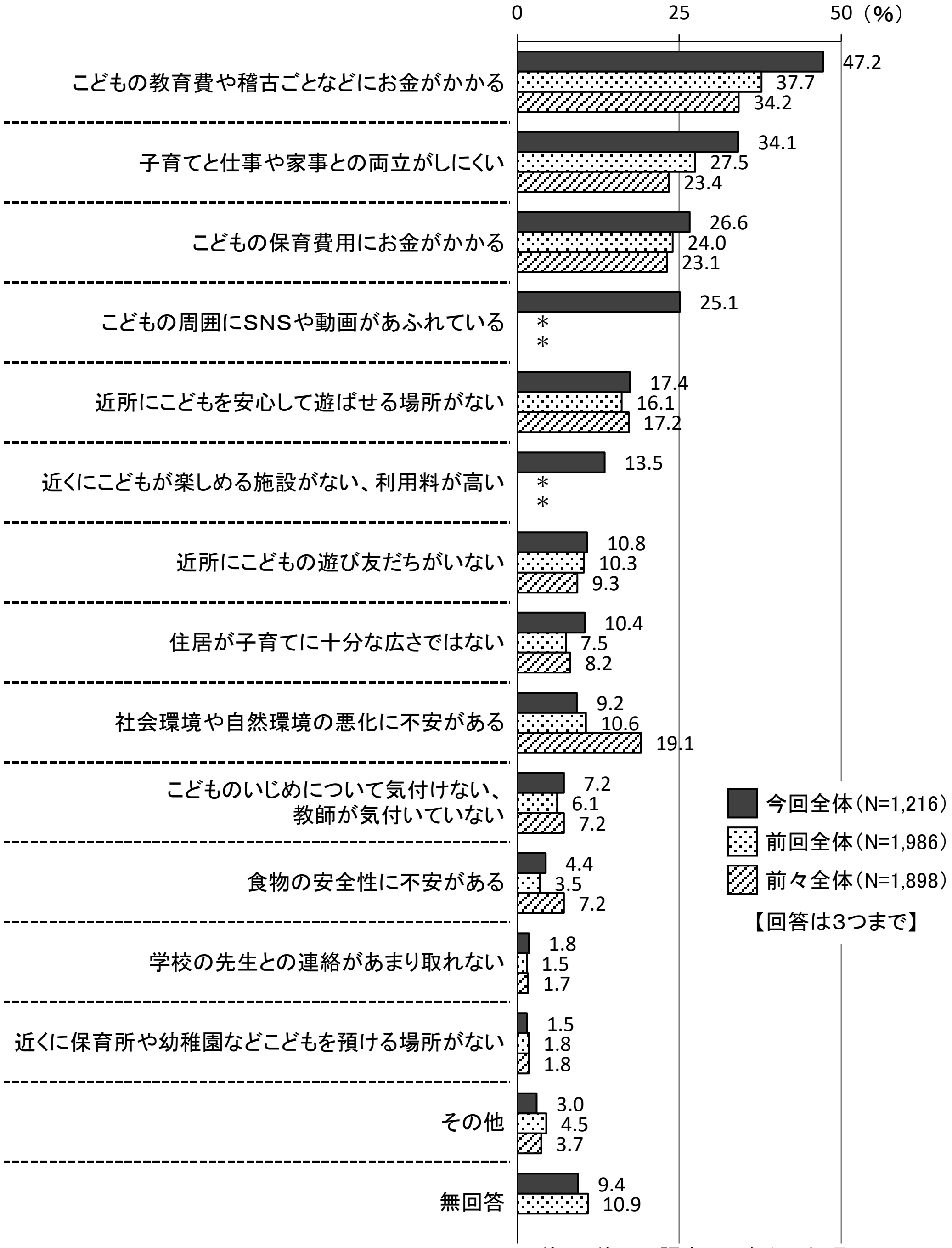
		標本数	子育てについて配偶者の協力が得られない	子育てについて親の協力が得られない	子育てというものが全般的によくわからない	こどもの病気や心身の発育・発達の遅れが気になる	こどもの心身の発達に応じたしつけや教育の仕方がよくわからない	こどもとふれあう時間が少ない	子育てに追われて自分のやりたいことができない	こどもを通じての近所づきあいや、こどもの親同士のつきあいが負担になる	こどもの成績や勉強の指導が不安だ	自分自身の親としての適性に自信がない	自分自身の体力や健康などに自信がない	その他	無回答
全体		1,216	183	72	134	279	392	255	350	150	367	283	165	69	19
		100.0	15.0	5.9	11.0	22.9	32.2	21.0	28.8	12.3	30.2	23.3	13.6	5.7	1.6
性別	男性	412	3.2	3.4	15.3	21.1	35.9	29.4	22.8	9.0	31.8	21.6	10.7	4.1	2.7
	女性	798	21.3	7.3	8.9	23.8	30.1	16.8	31.8	14.0	29.3	24.2	15.0	6.5	1.0
	無回答	6	－	－	－	33.3	66.7	－	33.3	16.7	33.3	16.7	16.7	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	30	10.0	10.0	23.3	26.7	36.7	23.3	26.7	10.0	23.3	16.7	3.3	－	－
	男性:30歳代	130	－	2.3	18.5	22.3	38.5	27.7	27.7	10.0	23.1	24.6	9.2	4.6	1.5
	男性:40歳代	251	4.0	3.2	12.7	19.9	34.7	31.1	19.9	8.4	37.5	20.7	12.0	4.4	3.6
	女性:18～20歳代	47	25.5	－	10.6	25.5	25.5	10.6	48.9	10.6	17.0	29.8	12.8	6.4	－
	女性:30歳代	303	16.5	5.6	10.2	27.7	34.7	17.8	35.0	8.9	23.8	24.8	15.2	7.3	1.3
	女性:40歳代	442	23.5	9.0	7.9	21.3	27.6	16.7	27.4	17.9	34.8	23.5	15.4	5.9	0.9
	無回答	13	30.8	7.7	－	15.4	38.5	7.7	46.2	15.4	15.4	7.7	15.4	7.7	－
子育ての悩みや不安別	かなりある（かなりあった）	434	24.0	8.5	15.4	27.9	38.7	19.4	29.3	12.7	29.3	32.0	14.7	6.2	0.2
	少しはある（少しはあった）	679	9.4	4.4	8.2	21.2	30.6	22.1	28.9	12.4	32.0	19.4	13.1	4.7	1.8
	以前はあったが、いまは特にない	103	14.6	4.9	10.7	13.6	15.5	20.4	26.2	10.7	22.3	11.7	11.7	9.7	5.8
こどもの状況別	乳幼児（3歳未満）	306	11.8	5.6	17.0	27.5	38.6	20.3	40.2	6.5	14.4	22.5	15.4	4.6	0.7
	未就学児	353	11.0	4.2	10.2	26.6	36.3	23.2	33.7	9.1	23.2	27.2	17.0	5.4	1.7
	小学生	601	12.8	7.5	8.3	22.0	34.9	22.6	27.5	13.5	39.1	23.6	12.5	5.3	1.3
	中学生	297	15.8	4.4	7.7	18.5	34.0	17.5	22.9	15.8	49.8	25.3	9.1	4.7	1.3
	高校生	252	23.0	5.6	10.7	17.9	25.0	19.8	23.0	15.1	36.5	21.8	9.5	5.2	2.4
	大学生・短大生・専門学校生	113	27.4	10.6	11.5	15.9	19.5	22.1	23.9	18.6	23.0	19.5	13.3	7.1	2.7
	社会人	89	29.2	12.4	5.6	25.8	22.5	19.1	24.7	12.4	25.8	13.5	16.9	6.7	1.1
	その他	4	25.0	－	－	75.0	50.0	25.0	25.0	－	25.0	50.0	－	－	－
	無回答	2	50.0	－	50.0	－	－	50.0	50.0	－	－	50.0	－	－	－
居住地域別	福岡地域	644	14.9	5.9	11.8	23.9	33.5	19.1	28.1	13.0	29.2	24.2	12.7	5.1	1.6
	筑後地域	183	19.7	5.5	10.4	19.7	28.4	26.2	32.2	14.2	26.8	22.4	11.5	4.4	3.8
	筑豊地域	77	13.0	5.2	11.7	26.0	31.2	18.2	27.3	11.7	33.8	24.7	20.8	9.1	1.3
	北九州地域	287	13.2	6.6	9.4	21.6	32.1	23.7	30.3	8.7	34.1	20.6	15.3	5.9	0.3
	無回答	25	12.0	4.0	12.0	28.0	32.0	8.0	8.0	24.0	24.0	32.0	8.0	16.0	－

（３）子育ての悩みや不安の内容（環境面）

> SQ2【問19で 1～3 と答えた方に】環境面での、あなたの子育ての悩みはどんなことです(した)か。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。(○は3つまで)

子育ての悩みや不安が『ある（あった)』と答えた人に、環境面での悩みや不安の内容についてたずねたところ、「こどもの教育費や稽古ごとなどにお金がかかる」が 47.2%で最も高く、次いで、「子育てと仕事や家事との両立がしにくい」(34.1%)、「こどもの保育費用にお金がかかる」(26.6%)、「こどもの周囲に SNS や動画があふれている」(25.1%) となっている。

図表３－10　子育ての悩みや不安の内容（環境面）［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目
前回・前々回調査は2つまで選択

【性別】

「子育てと仕事や家事との両立がしにくい」は、男性（29.9%）よりも女性（36.5%）の方が 6.6 ポイント高く、「こどもの保育費用にお金がかかる」（男性 30.8%、女性 24.3%）は男性の方が 6.5 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「こどもの保育費用にお金がかかる」は、男女ともに 18～20 歳代で５割を超えて特に高い。「こどもの周囲に SNS や動画があふれている」は、年代が高くなるほど割合は高くなっている。

【子育ての悩みや不安別】

子育ての悩みや不安が「かなりある（あった）」場合に「子育てと仕事や家事との両立がしにくい」が 43.1%と他の場合よりも高くなっている。

【こどもの状況別】

「こどもの保育費用にお金がかかる」は、こどもが乳幼児（３歳未満）の場合に 45.4%と最も高い。「こどもの周囲に SNS や動画があふれている」は、こどもが中学生や高校生の場合、約 37%と高い。

図表３－11　子育ての悩みや不安の内容（環境面）［全体、性別、性別・年代別、子育ての悩みや不安別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	近所にこどもの遊び友だちがいない	近所にこどもを安心して遊ばせる場所がない	近くに保育所や幼稚園などこどもを預ける場所がない	学校の先生との連絡があまり取れない	こどものいじめについて気付けない、教師が気付いていない	こどもの保育費用にお金がかかる	こどもの教育費や稽古ごとなどにお金がかかる	住居が子育てに十分な広さではない	社会環境や自然環境の悪化に不安がある	食物の安全性に不安がある	子育てと仕事や家事との両立がしにくい	近くにこどもが楽しめる施設がない、利用料が高い	こどもの周囲にSNSや動画があふれている	その他	無回答
全体		1,216	131	211	18	22	88	323	574	126	112	54	415	164	305	37	114
		100.0	10.8	17.4	1.5	1.8	7.2	26.6	47.2	10.4	9.2	4.4	34.1	13.5	25.1	3.0	9.4
性別	男性	412	10.2	18.0	1.5	1.5	8.7	30.8	46.1	11.2	10.7	3.4	29.9	13.8	21.8	1.7	9.7
	女性	798	11.0	17.2	1.5	2.0	6.5	24.3	47.7	9.9	8.3	5.0	36.5	13.4	26.6	3.8	9.3
	無回答	6	16.7	－	－	－	－	33.3	50.0	16.7	33.3	－	16.7	－	50.0	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	30	20.0	13.3	6.7	－	3.3	66.7	23.3	20.0	6.7	10.0	30.0	13.3	3.3	－	13.3
	男性:30歳代	130	8.5	20.0	1.5	2.3	7.7	35.4	39.2	14.6	10.8	3.1	36.2	17.7	15.4	1.5	8.5
	男性:40歳代	251	10.0	17.5	0.8	1.2	10.0	24.3	52.2	8.4	11.2	2.8	26.7	12.0	27.1	2.0	10.0
	女性:18～20歳代	47	4.3	14.9	－	－	2.1	53.2	31.9	14.9	12.8	6.4	42.6	10.6	10.6	－	14.9
	女性:30歳代	303	12.2	17.5	1.7	1.7	3.6	29.4	42.9	14.5	7.3	5.0	38.9	15.8	16.8	2.6	10.6
	女性:40歳代	442	11.1	17.4	1.6	2.5	8.8	17.6	53.2	6.3	8.6	5.0	33.9	12.0	34.6	4.8	7.7
	無回答	13	7.7	－	－	－	7.7	30.8	38.5	7.7	15.4	－	30.8	7.7	53.8	7.7	7.7
子育ての悩みや不安別	かなりある(かなりあった)	434	10.6	18.9	2.5	2.3	8.5	28.8	49.3	13.1	8.5	3.7	43.1	13.4	25.3	4.4	6.5
	少しはある(少しはあった)	679	11.5	17.2	1.0	1.5	7.1	25.0	46.8	8.5	9.6	4.7	30.6	14.1	25.8	2.2	9.9
	以前はあったが、いまは特にない	103	6.8	11.7	－	1.9	2.9	27.2	40.8	10.7	9.7	5.8	19.4	9.7	19.4	2.9	18.4
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	306	15.7	16.0	2.3	0.3	2.0	45.4	31.4	17.0	8.5	5.9	42.8	14.4	11.1	2.3	9.8
	未就学児	353	13.9	19.3	1.7	1.7	5.4	24.6	42.8	12.7	10.8	5.9	35.7	14.2	20.1	3.7	12.2
	小学生	601	9.8	19.8	1.2	2.3	7.7	20.6	52.9	9.3	9.0	3.7	32.9	16.6	27.0	2.5	10.3
	中学生	297	6.1	16.5	1.0	1.3	7.1	22.6	61.6	6.7	9.4	3.0	27.9	13.5	37.4	3.4	9.4
	高校生	252	3.2	13.9	1.2	2.8	9.1	24.2	59.5	8.3	9.5	2.4	31.3	8.7	37.3	3.2	6.7
	大学生・短大生・専門学校生	113	3.5	15.9	0.9	3.5	10.6	28.3	66.4	4.4	12.4	4.4	31.9	11.5	33.6	3.5	5.3
	社会人	89	5.6	13.5	2.2	3.4	18.0	25.8	47.2	11.2	6.7	2.2	34.8	7.9	29.2	4.5	4.5
	その他	4	－	50.0	－	－	50.0	25.0	50.0	－	25.0	－	25.0	－	50.0	－	－
	無回答	2	－	－	－	－	－	50.0	50.0	－	－	－	100.0	－	50.0	－	－
居住地域別	福岡地域	644	9.2	15.7	1.9	1.9	6.7	26.6	47.0	13.0	10.1	4.2	35.9	12.0	23.6	3.3	9.0
	筑後地域	183	12.6	21.9	1.6	0.5	6.0	30.6	45.9	7.1	8.2	3.8	33.9	15.3	23.5	1.1	10.4
	筑豊地域	77	20.8	28.6	－	1.3	11.7	22.1	42.9	9.1	10.4	6.5	27.3	15.6	27.3	6.5	10.4
	北九州地域	287	10.5	16.0	0.7	2.8	8.4	25.8	50.5	7.3	7.3	4.9	33.1	15.0	27.9	2.4	9.4
	無回答	25	12.0	8.0	4.0	－	4.0	20.0	36.0	4.0	12.0	4.0	24.0	16.0	36.0	8.0	8.0

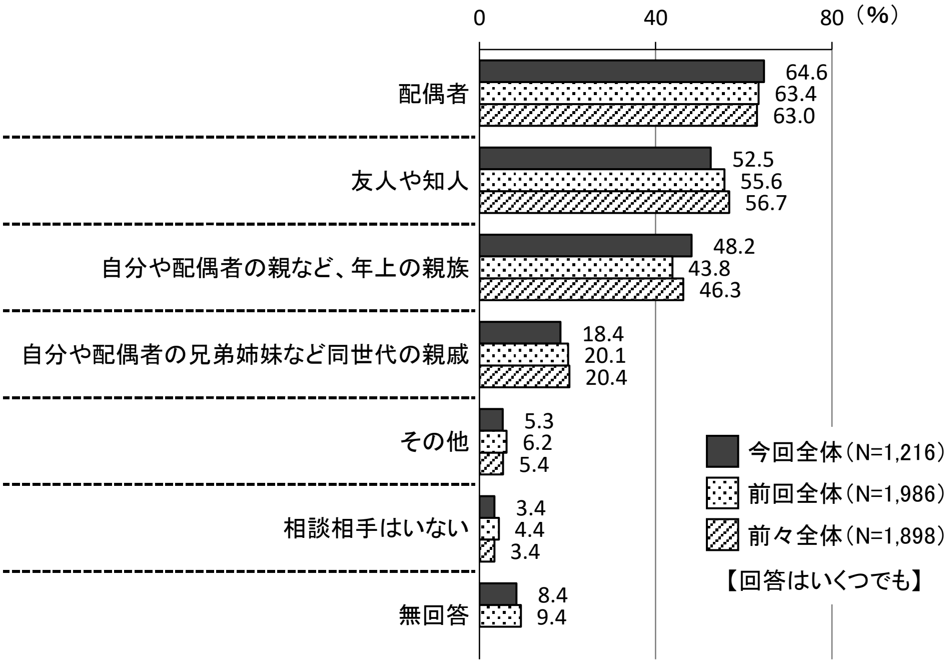
（４）子育ての悩みや不安の相談相手

> SQ3【問19で 1～3 と答えた方に】あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談した相手はだれです(した)か。次の中からあてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

子育ての悩みや不安が『ある（あった)』と答えた人に、悩みや不安の相談相手についてたずねたところ、「配偶者」が 64.6％で最も高く、次いで「友人や知人」（52.5％）と「自分や配偶者の親など、年上の親族」（48.2％）となっている。「相談相手はいない」人は 3.4％と少ない。

過去の調査との比較では、「友人・知人」の割合が前々回調査から若干の減少傾向となっている。

図表３－12　子育ての悩みや不安の相談相手［全体］



【性別】

「配偶者」は、女性（59.9%）よりも男性（73.5%）の方が 13.6 ポイント高くなっているが、その他はいずれも女性の方が高く、特に「友人や知人」（男性 38.1%、女性 59.9%）では 21.8 ポイントと差が大きい。

【性別・年代別】

女性では年代が高くなるほど「友人や知人」の割合が高くなる傾向が顕著で、40 歳代では 65.8%で最も多い相談相手となっている。「自分や配偶者の親など、年上の親族」は、男女ともに 40 歳代で他の年代よりも低い割合となっている。

【こどもの状況別】

「自分や配偶者の親など、年上の親族」は、乳幼児（３歳未満）の場合に 58.8%と高くなっている。「友人や知人」は、こどもが小学生以降の場合には５割を超えて高くなっている。

図表３－13　子育ての悩みや不安の相談相手［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

（%）

		標本数	配偶者	自分や配偶者の親など、年上の親族	自分や配偶者の兄弟姉妹など同世代の親戚	友人や知人	その他	相談相手はいない	無回答
全体		1,216	785	586	224	639	64	41	102
		100.0	64.6	48.2	18.4	52.5	5.3	3.4	8.4
性別	男性	412	73.5	37.1	13.8	38.1	3.4	4.6	8.7
	女性	798	59.9	53.9	20.9	59.9	6.3	2.8	8.3
	無回答	6	66.7	50.0	－	66.7	－	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	30	80.0	43.3	13.3	26.7	－	－	13.3
	男性:30歳代	130	79.2	49.2	16.9	40.0	3.1	3.1	6.9
	男性:40歳代	251	70.1	30.3	12.4	38.6	4.0	5.6	9.2
	女性:18～20歳代	47	59.6	61.7	14.9	38.3	4.3	2.1	10.6
	女性:30歳代	303	63.0	61.4	20.8	54.8	5.6	3.3	8.6
	女性:40歳代	442	58.1	48.2	21.7	65.8	6.8	2.5	7.7
	無回答	13	46.2	38.5	7.7	53.8	7.7	7.7	7.7
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	306	75.8	58.8	21.6	48.0	2.0	2.0	7.8
	未就学児	353	67.7	46.2	17.6	47.9	5.7	2.8	10.8
	小学生	601	68.2	45.8	18.1	54.4	5.3	3.0	8.8
	中学生	297	63.0	43.8	18.9	55.2	6.1	3.7	8.8
	高校生	252	55.2	44.0	18.3	56.0	6.0	5.6	7.1
	大学生･短大生･専門学校生	113	54.9	39.8	21.2	53.1	9.7	8.0	4.4
	社会人	89	46.1	34.8	18.0	60.7	6.7	5.6	5.6
	その他	4	50.0	50.0	25.0	75.0	－	－	－
	無回答	2	50.0	－	－	50.0	50.0	－	－
居住地域別	福岡地域	644	65.8	47.0	20.2	52.8	5.3	3.0	8.9
	筑後地域	183	61.2	51.9	18.6	48.1	8.2	2.7	7.1
	筑豊地域	77	53.2	58.4	19.5	68.8	7.8	3.9	7.8
	北九州地域	287	67.6	45.6	13.6	51.2	2.4	4.5	8.7
	無回答	25	56.0	48.0	24.0	44.0	8.0	4.0	4.0

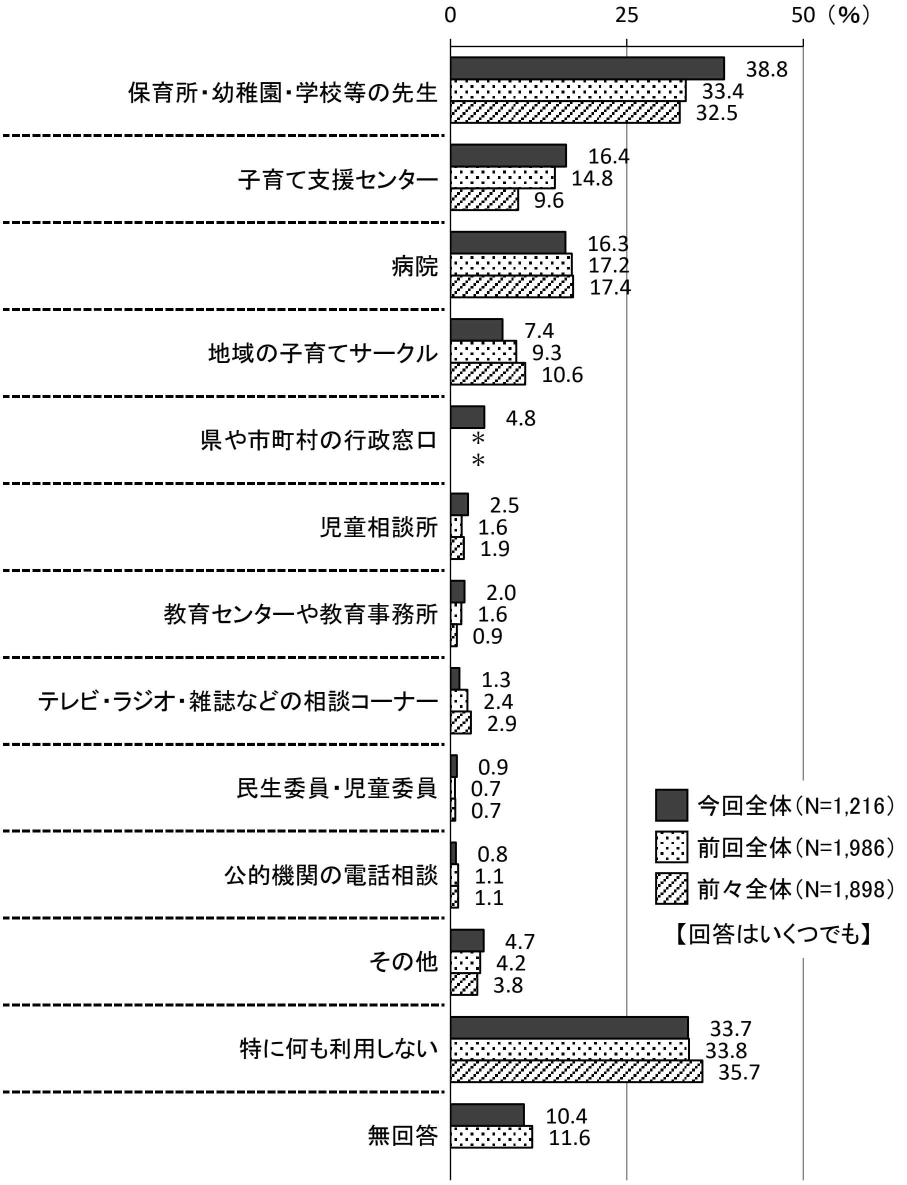
（５）子育ての悩みや不安を相談した施設・人物

SQ4【問19で 1～3 と答えた方に】あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安を相談するのに利用する(した)ものはあります(した)か。次の中からあてはまるものを選んでください。
(〇はいくつでも)

子育ての悩みや不安が『ある（あった)』と答えた人が、悩みや不安を相談するのに利用する（した）施設等としては、「保育所・幼稚園・学校等の先生」が 38.8%で最も高く、次いで「子育て支援センター」（16.4%)、「病院」（16.3%）の順となっている。「県や市町村の行政窓口」など、その他の施設等については１割以下の低い割合となっている。

過去の調査結果と比較すると、「保育所・幼稚園・学校等の先生」が前回調査よりも 5.4 ポイント増加している。「子育て支援センター」も前々回調査から増加傾向が続いている。

図表３－14　子育ての悩みや不安を相談した施設・人物［全体］



＊前回・前々回調査ではなかった項目

【性別】

「保育所・幼稚園・学校等の先生」（男性 30.6%、女性 42.9%）や「子育て支援センター」（同 11.4%、18.7%）など、多くの項目で女性の方が割合は高くなっている。男性は「特に何も利用しない」が 45.1%で女性の 27.9%よりも 17.2 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

女性の 18～20 歳代では、「保育所・幼稚園・学校等の先生」が 10.6%と他の年代よりも低く、「特に何も利用しない」が 40.4%と高くなっている。

【こどもの状況別】

「保育所・幼稚園・学校等の先生」は、こどもが未就学児（45.6%）と小学生（42.4%）の場合に４割以上と高い。こどもが中学生以降の年齢の場合には、「特に何も利用しない」の割合が高くなっている。

図表３－15　子育ての悩みや不安を相談した施設・人物［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	地域の子育てサークル	子育て支援センター	保育所・幼稚園・学校等の先生	児童相談所	県や市町村の行政窓口	教育センターや教育事務所	病院	民生委員・児童委員	公的機関の電話相談	テレビ・ラジオ・雑誌などの相談コーナー	その他	特に何も利用しない	無回答
全体		1,216	90	199	472	30	58	24	198	11	10	16	57	410	127
		100.0	7.4	16.4	38.8	2.5	4.8	2.0	16.3	0.9	0.8	1.3	4.7	33.7	10.4
性別	男性	412	2.9	11.4	30.6	2.4	2.9	2.2	13.6	1.0	0.5	1.0	3.4	45.1	11.2
	女性	798	9.6	18.7	42.9	2.5	5.6	1.9	17.5	0.9	0.9	1.5	5.4	27.9	10.2
	無回答	6	16.7	50.0	66.7	－	16.7	－	33.3	－	16.7	－	－	16.7	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	30	3.3	16.7	13.3	－	3.3	－	10.0	－	－	－	3.3	53.3	13.3
	男性:30歳代	130	2.3	16.9	36.2	2.3	0.8	1.5	17.7	－	－	2.3	1.5	40.8	10.0
	男性:40歳代	251	3.2	8.0	29.9	2.8	4.0	2.8	12.0	1.6	0.8	0.4	4.4	46.6	11.2
	女性:18～20歳代	47	4.3	10.6	10.6	－	4.3	2.1	10.6	－	2.1	4.3	10.6	40.4	10.6
	女性:30歳代	303	6.3	20.8	50.8	2.6	5.0	1.0	17.8	0.3	0.7	1.0	4.3	24.1	10.6
	女性:40歳代	442	12.4	17.9	40.7	2.7	6.3	2.0	17.6	1.4	0.9	1.4	5.4	29.6	9.7
	無回答	13	15.4	38.5	53.8	－	7.7	15.4	38.5	－	7.7	7.7	7.7	7.7	15.4
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	620	2.9	9.7	18.2	0.6	1.9	1.0	7.9	0.2	0.2	1.1	2.7	15.8	4.7
	未就学児	353	5.1	20.4	45.6	2.5	5.1	1.7	16.7	0.8	1.4	1.7	5.1	28.0	11.6
	小学生	601	8.2	17.3	42.4	2.7	3.7	2.0	15.0	0.8	0.7	0.8	4.8	31.9	11.5
	中学生	297	11.4	13.1	35.7	2.4	3.7	3.0	14.1	1.3	0.7	0.7	4.0	36.7	12.5
	高校生	252	9.9	13.5	36.1	4.0	6.3	0.8	15.9	2.0	1.6	1.2	5.2	38.9	9.1
	大学生･短大生･専門学校生	113	14.2	9.7	31.9	2.7	6.2	1.8	14.2	2.7	－	0.9	4.4	40.7	7.1
	社会人	89	9.0	11.2	36.0	5.6	6.7	5.6	23.6	3.4	－	－	2.2	37.1	9.0
	その他	4	－	－	25.0	－	25.0	25.0	50.0	25.0	－	－	25.0	25.0	－
	無回答	2	－	－	50.0	－	－	50.0	100.0	－	－	50.0	－	－	－
居住地域別	福岡地域	644	8.2	14.6	36.0	2.0	4.3	1.6	16.8	0.8	0.9	1.1	4.5	35.6	10.6
	筑後地域	183	6.0	24.6	42.1	4.4	6.0	2.7	20.2	1.1	0.5	0.5	5.5	27.3	8.7
	筑豊地域	77	10.4	24.7	49.4	3.9	3.9	1.3	13.0	2.6	2.6	1.3	9.1	28.6	10.4
	北九州地域	287	5.6	11.1	40.8	2.1	4.2	2.4	13.9	0.7	－	2.1	3.5	34.1	11.8
	無回答	25	8.0	36.0	32.0	－	16.0	4.0	12.0	－	4.0	4.0	4.0	44.0	4.0

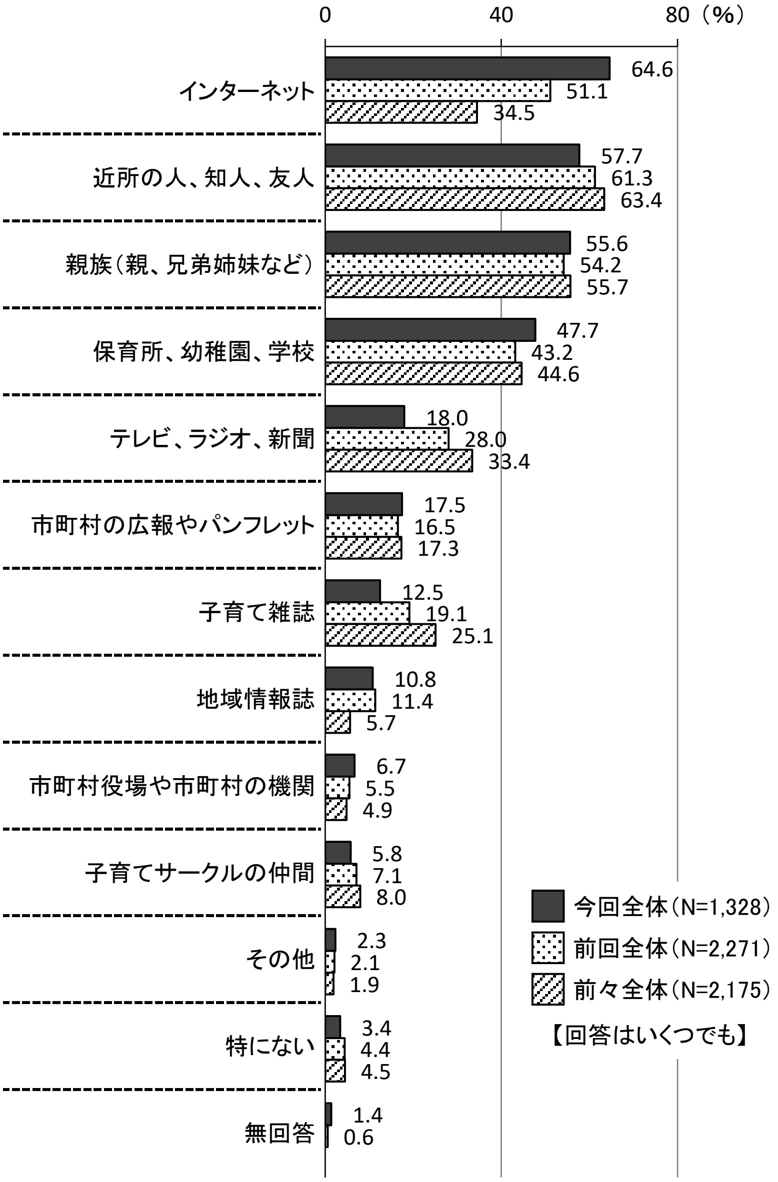
５．子育てに関する情報の入手方法

問20　あなたは、子育てに関する情報をどのように入手しています(した)か。次の中からあてはまるものを選んでください。(○はいくつでも)

子育てに関する情報の入手方法についてたずねたところ、「インターネット」が 64.6%で最も高く、次いで「近所の人、知人、友人」が 57.7%、「親族（親、兄弟姉妹など）」が 55.6%、「保育所、幼稚園、学校」が 47.7%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「テレビ、ラジオ、新聞」と「子育て雑誌」は前々回調査から減少傾向が続いており、代わりに「インターネット」が急増している。

図表３－16　子育てに関する情報の入手方法［全体］



【性別】

女性の方が割合は高い項目が多く、特に「近所の人、知人、友人」（男性 51.3%、女性 61.0%）と「保育所、幼稚園、学校」（同 40.2%、51.6%）では男女差が約 10 ポイントと大きい。

【性別・年代別】

「市町村の広報やパンフレット」は男女ともに 18～20 歳代で１割以下と特に低い。女性の 30 歳代では、「インターネット」が 78.4%と最も高くなっている。

【子育ての悩みや不安別】

「インターネット」は、子育ての不安や悩みを強く感じている人ほど割合が高いという傾向がみられる。

【こどもの状況別】

「インターネット」は、こどもが乳幼児（３歳未満）（76.5%）や未就学児（73.2%）の場合に７割を超えており、こどもが低年齢であるほど割合が高くなっている。

図表３－17　子育てに関する情報の入手方法［全体、性別、性別・年代別、子育ての悩みや不安別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	親族（親、兄弟姉妹など）	近所の人、知人、友人	子育てサークルの仲間	保育所、幼稚園、学校	市町村役場や市町村の機関	市町村の広報やパンフレット	テレビ、ラジオ、新聞	子育て雑誌	インターネット	地域情報誌	その他	特にない	無回答
全体		1,328	739	766	77	634	89	233	239	166	858	143	30	45	19
		100.0	55.6	57.7	5.8	47.7	6.7	17.5	18.0	12.5	64.6	10.8	2.3	3.4	1.4
性別	男性	460	53.9	51.3	3.7	40.2	6.3	13.0	14.8	10.7	62.4	7.4	2.8	5.2	1.3
	女性	862	56.6	61.0	7.0	51.6	6.8	20.0	19.7	13.6	66.0	12.5	2.0	2.4	1.5
	無回答	6	50.0	66.7	－	66.7	16.7	16.7	16.7	－	33.3	16.7	－	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	79.4	52.9	2.9	26.5	5.9	2.9	14.7	11.8	64.7	－	－	－	－
	男性:30歳代	146	61.0	45.9	2.1	49.3	8.2	10.3	15.8	11.0	69.2	6.2	2.7	4.1	2.7
	男性:40歳代	277	46.9	54.2	4.7	37.2	5.1	15.5	14.4	10.5	58.8	8.7	3.2	6.1	0.7
	女性:18～20歳代	55	72.7	50.9	3.6	32.7	3.6	1.8	9.1	3.6	67.3	5.5	1.8	5.5	1.8
	女性:30歳代	328	59.1	57.9	4.3	55.8	5.2	18.3	19.5	11.3	78.4	9.5	1.5	1.2	1.5
	女性:40歳代	473	53.3	64.5	9.3	51.0	8.0	23.0	21.4	16.3	57.7	15.6	2.3	3.0	1.5
	無回答	15	46.7	53.3	－	53.3	26.7	26.7	6.7	6.7	33.3	13.3	－	6.7	－
子育ての悩みや不安別	かなりある(かなりあった)	434	54.8	59.7	8.8	46.1	7.4	19.1	19.6	15.4	68.4	11.3	3.0	2.8	0.7
	少しはある(少しはあった)	679	57.3	58.6	4.6	51.4	5.9	17.5	17.5	11.0	66.7	9.7	1.6	3.2	0.4
	以前はあったが、いまは特にない	103	48.5	49.5	2.9	41.7	8.7	16.5	12.6	13.6	58.3	13.6	1.9	5.8	－
	特にない(なかった)	103	59.2	55.3	4.9	40.8	7.8	13.6	21.4	8.7	45.6	13.6	3.9	4.9	4.9
	無回答	9	11.1	11.1	－	－	－	－	－	11.1	11.1	－	－	－	88.9
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	64.4	54.7	4.1	46.8	8.8	13.5	17.6	12.6	76.5	7.1	2.1	2.1	1.5
	未就学児	384	54.7	55.5	4.9	56.8	7.8	16.7	18.2	11.7	73.2	12.0	2.6	3.1	2.1
	小学生	652	52.1	62.0	6.4	50.9	6.4	21.0	18.3	10.7	67.0	13.2	2.0	2.1	1.2
	中学生	318	52.5	61.6	7.9	48.1	4.1	18.2	17.0	11.6	56.9	11.3	1.9	2.8	1.6
	高校生	271	53.1	62.0	7.7	44.6	4.4	17.7	21.0	14.0	52.8	8.1	2.2	2.6	2.2
	大学生・短大生・専門学校生	123	43.9	56.9	11.4	42.3	4.9	20.3	23.6	20.3	43.9	13.0	1.6	6.5	0.8
	社会人	95	48.4	53.7	6.3	41.1	8.4	16.8	20.0	13.7	36.8	14.7	1.1	7.4	－
	その他	5	40.0	40.0	20.0	40.0	40.0	－	40.0	－	40.0	－	－	－	20.0
	無回答	3	33.3	66.7	－	33.3	－	－	－	33.3	66.7	－	－	－	33.3
居住地域別	福岡地域	717	56.9	60.3	6.1	46.9	7.3	19.5	18.5	14.2	67.2	11.7	2.6	2.6	1.4
	筑後地域	197	52.3	56.9	5.6	52.3	8.1	18.3	20.8	12.2	56.9	11.2	2.0	4.6	1.0
	筑豊地域	82	59.8	59.8	8.5	47.6	6.1	13.4	19.5	12.2	62.2	9.8	1.2	3.7	1.2
	北九州地域	306	54.6	52.3	4.6	47.1	4.2	13.1	15.0	9.8	65.4	8.8	2.0	3.9	1.6
	無回答	26	46.2	50.0	3.8	46.2	11.5	23.1	11.5	－	50.0	7.7	－	7.7	3.8

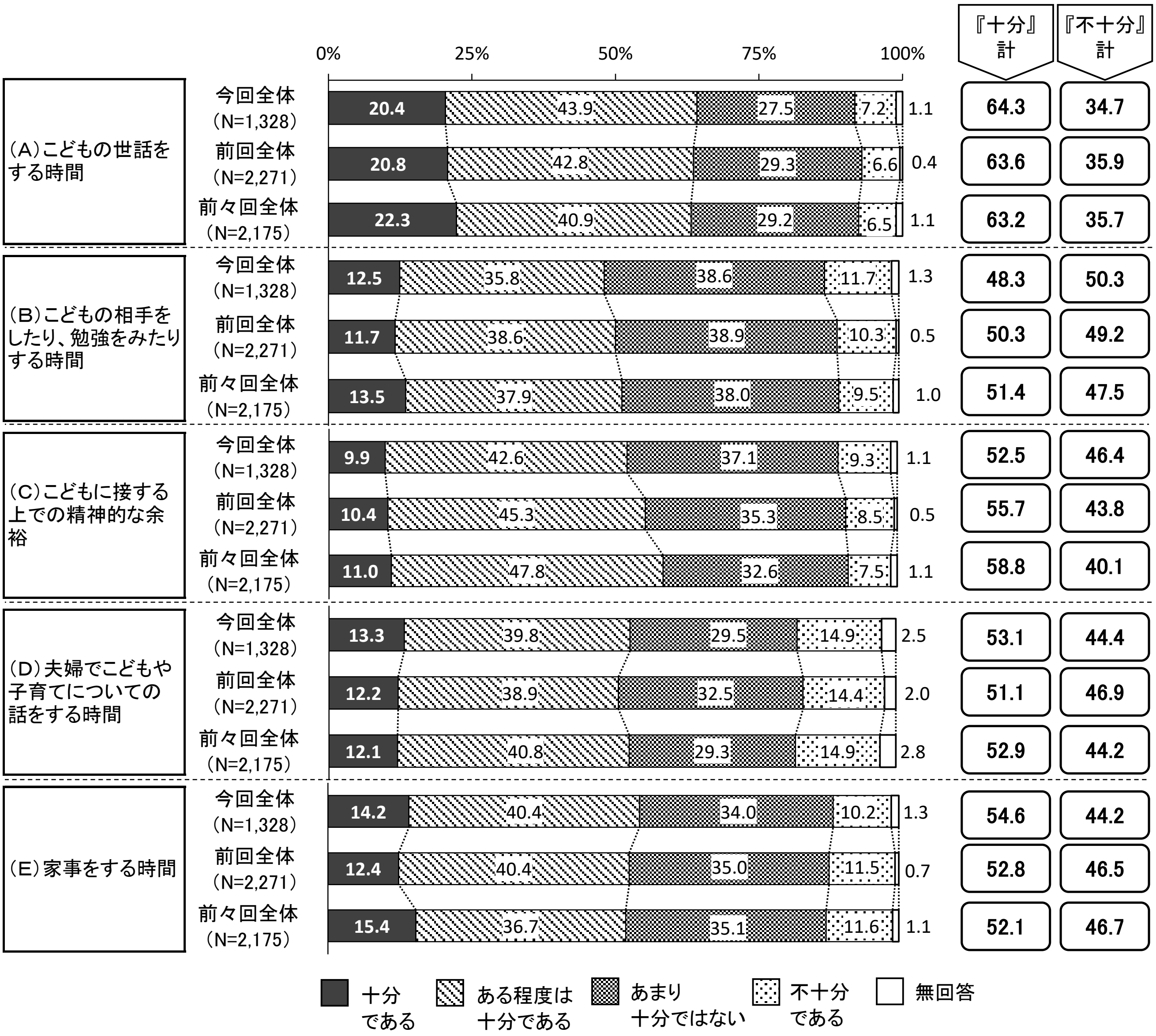
６．育児への関わり方の自己評価

> 問21　あなたは、自分の家事・育児への関わり方は十分だと思います(した)か。下の(A)～(K)の項目ごとにあてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)

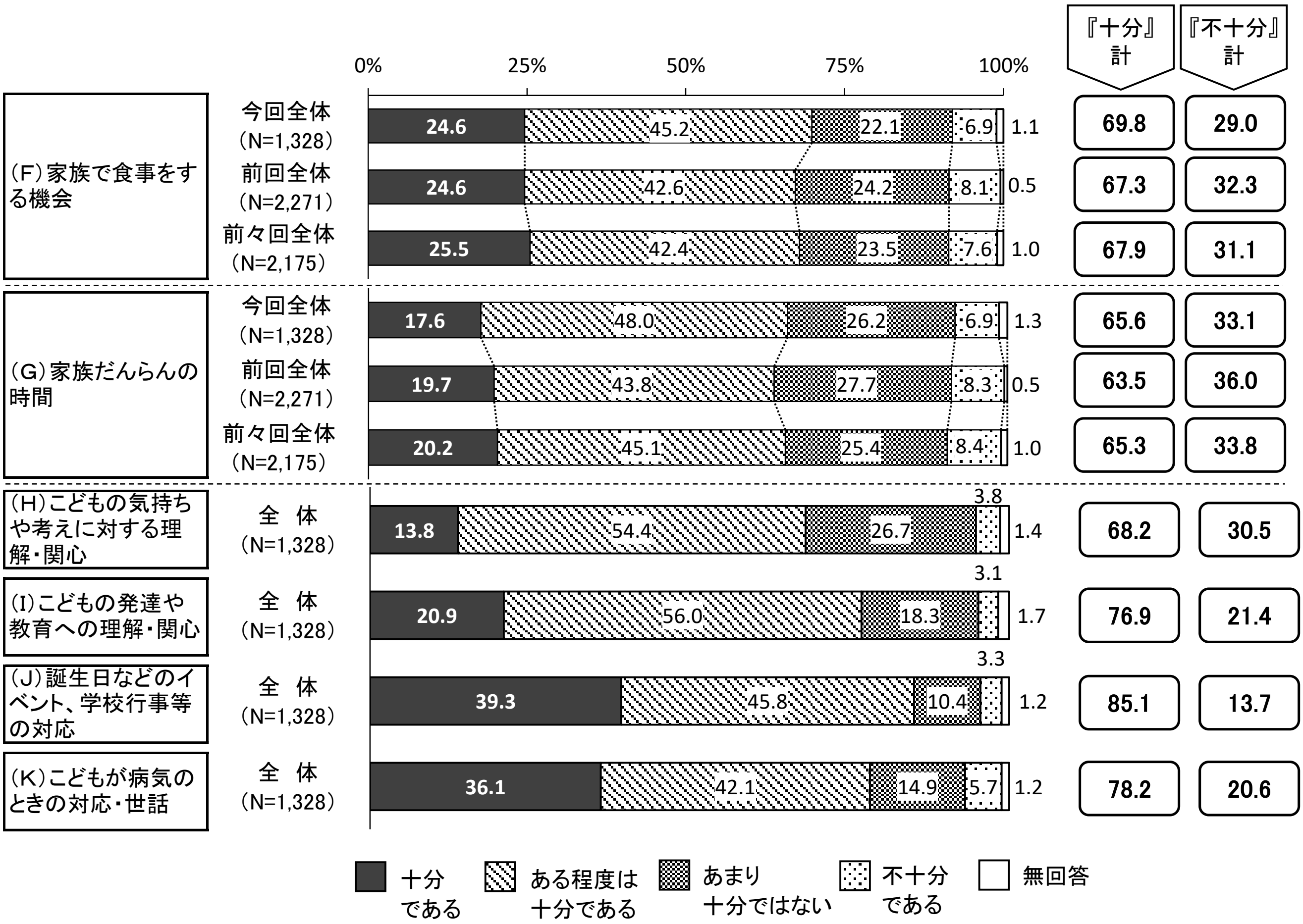
育児への関わり方に関する 11 項目の自己評価についてみると、「十分である」と「ある程度は十分である」を合わせた『十分』の割合が最も高いのは、「(Ｊ) 誕生日などのイベント、学校行事等の対応」で 85.1%、最も低いのは「(Ｂ) こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間」で 48.3%となっている。

過去の調査と比較可能な７項目については、あまり大きな変化はみられないが、「(Ｃ) こどもに接する上での精神的な余裕」では、『十分』の割合が前々回調査から減少傾向となっている。

図表３－18（１）育児への関わり方の自己評価［全体］



図表３－18（２）育児への関わり方の自己評価［全体］



【性別】

ほとんどの項目で女性の方が『十分』の割合が高くなっている。特に男女差が大きいのは、「（A）こどもの世話をする時間」（男性 47.0%、女性 73.6%）や「（B）こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間」（同 37.2%、54.3%）、「（K）こどもが病気のときの対応・世話」（63.9%、85.6%）で 20 ポイント前後の差がある。一方で「（C）こどもに接する上での精神的な余裕」（同 58.7%、49.4%）は、男性の方が『十分』の割合が 9.3 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

ほとんどの項目で年代が低いほど『十分』の割合が高いという傾向がみられ、特に「C）こどもに接する上での精神的な余裕」や「（Ｉ）こどもの発達や教育への理解・関心」でその傾向が顕著である。

【性別・配偶状況別】

配偶者がいる人の共働きと片働きで比較をすると、『十分』の割合はほとんどの項目で女性は片働き、男性は共働きの方が高くなっている。

図表３－19（１）育児への関わり方の自己評価［全体、性別、性別・年代別、性別・配偶状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(A)十分である	(A)ある程度は十分である	(A)あまり十分ではない	(A)不十分である	(A)無回答	(A)『十分』計	(A)『不十分』計	(B)十分である	(B)ある程度は十分である	(B)あまり十分ではない	(B)不十分である	(B)無回答	(B)『十分』計	(B)『不十分』計
			(A)こどもの世話をする時間							(B)こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間						
全体		1,328	271	583	365	95	14	854	460	166	476	513	156	17	642	669
		100.0	20.4	43.9	27.5	7.2	1.1	64.3	34.7	12.5	35.8	38.6	11.7	1.3	48.3	50.3
性別	男性	460	11.3	35.7	39.3	12.8	0.9	47.0	52.1	8.9	28.3	46.1	15.9	0.9	37.2	62.0
	女性	862	25.3	48.3	21.1	4.2	1.2	73.6	25.3	14.4	39.9	34.6	9.6	1.5	54.3	44.2
	無回答	6	16.7	50.0	33.3	－	－	66.7	33.3	16.7	33.3	50.0	－	－	50.0	50.0
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	14.7	38.2	32.4	14.7	－	52.9	47.1	17.6	35.3	32.4	14.7	－	52.9	47.1
	男性:30歳代	146	13.0	37.0	38.4	8.9	2.7	50.0	47.3	11.6	25.3	50.0	10.3	2.7	36.9	60.3
	男性:40歳代	277	9.7	34.7	40.8	14.8	－	44.4	55.6	6.1	28.9	45.8	19.1	－	35.0	64.9
	女性:18～20歳代	55	30.9	56.4	7.3	3.6	1.8	87.3	10.9	23.6	47.3	20.0	3.6	5.5	70.9	23.6
	女性:30歳代	328	28.0	44.5	22.0	4.6	0.9	72.5	26.6	16.5	35.7	36.0	10.7	1.2	52.2	46.7
	女性:40歳代	473	22.2	50.5	22.0	4.0	1.3	72.7	26.0	11.6	42.1	35.3	9.7	1.3	53.7	45.0
	無回答	15	40.0	26.7	33.3	－	－	66.7	33.3	26.7	33.3	40.0	－	－	60.0	40.0
性別・配偶状況別	男性:未婚	3	33.3	33.3	－	33.3	－	66.6	33.3	33.3	－	33.3	33.3	－	33.3	66.6
	男性:配偶者がいる(共働き)	361	11.9	38.0	36.6	13.0	0.6	49.9	49.6	9.7	29.6	43.8	16.3	0.6	39.3	60.1
	男性:配偶者がいる(片働き)	76	3.9	26.3	57.9	10.5	1.3	30.2	68.4	3.9	23.7	57.9	13.2	1.3	27.6	71.1
	男性:配偶者がいる(その他・働いていない)	5	20.0	20.0	40.0	－	20.0	40.0	40.0	20.0	20.0	40.0	－	20.0	40.0	40.0
	男性:配偶者と離・死別した	13	30.8	38.5	15.4	15.4	－	69.3	30.8	7.7	23.1	46.2	23.1	－	30.8	69.3
	女性:未婚	20	10.0	50.0	25.0	15.0	－	60.0	40.0	10.0	40.0	25.0	25.0	－	50.0	50.0
	女性:配偶者がいる(共働き)	584	22.6	48.8	23.1	4.3	1.2	71.4	27.4	12.3	38.7	37.7	9.8	1.5	51.0	47.5
	女性:配偶者がいる(片働き)	152	45.4	50.0	3.9	－	0.7	95.4	3.9	27.6	50.7	17.8	2.6	1.3	78.3	20.4
	女性:配偶者がいる(その他・働いていない)	9	11.1	44.4	33.3	－	11.1	55.5	33.3	－	44.4	44.4	－	11.1	44.4	44.4
	女性:配偶者と離・死別した	94	14.9	43.6	31.9	8.5	1.1	58.5	40.4	8.5	30.9	43.6	16.0	1.1	39.4	59.6
	無回答	11	9.1	27.3	54.5	9.1	－	36.4	63.6	9.1	27.3	45.5	18.2	－	36.4	63.7
居住地域別	福岡地域	717	22.2	43.4	26.2	7.5	0.7	65.6	33.7	14.1	36.7	36.8	11.4	1.0	50.8	48.2
	筑後地域	197	19.8	44.7	27.9	6.1	1.5	64.5	34.0	11.7	39.1	36.0	11.2	2.0	50.8	47.2
	筑豊地域	82	15.9	46.3	29.3	7.3	1.2	62.2	36.6	13.4	32.9	37.8	14.6	1.2	46.3	52.4
	北九州地域	306	17.3	44.1	29.7	7.2	1.6	61.4	36.9	9.2	32.4	44.4	12.4	1.6	41.6	56.8
	無回答	26	26.9	42.3	26.9	3.8	－	69.2	30.7	11.5	38.5	42.3	7.7	－	50.0	50.0

		標本数	(C)十分である	(C)ある程度は十分である	(C)あまり十分ではない	(C)不十分である	(C)無回答	(C)『十分』計	(C)『不十分』計	(D)十分である	(D)ある程度は十分である	(D)あまり十分ではない	(D)不十分である	(D)無回答	(D)『十分』計	(D)『不十分』計
			(C)こどもに接する上での精神的な余裕							(D)夫婦でこどもや子育てについての話をする時間						
全体		1,328	132	566	493	123	14	698	616	177	528	392	198	33	705	590
		100.0	9.9	42.6	37.1	9.3	1.1	52.5	46.4	13.3	39.8	29.5	14.9	2.5	53.1	44.4
性別	男性	460	14.1	44.6	31.1	9.3	0.9	58.7	40.4	13.9	42.6	32.4	10.0	1.1	56.5	42.4
	女性	862	7.8	41.6	40.1	9.3	1.2	49.4	49.4	13.1	38.2	27.8	17.6	3.2	51.3	45.4
	無回答	6	－	33.3	66.7	－	－	33.3	66.7	－	50.0	50.0	－	－	50.0	50.0
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	20.6	44.1	23.5	11.8	－	64.7	35.3	23.5	38.2	26.5	11.8	－	61.7	38.3
	男性:30歳代	146	14.4	43.8	29.5	9.6	2.7	58.2	39.1	16.4	43.2	30.1	8.2	2.1	59.6	38.3
	男性:40歳代	277	13.0	44.8	33.2	9.0	－	57.8	42.2	11.2	43.0	34.7	10.5	0.7	54.2	45.2
	女性:18～20歳代	55	12.7	41.8	40.0	3.6	1.8	54.5	43.6	23.6	40.0	20.0	9.1	7.3	63.6	29.1
	女性:30歳代	328	6.7	41.2	40.2	11.0	0.9	47.9	51.2	12.5	39.0	28.4	17.1	3.0	51.5	45.5
	女性:40歳代	473	7.8	41.9	40.2	8.9	1.3	49.7	49.1	12.3	37.6	28.1	19.0	3.0	49.9	47.1
	無回答	15	13.3	46.7	40.0	－	－	60.0	40.0	13.3	33.3	40.0	13.3	－	46.6	53.3
性別・配偶状況別	男性:未婚	3	66.7	－	－	33.3	－	66.7	33.3	－	－	33.3	66.7	－	－	100.0
	男性:配偶者がいる(共働き)	361	14.4	45.2	31.0	8.9	0.6	59.6	39.9	14.7	44.6	31.6	8.6	0.6	59.3	40.2
	男性:配偶者がいる(片働き)	76	10.5	43.4	34.2	10.5	1.3	53.9	44.7	11.8	42.1	35.5	9.2	1.3	53.9	44.7
	男性:配偶者がいる(その他・働いていない)	5	－	20.0	40.0	20.0	20.0	20.0	60.0	20.0	20.0	40.0	－	20.0	40.0	40.0
	男性:配偶者と離・死別した	13	15.4	61.5	15.4	7.7	－	76.9	23.1	7.7	15.4	23.1	46.2	7.7	23.1	69.3
	女性:未婚	20	5.0	45.0	30.0	20.0	－	50.0	50.0	－	5.0	5.0	50.0	40.0	5.0	55.0
	女性:配偶者がいる(共働き)	584	7.0	41.1	42.6	8.0	1.2	48.1	50.6	12.7	43.7	30.5	12.0	1.2	56.4	42.5
	女性:配偶者がいる(片働き)	152	9.9	46.7	35.5	7.2	0.7	56.6	42.7	21.7	44.7	25.7	7.2	0.7	66.4	32.9
	女性:配偶者がいる(その他・働いていない)	9	－	22.2	44.4	22.2	11.1	22.2	66.6	22.2	11.1	55.6	－	11.1	33.3	55.6
	女性:配偶者と離・死別した	94	10.6	38.3	35.1	14.9	1.1	48.9	50.0	4.3	3.2	17.0	63.8	11.7	7.5	80.8
	無回答	11	9.1	27.3	45.5	18.2	－	36.4	63.7	－	36.4	54.5	9.1	－	36.4	63.6
居住地域別	福岡地域	717	10.5	44.2	35.6	9.1	0.7	54.7	44.7	14.5	40.3	28.9	15.1	1.3	54.8	44.0
	筑後地域	197	10.2	35.5	44.7	8.1	1.5	45.7	52.8	12.2	39.1	29.9	16.2	2.5	51.3	46.1
	筑豊地域	82	9.8	43.9	36.6	8.5	1.2	53.7	45.1	12.2	36.6	28.0	19.5	3.7	48.8	47.5
	北九州地域	306	8.8	43.1	35.6	10.8	1.6	51.9	46.4	11.8	39.9	31.0	13.1	4.2	51.7	44.1
	無回答	26	7.7	42.3	42.3	7.7	－	50.0	50.0	11.5	38.5	30.8	7.7	11.5	50.0	38.5

図表３－19（２）育児への関わり方の自己評価［全体、性別、性別・年代別、性別・配偶状況別、居住地域別］

（%）

		標本数	(E)家事をする時間 十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計	(F)家族で食事をする機会 十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	188	537	451	135	17	725	586	327	600	294	92	15	927	386
		100.0	14.2	40.4	34.0	10.2	1.3	54.6	44.2	24.6	45.2	22.1	6.9	1.1	69.8	29.0
性別	男性	460	9.6	36.1	36.5	16.5	1.3	45.7	53.0	24.6	38.0	26.7	9.8	0.9	62.6	36.5
	女性	862	16.7	42.8	32.4	6.8	1.3	59.5	39.2	24.7	48.8	19.7	5.5	1.3	73.5	25.2
	無回答	6	−	33.3	66.7	−	−	33.3	66.7	16.7	66.7	16.7	−	−	83.4	16.7
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	8.8	50.0	29.4	11.8	−	58.8	41.2	23.5	41.2	26.5	8.8	−	64.7	35.3
	男性:30歳代	146	11.0	40.4	34.2	11.6	2.7	51.4	45.8	30.8	37.0	21.2	8.9	2.1	67.8	30.1
	男性:40歳代	277	8.3	32.5	38.6	19.9	0.7	40.8	58.5	20.9	38.3	30.0	10.5	0.4	59.2	40.5
	女性:18～20歳代	55	16.4	43.6	29.1	9.1	1.8	60.0	38.2	34.5	40.0	18.2	5.5	1.8	74.5	23.7
	女性:30歳代	328	16.5	41.2	35.1	6.4	0.9	57.7	41.5	27.1	45.7	21.6	4.6	0.9	72.8	26.2
	女性:40歳代	473	16.7	43.6	31.3	7.0	1.5	60.3	38.3	21.8	51.8	18.8	6.1	1.5	73.6	24.9
	無回答	15	26.7	40.0	33.3	−	−	66.7	33.3	33.3	60.0	6.7	−	−	93.3	6.7
性別・配偶状況別	男性:未婚	3	33.3	33.3	−	33.3	−	66.6	33.3	66.7	−	−	33.3	−	66.7	33.3
	男性:配偶者がいる(共働き)	361	10.8	36.0	34.3	18.0	0.8	46.8	52.3	26.9	36.8	26.3	9.4	0.6	63.7	35.7
	男性:配偶者がいる(片働き)	76	1.3	39.5	46.1	10.5	2.6	40.8	56.6	11.8	46.1	32.9	7.9	1.3	57.9	40.8
	男性:配偶者がいる(その他・働いていない)	5	20.0	20.0	40.0	−	20.0	40.0	40.0	40.0	20.0	20.0	−	20.0	60.0	20.0
	男性:配偶者と離・死別した	13	7.7	30.8	46.2	15.4	−	38.5	61.6	23.1	46.2	7.7	23.1	−	69.3	30.8
	女性:未婚	20	−	60.0	25.0	15.0	−	60.0	40.0	30.0	45.0	20.0	5.0	−	75.0	25.0
	女性:配偶者がいる(共働き)	584	13.7	43.3	35.1	6.5	1.4	57.0	41.6	22.8	47.9	22.1	6.0	1.2	70.7	28.1
	女性:配偶者がいる(片働き)	152	33.6	44.1	19.7	2.0	0.7	77.7	21.7	30.9	52.6	15.1	0.7	0.7	83.5	15.8
	女性:配偶者がいる(その他・働いていない)	9	11.1	44.4	22.2	11.1	11.1	55.5	33.3	22.2	33.3	22.2	11.1	11.1	55.5	33.3
	女性:配偶者と離・死別した	94	12.8	34.0	38.3	13.8	1.1	46.8	52.1	26.6	51.1	10.6	9.6	2.1	77.7	20.2
	無回答	11	9.1	27.3	54.5	9.1	−	36.4	63.6	9.1	45.5	36.4	9.1	−	54.6	45.5
居住地域別	福岡地域	717	16.0	39.1	34.6	9.5	0.8	55.1	44.1	22.6	45.2	24.4	7.3	0.6	67.8	31.7
	筑後地域	197	14.7	45.2	27.9	10.2	2.0	59.9	38.1	28.4	43.7	21.3	5.1	1.5	72.1	26.4
	筑豊地域	82	9.8	36.6	37.8	14.6	1.2	46.4	52.4	25.6	50.0	18.3	3.7	2.4	75.6	22.0
	北九州地域	306	10.1	41.8	34.6	11.4	2.0	51.9	46.0	26.8	43.5	19.3	8.5	2.0	70.3	27.8
	無回答	26	19.2	38.5	42.3	−	−	57.7	42.3	23.1	61.5	11.5	3.8	−	84.6	15.3

		標本数	(G)家族だんらんの時間 十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計	(H)こどもの気持ちや考えに対する理解・関心 十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	234	637	348	92	17	871	440	183	723	354	50	18	906	404
		100.0	17.6	48.0	26.2	6.9	1.3	65.6	33.1	13.8	54.4	26.7	3.8	1.4	68.2	30.5
性別	男性	460	15.7	44.1	30.0	9.3	0.9	59.8	39.3	12.4	52.6	28.5	5.2	1.3	65.0	33.7
	女性	862	18.7	50.0	24.1	5.7	1.5	68.7	29.8	14.5	55.5	25.6	3.0	1.4	70.0	28.6
	無回答	6	16.7	50.0	33.3	−	−	66.7	33.3	16.7	50.0	33.3	−	−	66.7	33.3
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	14.7	50.0	23.5	11.8	−	64.7	35.3	23.5	52.9	23.5	−	−	76.4	23.5
	男性:30歳代	146	22.6	45.9	20.5	8.9	2.1	68.5	29.4	15.1	48.6	27.4	4.8	4.1	63.7	32.2
	男性:40歳代	277	11.6	42.6	36.1	9.4	0.4	54.2	45.5	9.4	54.9	29.6	6.1	−	64.3	35.7
	女性:18～20歳代	55	25.5	49.1	20.0	3.6	1.8	74.6	23.6	23.6	61.8	9.1	3.6	1.8	85.4	12.7
	女性:30歳代	328	19.2	50.0	23.2	6.4	1.2	69.2	29.6	16.2	52.4	29.0	1.2	1.2	68.6	30.2
	女性:40歳代	473	17.5	49.9	25.4	5.5	1.7	67.4	30.9	12.3	56.7	25.4	4.2	1.5	69.0	29.6
	無回答	15	26.7	53.3	20.0	−	−	80.0	20.0	20.0	53.3	26.7	−	−	73.3	26.7
性別・配偶状況別	男性:未婚	3	33.3	33.3	−	33.3	−	66.6	33.3	33.3	33.3	33.3	−	−	66.6	33.3
	男性:配偶者がいる(共働き)	361	17.2	43.8	29.6	8.9	0.6	61.0	38.5	12.7	53.7	26.6	5.8	1.1	66.4	32.4
	男性:配偶者がいる(片働き)	76	7.9	47.4	34.2	9.2	1.3	55.3	43.4	9.2	52.6	35.5	1.3	1.3	61.8	36.8
	男性:配偶者がいる(その他・働いていない)	5	20.0	40.0	20.0	−	20.0	60.0	20.0	−	20.0	60.0	−	20.0	20.0	60.0
	男性:配偶者と離・死別した	13	15.4	46.2	15.4	23.1	−	61.6	38.5	15.4	46.2	23.1	15.4	−	61.6	38.5
	女性:未婚	20	20.0	40.0	35.0	5.0	−	60.0	40.0	−	65.0	30.0	5.0	−	65.0	35.0
	女性:配偶者がいる(共働き)	584	16.6	50.5	25.3	6.0	1.5	67.1	31.3	13.0	56.5	25.7	3.3	1.5	69.5	29.0
	女性:配偶者がいる(片働き)	152	28.3	49.3	18.4	2.6	1.3	77.6	21.0	20.4	55.9	23.0	−	0.7	76.3	23.0
	女性:配偶者がいる(その他・働いていない)	9	11.1	44.4	33.3	−	11.1	55.5	33.3	−	33.3	55.6	−	11.1	33.3	55.6
	女性:配偶者と離・死別した	94	17.0	51.1	21.3	9.6	1.1	68.1	30.9	19.1	48.9	24.5	6.4	1.1	68.0	30.9
	無回答	11	9.1	36.4	54.5	−	−	45.5	54.5	18.2	36.4	45.5	−	−	54.6	45.5
居住地域別	福岡地域	717	18.3	46.2	27.6	7.3	0.7	64.5	34.9	14.2	54.3	26.6	3.8	1.1	68.5	30.4
	筑後地域	197	15.2	51.3	25.9	6.1	1.5	66.5	32.0	13.2	52.8	27.9	4.1	2.0	66.0	32.0
	筑豊地域	82	19.5	51.2	23.2	3.7	2.4	70.7	26.9	17.1	56.1	23.2	2.4	1.2	73.2	25.6
	北九州地域	306	17.6	48.0	23.9	8.2	2.3	65.6	32.1	12.1	55.9	26.1	4.2	1.6	68.0	30.3
	無回答	26	11.5	61.5	26.9	−	−	73.0	26.9	15.4	50.0	34.6	−	−	65.4	34.6

図表３－19（３）育児への関わり方の自己評価［全体、性別、性別・年代別、性別・配偶状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(I)こどもの発達や教育への理解・関心							(J)誕生日などのイベント、学校行事等の対応						
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	278	744	243	41	22	1,022	284	522	608	138	44	16	1,130	182
		100.0	20.9	56.0	18.3	3.1	1.7	76.9	21.4	39.3	45.8	10.4	3.3	1.2	85.1	13.7
性別	男性	460	18.7	54.6	21.1	4.3	1.3	73.3	25.4	30.4	49.6	13.9	5.2	0.9	80.0	19.1
	女性	862	22.0	56.8	16.8	2.4	1.9	78.8	19.2	44.0	43.7	8.6	2.3	1.4	87.7	10.9
	無回答	6	33.3	50.0	16.7	－	－	83.3	16.7	50.0	50.0	－	－	－	100.0	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	32.4	52.9	14.7	－	－	85.3	14.7	47.1	29.4	20.6	2.9	－	76.5	23.5
	男性:30歳代	146	26.0	47.3	20.5	3.4	2.7	73.3	23.9	32.9	51.4	9.6	3.4	2.7	84.3	13.0
	男性:40歳代	277	13.0	58.5	22.4	5.4	0.7	71.5	27.8	26.7	51.3	15.5	6.5	－	78.0	22.0
	女性:18～20歳代	55	34.5	56.4	3.6	3.6	1.8	90.9	7.2	61.8	27.3	7.3	1.8	1.8	89.1	9.1
	女性:30歳代	328	23.2	54.0	19.2	1.8	1.8	77.2	21.0	49.7	39.3	8.5	0.9	1.5	89.0	9.4
	女性:40歳代	473	19.7	59.0	16.7	2.7	1.9	78.7	19.4	37.6	49.0	8.7	3.4	1.3	86.6	12.1
	無回答	15	33.3	53.3	13.3	－	－	86.6	13.3	60.0	33.3	6.7	－	－	93.3	6.7
性別・配偶状況別	男性:未婚	3	33.3	33.3	－	33.3	－	66.6	33.3	66.7	－	－	33.3	－	66.7	33.3
	男性:配偶者がいる(共働き)	361	18.6	55.1	21.1	4.4	0.8	73.7	25.5	31.3	49.9	13.6	4.7	0.6	81.2	18.3
	男性:配偶者がいる(片働き)	76	18.4	55.3	22.4	1.3	2.6	73.7	23.7	27.6	51.3	15.8	3.9	1.3	78.9	19.7
	男性:配偶者がいる(その他・働いていない)	5	－	40.0	40.0	－	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	20.0	－	20.0	60.0	20.0
	男性:配偶者と離・死別した	13	23.1	53.8	7.7	15.4	－	76.9	23.1	23.1	53.8	－	23.1	－	76.9	23.1
	女性:未婚	20	15.0	75.0	10.0	－	－	90.0	10.0	45.0	40.0	5.0	10.0	－	85.0	15.0
	女性:配偶者がいる(共働き)	584	20.9	57.9	17.0	2.6	1.7	78.8	19.6	41.4	45.9	9.2	1.9	1.5	87.3	11.1
	女性:配偶者がいる(片働き)	152	28.9	57.2	13.2	－	0.7	86.1	13.2	52.6	41.4	4.6	0.7	0.7	94.0	5.3
	女性:配偶者がいる(その他・働いていない)	9	－	44.4	33.3	－	22.2	44.4	33.3	22.2	44.4	22.2	－	11.1	66.6	22.2
	女性:配偶者と離・死別した	94	22.3	47.9	21.3	5.3	3.2	70.2	26.6	48.9	34.0	10.6	5.3	1.1	82.9	15.9
	無回答	11	27.3	36.4	27.3	9.1	－	63.7	36.4	27.3	45.5	18.2	9.1	－	72.8	27.3
居住地域別	福岡地域	717	21.1	55.9	18.5	3.6	0.8	77.0	22.1	38.1	47.3	11.0	2.9	0.7	85.4	13.9
	筑後地域	197	18.3	55.8	19.8	3.6	2.5	74.1	23.4	36.0	47.2	10.7	4.6	1.5	83.2	15.3
	筑豊地域	82	28.0	53.7	14.6	1.2	2.4	81.7	15.8	48.8	40.2	7.3	2.4	1.2	89.0	9.7
	北九州地域	306	19.9	57.5	17.3	2.3	2.9	77.4	19.6	40.5	43.5	9.8	3.9	2.3	84.0	13.7
	無回答	26	26.9	50.0	23.1	－	－	76.9	23.1	53.8	38.5	7.7	－	－	92.3	7.7

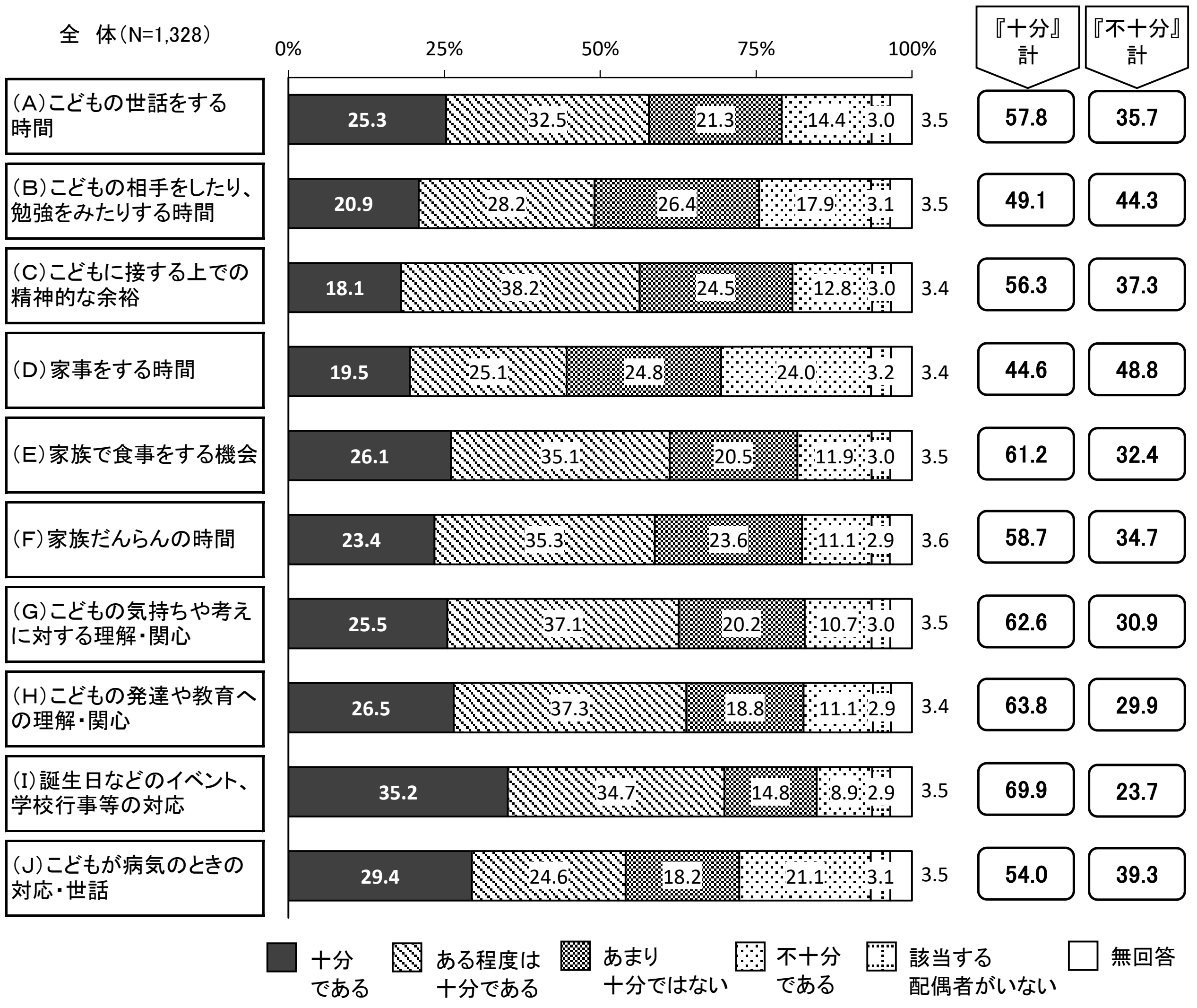
		標本数	(K)こどもが病気のときの対応・世話						
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	479	559	198	76	16	1,038	274
		100.0	36.1	42.1	14.9	5.7	1.2	78.2	20.6
性別	男性	460	20.4	43.5	24.1	10.9	1.1	63.9	35.0
	女性	862	44.3	41.3	10.1	3.0	1.3	85.6	13.1
	無回答	6	50.0	50.0	－	－	－	100.0	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	23.5	44.1	17.6	14.7	－	67.6	32.3
	男性:30歳代	146	22.6	36.3	29.5	8.9	2.7	58.9	38.4
	男性:40歳代	277	18.1	47.7	22.4	11.6	0.4	65.8	34.0
	女性:18～20歳代	55	50.9	30.9	14.5	1.8	1.8	81.8	16.3
	女性:30歳代	328	47.6	37.8	11.0	2.7	0.9	85.4	13.7
	女性:40歳代	473	41.0	45.0	9.1	3.4	1.5	86.0	12.5
	無回答	15	66.7	33.3	－	－	－	100.0	－
性別・配偶状況別	男性:未婚	3	66.7	－	33.3	－	－	66.7	33.3
	男性:配偶者がいる(共働き)	361	21.6	44.6	22.2	11.1	0.6	66.2	33.3
	男性:配偶者がいる(片働き)	76	11.8	44.7	32.9	7.9	2.6	56.5	40.8
	男性:配偶者がいる(その他・働いていない)	5	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	40.0	40.0
	男性:配偶者と離・死別した	13	23.1	30.8	23.1	23.1	－	53.9	46.2
	女性:未婚	20	45.0	45.0	－	10.0	－	90.0	10.0
	女性:配偶者がいる(共働き)	584	41.4	43.0	11.5	2.7	1.4	84.4	14.2
	女性:配偶者がいる(片働き)	152	60.5	33.6	3.9	1.3	0.7	94.1	5.2
	女性:配偶者がいる(その他・働いていない)	9	33.3	44.4	11.1	－	11.1	77.7	11.1
	女性:配偶者と離・死別した	94	38.3	42.6	13.8	4.3	1.1	80.9	18.1
	無回答	11	36.4	36.4	9.1	18.2	－	72.8	27.3
居住地域別	福岡地域	717	36.4	42.8	14.4	5.7	0.7	79.2	20.1
	筑後地域	197	35.5	43.7	13.7	5.6	1.5	79.2	19.3
	筑豊地域	82	41.5	34.1	19.5	2.4	2.4	75.6	21.9
	北九州地域	306	33.7	40.5	16.7	7.2	2.0	74.2	23.9
	無回答	26	42.3	53.8	3.8	－	－	96.1	3.8

７．配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価

問22　あなたの**配偶者（パートナー）**の家事・育児への関わり方は十分だと思います（した）か。下の（A）～（J）の項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ1つ）

配偶者（パートナー）の育児への関わり方についての評価をみると、『十分』の割合が最も高いのは「（Ｉ）誕生日などのイベント、学校行事等の対応」で 69.9%、最も低いのは「（D）家事をする時間」で 44.6%となっている。全体として、『十分』の割合が約５割から６割の項目が多い。

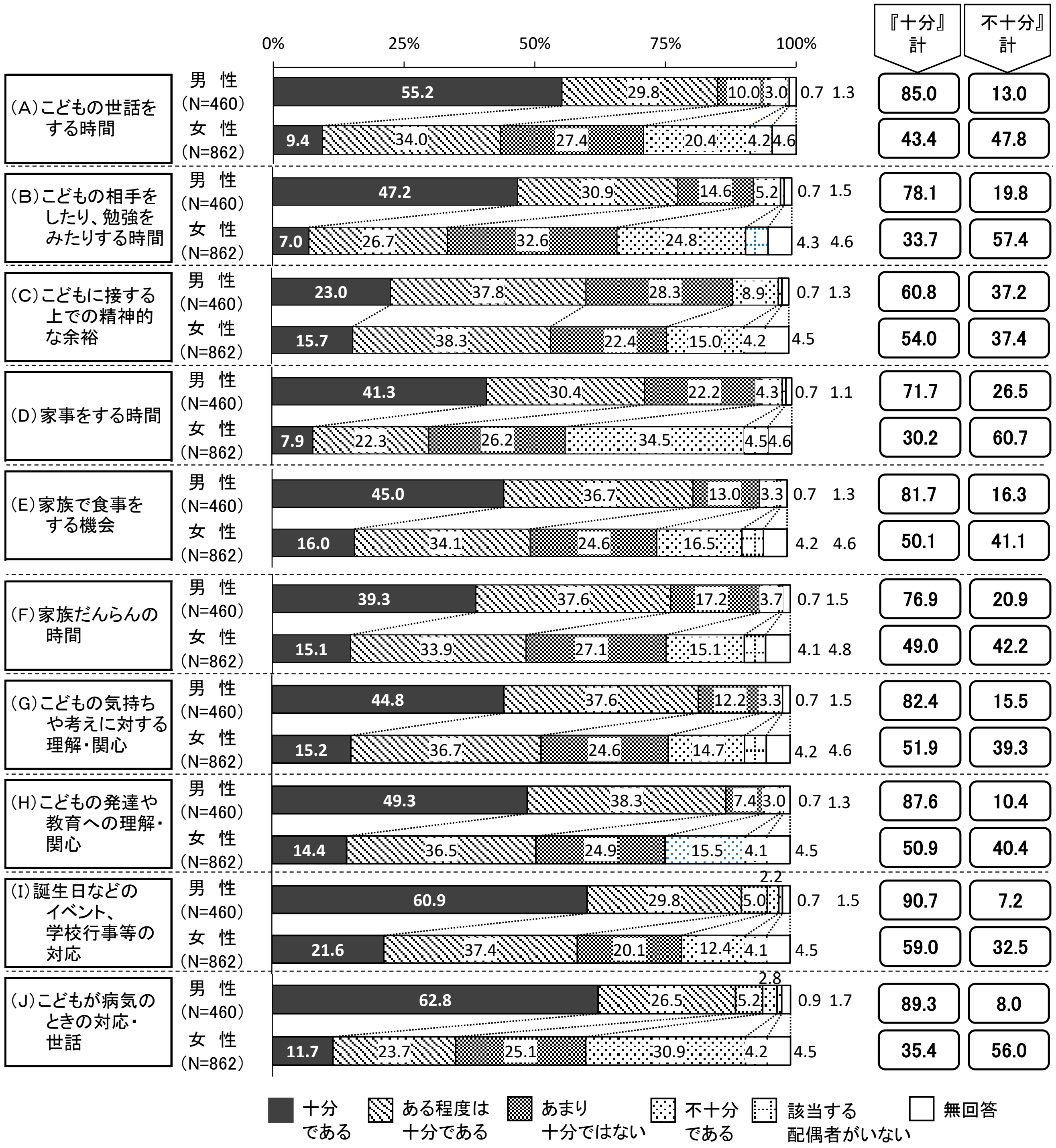
図表３－20　配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価［全体］



【性別】

全ての項目で男性の方が『十分』の割合は高く、女性の方が『不十分』の割合は高くなっている。特に「(B）こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間」「(D）家事をする時間」「(J）こどもが病気の時の対応・世話」などの項目は、女性の『不十分』の割合は『十分』の割合を 20 ポイント以上上回っており、配偶者への評価は低くなっている。

図表３－21　配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価［性別］



【性別・年代別】

女性ではほとんどの項目で年代が低いほど『十分』の割合が高いという傾向がみられる。男性も「（A）こどもの世話をする時間」や「（B）こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間」、「（C）こどもに接する上での精神的な余裕」、「（D）家事をする時間」、「（F）家族だんらんの時間」などの項目で同様の傾向がみられる。

【こどもの状況別】

ほとんどの項目で、こどもが乳幼児（３歳未満）の場合に、『十分』の割合が他の場合よりも高くなっている。

図表３－22（１）配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価［全体、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(A)こどもの世話をする時間								(B)こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間							
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	336	432	283	191	40	46	**768**	**474**	278	374	350	238	41	47	**652**	**588**
		100.0	25.3	32.5	21.3	14.4	3.0	3.5	**57.8**	**35.7**	20.9	28.2	26.4	17.9	3.1	3.5	**49.1**	**44.3**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	76.5	11.8	8.8	－	－	2.9	**88.3**	**8.8**	67.6	17.6	8.8	2.9	－	2.9	**85.2**	**11.7**
	男性:30歳代	146	61.6	26.0	6.2	2.7	0.7	2.7	**87.6**	**8.9**	55.5	28.8	6.8	4.8	0.7	3.4	**84.3**	**11.6**
	男性:40歳代	277	49.1	34.3	12.3	3.6	0.4	0.4	**83.4**	**15.9**	40.1	33.9	19.5	5.8	0.4	0.4	**74.0**	**25.3**
	女性:18～20歳代	55	14.5	34.5	27.3	14.5	1.8	7.3	**49.0**	**41.8**	14.5	29.1	34.5	10.9	1.8	9.1	**43.6**	**45.4**
	女性:30歳代	328	9.8	36.6	27.4	16.8	3.7	5.8	**46.4**	**44.2**	7.9	26.2	35.7	20.7	3.7	5.8	**34.1**	**56.4**
	女性:40歳代	473	8.5	32.3	27.7	23.0	4.9	3.6	**40.8**	**50.7**	5.3	26.8	30.7	28.8	5.1	3.4	**32.1**	**59.5**
	無回答	15	26.7	20.0	6.7	33.3	13.3	－	**46.7**	**40.0**	26.7	20.0	13.3	26.7	13.3	－	**46.7**	**40.0**
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	33.8	33.8	20.0	7.9	0.6	3.8	**67.6**	**27.9**	30.9	27.1	26.8	10.3	0.6	4.4	**58.0**	**37.1**
	未就学児	384	26.3	34.9	22.1	10.9	3.4	2.3	**61.2**	**33.0**	21.6	30.2	27.3	14.8	3.4	2.6	**51.8**	**42.1**
	小学生	652	23.2	35.3	22.9	14.6	1.2	2.9	**58.5**	**37.5**	17.6	30.8	28.5	19.0	1.2	2.8	**48.4**	**47.5**
	中学生	318	20.4	35.5	20.8	17.3	2.8	3.1	**55.9**	**38.1**	15.4	29.9	26.7	22.3	2.8	2.8	**45.3**	**49.0**
	高校生	271	18.1	30.3	22.1	21.4	4.4	3.7	**48.4**	**43.5**	14.0	24.4	28.4	24.7	4.8	3.7	**38.4**	**53.1**
	大学生・短大生・専門学校生	123	20.3	30.1	21.1	23.6	3.3	1.6	**50.4**	**44.7**	15.4	24.4	27.6	27.6	3.3	1.6	**39.8**	**55.2**
	社会人	95	26.3	22.1	20.0	21.1	5.3	5.3	**48.4**	**41.1**	16.8	16.8	27.4	28.4	5.3	5.3	**33.6**	**55.8**
	その他	5	40.0	－	20.0	40.0	－	－	**40.0**	**60.0**	40.0	－	20.0	40.0	－	－	**40.0**	**60.0**
	無回答	3	－	33.3	－	33.3	－	33.3	**33.3**	**33.3**	－	33.3	－	33.3	－	33.3	**33.3**	**33.3**
居住地域別	福岡地域	717	26.1	33.6	21.1	14.4	2.5	2.4	**59.7**	**35.5**	21.6	30.1	26.6	16.6	2.5	2.5	**51.7**	**43.2**
	筑後地域	197	27.9	32.0	17.8	17.3	2.5	2.5	**59.9**	**35.1**	21.8	26.4	22.8	23.4	2.5	3.0	**48.2**	**46.2**
	筑豊地域	82	15.9	32.9	23.2	12.2	8.5	7.3	**48.8**	**35.4**	14.6	15.9	32.9	20.7	9.8	6.1	**30.5**	**53.6**
	北九州地域	306	24.2	30.7	24.2	13.1	2.6	5.2	**54.9**	**37.3**	20.6	27.1	27.1	17.3	2.6	5.2	**47.7**	**44.4**
	無回答	26	26.9	26.9	15.4	15.4	7.7	7.7	**53.8**	**30.8**	19.2	38.5	15.4	11.5	7.7	7.7	**57.7**	**26.9**

図表３－22（２）配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価［全体、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(C)こどもに接する上での精神的な余裕								(D)家事をする時間							
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	241	507	325	170	40	45	**748**	**495**	259	333	329	319	43	45	**592**	**648**
		100.0	18.1	38.2	24.5	12.8	3.0	3.4	**56.3**	**37.3**	19.5	25.1	24.8	24.0	3.2	3.4	**44.6**	**48.8**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	29.4	41.2	23.5	2.9	－	2.9	**70.6**	**26.4**	55.9	32.4	8.8	－	－	2.9	**88.3**	**8.8**
	男性:30歳代	146	26.0	35.6	30.1	4.8	0.7	2.7	**61.6**	**34.9**	45.2	26.7	21.2	4.1	0.7	2.1	**71.9**	**25.3**
	男性:40歳代	277	20.2	39.0	28.2	11.9	0.4	0.4	**59.2**	**40.1**	37.2	32.5	24.5	5.1	0.4	0.4	**69.7**	**29.6**
	女性:18～20歳代	55	29.1	29.1	25.5	7.3	1.8	7.3	**58.2**	**32.8**	10.9	32.7	18.2	27.3	3.6	7.3	**43.6**	**45.5**
	女性:30歳代	328	17.4	37.5	25.3	10.4	3.7	5.8	**54.9**	**35.7**	8.8	23.8	28.7	29.0	4.0	5.8	**32.6**	**57.7**
	女性:40歳代	473	12.7	40.4	20.1	18.6	4.9	3.4	**53.1**	**38.7**	7.0	20.3	25.6	38.7	5.1	3.4	**27.3**	**64.3**
	無回答	15	26.7	20.0	20.0	20.0	13.3	－	**46.7**	**40.0**	20.0	6.7	13.3	40.0	13.3	6.7	**26.7**	**53.3**
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	24.4	39.4	25.0	6.8	0.6	3.8	**63.8**	**31.8**	23.5	29.4	25.9	16.8	0.9	3.5	**52.9**	**42.7**
	未就学児	384	16.1	38.8	30.2	9.1	3.4	2.3	**54.9**	**39.3**	20.3	28.1	24.2	21.4	3.6	2.3	**48.4**	**45.6**
	小学生	652	16.0	38.8	27.6	13.7	1.2	2.8	**54.8**	**41.3**	18.7	26.5	24.8	25.8	1.4	2.8	**45.2**	**50.6**
	中学生	318	14.8	39.6	25.2	14.8	2.8	2.8	**54.4**	**40.0**	14.5	27.7	26.4	25.8	2.8	2.8	**42.2**	**52.2**
	高校生	271	17.0	34.7	21.4	18.8	4.4	3.7	**51.7**	**40.2**	14.8	20.7	26.6	29.9	4.4	3.7	**35.5**	**56.5**
	大学生・短大生・専門学校生	123	14.6	36.6	23.6	20.3	3.3	1.6	**51.2**	**43.9**	17.9	22.0	24.4	30.9	3.3	1.6	**39.9**	**55.3**
	社会人	95	21.1	30.5	18.9	18.9	5.3	5.3	**51.6**	**37.8**	16.8	14.7	18.9	37.9	5.3	6.3	**31.5**	**56.8**
	その他	5	－	40.0	－	60.0	－	－	**40.0**	**60.0**	40.0	－	20.0	40.0	－	－	**40.0**	**60.0**
	無回答	3	－	33.3	－	33.3	－	33.3	**33.3**	**33.3**	33.3	－	－	33.3	－	33.3	**33.3**	**33.3**
居住地域別	福岡地域	717	18.5	39.2	24.4	13.0	2.5	2.4	**57.7**	**37.4**	20.8	25.5	24.7	24.0	2.8	2.2	**46.3**	**48.7**
	筑後地域	197	24.9	31.0	24.4	14.7	2.5	2.5	**55.9**	**39.1**	18.8	24.4	21.8	29.4	3.0	2.5	**43.2**	**51.2**
	筑豊地域	82	17.1	35.4	23.2	9.8	8.5	6.1	**52.5**	**33.0**	13.4	20.7	26.8	24.4	8.5	6.1	**34.1**	**51.2**
	北九州地域	306	13.7	40.2	25.2	13.1	2.6	5.2	**53.9**	**38.3**	19.0	25.5	26.5	20.9	2.6	5.6	**44.5**	**47.4**
	無回答	26	11.5	50.0	23.1	－	7.7	7.7	**61.5**	**23.1**	15.4	26.9	23.1	19.2	7.7	7.7	**42.3**	**42.3**

		標本数	(E)家族で食事をする機会								(F)家族だんらんの時間							
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	346	466	272	158	40	46	**812**	**430**	311	469	313	148	39	48	**780**	**461**
		100.0	26.1	35.1	20.5	11.9	3.0	3.5	**61.2**	**32.4**	23.4	35.3	23.6	11.1	2.9	3.6	**58.7**	**34.7**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	55.9	26.5	11.8	－	－	5.9	**82.4**	**11.8**	50.0	32.4	14.7	－	－	2.9	**82.4**	**14.7**
	男性:30歳代	146	50.0	34.9	9.6	2.7	0.7	2.1	**84.9**	**12.3**	47.9	30.8	15.1	2.7	0.7	2.7	**78.7**	**17.8**
	男性:40歳代	277	40.8	39.4	15.2	4.0	0.4	0.4	**80.2**	**19.2**	33.2	42.2	18.8	4.7	0.4	0.7	**75.4**	**23.5**
	女性:18～20歳代	55	29.1	25.5	27.3	9.1	1.8	7.3	**54.6**	**36.4**	23.6	30.9	27.3	9.1	1.8	7.3	**54.5**	**36.4**
	女性:30歳代	328	18.3	32.9	25.0	14.3	3.7	5.8	**51.2**	**39.3**	15.9	31.7	28.7	14.6	3.4	5.8	**47.6**	**43.3**
	女性:40歳代	473	12.9	35.9	23.9	18.8	4.9	3.6	**48.8**	**42.7**	13.5	36.2	25.4	16.3	4.9	3.8	**49.7**	**41.7**
	無回答	15	26.7	33.3	13.3	13.3	13.3	－	**60.0**	**26.6**	20.0	26.7	33.3	6.7	13.3	－	**46.7**	**40.0**
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	34.7	33.2	20.0	7.1	0.9	4.1	**67.9**	**27.1**	31.8	32.4	24.1	7.4	0.6	3.8	**64.2**	**31.5**
	未就学児	384	27.6	33.6	22.7	10.4	3.4	2.3	**61.2**	**33.1**	24.0	38.3	23.2	8.9	3.4	2.3	**62.3**	**32.1**
	小学生	652	24.8	38.2	20.9	12.1	1.1	2.9	**63.0**	**33.0**	22.5	37.4	24.8	11.0	1.1	3.1	**59.9**	**35.8**
	中学生	318	21.4	36.8	21.1	15.1	2.5	3.1	**58.2**	**36.2**	18.9	38.7	22.3	14.2	2.5	3.5	**57.6**	**36.5**
	高校生	271	21.0	34.3	20.7	15.9	4.4	3.7	**55.3**	**36.6**	18.8	35.1	22.5	15.1	4.4	4.1	**53.9**	**37.6**
	大学生・短大生・専門学校生	123	17.9	37.4	21.1	18.7	3.3	1.6	**55.3**	**39.8**	16.3	38.2	21.1	18.7	3.3	2.4	**54.5**	**39.8**
	社会人	95	22.1	33.7	21.1	12.6	5.3	5.3	**55.8**	**33.7**	21.1	28.4	27.4	12.6	5.3	5.3	**49.5**	**40.0**
	その他	5	40.0	40.0	－	20.0	－	－	**80.0**	**20.0**	40.0	20.0	20.0	20.0	－	－	**60.0**	**40.0**
	無回答	3	－	－	66.7	－	－	33.3	**－**	**66.7**	－	－	66.7	－	－	33.3	**－**	**66.7**
居住地域別	福岡地域	717	25.0	35.6	22.3	12.0	2.6	2.5	**60.6**	**34.3**	23.4	35.7	24.5	11.2	2.5	2.6	**59.1**	**35.7**
	筑後地域	197	29.4	32.0	14.7	19.3	2.0	2.5	**61.4**	**34.0**	27.9	32.0	19.8	15.7	2.0	2.5	**59.9**	**35.5**
	筑豊地域	82	24.4	31.7	22.0	7.3	8.5	6.1	**56.1**	**29.3**	24.4	26.8	26.8	7.3	8.5	6.1	**51.2**	**34.1**
	北九州地域	306	27.5	36.9	19.3	8.5	2.6	5.2	**64.4**	**27.8**	21.2	38.2	22.5	9.8	2.6	5.6	**59.4**	**32.3**
	無回答	26	19.2	34.6	23.1	7.7	7.7	7.7	**53.8**	**30.8**	11.5	42.3	26.9	3.8	7.7	7.7	**53.8**	**30.7**

図表３－22（３）配偶者（パートナー）の子育ての関わり方の評価［全体、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(G)こどもの気持ちや考えに対する理解・関心								(H)こどもの発達や教育への理解・関心							
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	338	493	268	142	40	47	831	410	352	495	249	148	39	45	847	397
		100.0	25.5	37.1	20.2	10.7	3.0	3.5	62.6	30.9	26.5	37.3	18.8	11.1	2.9	3.4	63.8	29.9
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	58.8	29.4	5.9	2.9	－	2.9	88.2	8.8	55.9	29.4	8.8	2.9	－	2.9	85.3	11.7
	男性:30歳代	146	53.4	35.6	7.5	－	0.7	2.7	89.0	7.5	57.5	30.8	7.5	0.7	0.7	2.7	88.3	8.2
	男性:40歳代	277	38.3	40.1	15.5	5.1	0.4	0.7	78.4	20.6	44.0	43.7	7.2	4.3	0.4	0.4	87.7	11.5
	女性:18～20歳代	55	30.9	38.2	14.5	7.3	1.8	7.3	69.1	21.8	29.1	32.7	21.8	7.3	1.8	7.3	61.8	29.1
	女性:30歳代	328	20.1	35.4	20.7	14.3	3.7	5.8	55.5	35.0	18.6	35.1	22.3	14.9	3.4	5.8	53.7	37.2
	女性:40歳代	473	9.9	37.4	28.3	15.9	4.9	3.6	47.3	44.2	9.7	38.1	27.3	16.7	4.9	3.4	47.8	44.0
	無回答	15	26.7	40.0	13.3	6.7	13.3	－	66.7	20.0	26.7	40.0	6.7	13.3	13.3	－	66.7	20.0
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	37.9	37.9	13.5	6.2	0.6	3.8	75.8	19.7	38.5	34.4	16.5	6.2	0.6	3.8	72.9	22.7
	未就学児	384	26.6	39.8	18.2	9.4	3.6	2.3	66.4	27.6	27.9	39.6	16.9	9.9	3.4	2.3	67.5	26.8
	小学生	652	23.2	39.7	21.3	11.7	1.1	3.1	62.9	33.0	23.9	41.0	18.3	13.0	1.1	2.8	64.9	31.3
	中学生	318	18.9	39.6	21.7	14.5	2.5	2.8	58.5	36.2	19.8	39.9	20.4	14.5	2.5	2.8	59.7	34.9
	高校生	271	17.3	33.9	24.4	16.2	4.4	3.7	51.2	40.6	18.5	33.9	22.9	16.6	4.4	3.7	52.4	39.5
	大学生・短大生・専門学校生	123	17.1	37.4	28.5	12.2	3.3	1.6	54.5	40.7	21.1	35.8	26.8	11.4	3.3	1.6	56.9	38.2
	社会人	95	18.9	25.3	35.8	9.5	5.3	5.3	44.2	45.3	20.0	28.4	31.6	9.5	5.3	5.3	48.4	41.1
	その他	5	40.0	－	20.0	40.0	－	－	40.0	60.0	40.0	－	20.0	40.0	－	－	40.0	60.0
	無回答	3	－	33.3	33.3	－	－	33.3	33.3	33.3	－	33.3	－	33.3	－	33.3	33.3	33.3
居住地域別	福岡地域	717	25.9	37.9	20.8	10.5	2.5	2.4	63.8	31.3	27.8	36.5	19.7	11.2	2.5	2.4	64.3	30.9
	筑後地域	197	26.9	31.5	21.3	15.2	2.0	3.0	58.4	36.5	25.4	34.0	21.3	14.7	2.0	2.5	59.4	36.0
	筑豊地域	82	20.7	37.8	17.1	9.8	8.5	6.1	58.5	26.9	22.0	36.6	19.5	7.3	8.5	6.1	58.6	26.8
	北九州地域	306	24.2	38.9	19.3	9.2	2.9	5.6	63.1	28.5	24.5	42.2	15.4	10.1	2.6	5.2	66.7	25.5
	無回答	26	30.8	34.6	15.4	3.8	7.7	7.7	65.4	19.2	38.5	26.9	11.5	7.7	7.7	7.7	65.4	19.2

		標本数	(I)誕生日などのイベント、学校行事等の対応								(J)こどもが病気のときの対応・世話							
			十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない	無回答	『十分』計	『不十分』計
全体		1,328	468	461	196	118	39	46	929	314	391	327	242	280	41	47	718	522
		100.0	35.2	34.7	14.8	8.9	2.9	3.5	69.9	23.7	29.4	24.6	18.2	21.1	3.1	3.5	54.0	39.3
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	70.6	14.7	8.8	2.9	－	2.9	85.3	11.7	76.5	14.7	2.9	2.9	－	2.9	91.2	5.8
	男性:30歳代	146	64.4	28.1	2.1	1.4	0.7	3.4	92.5	3.5	68.5	22.6	3.4	1.4	0.7	3.4	91.1	4.8
	男性:40歳代	277	57.8	32.9	6.1	2.5	0.4	0.4	90.7	8.6	58.1	30.3	6.5	3.6	0.7	0.7	88.4	10.1
	女性:18～20歳代	55	34.5	36.4	10.9	9.1	1.8	7.3	70.9	20.0	14.5	27.3	23.6	23.6	3.6	7.3	41.8	47.2
	女性:30歳代	328	26.2	35.4	18.9	10.4	3.4	5.8	61.6	29.3	12.8	24.7	25.9	27.4	3.4	5.8	37.5	53.3
	女性:40歳代	473	16.7	39.1	22.0	14.0	4.9	3.4	55.8	36.0	10.6	22.8	24.3	34.0	4.9	3.4	33.4	58.3
	無回答	15	40.0	20.0	6.7	20.0	13.3	－	60.0	26.7	26.7	6.7	33.3	20.0	13.3	－	33.4	53.3
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	46.8	33.5	10.3	5.0	0.6	3.8	80.3	15.3	35.6	25.6	18.2	16.2	0.6	3.8	61.2	34.4
	未就学児	384	40.1	35.7	12.8	5.7	3.4	2.3	75.8	18.5	29.2	29.2	18.0	17.7	3.6	2.3	58.4	35.7
	小学生	652	34.4	35.9	16.4	9.5	1.1	2.8	70.3	25.9	29.6	25.9	18.7	21.8	1.1	2.9	55.5	40.5
	中学生	318	26.4	35.8	19.2	13.2	2.5	2.8	62.2	32.4	25.8	24.8	17.6	26.1	2.8	2.8	50.6	43.7
	高校生	271	25.1	32.8	17.3	16.2	4.4	4.1	57.9	33.5	23.2	19.6	20.3	28.0	4.8	4.1	42.8	48.3
	大学生・短大生・専門学校生	123	23.6	35.8	22.8	13.0	3.3	1.6	59.4	35.8	21.1	25.2	23.6	25.2	3.3	1.6	46.3	48.8
	社会人	95	27.4	31.6	18.9	11.6	5.3	5.3	59.0	30.5	26.3	15.8	17.9	28.4	5.3	6.3	42.1	46.3
	その他	5	－	60.0	－	40.0	－	－	60.0	40.0	40.0	20.0	－	40.0	－	－	60.0	40.0
	無回答	3	33.3	33.3	－	－	－	33.3	66.6	－	33.3	－	33.3	－	－	33.3	33.3	33.3
居住地域別	福岡地域	717	34.4	36.7	15.3	8.5	2.5	2.5	71.1	23.8	29.6	25.7	18.8	20.8	2.6	2.5	55.3	39.6
	筑後地域	197	33.0	35.5	14.7	12.2	2.0	2.5	68.5	26.9	28.4	21.8	18.8	25.9	2.5	2.5	50.2	44.7
	筑豊地域	82	32.9	28.0	12.2	12.2	8.5	6.1	60.9	24.4	19.5	23.2	20.7	22.0	8.5	6.1	42.7	42.7
	北九州地域	306	37.9	33.0	14.4	6.9	2.6	5.2	70.9	21.3	32.4	23.9	16.0	19.6	2.6	5.6	56.3	35.6
	無回答	26	50.0	15.4	11.5	7.7	7.7	7.7	65.4	19.2	30.8	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	61.6	23.1

８．地域でのこどもを通じた付き合い

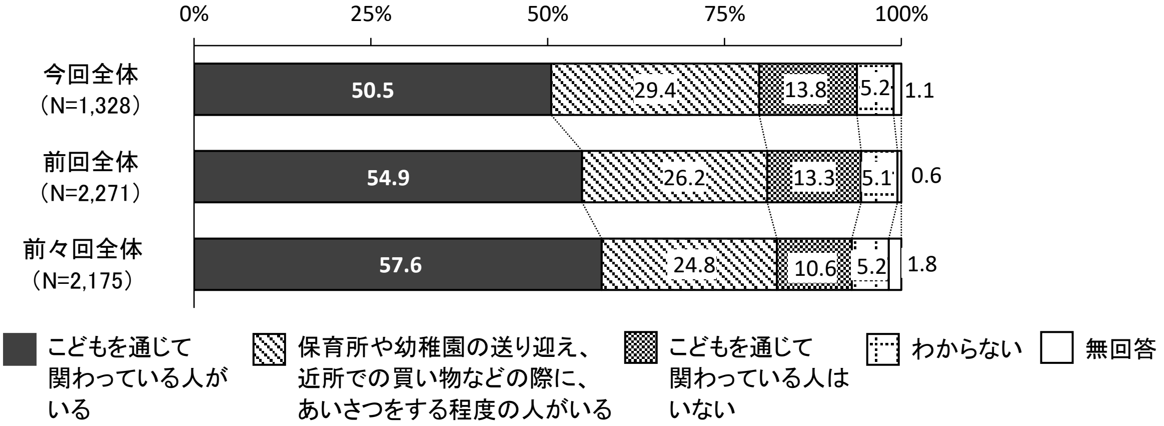
（１）地域でのこどもを通じた付き合いの有無

問23　あなたは地域でのこどもを通じたお付き合いの中で関わっている人はいます(した)か。
次の中からあてはまるものを選んでください。(○は1つ)

地域でのこどもを通じた付き合いについては、「こどもを通じて関わっている人がいる」が 50.5%で最も高く、次いで「保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買い物等の際にあいさつをする程度の人がいる」が 29.4%、「こどもを通じて関わっている人はいない」が 13.8%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「こどもを通じて関わっている人がいる」は前々回調査から減少傾向が続いており、その代わりに「保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買い物等の際にあいさつをする程度の人がいる」が増加している。

図表３－23　地域でのこどもを通じた付き合いの有無［全体］



【性別】

「こどもを通じて関わっている人がいる」は、女性が 56.0%、男性が 40.4%で女性の方が 15.6 ポイント高くなっている。「こどもを通じて関わっている人はいない」は男性で 20.4%と高く、女性の 10.3%と 10.1 ポイント差がある。

【性別・年代別】

男女ともに「こどもを通じて関わっている人がいる」は、年代が高くなるほど割合も高いという傾向が顕著で、40 歳代の割合は 18～20 歳代の２倍以上となっている。

【こどもの状況別】

「こどもを通じて関わっている人がいる」は、こどもが乳幼児（３歳未満）の場合には 27.9%と低いが、未就学児では 41.1%に増加し、小学生以降では６割以上となっている。

【働き方別】

二人ともフルタイムで働いている場合には、フルタイム＋パートタイムや片働きに比べて「こどもを通じて関わっている人がいる」の割合が低くなっている。

図表３－24　地域でのこどもを通じた付き合いの有無［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、働き方別、居住地域別］

(%)

		標本数	こどもを通じて関わっている人がいる	保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買い物などの際に、あいさつをする程度の人がいる	こどもを通じて関わっている人はいない	わからない	無回答
全体		1,328	670	391	183	69	15
		100.0	50.5	29.4	13.8	5.2	1.1
性別	男性	460	40.4	28.7	20.4	9.3	1.1
	女性	862	56.0	29.6	10.3	2.9	1.2
	無回答	6	16.7	66.7	－	16.7	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	20.6	29.4	26.5	20.6	2.9
	男性:30歳代	146	29.5	39.7	21.9	6.2	2.7
	男性:40歳代	277	48.0	23.1	19.1	9.7	－
	女性:18～20歳代	55	25.5	34.5	29.1	9.1	1.8
	女性:30歳代	328	46.6	36.9	12.2	3.0	1.2
	女性:40歳代	473	66.0	24.3	6.8	2.1	0.8
	無回答	15	53.3	26.7	6.7	6.7	6.7
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	27.9	39.1	24.1	6.8	2.1
	未就学児	384	41.1	41.7	9.9	6.3	1.0
	小学生	652	61.3	24.7	8.4	4.6	0.9
	中学生	318	62.3	19.5	12.3	5.7	0.3
	高校生	271	64.2	20.7	9.6	5.2	0.4
	大学生・短大生・専門学校生	123	63.4	22.0	11.4	3.3	－
	社会人	95	65.3	18.9	10.5	4.2	1.1
	その他	5	60.0	20.0	20.0	－	－
	無回答	3	66.7	－	－	－	33.3
働き方別	二人ともフルタイム	463	46.0	32.8	16.0	4.1	1.1
	フルタイム＋パートタイム	480	53.5	30.4	10.2	4.8	1.0
	二人ともパートタイム	3	－	－	66.7	33.3	－
	夫のみ働いている	222	54.1	22.5	15.3	7.2	0.9
	妻のみ働いている	7	71.4	28.6	－	－	－
	その他	11	36.4	27.3	9.1	9.1	18.2
	二人とも働いていない	3	66.7	33.3	－	－	－
	無回答	139	49.6	26.6	16.5	6.5	0.7
居住地域別	福岡地域	717	51.7	25.9	15.6	5.7	1.0
	筑後地域	197	50.8	32.0	9.6	6.6	1.0
	筑豊地域	82	52.4	29.3	12.2	4.9	1.2
	北九州地域	306	47.7	35.6	11.8	3.3	1.6
	無回答	26	38.5	34.6	23.1	3.8	－

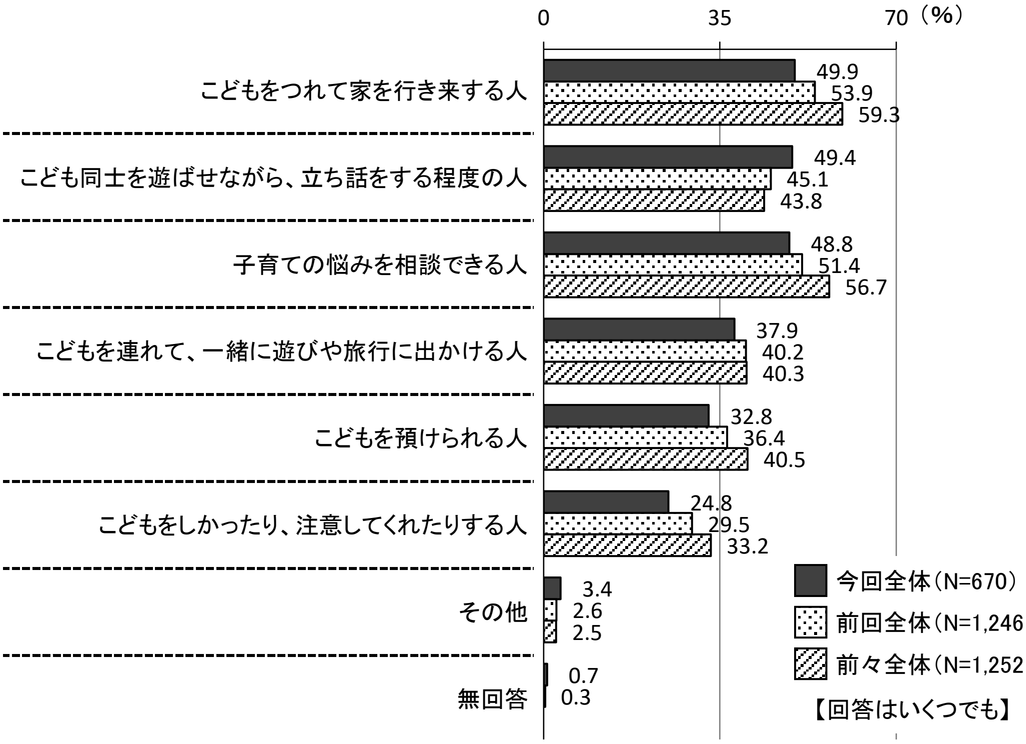
（２）地域でのこどもを通じて関わっている人

SQ1【問23で１と答えた方に】こどもを通じて関わっている人はどのような人ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

こどもを通じて関わっている人は、「こどもをつれて家を行き来する人」（49.9％）と「こども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人」（49.4％）、「子育ての悩みを相談できる人」（48.8％）がいずれも約５割となっている。次いで、「こどもを連れて、一緒に遊びや旅行に出かける人」（37.9％）と「こどもを預けられる人」（32.8％）となっている。

過去の調査との比較では、「こども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人」は前々回調査からやや増加傾向となっているが、その他はいずれも減少傾向となっており、「こどもをつれて家を行き来する人」は前々回調査から9.4ポイント減少している。

図表３－25　地域でのこどもを通じて関わっている人［全体］



【性別】

「子育ての悩みを相談できる人」は、男性（32.3%）よりも女性（55.3%）の方が 23 ポイント高く、「こどもをつれて家を行き来する人」（男性 40.3%、女性 53.6%）も女性の方が 13.3 ポイント高い。

【こどもの状況別】

「こどもを預けられる人」は、こどもが小学生以降の場合に３割を超えて高くなっている。こどもが乳幼児（３歳未満）の場合には、割合が低い項目が多いが、「こどもを連れて、一緒に遊びや旅行に出かける人」は乳幼児（３歳未満）で 43.2%と他よりも高い割合となっている。

図表３－26　地域でのこどもを通じて関わっている人［全体、性別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	こどもを預けられる人	こどもをしかったり、注意してくれたりする人	こどもをつれて家を行き来する人	こども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人	こどもを連れて、一緒に遊びや旅行に出かける人	子育ての悩みを相談できる人	その他	無回答
全 体		670	220	166	334	331	254	327	23	5
		100.0	32.8	24.8	49.9	49.4	37.9	48.8	3.4	0.7
性別	男性	186	30.1	25.3	40.3	46.8	36.0	32.3	3.8	1.1
	女性	483	33.7	24.6	53.6	50.5	38.7	55.3	3.3	0.6
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	95	22.1	17.9	49.5	47.4	43.2	51.6	6.3	1.1
	未就学児	158	28.5	22.2	50.6	60.8	37.3	48.1	4.4	0.6
	小学生	400	37.0	27.8	50.5	53.0	37.8	47.5	4.3	0.8
	中学生	198	37.9	26.3	51.5	50.0	35.9	52.5	3.0	－
	高校生	174	32.2	25.9	51.1	38.5	36.2	50.6	1.7	1.1
	大学生･短大生･専門学校生	78	34.6	23.1	55.1	44.9	34.6	46.2	2.6	1.3
	社会人	62	33.9	27.4	53.2	41.9	38.7	54.8	－	－
	その他	3	33.3	－	33.3	33.3	100.0	－	－	－
	無回答	2	－	－	－	50.0	50.0	－	－	－
居住地域別	福岡地域	371	32.6	26.1	49.3	51.8	38.8	50.1	2.4	－
	筑後地域	100	28.0	17.0	48.0	43.0	35.0	47.0	6.0	2.0
	筑豊地域	43	44.2	32.6	58.1	48.8	51.2	62.8	2.3	－
	北九州地域	146	34.9	25.3	50.0	49.3	34.2	44.5	4.1	1.4
	無回答	10	10.0	10.0	50.0	30.0	30.0	20.0	10.0	10.0

９．子育てサークルへの参加

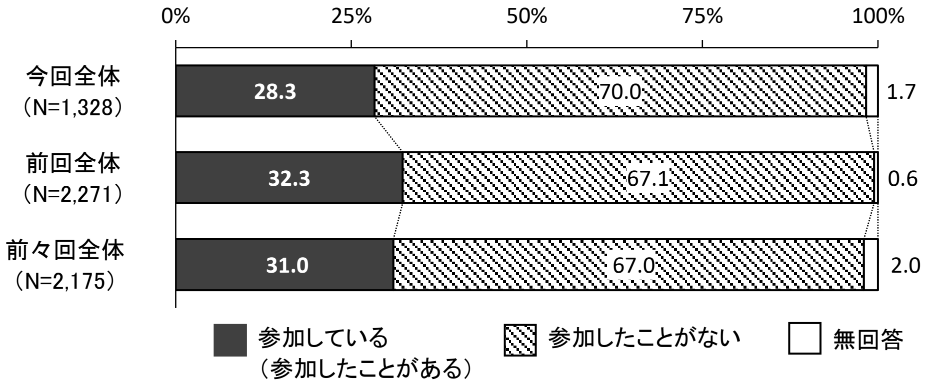
（１）子育てサークルへの参加の有無

問24　あなたは、地域の子育てサークルにこれまで参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

地域の子育てサークルへの参加については、「参加している（参加したことがある）」が 28.3％で、「参加したことがない」が 70.0％となっている。

過去の調査結果と比較すると、「参加している（参加したことがある）」は、前回調査より４ポイント減少している。

図表３－27　子育てサークルへの参加の有無［全体］



【性別】

「参加している（参加したことがある）」の割合は、男性が 16.3％、女性が 34.7％で女性の方が 18.4 ポイント高い。

【性別・年代別】

男女ともに年代が高くなるほど「参加している（参加したことがある）」の割合は高くなっており、特に女性でその傾向が顕著である。

【こどもの状況別】

「参加している（参加したことがある）」は、こどもが中学生の場合に 37.4%と最も高くなっている。

【働き方別】

「参加している（参加したことがある）」の割合は、二人ともフルタイムでは 24.6%で、フルタイム＋パートタイム（31.7%）や夫のみ働いている（31.5%）場合に比べて約７ポイント低くなっている。

図表３－28　子育てサークルへの参加の有無［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、働き方別、居住地域別］

(%)

		標本数	参加している（参加したことがある）	参加したことがない	無回答
全　体		1,328 100.0	376 28.3	929 70.0	23 1.7
性別	男性	460	16.3	81.5	2.2
	女性	862	34.7	63.8	1.5
	無回答	6	33.3	66.7	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	11.8	85.3	2.9
	男性:30歳代	146	15.1	80.8	4.1
	男性:40歳代	277	17.3	81.6	1.1
	女性:18～20歳代	55	20.0	78.2	1.8
	女性:30歳代	328	28.7	68.9	2.4
	女性:40歳代	473	40.6	58.6	0.8
	無回答	15	33.3	66.7	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	24.4	72.6	2.9
	未就学児	384	23.2	74.0	2.9
	小学生	652	30.1	68.3	1.7
	中学生	318	37.4	61.9	0.6
	高校生	271	33.9	65.7	0.4
	大学生･短大生･専門学校生	123	33.3	66.7	－
	社会人	95	20.0	78.9	1.1
	その他	5	40.0	60.0	－
	無回答	3	33.3	33.3	33.3
働き方別	二人ともフルタイム	463	24.6	73.7	1.7
	フルタイム＋パートタイム	480	31.7	66.7	1.7
	二人ともパートタイム	3	66.7	33.3	－
	夫のみ働いている	222	31.5	67.1	1.4
	妻のみ働いている	7	28.6	57.1	14.3
	その他	11	36.4	45.5	18.2
	二人とも働いていない	3	－	100.0	－
	無回答	139	23.0	76.3	0.7
居住地域別	福岡地域	717	28.9	69.7	1.4
	筑後地域	197	25.4	72.6	2.0
	筑豊地域	82	24.4	74.4	1.2
	北九州地域	306	29.1	68.3	2.6
	無回答	26	38.5	61.5	－

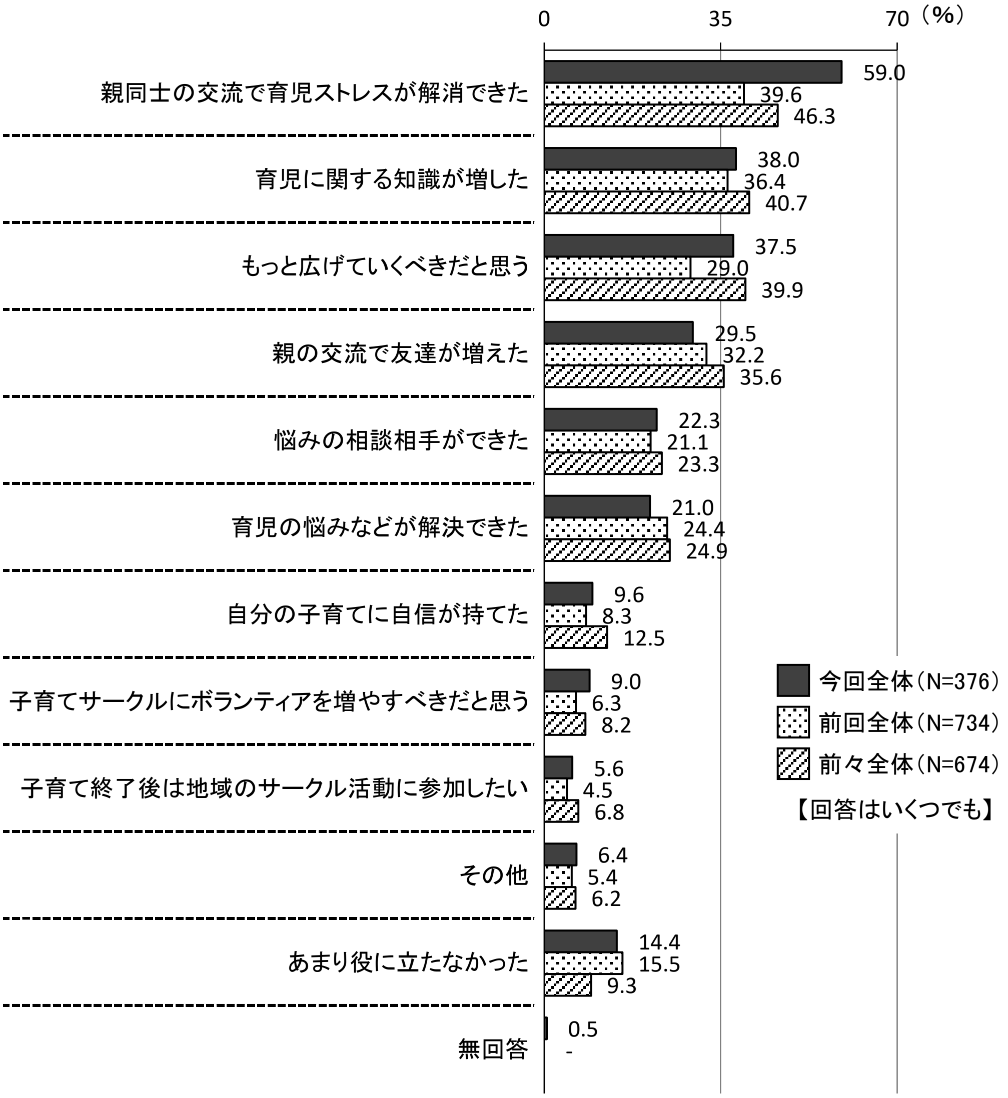
（２）子育てサークルに参加して感じたこと

SQ1【問24で １ と答えた方に】あなたは、地域の子育てサークルに参加してどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

地域の子育てサークルに参加している（参加したことがある）人に、参加して感じたことをたずねたところ、「親同士の交流で育児ストレスが解消できた」が 59.0％で最も高く、次いで「育児に関する知識が増した」（38.0％）、「もっと広げていくべきだと思う」（37.5％）となっている。

過去の調査結果と比較すると、「親同士の交流で育児ストレスが解消できた」が前回調査よりも 19.4 ポイント増加しており、「もっと広げていくべきだと思う」も 8.5 ポイント増加している。

図表３－29　子育てサークルに参加して感じたこと［全体］



【性別】

「もっと広げていくべきだと思う」は、男性が 46.7％で女性の 35.5％よりも 11.2 ポイント高い。一方で、「親同士の交流で育児ストレスが解消できた」（男性 53.3％、女性 60.2％）は、女性の方が 6.9 ポイント高くなっている。

【こどもの状況別】

「親の交流で友達が増えた」は、こどもの年代が高くなると割合も高くなる傾向がある。

図表３－30　子育てサークルに参加して感じたこと［全体、性別、こどもの状況別、居住地域別］

（%）

		標本数	もっと広げていくべきだと思う	育児の悩みなどが解決できた	親同士の交流で育児ストレスが解消できた	自分の子育てに自信が持てた	育児に関する知識が増した	悩みの相談相手ができた	親の交流で友達が増えた	子育てサークルにボランティアを増やすべきだと思う	子育て終了後は地域のサークル活動に参加したい	その他	あまり役に立たなかった	無回答
全 体		376	141	79	222	36	143	84	111	34	21	24	54	2
		100.0	37.5	21.0	59.0	9.6	38.0	22.3	29.5	9.0	5.6	6.4	14.4	0.5
性別	男性	75	46.7	21.3	53.3	12.0	32.0	18.7	32.0	5.3	5.3	6.7	12.0	－
	女性	299	35.5	20.4	60.2	9.0	39.8	23.1	29.1	10.0	5.7	6.4	15.1	0.7
	無回答	2	－	100.0	100.0	－	－	50.0	－	－	－	－	－	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	83	42.2	15.7	57.8	9.6	38.6	14.5	19.3	8.4	3.6	6.0	14.5	－
	未就学児	89	41.6	20.2	60.7	12.4	40.4	21.3	25.8	14.6	9.0	5.6	13.5	－
	小学生	196	36.7	21.9	62.8	11.7	40.8	24.5	31.6	7.1	4.6	7.7	13.3	1.0
	中学生	119	37.0	23.5	67.2	7.6	37.8	26.9	31.9	9.2	9.2	5.9	9.2	0.8
	高校生	92	33.7	20.7	60.9	6.5	34.8	23.9	37.0	9.8	9.8	5.4	8.7	－
	大学生・短大生・専門学校生	41	36.6	22.0	51.2	7.3	41.5	26.8	36.6	7.3	7.3	4.9	9.8	－
	社会人	19	52.6	15.8	52.6	5.3	31.6	21.1	47.4	15.8	10.5	－	10.5	5.3
	その他	2	50.0	－	50.0	－	50.0	－	50.0	－	－	－	－	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－
居住地域別	福岡地域	207	34.8	21.3	65.7	8.7	38.6	24.2	29.0	10.6	4.8	5.8	14.0	1.0
	筑後地域	50	42.0	20.0	52.0	6.0	36.0	18.0	36.0	6.0	10.0	10.0	10.0	－
	筑豊地域	20	40.0	25.0	55.0	10.0	40.0	30.0	35.0	5.0	5.0	5.0	10.0	－
	北九州地域	89	42.7	20.2	50.6	13.5	38.2	19.1	24.7	9.0	5.6	6.7	18.0	－
	無回答	10	20.0	20.0	40.0	10.0	30.0	20.0	40.0	－	－	－	20.0	－

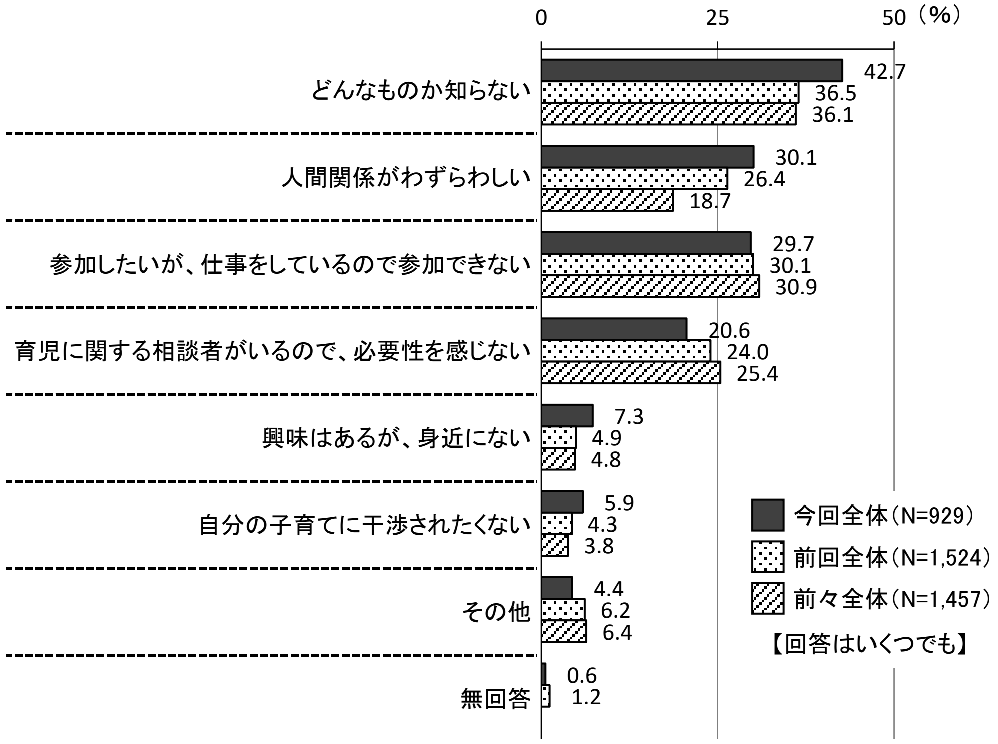
（３）子育てサークルに参加しない理由

SQ2【問24で ２ と答えた方に】あなたが、地域の子育てサークルに参加しない理由はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

子育てサークルに参加しない理由としては、「どんなものか知らない」が 42.7％で最も高く、次いで「人間関係がわずらわしい」（30.1％）、「参加したいが、仕事をしているので参加できない」（29.7％）となっている。

過去の調査結果と比較すると、「どんなものか知らない」が前回調査よりも 6.2 ポイント増加している。「人間関係がわずらわしい」は、前々回調査から増加傾向となっており、反対に「育児に関する相談者がいるので、必要性を感じない」は減少傾向となっている。

図表３－31　子育てサークルに参加しない理由［全体］



【性別】

「どんなものか知らない」は、女性（35.3%）よりも男性（53.9%）の方が 18.6 ポイント高くなっている。「育児に関する相談者がいるので、必要性を感じない」（男性 12.0%、女性 26.5%）と「人間関係がわずらわしい」（同 24.0%、34.4%）は、女性の方が 10 ポイント以上高くなっている。

【性別・年代別】

「どんなものか知らない」は、男女ともに年代が低いほど割合は高くなっており、18～20 歳代では５割を超えている。

【こどもの状況別】

「どんなものか知らない」は、こどもが小さいと割合が高い傾向があり、乳幼児（３歳未満）では 50.6%となっている。

図表３－32　子育てサークルに参加しない理由［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

（%）

		標本数	どんなものか知らない	育児に関する相談者がいるので、必要性を感じない	興味はあるが、身近にない	人間関係がわずらわしい	自分の子育てに干渉されたくない	参加したいが、仕事をしているのでできない	その他	無回答
全体		929	397	191	68	280	55	276	41	6
		100.0	42.7	20.6	7.3	30.1	5.9	29.7	4.4	0.6
性別	男性	375	53.9	12.0	6.7	24.0	3.7	29.9	3.5	0.8
	女性	550	35.3	26.5	7.8	34.4	7.5	29.5	5.1	0.5
	無回答	4	25.0	－	－	25.0	－	50.0	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	29	62.1	6.9	6.9	24.1	3.4	27.6	－	3.4
	男性:30歳代	118	57.6	13.6	5.1	22.9	5.1	28.8	2.5	0.8
	男性:40歳代	226	50.4	11.5	7.5	24.8	3.1	31.0	4.4	0.4
	女性:18～20歳代	43	51.2	20.9	7.0	20.9	7.0	11.6	4.7	－
	女性:30歳代	226	36.7	29.2	11.1	38.5	7.5	29.6	4.0	0.4
	女性:40歳代	277	31.4	25.3	5.4	33.6	7.6	31.8	6.1	0.7
	無回答	10	50.0	20.0	－	10.0	－	40.0	－	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	247	50.6	19.4	10.5	27.9	5.3	27.1	4.5	0.8
	未就学児	284	45.1	22.2	8.1	22.9	6.0	30.6	4.6	－
	小学生	445	42.2	22.7	7.0	31.7	5.4	30.1	4.0	0.9
	中学生	197	36.0	17.8	4.6	34.0	6.1	29.9	5.1	－
	高校生	178	34.3	21.9	3.4	38.8	6.7	30.9	4.5	0.6
	大学生･短大生･専門学校生	82	37.8	18.3	3.7	30.5	4.9	31.7	2.4	1.2
	社会人	75	29.3	22.7	8.0	33.3	8.0	29.3	4.0	－
	その他	3	100.0	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	－	－
	無回答	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－
居住地域別	福岡地域	500	42.8	19.2	7.0	31.4	5.6	28.0	5.0	0.4
	筑後地域	143	46.9	22.4	9.1	23.8	4.2	32.2	4.2	1.4
	筑豊地域	61	39.3	19.7	3.3	27.9	－	31.1	4.9	1.6
	北九州地域	209	40.7	22.5	8.1	32.5	8.6	30.6	2.9	0.5
	無回答	16	43.8	25.0	6.3	25.0	18.8	43.8	6.3	－

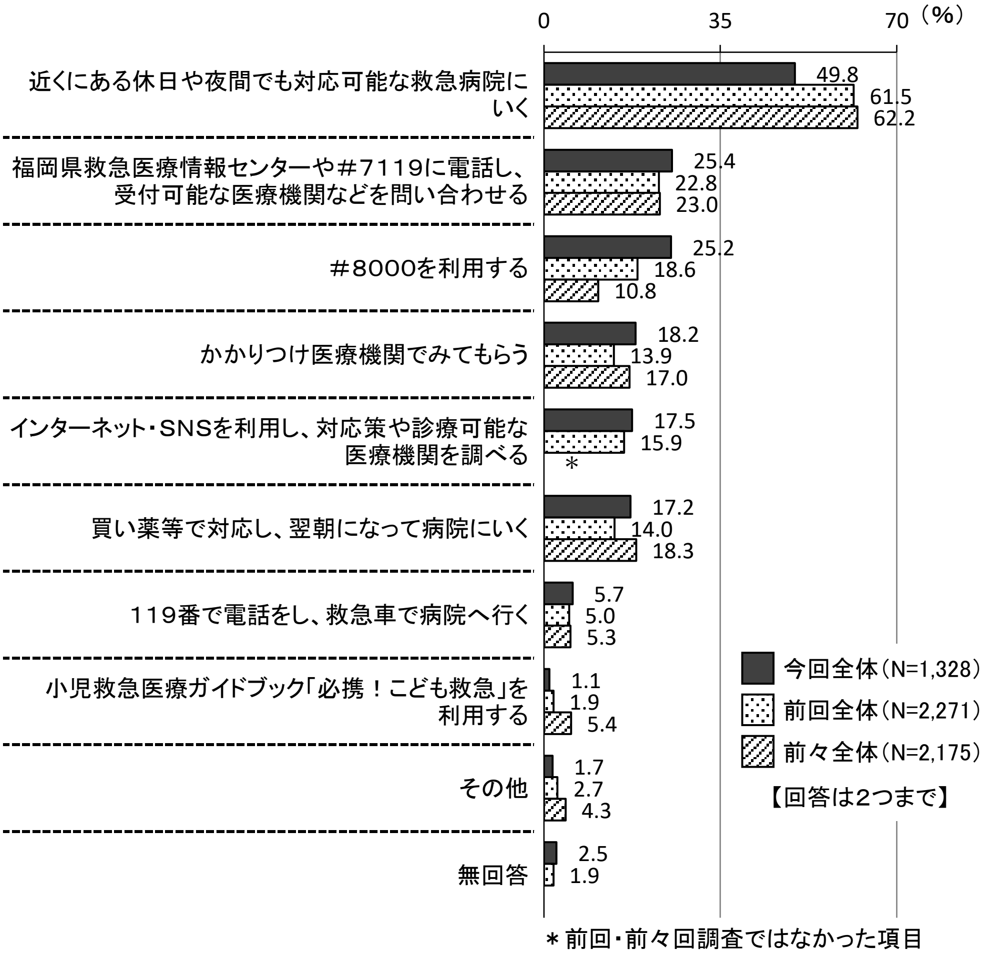
10. こどもの急病時の対応

問25　休日や夜間にこどもが急病になったとき、どのように対応されています(した)か。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。(○は2つまで)

こどもの急病時の対応についてたずねたところ、「近くにある休日や夜間でも対応可能な救急病院にいく」が 49.8%と高く、次いで、「福岡県救急医療情報センターや＃７１１９に電話し、受付可能な医療機関などを問い合わせる」(25.4%)と「＃８０００を利用する」(25.2%)となっている。

過去の調査結果と比較すると、「近くにある休日や夜間でも対応可能な救急病院にいく」が前回調査よりも 11.7 ポイント減少し、「＃８０００を利用する」や「かかりつけ医療機関でみてもらう」が増加している。

図表３－33　こどもの急病時の対応［全体］



【性別】

「＃８０００を利用する」は、男性（15.7％）よりも女性（30.4％）の方が 14.7 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「福岡県救急医療情報センターや＃７１１９に電話し、受付可能な医療機関などを問い合わせる」は、男女ともに 18～20 歳代で３割を超えて高くなっている。

【こどもの状況別】

「近くにある休日や夜間でも対応可能な救急病院にいく」は、乳幼児（３歳未満）で 36.5％、未就学児で 44.8％であるが、小学生以降では５割を超えている。

図表３－34　こどもの急病時の対応［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

（％）

		標本数	１１９番で電話をし、救急車で病院へ行く	福岡県救急医療情報センターや＃７１１９に電話し、受付可能な医療機関などを問い合わせる	かかりつけ医療機関でみてもらう	近くにある休日や夜間でも対応可能な救急病院にいく	買い薬等で対応し、翌朝になって病院にいく	＃８０００を利用する	小児救急医療ガイドブック「必携！こども救急」を利用する	インターネット・ＳＮＳを利用し、対応策や診療可能な医療機関を調べる	その他	無回答
全体		1,328	76	337	242	662	228	335	14	233	23	33
		100.0	5.7	25.4	18.2	49.8	17.2	25.2	1.1	17.5	1.7	2.5
性別	男性	460	7.4	26.7	22.0	50.2	14.6	15.7	1.3	20.0	1.3	2.4
	女性	862	4.8	24.7	16.1	49.7	18.4	30.4	0.9	16.4	2.0	2.6
	無回答	6	16.7	16.7	33.3	50.0	33.3	16.7	－	－	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	5.9	32.4	26.5	50.0	5.9	20.6	5.9	11.8	－	2.9
	男性:30歳代	146	6.8	26.0	23.3	41.1	12.3	26.0	－	25.3	2.1	4.1
	男性:40歳代	277	7.9	26.4	20.9	54.5	17.0	9.7	1.4	18.4	1.1	1.4
	女性:18～20歳代	55	10.9	30.9	18.2	36.4	12.7	25.5	－	14.5	5.5	3.6
	女性:30歳代	328	5.2	20.1	15.2	43.3	18.9	41.5	1.5	16.8	2.1	2.7
	女性:40歳代	473	3.8	27.1	16.5	55.6	18.8	23.5	0.6	16.5	1.5	2.1
	無回答	15	6.7	26.7	20.0	60.0	20.0	13.3	－	－	－	6.7
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	7.6	24.7	20.9	36.5	12.9	36.2	1.8	18.2	3.8	3.5
	未就学児	384	6.0	24.2	17.2	44.8	19.0	36.2	1.0	16.1	1.8	2.9
	小学生	652	4.3	24.5	16.6	52.6	19.8	28.1	0.9	17.2	1.4	2.1
	中学生	318	3.5	24.8	13.8	60.1	20.1	18.6	0.6	17.3	0.6	1.9
	高校生	271	5.2	23.6	18.1	57.9	21.0	12.5	0.4	17.3	1.1	2.6
	大学生･短大生･専門学校生	123	11.4	30.1	17.9	57.7	17.1	8.1	0.8	17.9	－	0.8
	社会人	95	6.3	29.5	22.1	70.5	14.7	7.4	1.1	10.5	－	2.1
	その他	5	20.0	20.0	40.0	40.0	20.0	－	－	－	20.0	－
	無回答	3	－	－	33.3	－	－	－	－	33.3	－	33.3
居住地域別	福岡地域	717	5.3	31.9	14.5	43.5	18.4	26.5	0.8	20.4	2.4	2.5
	筑後地域	197	6.6	12.2	24.9	50.3	17.3	23.4	1.0	16.8	0.5	3.6
	筑豊地域	82	6.1	14.6	18.3	61.0	22.0	28.0	1.2	15.9	1.2	1.2
	北九州地域	306	6.2	21.9	22.5	62.1	12.7	22.9	1.6	11.1	1.3	2.0
	無回答	26	3.8	19.2	19.2	42.3	19.2	23.1	－	26.9	－	3.8

11. 小児救急医療について困ったこと

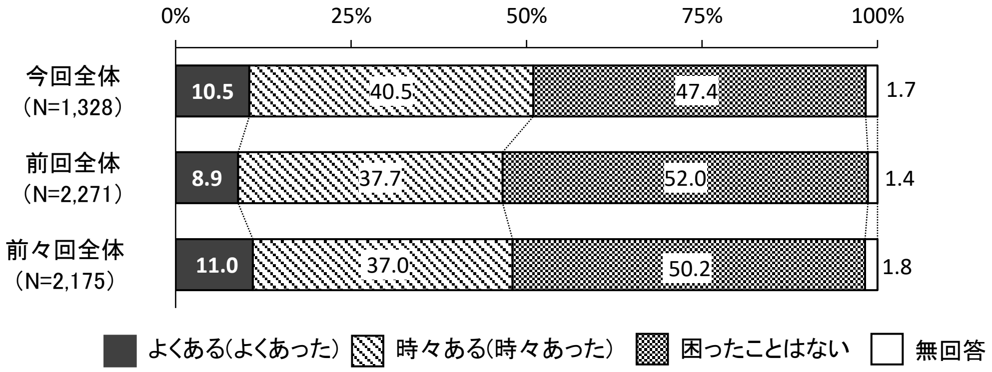
（１）小児救急医療について困ったことの有無

問26　休日や夜間にこどもが急病になったとき、小児救急医療について、困ったことがあります（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

小児救急医療について困った経験についてたずねたところ、「よくある（よくあった）」が 10.5%、「時々ある（時々あった）」が 40.5%となっており、これらを合わせた 51.0%の人が困った経験をしている。

過去の調査との比較では、前々回調査から大きな変化はみられない。

図表３－35　小児救急医療について困ったことの有無［全体］



【性別】

「よくある（よくあった)」と「時々ある（時々あった)」は、どちらも女性の方が男性よりも割合が高い。

【性別・年代別】

男女ともに、年代が高くなるほど「よくある（よくあった)」と「時々ある（時々あった)」の割合が高くなる傾向がみられる。

【こどもの状況別】

こどもの年齢が上がるほど「よくある（よくあった)」と「時々ある（時々あった)」の割合は高くなる傾向がみられる。

図表３－36　小児救急医療について困ったことの有無［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	よくある（よくあった）	時々ある（時々あった）	困ったことはない	無回答
全 体		1,328	139	538	629	22
		100.0	10.5	40.5	47.4	1.7
性別	男性	460	8.0	38.9	51.5	1.5
	女性	862	11.8	41.3	45.1	1.7
	無回答	6	－	50.0	50.0	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	－	23.5	73.5	2.9
	男性:30歳代	146	9.6	37.7	49.3	3.4
	男性:40歳代	277	8.3	41.5	49.8	0.4
	女性:18～20歳代	55	7.3	25.5	63.6	3.6
	女性:30歳代	328	11.6	37.8	48.8	1.8
	女性:40歳代	473	12.7	46.1	40.0	1.3
	無回答	15	－	26.7	66.7	6.7
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	8.5	32.1	57.1	2.4
	未就学児	384	11.2	40.9	46.4	1.6
	小学生	652	11.8	44.5	42.3	1.4
	中学生	318	13.8	47.2	38.1	0.9
	高校生	271	16.2	42.8	38.7	2.2
	大学生･短大生･専門学校生	123	13.8	49.6	36.6	－
	社会人	95	11.6	48.4	38.9	1.1
	その他	5	－	20.0	80.0	－
	無回答	3	－	－	66.7	33.3
居住地域別	福岡地域	717	10.3	40.9	47.1	1.7
	筑後地域	197	11.2	39.6	47.7	1.5
	筑豊地域	82	13.4	43.9	41.5	1.2
	北九州地域	306	9.5	39.9	49.0	1.6
	無回答	26	11.5	34.6	50.0	3.8

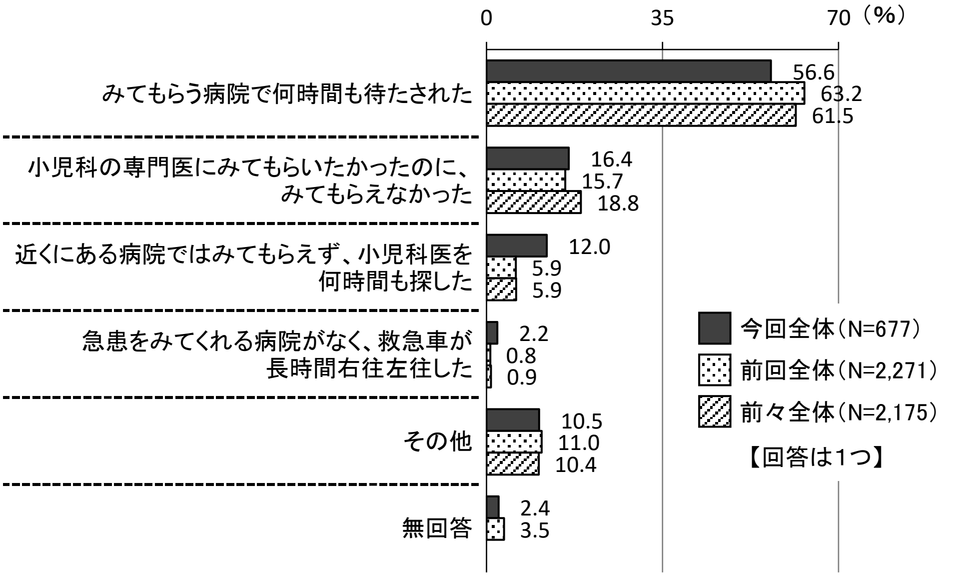
（２）小児救急医療について困ったことの内容

SQ1【問26で 1または2 と答えた方に】あなたが小児救急医療について困ったことは、具体的にはどのようなことでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

小児救急医療について困ったことがある人に、具体的な内容をたずねたところ、「みてもらう病院で何時間も待たされた」が 56.6％と最も高くなっており、次いで、「小児科の専門医にみてもらいたかったのに、みてもらえなかった」（16.4％）と「近くにある病院ではみてもらえず、小児科医を何時間も探した」（12.0％）となっている。

過去の調査結果と比較すると、「みてもらう病院で何時間も待たされた」は前回調査よりも 6.6 ポイント減少し、「近くにある病院ではみてもらえず、小児科医を何時間も探した」は 6.1 ポイント増加している。

図表３－37　小児救急医療について困ったことの内容［全体］



【性別】

男女で大差はみられない。

【性別・年代別】

「みてもらう病院で何時間も待たされた」は、男女とも年代が高くなるほど割合は高くなっている。「近くにある病院ではみてもらえず、小児科医を何時間も探した」は、男女とも 18～20 歳代で他の年代よりも割合が高くなっている。

【こどもの状況別】

乳幼児（３歳未満）では、「みてもらう病院で何時間も待たされた」（47.8%）の割合が他よりも低くなっている。

図表３－38　小児救急医療について困ったことの内容［全体、性別、性別・年代別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	みてもらう病院で何時間も待たされた	近くにある病院ではみてもらえず、小児科医を何時間も探した	急患をみてくれる病院がなく、救急車が長時間右往左往した	小児科の専門医にみてもらいたかったのに、みてもらえなかった	その他	無回答
全体		677	383	81	15	111	71	16
		100.0	56.6	12.0	2.2	16.4	10.5	2.4
性別	男性	216	53.7	15.7	2.3	18.1	10.2	－
	女性	458	57.9	10.3	2.2	15.5	10.7	3.5
	無回答	3	66.7	－	－	33.3	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	8	25.0	25.0	－	12.5	37.5	－
	男性:30歳代	69	50.7	15.9	4.3	15.9	13.0	－
	男性:40歳代	138	56.5	15.2	1.4	19.6	7.2	－
	女性:18～20歳代	18	38.9	16.7	5.6	22.2	5.6	11.1
	女性:30歳代	162	57.4	13.6	2.5	13.0	11.7	1.9
	女性:40歳代	278	59.4	7.9	1.8	16.5	10.4	4.0
	無回答	4	75.0	－	－	25.0	－	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	138	47.8	14.5	2.9	13.8	18.1	2.9
	未就学児	200	54.5	16.5	2.0	15.0	11.5	0.5
	小学生	367	60.2	12.0	2.7	14.4	8.7	1.9
	中学生	194	61.3	8.2	3.6	17.5	8.2	1.0
	高校生	160	65.0	10.6	1.3	16.3	5.0	1.9
	大学生･短大生･専門学校生	78	52.6	9.0	2.6	20.5	10.3	5.1
	社会人	57	49.1	7.0	－	35.1	5.3	3.5
	その他	1	100.0	－	－	－	－	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－
居住地域別	福岡地域	367	53.4	13.6	3.3	16.9	10.6	2.2
	筑後地域	100	71.0	8.0	－	10.0	9.0	2.0
	筑豊地域	47	48.9	17.0	4.3	14.9	10.6	4.3
	北九州地域	151	57.6	9.9	－	19.2	10.6	2.6
	無回答	12	50.0	－	8.3	25.0	16.7	－

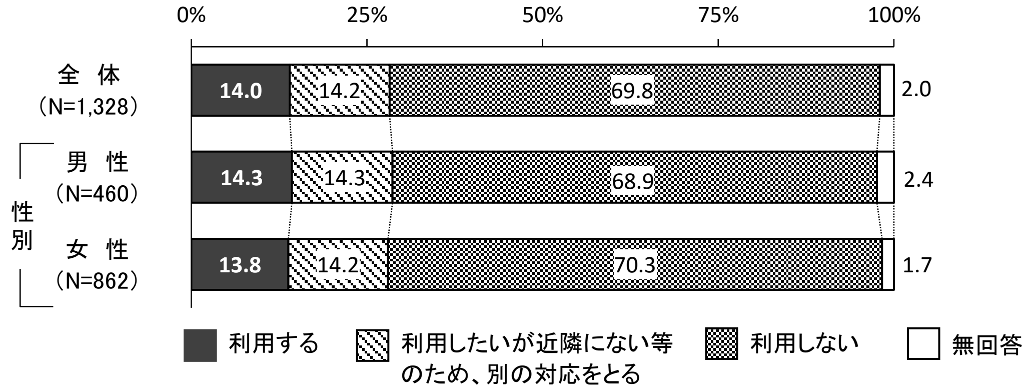
12. 病児保育（病後児保育を含む）の利用について

（１）病児保育（病後児保育を含む）の利用状況

問27　小学生までのこどもが発熱やインフルエンザなどの病気となったが、あなた自身は仕事があるとき、病児保育（病後児保育を含む）を利用しますか。次の中から最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

病児・病後児保育の利用については、「利用しない」が 69.8%と最も高く、「利用する」は 14.0%と低い。「利用したいが近隣にない等のため、別の対応をとる」は 14.2%となっている。

図表３－39　病児保育（病後児保育を含む）の利用状況［全体、性別］



【性別】

男女でほぼ同様の結果となっている。

【性別・年代別】

「利用しない」の割合は、男女とも 40 歳代で７割を超えて、他の年代よりも高くなっている。

【こどもの状況別】

「利用する」割合は、乳幼児（３歳未満）の場合に 20.9%と他よりも高くなっている。

【働き方別】

「利用する」の割合は、フルタイム＋パートタイムで 8.5%、夫のみ働いている場合で 10.4%と、二人ともフルタイム（19.9%）の場合よりも約 10 ポイント低くなっている。

図表３－40　病児保育（病後児保育を含む）の利用状況［全体、性別・年代別、こどもの状況別、働き方別、居住地域別］

(%)

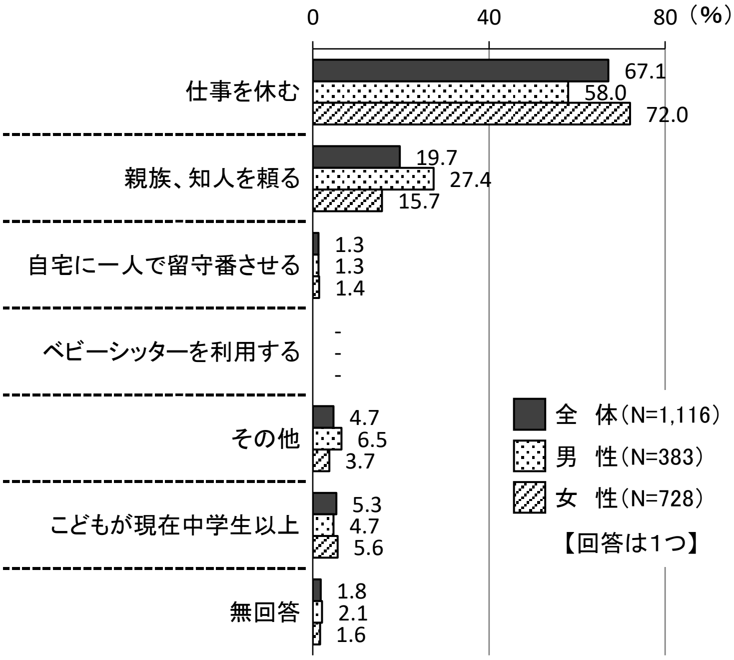
		標本数	利用する	利用したいが近隣にない等のため、別の対応をとる	利用しない	無回答
全体		1,328	186	189	927	26
		100.0	14.0	14.2	69.8	2.0
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	5.9	23.5	61.8	8.8
	男性:30歳代	146	17.8	13.0	65.8	3.4
	男性:40歳代	277	13.7	14.1	71.1	1.1
	女性:18～20歳代	55	20.0	9.1	69.1	1.8
	女性:30歳代	328	16.2	15.9	66.2	1.8
	女性:40歳代	473	11.6	13.5	73.2	1.7
	無回答	15	6.7	13.3	80.0	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	20.9	15.6	61.2	2.4
	未就学児	384	13.0	14.3	70.8	1.8
	小学生	652	13.0	13.0	72.2	1.7
	中学生	318	11.6	14.2	73.6	0.6
	高校生	271	11.1	13.7	73.4	1.8
	大学生･短大生･専門学校生	123	10.6	17.9	70.7	0.8
	社会人	95	9.5	20.0	68.4	2.1
	その他	5	20.0	－	80.0	－
	無回答	3	－	－	66.7	33.3
働き方別	二人ともフルタイム	463	19.9	14.9	63.5	1.7
	フルタイム＋パートタイム	480	8.5	14.2	76.0	1.3
	二人ともパートタイム	3	33.3	－	33.3	33.3
	夫のみ働いている	222	10.4	10.8	77.0	1.8
	妻のみ働いている	7	28.6	－	71.4	－
	その他	11	－	27.3	45.5	27.3
	二人とも働いていない	3	－	－	100.0	－
	無回答	139	19.4	18.0	59.7	2.9
居住地域別	福岡地域	717	15.2	14.8	67.8	2.2
	筑後地域	197	14.7	13.7	70.1	1.5
	筑豊地域	82	6.1	15.9	78.0	－
	北九州地域	306	13.1	13.1	71.6	2.3
	無回答	26	11.5	11.5	76.9	－

（２）こどもが病気の時の対応

SQ1【問27で 2または3 と答えた方に】どのような対応をしていますか。次の中から最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

こどもが病気の時の病児・病後児保育以外の対応は、「仕事を休む」が 67.1％で大部分を占めている。次いで、「親族、知人を頼る」が 19.7％となっている。

図表３－41　こどもが病気の時の対応［全体、性別］



【性別】

「仕事を休む」は男性（58.0％）よりも女性（72.0％）の方が 14 ポイント高く、「親族、知人を頼る」（男性 27.4％、女性 15.7％）は男性の方が 11.7 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

男女ともに「仕事を休む」は 30 歳代で他の年齢よりも割合が高くなっている。

【こどもの状況別】

「仕事を休む」は乳幼児（３歳未満）で 71.3％、未就学児で 69.7％、小学生で 72.3％と高くなっている。

【働き方別】

フルタイム＋パートタイムの場合に、「仕事を休む」が 75.1％と特に高くなっている。

図表３－42　こどもが病気の時の対応［全体、性別・年代別、こどもの状況別、働き方別、居住地域別］

(％)

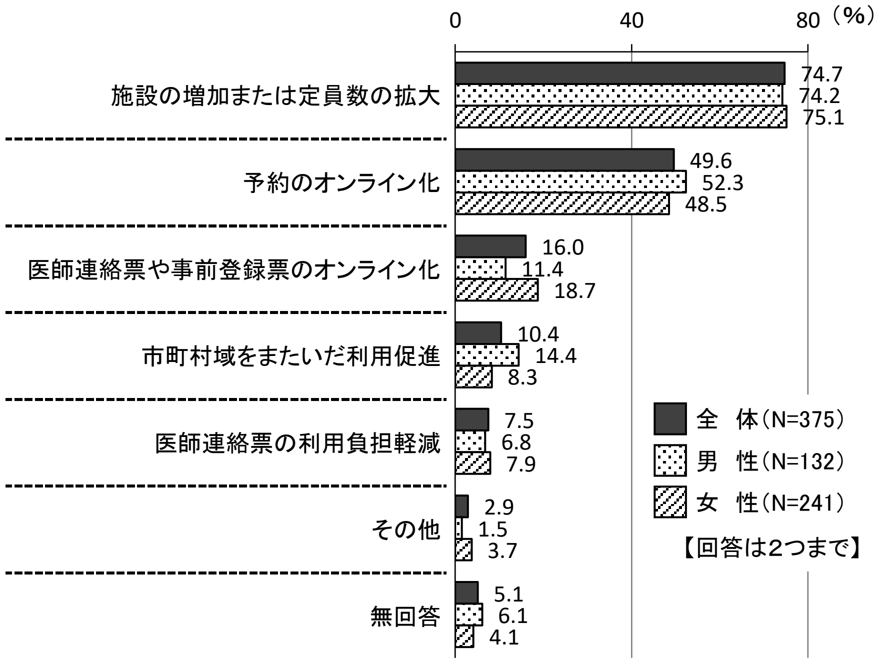
		標本数	仕事を休む	親族、知人を頼る	ベビーシッターを利用する	自宅に一人で留守番させる	その他	こどもが現在中学生以上	無回答
全体		1,116	749	220	－	15	53	59	20
		100.0	67.1	19.7	－	1.3	4.7	5.3	1.8
性別・年代別	男性:18～20歳代	29	58.6	27.6	－	6.9	3.4	－	3.4
	男性:30歳代	115	60.0	32.2	－	－	6.1	－	1.7
	男性:40歳代	236	56.4	25.4	－	1.3	7.2	7.6	2.1
	女性:18～20歳代	43	76.7	16.3	－	－	4.7	－	2.3
	女性:30歳代	269	79.6	13.4	－	0.7	3.7	1.1	1.5
	女性:40歳代	410	66.1	17.3	－	2.0	3.7	9.3	1.7
	無回答	14	85.7	7.1	－	－	7.1	－	－
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	261	71.3	20.7	－	－	5.7	－	2.3
	未就学児	327	69.7	21.1	－	0.3	6.7	0.3	1.8
	小学生	556	72.3	18.5	－	1.6	6.1	－	1.4
	中学生	279	64.5	16.8	－	2.9	2.9	10.4	2.5
	高校生	236	57.2	19.9	－	3.4	1.7	16.1	1.7
	大学生･短大生･専門学校生	109	60.6	18.3	－	1.8	4.6	11.9	2.8
	社会人	84	63.1	14.3	－	3.6	3.6	13.1	2.4
	その他	4	50.0	－	－	25.0	－	25.0	－
	無回答	2	100.0	－	－	－	－	－	－
働き方別	二人ともフルタイム	363	66.4	22.0	－	1.7	3.9	3.9	2.2
	フルタイム＋パートタイム	433	75.1	13.4	－	1.4	3.0	5.8	1.4
	二人ともパートタイム	1	－	－	－	－	100.0	－	－
	夫のみ働いている	195	58.5	24.1	－	－	9.7	4.6	3.1
	妻のみ働いている	5	80.0	－	－	－	20.0	－	－
	その他	8	50.0	12.5	－	－	37.5	－	－
	二人とも働いていない	3	100.0	－	－	－	－	－	－
	無回答	108	53.7	31.5	－	2.8	1.9	10.2	－
居住地域別	福岡地域	592	69.4	16.2	－	1.7	5.9	5.1	1.7
	筑後地域	165	62.4	25.5	－	0.6	3.0	6.7	1.8
	筑豊地域	77	68.8	19.5	－	1.3	2.6	5.2	2.6
	北九州地域	259	66.4	22.8	－	1.2	2.7	5.0	1.9
	無回答	23	43.5	34.8	－	－	17.4	4.3	－

（３）病児保育（病後児保育を含む）を利用するために充実してほしい施策

SQ2【問27で 1または2 と答えた方に】病児保育（病後児保育を含む）を利用するために、今後充実してほしい施策はありますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（○は2つまで）

病児・病後児保育について、充実してほしい施策をたずねたところ、「施設の増加または定員数の拡大」（74.7％）と「予約のオンライン化」（49.6％）の割合が高くなっている。

図表３－43　病児保育（病後児保育を含む）を利用するために充実してほしい施策［全体、性別］



【性別】

「医師連絡票や事前登録票のオンライン化」（男性 11.4%、女性 18.7%）は女性の方が 7.3 ポイント高く、「市町村域をまたいだ利用促進」（同 14.4%、8.3%）は男性の方が 6.1 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「施設の増加または定員数の拡大」は、女性の 18～20 歳代で 87.5%と特に高くなっている。

【こどもの状況別】

「施設の増加または定員数の拡大」は、乳幼児（３歳未満）の場合に 83.1%と他より高くなっている。

【働き方別】

「施設の増加または定員数の拡大」は共働きよりも片働きで割合が高い傾向がみられる。

図表３－44　病児保育（病後児保育を含む）を利用するために充実してほしい施策
［全体、性別・年代別、こどもの状況別、働き方別、居住地域別］

(%)

		標本数	施設の増加または定員数の拡大	予約のオンライン化	医師連絡票や事前登録票のオンライン化	市町村域をまたいだ利用促進	医師連絡票の利用負担軽減	その他	無回答
全体		375	280	186	60	39	28	11	19
		100.0	74.7	49.6	16.0	10.4	7.5	2.9	5.1
性別・年代別	男性:18～20歳代	10	70.0	50.0	10.0	20.0	－	－	10.0
	男性:30歳代	45	66.7	60.0	17.8	17.8	6.7	－	2.2
	男性:40歳代	77	79.2	48.1	7.8	11.7	7.8	2.6	7.8
	女性:18～20歳代	16	87.5	43.8	12.5	6.3	12.5	－	6.3
	女性:30歳代	105	78.1	54.3	21.9	4.8	6.7	3.8	2.9
	女性:40歳代	119	71.4	44.5	16.8	11.8	8.4	4.2	4.2
	無回答	3	33.3	－	－	－	－	－	66.7
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	124	83.1	46.8	13.7	9.7	8.1	4.0	4.0
	未就学児	105	75.2	52.4	19.0	4.8	7.6	1.9	4.8
	小学生	170	71.2	53.5	18.2	8.8	6.5	3.5	4.7
	中学生	82	73.2	51.2	12.2	12.2	7.3	－	9.8
	高校生	67	76.1	49.3	14.9	10.4	4.5	3.0	9.0
	大学生･短大生･専門学校生	35	74.3	45.7	5.7	17.1	5.7	－	8.6
	社会人	28	71.4	32.1	14.3	21.4	14.3	3.6	－
	その他	1	100.0	－	－	100.0	－	－	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－
働き方別	二人ともフルタイム	161	77.0	51.6	16.1	6.8	9.3	3.1	3.7
	フルタイム＋パートタイム	109	71.6	49.5	21.1	11.0	8.3	3.7	5.5
	二人ともパートタイム	1	100.0	－	－	－	－	－	－
	夫のみ働いている	47	83.0	38.3	10.6	17.0	2.1	－	6.4
	妻のみ働いている	2	100.0	50.0	－	－	－	50.0	－
	その他	3	100.0	66.7	－	－	33.3	－	－
	二人とも働いていない	－	－	－	－	－	－	－	－
	無回答	52	63.5	53.8	11.5	15.4	3.8	1.9	7.7
居住地域別	福岡地域	215	77.7	51.2	17.7	7.9	6.5	2.8	3.7
	筑後地域	56	67.9	48.2	12.5	19.6	3.6	3.6	7.1
	筑豊地域	18	72.2	33.3	5.6	16.7	16.7	－	11.1
	北九州地域	80	73.8	51.3	17.5	10.0	10.0	2.5	3.8
	無回答	6	50.0	33.3	－	－	16.7	16.7	33.3

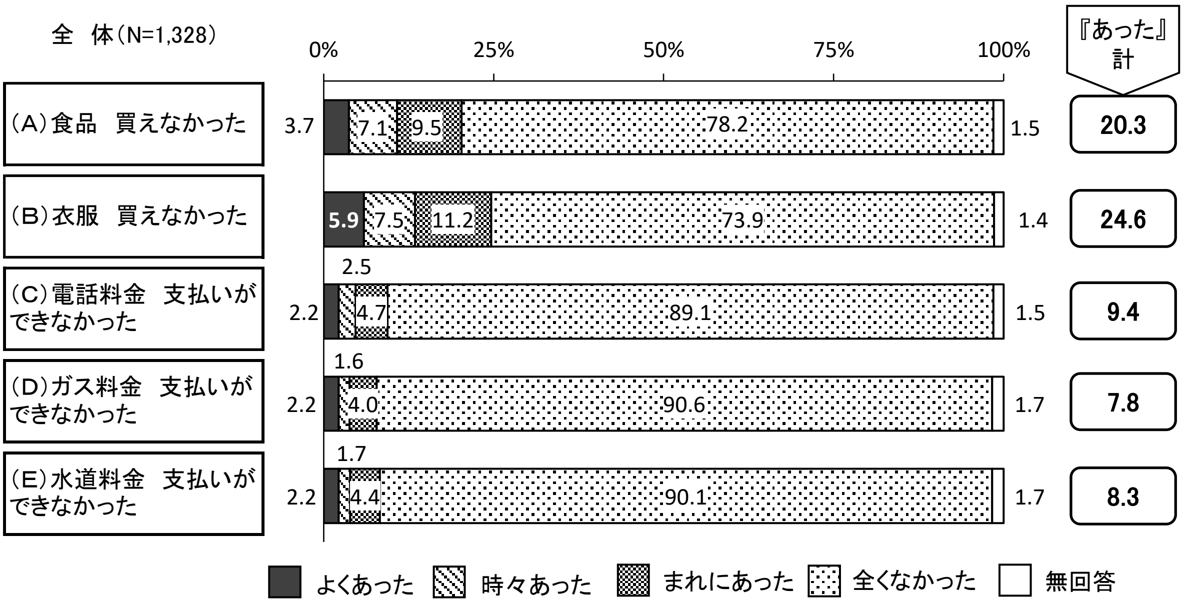
第４章　家庭と仕事の状況について

１．過去１年間の家庭の状況

問28 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とするものが買えなかったり、支払できなかったことがありますか。下の(A)～(E)の項目ごとにあてはまるものを選んでください。(○はそれぞれ1つ)(ただし、嗜好品や高価な衣服、貴金属、宝飾品は含みません。)

過去１年間の家計の状況として、お金が足りなくて買えなかったり支払えなかったりしたことがあるかをたずねたところ、「よくあった」と「時々あった」、「まれにあった」の３つを合わせた『あった』の割合は「(Ｂ) 衣服」で 24.6％と最も高く、以下「(Ａ) 食品」が 20.3％、「(Ｃ) 電話料金」が 9.4％、「(Ｅ) 水道料金」が 8.3％、「(Ｄ) ガス料金」が 7.8％となっている。

図表４－１　過去１年間の家庭の状況［全体］



【性別】

『あった』の割合は、「(A) 食品」と「(B) 衣服」で男性よりも女性の方が 3.5～4.7 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「(A) 食品」と「(B) 衣服」では、男女ともに年代が低いほど『あった』の割合が高くなっており、特に男性で顕著である。男性の 18～20 歳代では、『あった』の割合が「(B) 衣服」で 41.2%、「(A) 食品」で 29.4%と高くなっている。

【世帯収入別】

いずれの項目においても、世帯収入が低いほど『あった』の割合が高くなるという傾向が顕著である。世帯収入が 200 万円未満の場合には、「(A) 食品」や「(B) 衣服」で『あった』が約６割と半数を超えている。

【配偶関係別】

いずれの項目においても、配偶者（パートナー）と離・死別した人と未婚者に、配偶者（パートナー）がいる人よりも『あった』の割合が高くなっている。

【こどもの状況別】

いずれの項目においても、こどもが大学生・短大生・専門学校生や社会人など、こどもの年代が高い状況の場合に『あった』の割合が高くなっている。

図表４－２（１）過去１年間の家庭の状況［全体、性別、性別・年代別、世帯収入別、配偶関係別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(A)食品　買えなかった						(B)衣服　買えなかった					
			よくあった	時々あった	まれにあった	全くなかった	無回答	『あった』計	よくあった	時々あった	まれにあった	全くなかった	無回答	『あった』計
全体		1,328	49	94	126	1,039	20	**269**	79	100	149	982	18	**328**
		100.0	3.7	7.1	9.5	78.2	1.5	**20.3**	5.9	7.5	11.2	73.9	1.4	**24.6**
性別	男性	460	4.1	4.6	8.5	80.7	2.2	**17.2**	5.9	5.9	10.7	75.9	1.7	**22.5**
	女性	862	3.5	8.5	9.9	77.0	1.2	**21.9**	6.0	8.4	11.6	72.9	1.2	**26.0**
	無回答	6	－	－	33.3	66.7	－	**33.3**	－	16.7	－	83.3	－	**16.7**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	5.9	－	23.5	64.7	5.9	**29.4**	5.9	14.7	20.6	52.9	5.9	**41.2**
	男性:30歳代	146	5.5	6.2	6.2	79.5	2.7	**17.9**	8.2	4.8	8.2	76.0	2.7	**21.2**
	男性:40歳代	277	3.2	4.3	7.9	83.0	1.4	**15.4**	4.7	5.4	10.8	78.3	0.7	**20.9**
	女性:18～20歳代	55	3.6	10.9	9.1	74.5	1.8	**23.6**	7.3	14.5	9.1	67.3	1.8	**30.9**
	女性:30歳代	328	2.7	9.1	11.3	75.3	1.5	**23.1**	5.5	9.5	11.6	72.0	1.5	**26.6**
	女性:40歳代	473	4.0	7.6	8.9	78.6	0.8	**20.5**	6.1	7.0	11.8	74.2	0.8	**24.9**
	無回答	15	－	6.7	20.0	73.3	－	**26.7**	6.7	6.7	6.7	80.0	－	**20.1**
世帯収入別	200万円未満	74	16.2	21.6	20.3	40.5	1.4	**58.1**	23.0	16.2	21.6	37.8	1.4	**60.8**
	200～400万円未満	184	7.1	11.4	14.1	65.8	1.6	**32.6**	12.0	10.9	15.2	60.3	1.6	**38.1**
	400～600万円未満	376	3.2	8.0	12.2	75.3	1.3	**23.4**	6.4	9.6	14.4	68.9	0.8	**30.4**
	600～1000万円未満	498	1.8	5.0	6.0	85.1	2.0	**12.8**	2.8	6.0	7.8	81.3	2.0	**16.6**
	1000万円以上	168	0.6	0.6	2.4	95.8	0.6	**3.6**	0.6	－	4.8	94.0	0.6	**5.4**
	無回答	28	7.1	3.6	17.9	71.4	－	**28.6**	3.6	7.1	14.3	75.0	－	**25.0**
配偶関係別	未婚	23	8.7	17.4	13.0	60.9	－	**39.1**	8.7	21.7	4.3	65.2	－	**34.7**
	配偶者(パートナー)がいる	1,190	2.9	6.4	8.8	80.3	1.6	**18.1**	4.9	7.1	10.7	76.0	1.4	**22.7**
	配偶者(パートナー)と離・死別した	108	10.2	12.0	13.9	63.0	0.9	**36.1**	14.8	10.2	18.5	55.6	0.9	**43.5**
	無回答	7	14.3	14.3	42.9	28.6	－	**71.5**	42.9	－	14.3	42.9	－	**57.2**
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	2.1	6.8	10.9	77.6	2.6	**19.8**	5.0	8.2	12.1	72.4	2.4	**25.3**
	未就学児	384	4.7	7.3	11.2	74.7	2.1	**23.2**	6.5	7.6	11.2	72.7	2.1	**25.3**
	小学生	652	3.7	7.7	9.4	77.9	1.4	**20.8**	6.1	7.4	11.5	73.8	1.2	**25.0**
	中学生	318	3.8	7.2	9.4	79.2	0.3	**20.4**	5.0	8.2	12.3	74.2	0.3	**25.5**
	高校生	271	4.8	7.4	8.1	79.0	0.7	**20.3**	7.7	5.9	13.3	72.7	0.4	**26.9**
	大学生・短大生・専門学校生	123	4.1	12.2	8.9	74.0	0.8	**25.2**	6.5	12.2	14.6	66.7	－	**33.3**
	社会人	95	6.3	11.6	12.6	68.4	1.1	**30.5**	13.7	7.4	15.8	62.1	1.1	**36.9**
	その他	5	20.0	－	－	80.0	－	**20.0**	20.0	－	－	80.0	－	**20.0**
	無回答	3	－	－	33.3	33.3	33.3	**33.3**	－	－	33.3	33.3	33.3	**33.3**
居住地域別	福岡地域	717	3.5	6.3	7.8	81.2	1.3	**17.6**	5.3	7.7	9.2	76.6	1.3	**22.2**
	筑後地域	197	3.6	9.6	12.2	72.6	2.0	**25.4**	6.1	7.1	13.2	71.6	2.0	**26.4**
	筑豊地域	82	4.9	6.1	13.4	74.4	1.2	**24.4**	4.9	13.4	14.6	67.1	－	**32.9**
	北九州地域	306	3.9	7.5	10.1	76.8	1.6	**21.5**	7.2	6.2	13.7	71.2	1.6	**27.1**
	無回答	26	3.8	7.7	15.4	69.2	3.8	**26.9**	11.5	3.8	11.5	73.1	－	**26.8**

図表４－２（２）過去１年間の家庭の状況［全体、性別、性別・年代別、世帯収入別、配偶関係別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(C)電話料金　支払いができなかった						(D)ガス料金　支払いができなかった					
			よくあった	時々あった	まれにあった	全くなかった	無回答	『あった』計	よくあった	時々あった	まれにあった	全くなかった	無回答	『あった』計
全体		1,328	29	33	63	1,183	20	**125**	29	21	53	1,203	22	**103**
		100.0	2.2	2.5	4.7	89.1	1.5	**9.4**	2.2	1.6	4.0	90.6	1.7	**7.8**
性別	男性	460	2.6	1.7	4.6	89.1	2.0	**8.9**	2.4	1.1	3.9	90.7	2.0	**7.4**
	女性	862	2.0	2.9	4.9	89.0	1.3	**9.8**	2.1	1.9	4.1	90.5	1.5	**8.1**
	無回答	6	－	－	－	100.0	－	**－**	－	－	－	100.0	－	**－**
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	2.9	2.9	2.9	85.3	5.9	**8.7**	5.9	－	2.9	85.3	5.9	**8.8**
	男性:30歳代	146	2.7	2.7	4.8	87.0	2.7	**10.2**	2.1	1.4	4.8	89.0	2.7	**8.3**
	男性:40歳代	277	2.5	1.1	4.7	90.6	1.1	**8.3**	2.2	1.1	3.6	92.1	1.1	**6.9**
	女性:18～20歳代	55	1.8	3.6	5.5	87.3	1.8	**10.9**	1.8	－	3.6	92.7	1.8	**5.4**
	女性:30歳代	328	1.2	2.1	4.0	91.2	1.5	**7.3**	2.4	1.2	3.0	91.5	1.8	**6.6**
	女性:40歳代	473	2.5	3.4	5.3	87.7	1.1	**11.2**	1.9	2.5	4.7	89.6	1.3	**9.1**
	無回答	15	－	－	6.7	93.3	－	**6.7**	－	－	6.7	93.3	－	**6.7**
世帯収入別	200万円未満	74	9.5	9.5	8.1	71.6	1.4	**27.1**	9.5	5.4	6.8	77.0	1.4	**21.7**
	200～400万円未満	184	3.8	3.8	11.4	78.8	2.2	**19.0**	4.3	3.3	9.2	80.4	2.7	**16.8**
	400～600万円未満	376	2.4	2.9	5.1	88.8	0.8	**10.4**	2.4	1.6	4.5	90.2	1.3	**8.5**
	600～1000万円未満	498	0.6	1.6	2.8	93.0	2.0	**5.0**	0.4	1.0	1.8	94.8	2.0	**3.2**
	1000万円以上	168	0.6	－	1.2	97.0	1.2	**1.8**	0.6	－	1.8	97.0	0.6	**2.4**
	無回答	28	7.1	－	3.6	89.3	－	**10.7**	7.1	－	7.1	85.7	－	**14.2**
配偶関係別	未婚	23	8.7	4.3	4.3	82.6	－	**17.3**	8.7	8.7	－	82.6	－	**17.4**
	配偶者(パートナー)がいる	1,190	1.6	2.1	4.4	90.3	1.6	**8.1**	1.6	1.3	3.5	91.9	1.7	**6.4**
	配偶者(パートナー)と離・死別した	108	5.6	6.5	9.3	77.8	0.9	**21.4**	5.6	3.7	10.2	79.6	0.9	**19.5**
	無回答	7	28.6	－	－	71.4	－	**28.6**	28.6	－	－	57.1	14.3	**28.6**
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	1.2	1.8	3.2	91.2	2.6	**6.2**	1.2	0.9	2.4	92.9	2.6	**4.5**
	未就学児	384	1.6	2.1	4.9	89.1	2.3	**8.6**	1.8	1.3	4.4	90.1	2.3	**7.5**
	小学生	652	2.1	2.3	5.5	88.7	1.4	**9.9**	2.3	1.8	4.0	90.3	1.5	**8.1**
	中学生	318	3.5	2.8	5.3	88.1	0.3	**11.6**	3.8	1.9	4.7	89.0	0.6	**10.4**
	高校生	271	3.0	3.0	5.9	87.8	0.4	**11.9**	3.0	2.6	4.4	89.3	0.7	**10.0**
	大学生・短大生・専門学校生	123	0.8	4.9	12.2	81.3	0.8	**17.9**	－	4.9	9.8	83.7	1.6	**14.7**
	社会人	95	3.2	8.4	6.3	80.0	2.1	**17.9**	3.2	3.2	4.2	86.3	3.2	**10.6**
	その他	5	20.0	－	－	80.0	－	**20.0**	20.0	－	－	80.0	－	**20.0**
	無回答	3	－	－	33.3	33.3	33.3	**33.3**	－	－	33.3	33.3	33.3	**33.3**
居住地域別	福岡地域	717	2.1	2.2	3.5	90.8	1.4	**7.8**	2.0	1.3	3.5	91.8	1.5	**6.8**
	筑後地域	197	1.5	1.5	7.1	87.8	2.0	**10.1**	1.5	1.5	4.1	90.9	2.0	**7.1**
	筑豊地域	82	1.2	3.7	7.3	87.8	－	**12.2**	1.2	2.4	8.5	86.6	1.2	**12.1**
	北九州地域	306	2.9	3.6	5.2	86.3	2.0	**11.7**	3.3	2.0	3.9	88.9	2.0	**9.2**
	無回答	26	3.8	－	7.7	88.5	－	**11.5**	3.8	3.8	3.8	88.5	－	**11.4**

図表４－２（３）過去１年間の家庭の状況［全体、性別、性別・年代別、世帯収入別、配偶関係別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	(E)水道料金　支払いができなかった よくあった	時々あった	まれにあった	全くなかった	無回答	『あった』計
全体		1,328	29	22	59	1,196	22	110
		100.0	2.2	1.7	4.4	90.1	1.7	8.3
性別	男性	460	2.4	1.5	4.8	89.1	2.2	8.7
	女性	862	2.1	1.7	4.3	90.5	1.4	8.1
	無回答	6	－	－	－	100.0	－	－
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	5.9	－	－	88.2	5.9	5.9
	男性:30歳代	146	2.1	2.1	6.2	87.0	2.7	10.4
	男性:40歳代	277	2.2	1.4	4.7	90.3	1.4	8.3
	女性:18～20歳代	55	1.8	－	1.8	94.5	1.8	3.6
	女性:30歳代	328	2.4	1.2	3.0	91.8	1.5	6.6
	女性:40歳代	473	1.9	2.3	5.3	89.2	1.3	9.5
	無回答	15	－	－	6.7	93.3	－	6.7
世帯収入別	200万円未満	74	10.8	2.7	9.5	75.7	1.4	23.0
	200～400万円未満	184	4.3	3.3	7.6	82.6	2.2	15.2
	400～600万円未満	376	2.1	2.7	4.8	89.4	1.1	9.6
	600～1000万円未満	498	0.4	0.8	2.6	93.8	2.4	3.8
	1000万円以上	168	0.6	－	2.4	96.4	0.6	3.0
	無回答	28	7.1	－	10.7	82.1	－	17.8
配偶関係別	未婚	23	8.7	4.3	4.3	82.6	－	17.3
	配偶者(パートナー)がいる	1,190	1.6	1.5	4.0	91.1	1.8	7.1
	配偶者(パートナー)と離・死別した	108	5.6	2.8	9.3	81.5	0.9	17.7
	無回答	7	28.6	－	－	71.4	－	28.6
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	1.2	0.9	2.6	92.9	2.4	4.7
	未就学児	384	1.8	1.0	4.9	90.1	2.1	7.7
	小学生	652	2.5	2.0	4.8	89.4	1.4	9.3
	中学生	318	3.5	2.5	5.0	88.4	0.6	11.0
	高校生	271	2.6	3.3	4.8	88.2	1.1	10.7
	大学生・短大生・専門学校生	123	－	5.7	9.8	82.1	2.4	15.5
	社会人	95	3.2	3.2	6.3	84.2	3.2	12.7
	その他	5	20.0	－	－	80.0	－	20.0
	無回答	3	－	－	33.3	33.3	33.3	33.3
居住地域別	福岡地域	717	2.2	1.3	3.9	91.2	1.4	7.4
	筑後地域	197	1.0	2.0	4.6	89.8	2.5	7.6
	筑豊地域	82	1.2	2.4	7.3	87.8	1.2	10.9
	北九州地域	306	2.9	2.0	4.9	88.2	2.0	9.8
	無回答	26	3.8	3.8	3.8	88.5	－	11.4

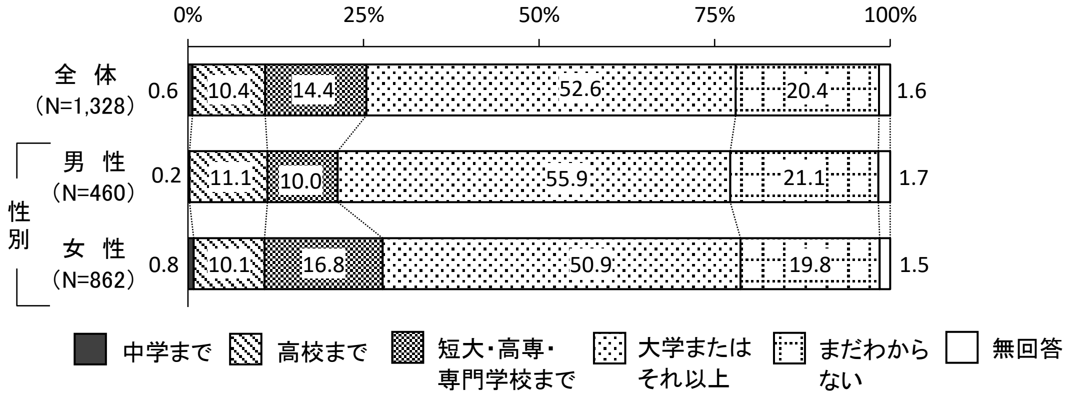
２．こどもの進学

（１）こどもの進学段階

問29　あなたのお子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。次の中から最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

こどもの進学についての見通しをたずねたところ、「大学またはそれ以上」が 52.6％で最も高く、次いで、「短大・高専・専門学校まで」が 14.4％、「高校まで」が 10.4％となっている。「まだわからない」とする人も 20.4％と高い。

図表４－３　こどもの進学段階［全体、性別］



【性別】

「大学またはそれ以上」は男性の方が５ポイント高く、「短大・高専・専門学校まで」は女性の方が 6.8 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

男女ともに、18～20 歳代で「高校まで」と「短大・高専・専門学校まで」の割合が他の年代よりも高く、「大学またはそれ以上」が他の年代よりも低くなっている。

【世帯収入別】

「大学またはそれ以上」は、世帯収入が高いほど割合も高いという傾向が顕著であり、1000 万円以上の場合には 79.8％となっている。

【配偶関係別】

配偶者（パートナー）と離・死別の人と未婚者は、配偶者（パートナー）がいる人よりも「大学またはそれ以上」の割合が低く、「高校まで」の割合が高くなっている。

図表４－４　こどもの進学段階［全体、性別・年代別、世帯収入別、配偶関係別、居住地域別］

(%)

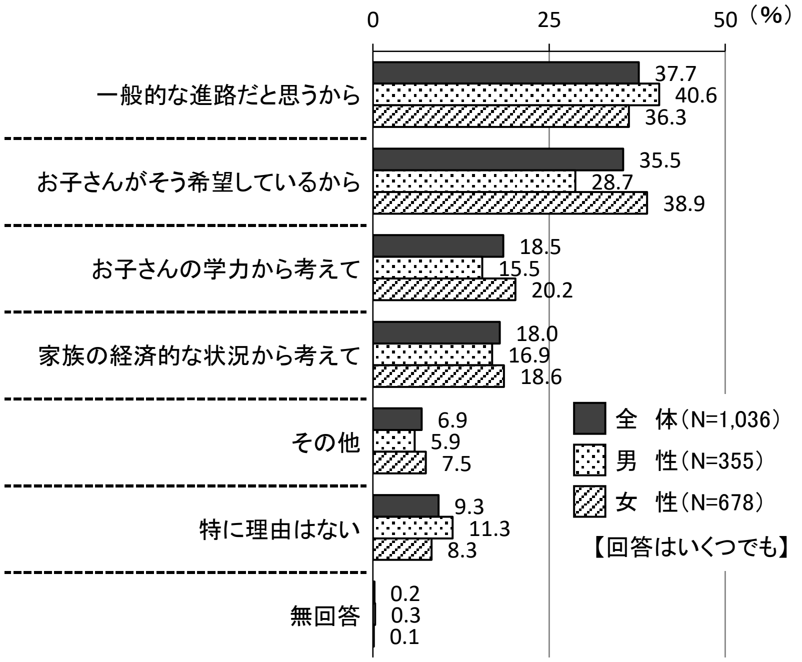
		標本数	中学まで	高校まで	短大・高専・専門学校まで	大学またはそれ以上	まだわからない	無回答
全 体		1,328	8	138	191	699	271	21
		100.0	0.6	10.4	14.4	52.6	20.4	1.6
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	－	20.6	14.7	35.3	26.5	2.9
	男性:30歳代	146	0.7	13.0	9.6	53.4	19.2	4.1
	男性:40歳代	277	－	9.0	9.4	59.6	21.7	0.4
	女性:18～20歳代	55	－	16.4	18.2	38.2	25.5	1.8
	女性:30歳代	328	0.9	9.1	15.2	45.4	28.0	1.2
	女性:40歳代	473	0.8	10.1	18.0	56.4	13.3	1.3
	無回答	15	－	－	6.7	46.7	33.3	13.3
世帯収入別	200万円未満	74	2.7	28.4	18.9	27.0	23.0	－
	200～400万円未満	184	1.1	14.7	25.5	34.8	21.2	2.7
	400～600万円未満	376	0.8	12.5	17.3	42.0	26.3	1.1
	600～1000万円未満	498	0.2	7.0	10.2	62.7	17.9	2.0
	1000万円以上	168	－	3.6	4.2	79.8	11.3	1.2
	無回答	28	－	7.1	25.0	39.3	28.6	－
配偶関係別	未婚	23	4.3	30.4	13.0	34.8	17.4	－
	配偶者(パートナー)がいる	1,190	0.4	9.2	13.9	54.5	20.3	1.6
	配偶者(パートナー)と離・死別した	108	1.9	18.5	20.4	38.0	19.4	1.9
	無回答	7	－	28.6	－	14.3	57.1	－
居住地域別	福岡地域	717	0.4	7.8	11.9	59.8	19.0	1.1
	筑後地域	197	0.5	11.7	16.8	44.7	23.9	2.5
	筑豊地域	82	1.2	9.8	26.8	41.5	19.5	1.2
	北九州地域	306	1.0	15.4	15.7	45.8	19.9	2.3
	無回答	26	－	15.4	11.5	30.8	42.3	－

（２）そう思う理由

SQ1 【問29で 1～4 と答えた方に】そう考えた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

こどもの進路の見通しについて、その理由をたずねたところ、「一般的な進路だと思うから」が 37.7％、「お子さんがそう希望しているから」が 35.5％と高く、次いで「お子さんの学力から考えて」（18.5％）と「家族の経済的な状況から考えて」（18.0％）となっている。

図表４－５　そう思う理由［全体、性別］



【性別】

女性では「お子さんがそう希望しているから」が 38.9％で男性（28.7％）より 10.2 ポイント高く、最も高い割合となっている。

【性別・年代別】

「お子さんがそう希望しているから」は男性の 40 歳代で 40.7％、女性の 40 歳代で 54.5％と高くなっている。「お子さんの学力から考えて」も年代が高くなるほど割合は高くなっている。

【世帯収入別】

世帯収入が 200 万円未満と 200～400 万円未満の場合に「家族の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっている。

【こどもの進学段階別】

進路の見通しが「中学まで」と「高校まで」の場合に「家族の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっている。

図表４－６　そう思う理由［全体、性別・年代別、世帯収入別、こどもの進学段階別、居住地域別］

(%)

		標本数	お子さんがそう希望しているから	一般的な進路だと思うから	お子さんの学力から考えて	家族の経済的状況から考えて	その他	特に理由はない	無回答
全体		1,036	368	391	192	186	72	96	2
		100.0	35.5	37.7	18.5	18.0	6.9	9.3	0.2
性別・年代別	男性:18～20歳代	24	8.3	41.7	4.2	25.0	12.5	16.7	－
	男性:30歳代	112	8.0	45.5	9.8	26.8	8.9	17.0	－
	男性:40歳代	216	40.7	38.4	19.9	11.1	3.7	7.9	0.5
	女性:18～20歳代	40	5.0	45.0	7.5	22.5	－	27.5	－
	女性:30歳代	232	17.2	49.6	14.2	21.6	8.6	10.3	－
	女性:40歳代	404	54.5	28.0	25.0	16.6	7.7	5.2	0.2
	無回答	8	87.5	12.5	－	－	－	－	－
世帯収入別	200万円未満	57	40.4	21.1	17.5	35.1	12.3	5.3	－
	200～400万円未満	140	40.0	30.0	19.3	20.7	7.9	8.6	0.7
	400～600万円未満	273	32.2	33.7	15.8	16.8	5.9	13.6	－
	600～1000万円未満	399	31.6	44.4	18.8	14.8	6.8	8.0	0.3
	1000万円以上	147	46.9	43.5	25.2	18.4	6.8	4.1	－
	無回答	20	30.0	20.0	－	25.0	5.0	30.0	－
こどもの進学段階別	中学まで	8	25.0	－	37.5	37.5	25.0	－	－
	高校まで	138	26.1	21.7	27.5	44.2	7.2	8.0	－
	短大・高専・専門学校まで	191	34.6	24.6	17.8	28.8	5.8	12.6	－
	大学またはそれ以上	699	37.8	44.9	16.7	9.6	7.0	8.7	0.3
居住地域別	福岡地域	573	33.9	40.8	17.3	16.8	8.6	8.4	0.2
	筑後地域	145	41.4	28.3	20.0	15.9	5.5	10.3	0.7
	筑豊地域	65	46.2	29.2	16.9	18.5	4.6	10.8	－
	北九州地域	238	32.8	38.7	21.4	19.7	5.0	9.7	－
	無回答	15	40.0	33.3	13.3	53.3	－	20.0	－

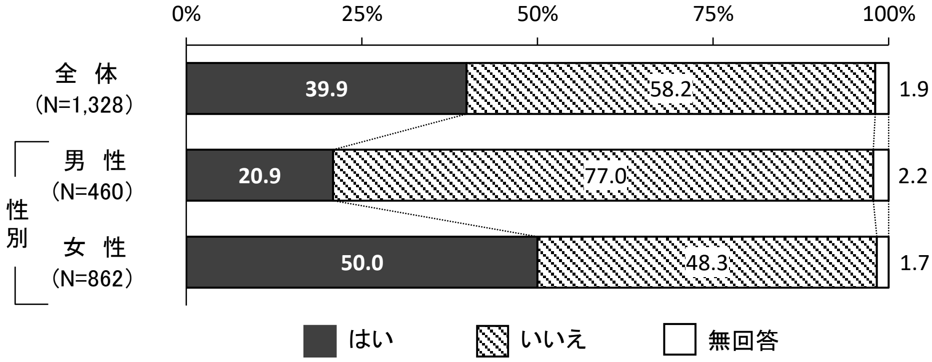
３．妊娠・出産と仕事の状況

（１）妊娠・出産を機に仕事を辞めたことの有無

問30　あなたは、あなた自身やパートナーの妊娠・出産を機に仕事を辞めたことがありますか。
次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

妊娠・出産を理由に自身やパートナーが仕事を辞めた経験について、「はい」が 39.9％、「いいえ」が 58.2％となっている。

図表４－７　妊娠・出産を機に仕事を辞めたことの有無［全体、性別］



【性別】

「はい」の割合は、男性が 20.9％であるのに対して女性は 50.0％と高く、男女での差が大きい。

【性別・年代別】

女性は年代が高いほど「はい」の割合が高くなっているのに対して、男性は年代が低いほど「はい」が高く、男女で逆の傾向がみられる。

【働き方別】

「はい」の割合は、フルタイム＋パートタイムの場合に 48.8％、夫のみ働いている場合に 55.9％と高いが、二人ともフルタイムの場合には 21.0％と低くなっている。

【こどもの状況別】

こどもの状況が大学生・短大生・専門学校生など年代が高い状況にある場合、「はい」の割合は高くなる傾向がみられる。

図表４－８　妊娠・出産を機に仕事を辞めたことの有無［全体、性別・年代別、働き方別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

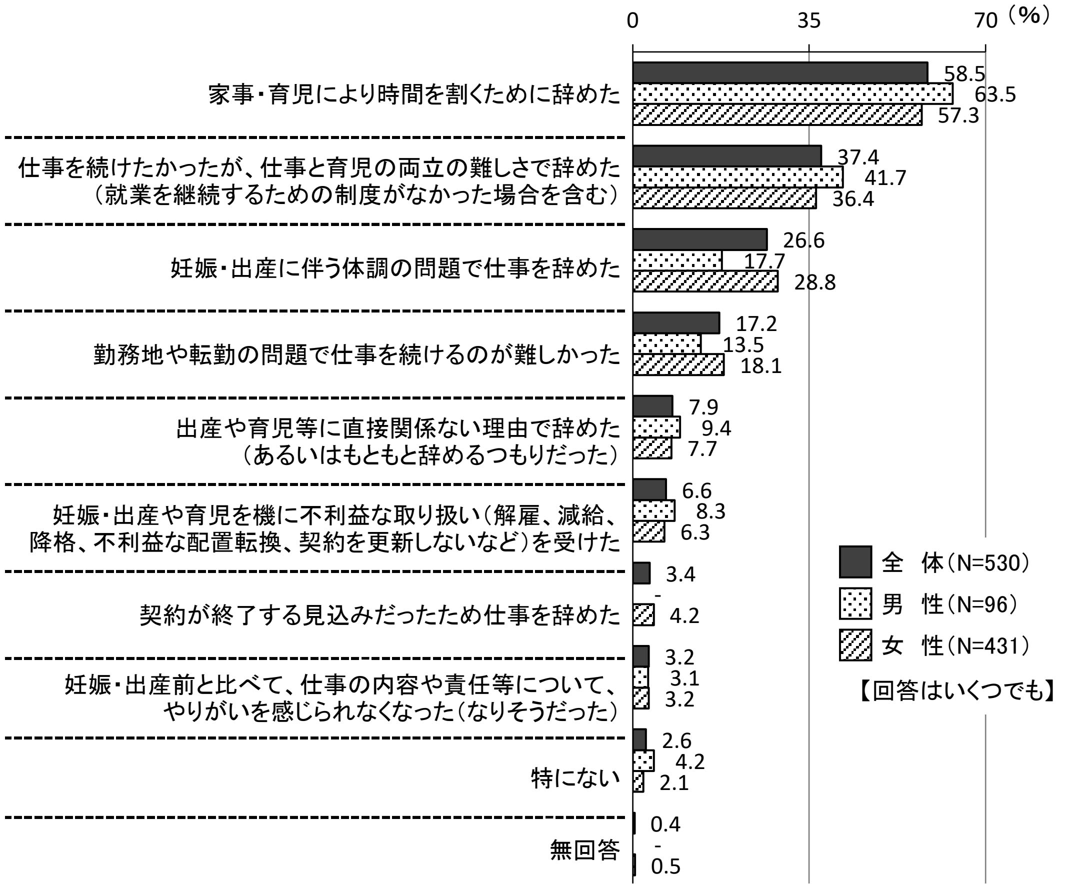
		標本数	はい	いいえ	無回答
全体		1,328	530	773	25
		100.0	39.9	58.2	1.9
性別・年代別	男性:18～20歳代	34	26.5	70.6	2.9
	男性:30歳代	146	22.6	72.6	4.8
	男性:40歳代	277	19.1	80.1	0.7
	女性:18～20歳代	55	34.5	61.8	3.6
	女性:30歳代	328	48.2	49.7	2.1
	女性:40歳代	473	52.6	46.3	1.1
	無回答	15	60.0	33.3	6.7
働き方別	二人ともフルタイム	463	21.0	77.1	1.9
	フルタイム＋パートタイム	480	48.8	49.6	1.7
	二人ともパートタイム	3	66.7	33.3	－
	夫のみ働いている	222	55.9	43.2	0.9
	妻のみ働いている	7	28.6	71.4	－
	その他	11	－	81.8	18.2
	二人とも働いていない	3	100.0	－	－
	無回答	139	48.9	48.2	2.9
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	340	28.8	67.9	3.2
	未就学児	384	41.4	56.0	2.6
	小学生	652	41.3	57.2	1.5
	中学生	318	46.2	53.5	0.3
	高校生	271	49.1	50.2	0.7
	大学生・短大生・専門学校生	123	52.8	47.2	－
	社会人	95	54.7	44.2	1.1
	その他	5	60.0	40.0	－
	無回答	3	－	33.3	66.7
居住地域別	福岡地域	717	38.9	59.6	1.5
	筑後地域	197	42.1	55.8	2.0
	筑豊地域	82	41.5	58.5	－
	北九州地域	306	40.5	56.5	2.9
	無回答	26	38.5	57.7	3.8

（２）仕事を辞めた理由

SQ1 【問30で １ と答えた方に】あなたが仕事を辞めた理由はどのようなものです（でした）か。
次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

妊娠・出産を理由に仕事を辞めた経験がある人に、その具体的な理由をたずねたところ、「家事・育児により時間を割くために辞めた」が 58.5％で最も高く、次いで「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた（就業を継続するための制度がなかった場合を含む）」が 37.4％、「妊娠・出産に伴う体調の問題で仕事を辞めた」が 26.6％となっている。

図表４－９　仕事を辞めた理由［全体、性別］



【性別】

「家事・育児により時間を割くために辞めた」（男性 63.5%、女性 57.3%）と「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた（就業を継続するための制度がなかった場合を含む）」（同 41.7%、36.4%）は、女性よりも男性の方が 5.3～6.2 ポイント高くなっている。一方、「妊娠・出産に伴う体調の問題で仕事を辞めた」（同 17.7%、28.8%）は女性の方が 11.1 ポイント高くなっている。

【こどもの状況別】

こどもが大学生・短大生・専門学校生や社会人など、こどもの年代が高い状況にある場合、「家事・育児により時間を割くために辞めた」の割合が高くなる傾向がみられる。

図表４－10　仕事を辞めた理由［全体、こどもの状況別、居住地域別］

（%）

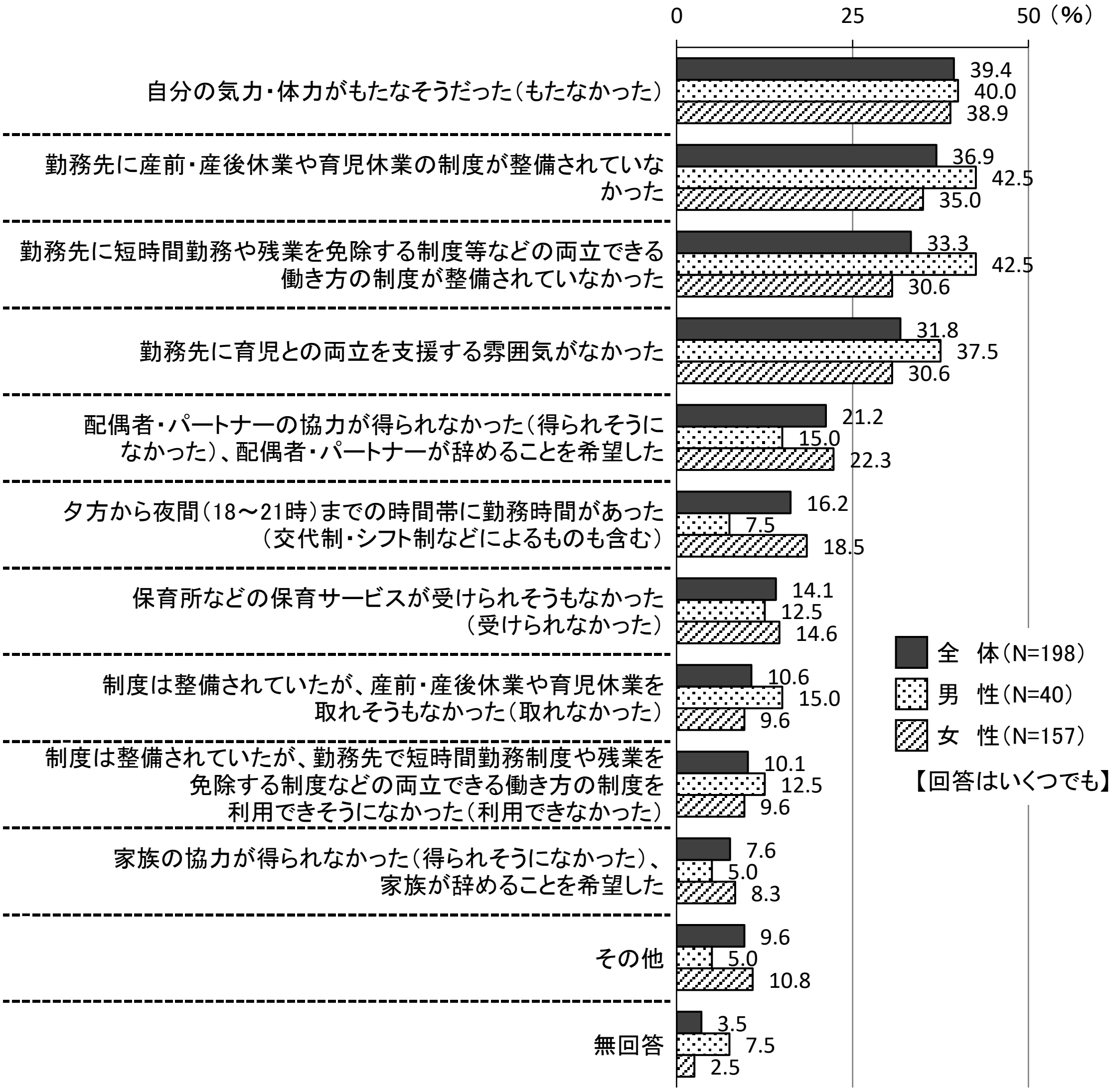
		標本数	家事・育児により時間を割くために辞めた	仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた（就業を継続するための制度がなかった場合を含む）	妊娠・出産前と比べて、仕事の内容や責任等について、やりがいを感じられなくなった（なりそうだった）	妊娠・出産に伴う体調の問題で仕事を辞めた	勤務地や転勤の問題で仕事を続けるのが難しかった	契約が終了する見込みだったため仕事を辞めた	妊娠・出産や育児を機に不利益な取扱い（解雇、減給、降格、不利益な配置転換、契約を更新しないなど）を受けた	出産や育児等に直接関係ない理由で辞めた（あるいはもともと辞めるつもりだった）	特にない	無回答
全体		530 100.0	310 58.5	198 37.4	17 3.2	141 26.6	91 17.2	18 3.4	35 6.6	42 7.9	14 2.6	2 0.4
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	98	48.0	48.0	5.1	27.6	20.4	5.1	11.2	9.2	2.0	−
	未就学児	159	54.7	40.3	3.1	24.5	17.6	4.4	7.5	8.2	3.1	0.6
	小学生	269	58.7	35.3	4.5	27.9	19.7	4.1	5.9	7.1	2.6	0.7
	中学生	147	56.5	39.5	2.0	24.5	15.0	2.7	5.4	6.8	1.4	−
	高校生	133	68.4	36.8	0.8	27.8	12.0	0.8	4.5	6.0	3.0	0.8
	大学生･短大生･専門学校生	65	70.8	38.5	−	24.6	13.8	−	4.6	7.7	3.1	−
	社会人	52	69.2	32.7	−	26.9	7.7	−	7.7	9.6	5.8	−
	その他	3	66.7	33.3	33.3	−	−	−	33.3	33.3	33.3	−
	無回答	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−	−
居住地域別	福岡地域	279	57.7	37.6	3.9	28.3	20.4	3.9	5.4	8.6	1.8	0.4
	筑後地域	83	62.7	36.1	1.2	28.9	15.7	−	7.2	3.6	1.2	−
	筑豊地域	34	47.1	47.1	2.9	14.7	11.8	5.9	8.8	−	5.9	−
	北九州地域	124	61.3	35.5	2.4	25.0	12.9	3.2	8.1	11.3	4.0	0.8
	無回答	10	50.0	30.0	10.0	20.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	−

（３）仕事を続けたかったのに辞めた理由

SQ2 【SQ1で 2 と答えた方に】詳細な理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

「仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた（就業を継続するための制度がなかった場合を含む）」で仕事を辞めた人に、詳細な理由をたずねたところ、「自分の気力・体力がもたなそうだった（もたなかった）」が 39.4%、「勤務先に産前・産後休業や育児休業の制度が整備されていなかった」が 36.9%、「勤務先に短時間勤務や残業を免除する制度等などの両立できる働き方の制度が整備されていなかった」が 33.3%、「勤務先に育児との両立を支援する雰囲気がなかった」が 31.8%などとなっている。

図表４－11　仕事を続けたかったのに辞めた理由［全体、性別］



【性別】

「勤務先に産前・産後休業や育児休業の制度が整備されていなかった」（男性 42.5%、女性 35.0%）と「勤務先に短時間勤務や残業を免除する制度等などの両立できる働き方の制度が整備されていなかった」（同 42.5%、30.6%）、「勤務先に育児との両立を支援する雰囲気がなかった」（同 37.5%、30.6%）などは男性の方が割合は高くなっている。一方、「配偶者・パートナーの協力が得られなかった（得られそうになかった）、配偶者・パートナーが辞めることを希望した」（同 15.0%、22.3%）や「夕方から夜間（18～21 時）までの時間帯に勤務時間があった（交代制・シフト制などによるものも含む）」（同 7.5%、18.5%）などは女性の方が割合は高くなっている。

【こどもの状況別】

「勤務先に産前・産後休業や育児休業の制度が整備されていなかった」は、こどもが大学生・短大生・専門学校生や社会人など、こどもの年代が高い状況にある場合、割合が高い傾向がみられる。

図表４－12　仕事を続けたかったのに辞めた理由［全体、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	勤務先に産前・産後休業や育児休業の制度が整備されていなかった	勤務先に短時間勤務や残業を免除する制度等などの両立できる働き方の制度が整備されていなかった	制度は整備されていたが、産前・産後休業や育児休業を取れそうもなかった（取れなかった）	制度は整備されていたが、勤務先で短時間勤務や残業を免除する制度などの両立できる働き方の制度を利用できそうになかった（利用できなかった）	勤務先に育児との両立を支援する雰囲気がなかった	夕方から夜間（18～21時）までの時間帯に勤務時間があった（交代制・シフト制などによるものも含む）	自分の気力・体力がもたなそうだった（もたなかった）	保育所などの保育サービスが受けられそうもなかった（受けられなかった）	配偶者・パートナーの協力が得られなかった（得られそうになかった）、配偶者・パートナーが辞めることを希望した	家族の協力が得られなかった（得られそうになかった）、家族が辞めることを希望した	その他	無回答
全体		198	73	66	21	20	63	32	78	28	42	15	19	7
		100.0	36.9	33.3	10.6	10.1	31.8	16.2	39.4	14.1	21.2	7.6	9.6	3.5
こどもの状況別	乳幼児(3歳未満)	47	25.5	25.5	8.5	8.5	31.9	21.3	40.4	14.9	10.6	-	6.4	4.3
	未就学児	64	29.7	26.6	4.7	7.8	26.6	7.8	37.5	9.4	18.8	1.6	10.9	6.3
	小学生	95	31.6	28.4	15.8	7.4	29.5	10.5	37.9	15.8	16.8	5.3	9.5	3.2
	中学生	58	34.5	32.8	12.1	6.9	25.9	12.1	41.4	13.8	22.4	12.1	6.9	3.4
	高校生	49	46.9	40.8	6.1	14.3	34.7	20.4	44.9	14.3	30.6	14.3	10.2	4.1
	大学生・短大生・専門学校生	25	60.0	48.0	16.0	8.0	40.0	12.0	48.0	24.0	44.0	16.0	12.0	-
	社会人	17	52.9	35.3	5.9	17.6	47.1	29.4	23.5	23.5	29.4	5.9	5.9	-
	その他	1	100.0	100.0	-	-	100.0	-	100.0	-	100.0	100.0	-	-
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
居住地域別	福岡地域	105	34.3	31.4	8.6	8.6	31.4	16.2	42.9	13.3	22.9	7.6	13.3	1.9
	筑後地域	30	40.0	40.0	20.0	13.3	26.7	20.0	43.3	10.0	16.7	3.3	3.3	-
	筑豊地域	16	37.5	18.8	-	-	31.3	12.5	25.0	12.5	25.0	6.3	6.3	6.3
	北九州地域	44	40.9	40.9	11.4	15.9	38.6	13.6	34.1	20.5	20.5	11.4	6.8	9.1
	無回答	3	33.3	-	33.3	-	-	33.3	33.3	-	-	-	-	-

４．今後の就業意向

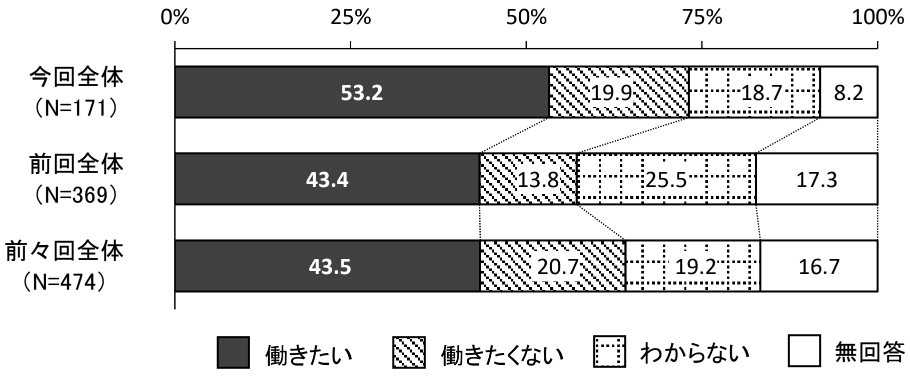
（１）今後の就業意向

問31　あなたは、こどもを預けることができれば働きたいと思いますか。（○は1つ）

現在就労していない人に、今後の就業意向についてたずねたところ、「働きたい」が 53.2%で最も高く、「働きたくない」は 19.9%、「わからない」は 18.7%となっている。

過去の調査と比較すると、「働きたい」人の割合は、前回調査よりも 9.8 ポイント増加している。

図表４－13　今後の就業意向［全体］



【性別・年代別】

女性の「働きたい」人の割合は、年代が低いほど高くなっている。

図表４－14　今後の就業意向［全体、性別・年代別、居住地域別］

(%)

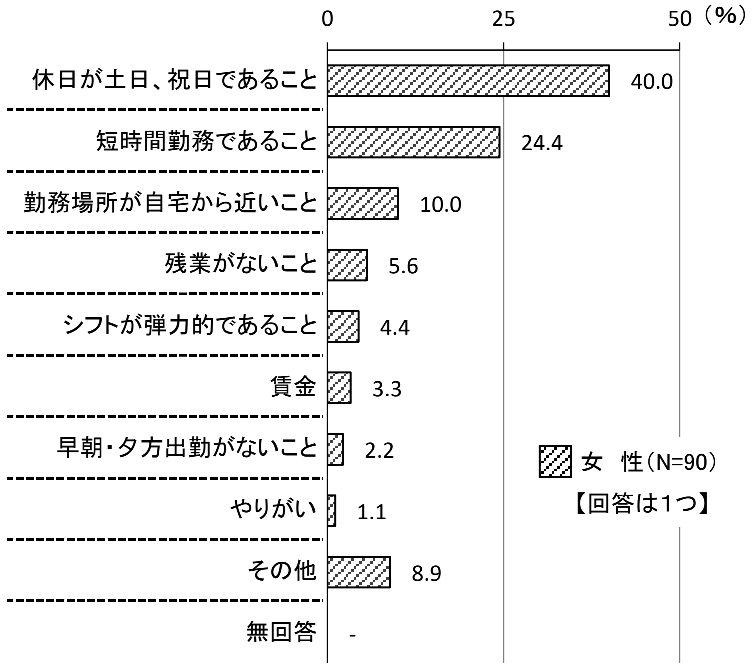
		標本数	働きたい	働きたくない	わからない	無回答
全体		171 100.0	91 53.2	34 19.9	32 18.7	14 8.2
性別・年代別	男性:18～20歳代	1	－	－	－	100.0
	男性:30歳代	－	－	－	－	－
	男性:40歳代	4	－	25.0	50.0	25.0
	女性:18～20歳代	12	91.7	－	8.3	－
	女性:30歳代	74	60.8	16.2	17.6	5.4
	女性:40歳代	76	44.7	27.6	21.1	6.6
	無回答	4	25.0	－	－	75.0
居住地域別	福岡地域	100	49.0	23.0	19.0	9.0
	筑後地域	22	54.5	13.6	22.7	9.1
	筑豊地域	7	71.4	14.3	14.3	－
	北九州地域	38	57.9	18.4	15.8	7.9
	無回答	4	75.0	－	25.0	－

（２）就業時に優先すること

SQ1 【問31で 1 と答えた方に】働く際に最も優先することについて、次の中からあなたの考えに最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

今後、就業の意向がある人に、働く際に優先することをたずねたところ、「休日が土日、祝日であること」が 40.0％で最も高く、次いで「短時間勤務であること」が 24.4％、「勤務場所が自宅から近いこと」が 10.0％となっている。

図表４－15　就業時に優先すること［全体（女性）］



図表４－16　就業時に優先すること［全体、性別、こどもの状況別、居住地域別］

(%)

		標本数	残業がないこと	早朝・夕方出勤がないこと	シフトが弾力的であること	短時間勤務であること	休日が土日、祝日であること	勤務場所が自宅から近いこと	賃金	やりがい	その他	無回答
全体		91	5	2	4	22	36	10	3	1	8	－
		100.0	5.5	2.2	4.4	24.2	39.6	11.0	3.3	1.1	8.8	－
性別	男性	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	女性	90	5.6	2.2	4.4	24.4	40.0	10.0	3.3	1.1	8.9	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
性別・年代別	女性:18～20歳代	11	－	9.1	－	9.1	54.5	9.1	9.1	－	9.1	－
	女性:30歳代	45	8.9	－	4.4	26.7	31.1	11.1	4.4	2.2	11.1	－
	女性:40歳代	34	2.9	2.9	5.9	26.5	47.1	8.8	－	－	5.9	－
	無回答	1	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－
居住地域別	福岡地域	49	10.2	2.0	4.1	28.6	30.6	10.2	6.1	2.0	6.1	－
	筑後地域	12	－	－	8.3	16.7	58.3	8.3	－	－	8.3	－
	筑豊地域	5	－	20.0	－	－	80.0	－	－	－	－	－
	北九州地域	22	－	－	4.5	27.3	36.4	18.2	－	－	13.6	－
	無回答	3	－	－	－	－	66.7	－	－	－	33.3	－

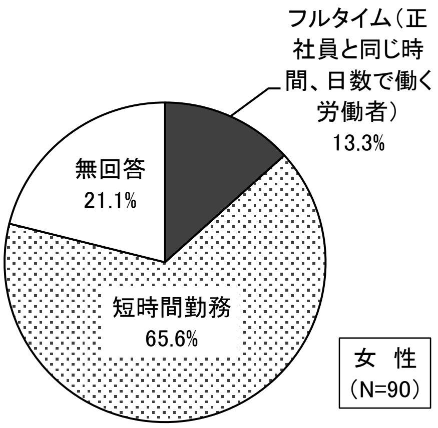
（３）希望する就業時間

SQ2 【問31で １ と答えた方に】希望される勤務時間は何時から何時までですか。次の中からあてはまる方を選んでください。（○は1つ） なお、2を選んだ方は、何時頃から何時頃までを希望されるのかをご記入ください。

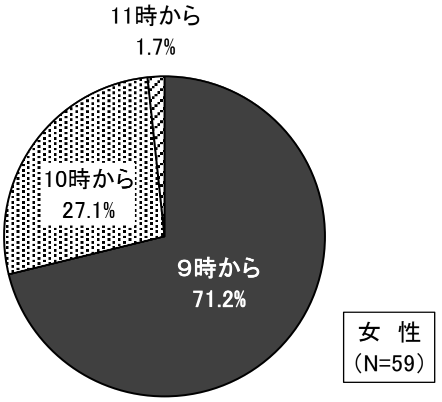
今後、就業の意向がある女性に、希望する就業時間をたずねたところ、「短時間勤務」が 65.6％と高く、「フルタイム（正社員と同じ時間、日数で働く労働者）」は 13.3％となっている。

短時間勤務を希望する女性の具体的な希望時間は、「９時から」（71.2％）から「14 時まで」（39.0％）、もしくは「15 時まで」（33.9％）の割合が高い。

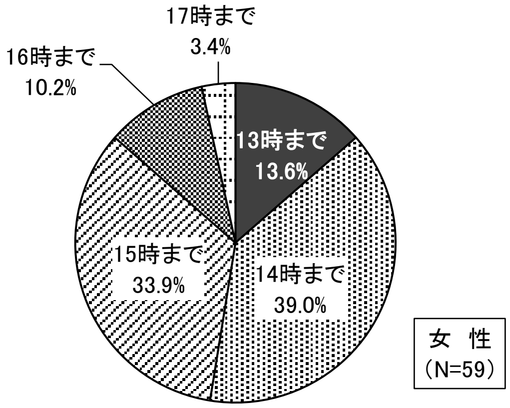
図表４－17　希望する就業時間［全体（女性）］



≪短時間勤務の開始時間≫



≪短時間勤務の終了時間≫



第５章　結婚に対する意識について

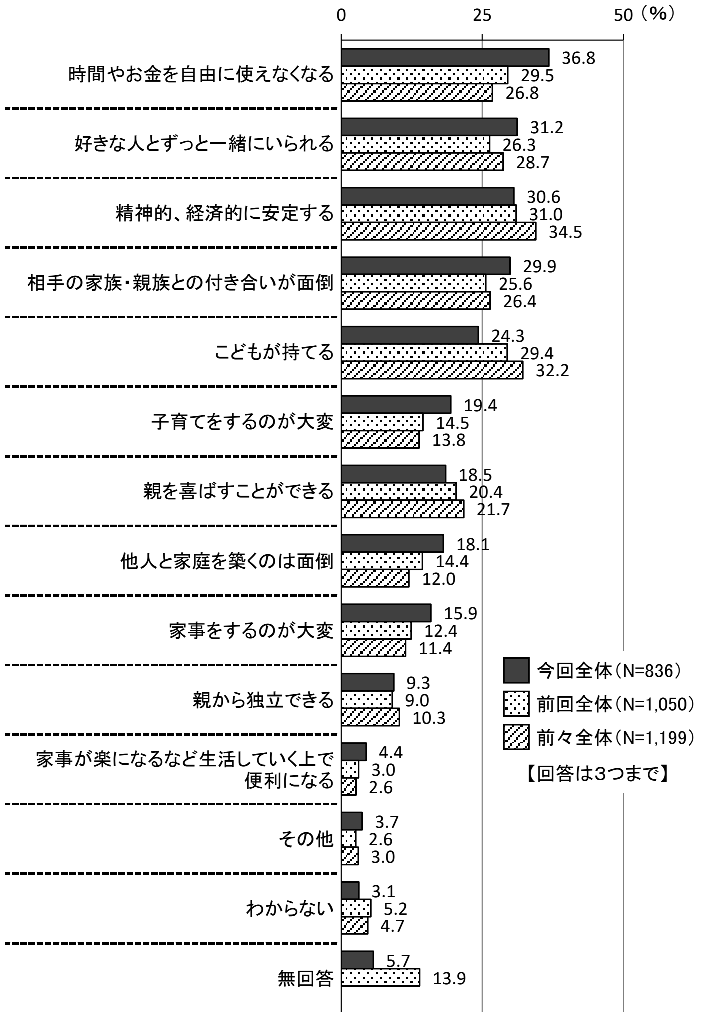
１．結婚のイメージ

> 問32　あなたは結婚に対してどのようなイメージをもっていますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

これまでに結婚経験がない人に、結婚に対してどのようなイメージをもっているかをたずねたところ、「時間やお金を自由に使えなくなる」という否定的なイメージが 36.8%で最も高く、次いで、肯定的なイメージである「好きな人とずっと一緒にいられる」が 31.2%、「精神的、経済的に安定する」が 30.6%となっている。「相手の家族・親族との付き合いが面倒」という否定的なイメージも 29.9%と高い。

過去の調査結果と比較すると、「時間やお金を自由に使えなくなる」が前回調査から 7.3 ポイント増加しており、その他「相手の家族・親族との付き合いが面倒」が 4.3 ポイント、「子育てをするのが大変」が 4.9 ポイントなど否定的なイメージの項目は増加傾向となっている。一方で、肯定的なイメージの「好きな人とずっと一緒にいられる」は 4.9 ポイント増加しているが、その他は減少傾向となっている。

図表５－１　結婚のイメージ［全体］



【性別】

肯定的なイメージについては、「精神的、経済的に安定する」（男性 27.7%、女性 32.5%）は女性の方が 4.8 ポイント高くなっているが、その他は全て男性の方が高く、特に「好きな人とずっと一緒にいられる」（同 42.5%、24.6%）で 17.9 ポイントとその差が大きい。一方、否定的なイメージについては、「時間やお金を自由に使えなくなる」（同 41.2%、34.1%）は男性の方が 7.1 ポイント高くなっているが、その他は女性の割合が高く、特に「家事をするのが大変」（同 6.9%、21.6%）で 14.7 ポイントとその差が大きい。

【性別・年代別】

「好きな人とずっと一緒にいられる」は男女ともに年代が低い層で割合は高いという傾向がみられる。その他は、年代によってまちまちな項目が多いが、男性の 35～39 歳で「時間やお金を自由に使えなくなる」が 61.5%と高いのが目立つ。

図表５－２　結婚のイメージ［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	好きな人とずっと一緒にいられる	精神的、経済的に安定する	こどもが持てる	親から独立できる	家事が楽になるなど生活していく上で便利になる	親を喜ばすことができる	時間やお金を自由に使えなくなる	家事をするのが大変	子育てをするのが大変	他人と家庭を築くのは面倒	相手の家族・親族との付き合いが面倒	その他	わからない	無回答
全体		836	261	256	203	78	37	155	308	133	162	151	250	31	26	48
		100.0	31.2	30.6	24.3	9.3	4.4	18.5	36.8	15.9	19.4	18.1	29.9	3.7	3.1	5.7
性別	男性	318	42.5	27.7	25.8	10.7	6.6	19.5	41.2	6.9	18.9	11.3	23.9	2.8	4.1	7.5
	女性	504	24.6	32.5	23.6	8.3	3.2	17.9	34.1	21.6	19.0	22.2	33.7	4.0	2.4	4.8
	無回答	14	14.3	28.6	14.3	14.3	－	21.4	35.7	14.3	42.9	21.4	28.6	14.3	7.1	－
性別・年代別	男性:18～24歳	98	50.0	25.5	28.6	16.3	4.1	10.2	34.7	10.2	19.4	10.2	19.4	1.0	5.1	9.2
	男性:25～29歳	56	46.4	37.5	19.6	10.7	10.7	23.2	35.7	5.4	17.9	5.4	16.1	3.6	3.6	10.7
	男性:30～34歳	49	42.9	24.5	28.6	12.2	4.1	24.5	40.8	6.1	16.3	10.2	24.5	6.1	4.1	8.2
	男性:35～39歳	39	35.9	28.2	23.1	2.6	2.6	15.4	61.5	5.1	20.5	7.7	38.5	2.6	2.6	2.6
	男性:40～44歳	35	28.6	25.7	25.7	8.6	11.4	34.3	48.6	5.7	17.1	14.3	17.1	5.7	2.9	8.6
	男性:45～49歳	41	36.6	24.4	26.8	4.9	9.8	22.0	39.0	4.9	22.0	24.4	36.6	－	4.9	2.4
	女性:18～24歳	152	36.8	25.0	23.0	13.8	5.3	17.1	38.2	21.7	23.7	15.8	23.7	2.6	2.6	5.3
	女性:25～29歳	85	15.3	32.9	27.1	4.7	2.4	15.3	36.5	16.5	21.2	25.9	36.5	4.7	1.2	8.2
	女性:30～34歳	85	31.8	40.0	28.2	2.4	2.4	15.3	34.1	25.9	24.7	14.1	31.8	3.5	2.4	4.7
	女性:35～39歳	57	17.5	33.3	28.1	7.0	－	24.6	28.1	26.3	10.5	38.6	49.1	3.5	－	1.8
	女性:40～44歳	68	14.7	38.2	17.6	11.8	2.9	23.5	29.4	22.1	13.2	23.5	36.8	4.4	4.4	2.9
	女性:45～49歳	57	14.0	33.3	15.8	5.3	3.5	14.0	31.6	17.5	10.5	28.1	40.4	7.0	3.5	3.5
	無回答	14	14.3	28.6	14.3	14.3	－	21.4	35.7	14.3	42.9	21.4	28.6	14.3	7.1	－
居住地域別	福岡地域	437	29.1	31.4	24.0	8.2	4.6	19.0	38.4	15.8	21.5	19.9	31.4	4.3	3.2	5.0
	筑後地域	125	39.2	37.6	28.8	12.8	4.0	23.2	25.6	10.4	20.8	8.8	22.4	5.6	3.2	6.4
	筑豊地域	65	30.8	20.0	24.6	13.8	4.6	20.0	36.9	21.5	13.8	18.5	38.5	－	3.1	4.6
	北九州地域	179	32.4	27.4	21.2	7.3	3.9	14.0	40.2	17.9	15.6	20.7	29.1	1.1	2.8	7.8
	無回答	30	23.3	33.3	26.7	13.3	6.7	16.7	40.0	16.7	16.7	13.3	26.7	10.0	3.3	3.3

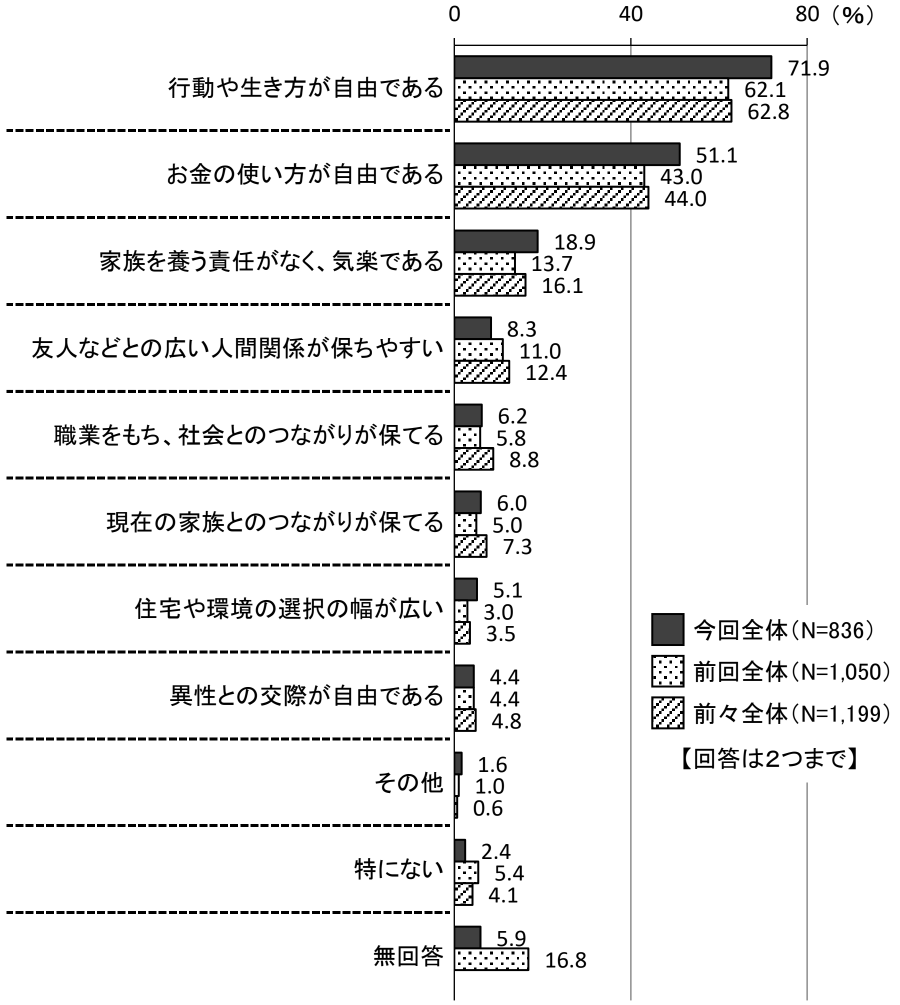
２．独身生活の利点

問33　あなたにとって、独身生活にはどのような利点があると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（○は2つまで）

これまで結婚経験がない人に対して、独身生活の利点についてたずねたところ、「行動や生き方が自由である」が 71.9％と最も高く、次いで「お金の使い方が自由である」が 51.1％と高くなっている。

過去の調査結果と比較すると、「行動や生き方が自由である」と「お金の使い方が自由である」はともに前回調査よりも 8.1～9.8 ポイント増加している。

図表５－３　独身生活の利点［全体］



【性別】

「行動や生き方が自由である」は、女性では 76.6%と高く、男性（65.1%）よりも 11.5 ポイント高くなっている。「家族を養う責任がなく、気楽である」（男性 23.0%、女性 16.7%）は男性の方が 6.3 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「行動や生き方が自由である」は、男性の 35～39 歳で 82.1%、女性の 35～39 歳で 78.9%、40～44 歳で 80.9%と高くなっている。「職業をもち、社会とのつながりが保てる」は、女性の 40～44 歳で 17.6%と他の年代より高くなっている。

図表５－４　独身生活の利点［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	行動や生き方が自由である	異性との交際が自由である	お金の使い方が自由である	住宅や環境の選択の幅が広い	家族を養う責任がなく、気楽である	友人などとの広い人間関係が保ちやすい	職業をもち、社会とのつながりが保てる	現在の家族とのつながりが保てる	その他	特にない	無回答
全体		836	601	37	427	43	158	69	52	50	13	20	49
		100.0	71.9	4.4	51.1	5.1	18.9	8.3	6.2	6.0	1.6	2.4	5.9
性別	男性	318	65.1	6.0	51.6	4.4	23.0	6.9	4.4	4.1	1.9	4.1	7.9
	女性	504	76.6	3.4	50.4	5.8	16.7	8.9	7.5	6.7	1.4	1.2	4.8
	無回答	14	57.1	7.1	64.3	－	7.1	14.3	－	21.4	－	7.1	－
性別・年代別	男性:18～24歳	98	62.2	10.2	45.9	7.1	29.6	9.2	5.1	1.0	1.0	3.1	9.2
	男性:25～29歳	56	58.9	3.6	55.4	1.8	23.2	8.9	7.1	3.6	1.8	1.8	10.7
	男性:30～34歳	49	71.4	6.1	57.1	2.0	12.2	8.2	－	2.0	6.1	4.1	8.2
	男性:35～39歳	39	82.1	2.6	59.0	5.1	15.4	5.1	5.1	2.6	－	5.1	2.6
	男性:40～44歳	35	60.0	5.7	54.3	2.9	22.9	5.7	－	5.7	2.9	－	11.4
	男性:45～49歳	41	61.0	2.4	43.9	4.9	26.8	－	7.3	14.6	－	12.2	2.4
	女性:18～24歳	152	76.3	3.9	55.9	5.9	13.2	15.8	5.3	5.3	2.0	－	5.3
	女性:25～29歳	85	76.5	4.7	60.0	2.4	20.0	4.7	2.4	4.7	1.2	－	8.2
	女性:30～34歳	85	76.5	4.7	50.6	10.6	14.1	9.4	8.2	7.1	1.2	1.2	3.5
	女性:35～39歳	57	78.9	1.8	42.1	1.8	24.6	3.5	8.8	12.3	1.8	3.5	1.8
	女性:40～44歳	68	80.9	2.9	41.2	4.4	13.2	4.4	17.6	10.3	－	－	2.9
	女性:45～49歳	57	70.2	－	40.4	8.8	21.1	7.0	7.0	3.5	1.8	5.3	5.3
	無回答	14	57.1	7.1	64.3	－	7.1	14.3	－	21.4	－	7.1	－
居住地域別	福岡地域	437	72.3	4.1	51.9	4.3	21.3	8.2	7.1	5.9	1.1	2.1	5.3
	筑後地域	125	72.0	4.0	44.8	7.2	15.2	9.6	11.2	7.2	3.2	1.6	6.4
	筑豊地域	65	75.4	3.1	52.3	9.2	15.4	9.2	－	6.2	－	3.1	6.2
	北九州地域	179	70.4	5.0	53.6	3.9	17.9	6.1	3.9	4.5	1.7	3.4	7.3
	無回答	30	66.7	10.0	46.7	6.7	13.3	13.3	－	10.0	3.3	3.3	3.3

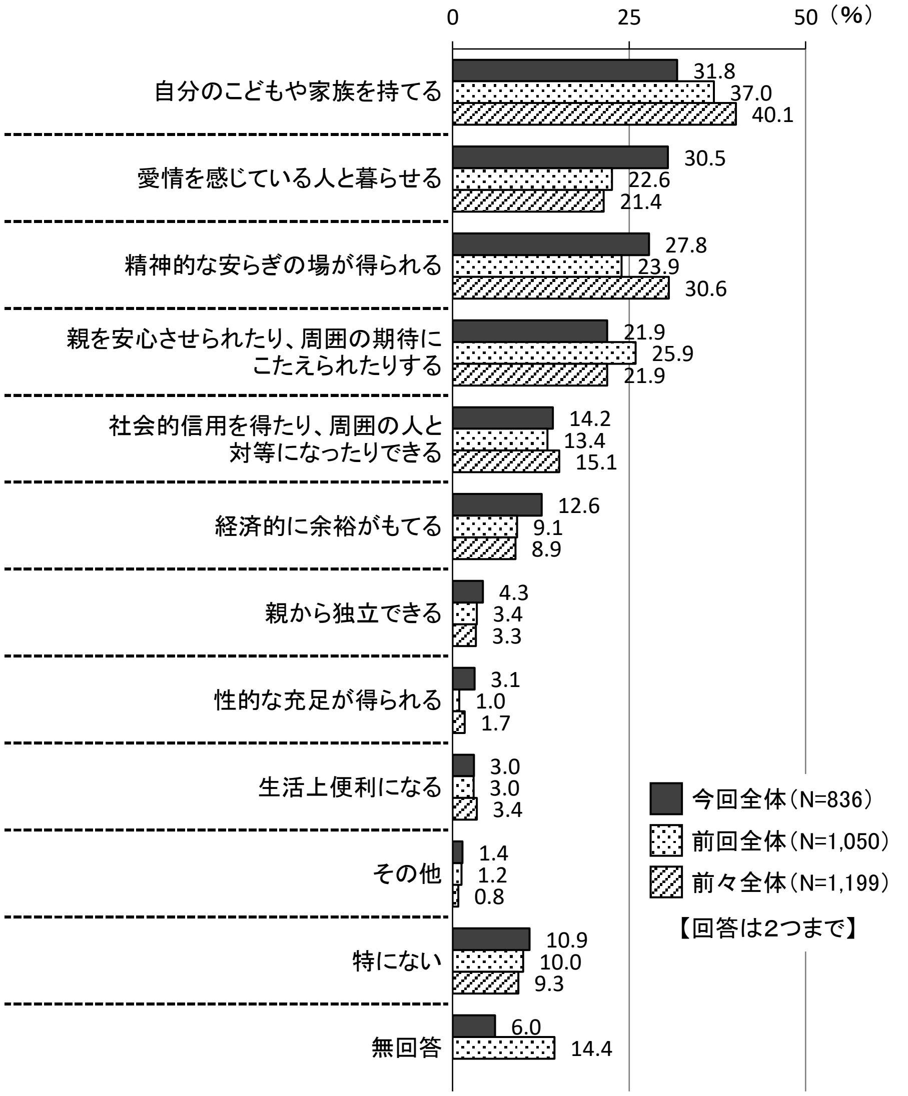
３．結婚の利点

問34　結婚することは、あなたにとってどのような利点があると思いますか。次の中からあてはまるものを2つまで選んでください。（○は2つまで）

結婚経験がない人に対して、結婚することにどのような利点があると思うかたずねたところ、「自分のこどもや家族を持てる」が 31.8%、「愛情を感じている人と暮らせる」が 30.5%、「精神的な安らぎの場を得られる」が 27.8%となっている。

過去の調査結果と比較すると、「自分のこどもや家族を持てる」は前々回から減少傾向となっている。「愛情を感じている人と暮らせる」は前回調査よりも 7.9 ポイント増加している。

図表５－５　結婚の利点［全体］



【性別】

「愛情を感じている人と暮らせる」（男性 34.9％、女性 28.0％）と「精神的な安らぎの場を得られる」（同 32.1％、25.0％）はともに男性の方が 6.9～7.1 ポイント高くなっている。一方、「経済的に余裕がもてる」（同 6.6％、16.5％）や「親を安心させたり、周囲の期待にこたえられたりする」（同 16.7％、25.0％）は、女性の方が 8.3～9.9 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

女性の 30～34 歳で「自分のこどもや家族を持てる」が 50.6％と高くなっている。「愛情を感じている人と暮らせる」は、男性の 18～24 歳で 43.9％、25～29 歳で 39.3％、「精神的な安らぎの場を得られる」は男性の 25～29 歳で 46.4％と高くなっている。

図表５－６　結婚の利点［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（％）

		標本数	経済的に余裕がもてる	社会的信用を得たり、周囲の人と対等になったりできる	精神的な安らぎの場が得られる	愛情を感じている人と暮らせる	自分のこどもや家族を持てる	性的な充足が得られる	生活上便利になる	親から独立できる	親を安心させたり、周囲の期待にこたえられたりする	その他	特にない	無回答
全体		836	105	119	232	255	266	26	25	36	183	12	91	50
		100.0	12.6	14.2	27.8	30.5	31.8	3.1	3.0	4.3	21.9	1.4	10.9	6.0
性別	男性	318	6.6	14.8	32.1	34.9	27.7	6.0	4.4	4.4	16.7	0.6	11.3	8.2
	女性	504	16.5	13.7	25.0	28.0	34.3	1.4	2.2	4.2	25.0	2.0	10.5	4.8
	無回答	14	7.1	21.4	28.6	21.4	35.7	－	－	7.1	28.6	－	14.3	－
性別・年代別	男性:18～24歳	98	3.1	14.3	32.7	43.9	28.6	8.2	2.0	4.1	6.1	1.0	13.3	9.2
	男性:25～29歳	56	8.9	7.1	46.4	39.3	23.2	5.4	3.6	3.6	17.9	－	7.1	12.5
	男性:30～34歳	49	8.2	14.3	28.6	32.7	34.7	4.1	8.2	8.2	18.4	2.0	6.1	8.2
	男性:35～39歳	39	10.3	10.3	23.1	35.9	28.2	2.6	5.1	－	20.5	－	17.9	2.6
	男性:40～44歳	35	5.7	11.4	37.1	14.3	25.7	11.4	5.7	5.7	14.3	－	14.3	11.4
	男性:45～49歳	41	7.3	34.1	19.5	26.8	24.4	2.4	4.9	4.9	36.6	－	9.8	2.4
	女性:18～24歳	152	15.1	8.6	27.0	36.2	34.2	2.6	3.9	5.9	27.0	1.3	5.3	5.3
	女性:25～29歳	85	16.5	10.6	17.6	31.8	36.5	1.2	1.2	2.4	24.7	2.4	10.6	8.2
	女性:30～34歳	85	23.5	12.9	21.2	25.9	50.6	－	1.2	4.7	24.7	2.4	4.7	3.5
	女性:35～39歳	57	12.3	26.3	28.1	21.1	38.6	1.8	1.8	3.5	28.1	－	12.3	1.8
	女性:40～44歳	68	10.3	17.6	35.3	19.1	23.5	1.5	2.9	4.4	25.0	1.5	17.6	2.9
	女性:45～49歳	57	21.1	15.8	21.1	21.1	15.8	－	－	1.8	17.5	5.3	22.8	5.3
	無回答	14	7.1	21.4	28.6	21.4	35.7	－	－	7.1	28.6	－	14.3	－
居住地域別	福岡地域	437	13.5	15.6	28.8	30.2	29.5	2.5	3.2	4.3	23.6	0.7	10.8	5.5
	筑後地域	125	8.8	15.2	28.8	30.4	33.6	2.4	4.8	4.0	23.2	2.4	8.8	6.4
	筑豊地域	65	10.8	－	27.7	30.8	33.8	7.7	－	6.2	21.5	1.5	15.4	6.2
	北九州地域	179	14.0	15.1	22.9	33.0	34.6	3.9	2.8	2.8	17.9	1.7	11.2	7.3
	無回答	30	10.0	16.7	36.7	20.0	36.7	－	－	10.0	16.7	6.7	10.0	3.3

４．自分自身の結婚について

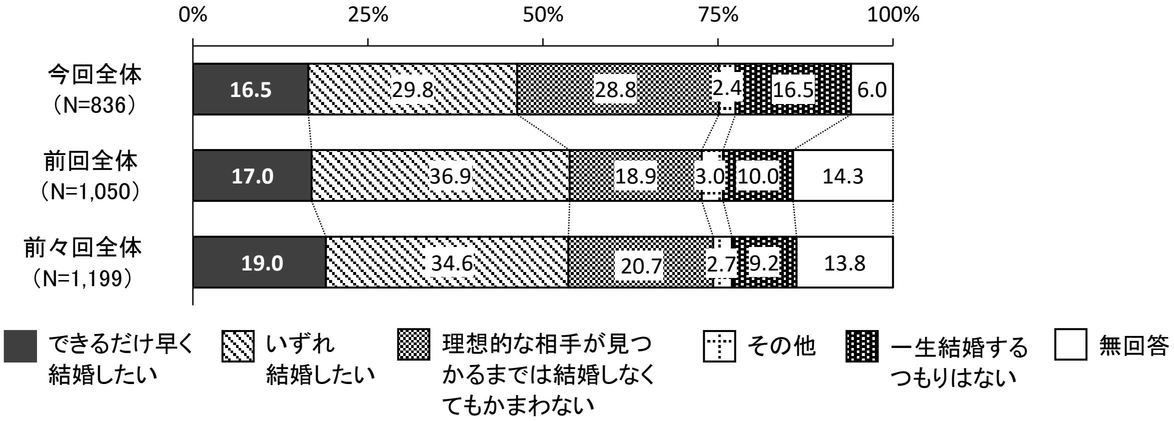
（１）結婚の意向

問35　あなた自身の結婚に対してどのようにしたいと思っていますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は1つ）

結婚経験がない人に、結婚の意向をたずねたところ、「いずれ結婚したい」が 29.8%、「理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない」が 28.8%と拮抗しており、次いで「できるだけ早く結婚したい」と「一生結婚するつもりはない」がともに 16.5%となっている。

過去の調査との比較では、「いずれ結婚したい」は前回調査から 7.1 ポイント減少しており、「一生結婚するつもりはない」は6.5ポイント増加している。

図表５－７　結婚の意向［全体］



【性別】

「できるだけ早く結婚したい」（男性 13.5%、女性 18.8%）は女性が 5.3 ポイント高く、「いずれ結婚したい」（同 33.3%、27.4%）は男性が 5.9 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「できるだけ早く結婚したい」は、男女の 25～29 歳と 30～34 歳、女性の 35～39 歳で２割を超えて他の年代よりも高くなっている。「一生結婚するつもりはない」は男女の 35 歳以降で割合が高くなっている。

図表５－８　結婚の意向［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	できるだけ早く結婚したい	いずれ結婚したい	理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない	その他	一生結婚するつもりはない	無回答
全体		836	138	249	241	20	138	50
		100.0	16.5	29.8	28.8	2.4	16.5	6.0
性別	男性	318	13.5	33.3	28.6	1.9	14.8	7.9
	女性	504	18.8	27.4	29.2	2.6	17.1	5.0
	無回答	14	－	35.7	21.4	7.1	35.7	－
性別・年代別	男性:18～24歳	98	8.2	49.0	23.5	1.0	9.2	9.2
	男性:25～29歳	56	21.4	33.9	30.4	－	3.6	10.7
	男性:30～34歳	49	24.5	28.6	26.5	6.1	8.2	6.1
	男性:35～39歳	39	7.7	25.6	30.8	2.6	25.6	7.7
	男性:40～44歳	35	11.4	22.9	37.1	－	17.1	11.4
	男性:45～49歳	41	9.8	17.1	31.7	2.4	39.0	－
	女性:18～24歳	152	18.4	36.2	27.0	2.0	11.2	5.3
	女性:25～29歳	85	22.4	35.3	23.5	2.4	7.1	9.4
	女性:30～34歳	85	27.1	30.6	28.2	3.5	7.1	3.5
	女性:35～39歳	57	21.1	14.0	42.1	－	21.1	1.8
	女性:40～44歳	68	10.3	23.5	35.3	1.5	26.5	2.9
	女性:45～49歳	57	10.5	5.3	24.6	7.0	47.4	5.3
	無回答	14	－	35.7	21.4	7.1	35.7	－
居住地域別	福岡地域	437	14.4	27.2	33.0	2.7	17.2	5.5
	筑後地域	125	23.2	39.2	18.4	2.4	10.4	6.4
	筑豊地域	65	18.5	29.2	27.7	－	18.5	6.2
	北九州地域	179	16.2	30.2	26.3	2.2	17.9	7.3
	無回答	30	16.7	26.7	30.0	3.3	20.0	3.3

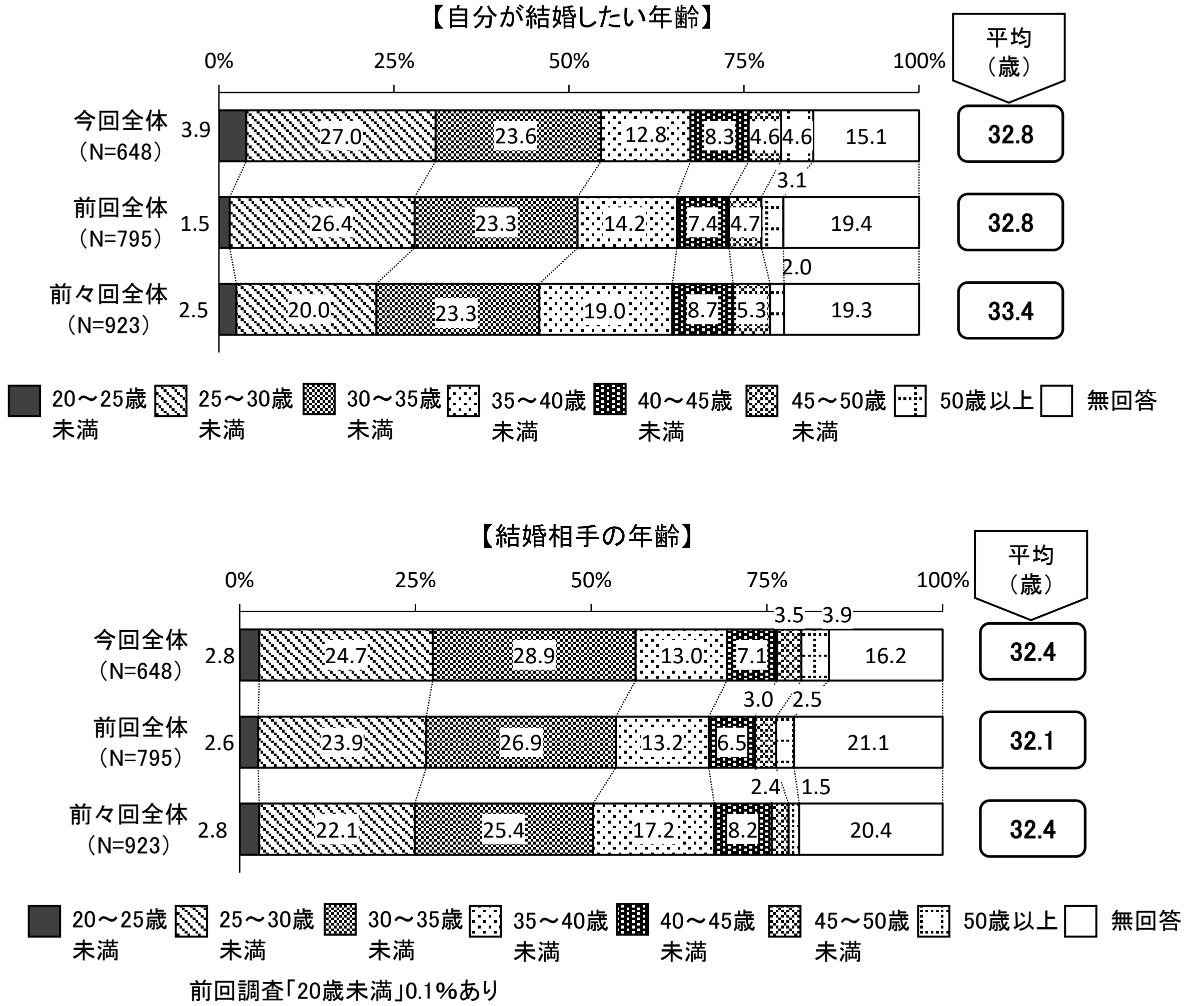
（２）希望する結婚年齢

SQ1 【問35で 1～4 と答えた方に】あなたは何歳ぐらいのときに、何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。自分と相手について希望する年齢を具体的に下の(　　)の中に記入してください。

結婚したいという意向のある人に、希望する結婚年齢について自分と相手それぞれについてたずねた。自分が結婚を希望する年齢は、「25～30 歳未満」（27.0％）と「30～35 歳未満」（23.6％）の割合が高く、平均は 32.8 歳となっている。結婚相手に望む年齢もほぼ同様の結果となっており、平均は 32.4 歳となっている。

過去の調査結果との比較では、自分と相手、いずれも平均年齢は前々回から近似の値が続いている。

図表５－９　希望する結婚年齢［全体］



【性別】

自分が結婚したい年齢については、『30 歳未満』までの年齢層の割合は女性の方が高く、「30～35 歳未満」は男女でほぼ同じ割合、『35 歳以上』の年齢層は男性の方が高い割合となっている。

相手の年齢については、男性は低い年齢層、女性は高い年齢層の割合が高くなっている。

【性別・年代別】

自分が結婚したい年齢については、男女とも年代が上がるにつれ希望年齢も上がっている。

相手の年齢については、男性は 18～24 歳で「25～30 歳未満」、その他の年代は「30～35 歳未満」の割合が高い。女性は 18～24 歳で「25～30 歳未満」の割合が高く、その他は年代が上がるにつれ、相手の年齢も上がる傾向がみられる。

図表５－10　希望する結婚年齢［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	自分が結婚したい年齢								結婚相手の年齢							
			20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45～50歳未満	50歳以上	無回答	20～25歳未満	25～30歳未満	30～35歳未満	35～40歳未満	40～45歳未満	45～50歳未満	50歳以上	無回答
全体		648	25	175	153	83	54	30	30	98	18	160	187	84	46	23	25	105
		100.0	3.9	27.0	23.6	12.8	8.3	4.6	4.6	15.1	2.8	24.7	28.9	13.0	7.1	3.5	3.9	16.2
性別	男性	246	2.0	22.4	24.4	16.3	9.8	6.5	6.5	12.2	4.9	27.2	33.3	11.8	6.1	1.6	2.0	13.0
	女性	393	5.1	29.5	23.2	10.9	7.6	3.6	3.3	16.8	1.5	22.6	26.5	13.7	7.9	4.8	4.8	18.1
	無回答	9	－	44.4	22.2	－	－	－	11.1	22.2	－	44.4	11.1	11.1	－	－	11.1	22.2
性別・年代別	男性:18～24歳	80	5.0	51.3	31.3	5.0	－	－	－	7.5	8.8	55.0	27.5	1.3	－	－	－	7.5
	男性:25～29歳	48	2.1	22.9	50.0	12.5	2.1	－	－	10.4	8.3	31.3	41.7	8.3	－	－	－	10.4
	男性:30～34歳	42	－	2.4	21.4	59.5	11.9	－	－	4.8	2.4	9.5	45.2	33.3	2.4	2.4	－	4.8
	男性:35～39歳	26	－	3.8	3.8	15.4	38.5	3.8	7.7	26.9	－	3.8	38.5	11.5	11.5	3.8	3.8	26.9
	男性:40～44歳	25	－	4.0	－	4.0	28.0	40.0	8.0	16.0	－	8.0	28.0	20.0	24.0	－	4.0	16.0
	男性:45～49歳	25	－	－	4.0	－	4.0	20.0	48.0	24.0	－	4.0	16.0	8.0	20.0	8.0	12.0	32.0
	女性:18～24歳	127	11.8	65.4	17.3	0.8	0.8	－	－	3.9	4.7	51.2	34.6	3.9	－	0.8	－	4.7
	女性:25～29歳	71	2.8	43.7	36.6	5.6	1.4	－	－	9.9	－	25.4	45.1	11.3	4.2	1.4	1.4	11.3
	女性:30～34歳	76	－	－	50.0	31.6	2.6	－	－	15.8	－	3.9	27.6	35.5	10.5	5.3	－	17.1
	女性:35～39歳	44	2.3	2.3	4.5	31.8	25.0	2.3	6.8	25.0	－	－	6.8	27.3	15.9	9.1	9.1	31.8
	女性:40～44歳	48	4.2	2.1	4.2	－	29.2	18.8	4.2	37.5	－	6.3	6.3	2.1	18.8	16.7	12.5	37.5
	女性:45～49歳	27	－	－	3.7	－	3.7	14.8	29.6	48.1	－	－	3.7	3.7	14.8	3.7	29.6	44.4
	無回答	9	－	44.4	22.2	－	－	－	11.1	22.2	－	44.4	11.1	11.1	－	－	11.1	22.2
居住地域別	福岡地域	338	2.4	28.4	21.3	13.6	8.9	5.0	4.4	16.0	1.8	24.3	28.4	12.4	8.0	3.8	4.4	16.9
	筑後地域	104	3.8	28.8	23.1	17.3	6.7	5.8	1.0	13.5	1.9	29.8	24.0	16.3	4.8	4.8	1.9	16.3
	筑豊地域	49	8.2	16.3	26.5	8.2	10.2	6.1	6.1	18.4	4.1	20.4	34.7	12.2	4.1	－	6.1	18.4
	北九州地域	134	6.0	23.9	28.4	8.2	8.2	3.0	8.2	14.2	4.5	23.1	30.6	11.9	8.2	3.7	3.7	14.2
	無回答	23	4.3	39.1	26.1	17.4	4.3	－	－	8.7	8.7	26.1	34.8	13.0	4.3	－	－	13.0

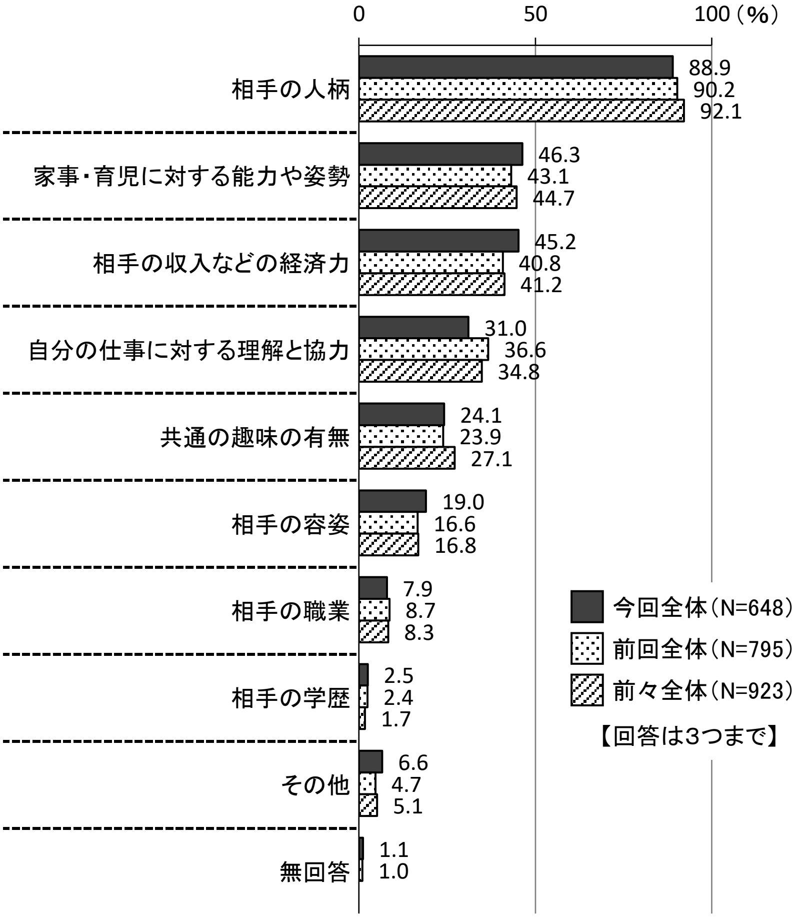
（３）結婚相手を決めるときに重視するもの

SQ2 【問35で 1～4 と答えた方に】あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

結婚の意向がある人に対して、結婚相手を決めるときに重視することをたずねたところ、「相手の人柄」が 88.9％と最も高く、次いで「家事・育児に対する能力や姿勢」（46.3％）と「相手の収入などの経済力」（45.2％）となっている。

過去の調査との比較では、前回調査よりも「自分の仕事に対する理解と協力」が 5.6 ポイント減少し、「相手の収入などの経済力」が 4.4 ポイント増加している。

図表５－11　結婚相手を決めるときに重視するもの［全体］



【性別】

「相手の人柄」は男女ともに約９割と高い割合になっており差は小さいが、その他の多くの項目は男女の差が大きい。特に大きいのは「相手の収入などの経済力」で、女性は 63.4%であるのに対して、男性は 15.9%で、47.5 ポイントの差がある。「家事・育児に対する能力や姿勢」（男性 35.8%、女性 52.4%）も女性の方が 16.6 ポイント高い。一方で、「相手の容姿」（同 29.3%、12.7%）と「共通の趣味の有無」（同 40.2%、14.0%）は男性の方が 16.6～26.2 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

「家事・育児に対する能力や姿勢」は女性の 18～24 歳で 59.8%と他の年代に比べて高くなっている。「相手の収入などの経済力」は女性の 35～39 歳で 70.5%、「自分の仕事に対する理解と協力」は女性の 40～44 歳で 37.5%と他の年代に比べて高くなっている。

図表５－12　結婚相手を決めるときに重視するもの［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	相手の学歴	相手の職業	相手の収入などの経済力	相手の人柄	相手の容姿	共通の趣味の有無	自分の仕事に対する理解と協力	家事・育児に対する能力や姿勢	その他	無回答
全 体		648	16	51	293	576	123	156	201	300	43	7
		100.0	2.5	7.9	45.2	88.9	19.0	24.1	31.0	46.3	6.6	1.1
性別	男性	246	2.0	3.3	15.9	88.2	29.3	40.2	38.2	35.8	7.7	2.0
	女性	393	2.8	10.7	63.4	89.1	12.7	14.0	26.5	52.4	6.1	0.5
	無回答	9	－	11.1	55.6	100.0	11.1	22.2	33.3	66.7	－	－
性別・年代別	男性:18～24歳	80	2.5	5.0	12.5	87.5	30.0	46.3	40.0	32.5	6.3	1.3
	男性:25～29歳	48	－	2.1	16.7	87.5	41.7	29.2	35.4	35.4	12.5	6.3
	男性:30～34歳	42	2.4	2.4	9.5	92.9	16.7	45.2	40.5	42.9	7.1	－
	男性:35～39歳	26	3.8	－	19.2	80.8	19.2	46.2	50.0	34.6	3.8	－
	男性:40～44歳	25	－	4.0	28.0	88.0	32.0	40.0	32.0	36.0	8.0	－
	男性:45～49歳	25	4.0	4.0	20.0	92.0	32.0	28.0	28.0	36.0	8.0	4.0
	女性:18～24歳	127	2.4	7.1	63.0	90.6	15.7	13.4	27.6	59.8	5.5	－
	女性:25～29歳	71	5.6	14.1	67.6	90.1	12.7	11.3	23.9	50.7	2.8	1.4
	女性:30～34歳	76	3.9	13.2	65.8	88.2	11.8	15.8	15.8	53.9	7.9	1.3
	女性:35～39歳	44	2.3	13.6	70.5	81.8	13.6	13.6	34.1	50.0	2.3	－
	女性:40～44歳	48	－	10.4	45.8	91.7	8.3	10.4	37.5	45.8	10.4	－
	女性:45～49歳	27	－	7.4	66.7	88.9	7.4	25.9	25.9	33.3	11.1	－
	無回答	9	－	11.1	55.6	100.0	11.1	22.2	33.3	66.7	－	－
居住地域別	福岡地域	338	2.1	6.5	46.2	88.5	18.3	23.4	31.1	48.5	7.7	0.6
	筑後地域	104	1.9	11.5	44.2	88.5	15.4	23.1	39.4	41.3	6.7	－
	筑豊地域	49	－	4.1	42.9	83.7	20.4	42.9	24.5	40.8	6.1	6.1
	北九州地域	134	3.7	9.7	41.0	90.3	23.9	22.4	25.4	44.8	5.2	1.5
	無回答	23	8.7	8.7	65.2	100.0	13.0	8.7	39.1	56.5	－	－

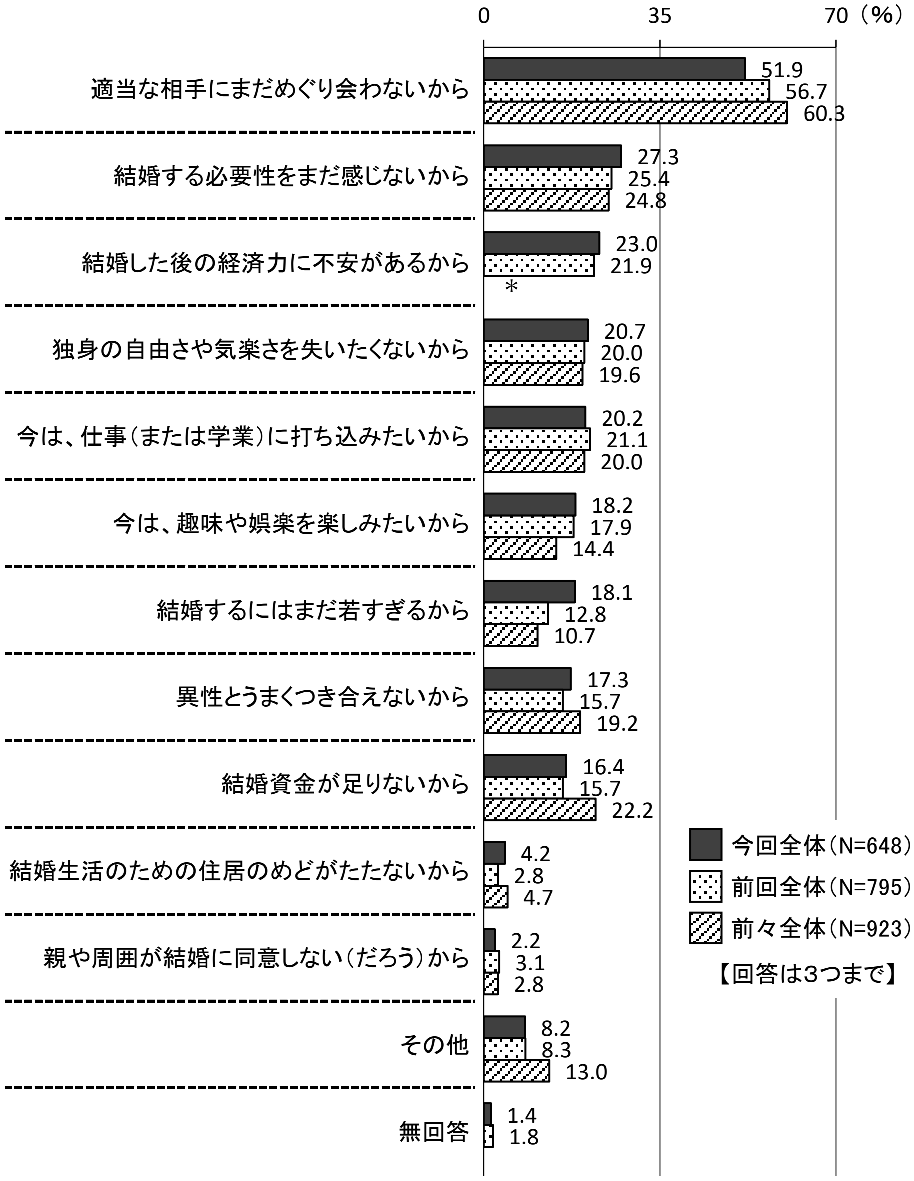
（４）独身でいる理由

SQ3 【問35で 1～4 と答えた方に】あなたが現在独身でいる理由は何ですか。次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

結婚の意向がある人に、現在独身でいる理由をたずねたところ、「適当な相手にまだめぐり会わないから」が 51.9%と最も高く、次いで「結婚する必要性をまだ感じないから」（27.3%）や「結婚した後の経済力に不安があるから」（23.0%）、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（20.7%）、「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」（20.2%）となっている。

過去の調査との比較では、「適当な相手にまだめぐり会わないから」は前々回から減少傾向となっている。「結婚するにはまだ若すぎるから」は増加傾向となっている。

図表５－13　独身でいる理由［全体］



【性別】

経済的な面に関する「結婚した後の経済力に不安があるから」（男性 34.1％、女性 16.5％）と「結婚資金が足りないから」（同 22.8％、12.7％）は、ともに男性の方が 10.1～17.6 ポイント高くなっている。一方で、「適当な相手にまだめぐり会わないから」（同 46.3％、55.2％）と「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（同 15.9％、23.7％）は女性の方が 7.8～8.9 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

男女ともに 18～24 歳では「結婚するにはまだ若すぎるから」が約５割と高くなっている。また、この年代では「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから」も約４割と高い。「適当な相手にまだめぐり会わないから」は、男女ともに 35～39 歳と 40～44 歳で高い割合となっており、特に女性では約８割と高い。

図表５－14（１）　独身でいる理由［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から	結婚した後の経済力に不安があるから	その他	無回答
全体		648	117	177	131	118	134	336	112	106	27	14	149	53	9
		100.0	18.1	27.3	20.2	18.2	20.7	51.9	17.3	16.4	4.2	2.2	23.0	8.2	1.4
性別	男性	246	19.1	24.4	20.3	17.5	15.9	46.3	22.4	22.8	5.7	1.6	34.1	7.3	1.2
	女性	393	17.0	29.3	19.8	18.6	23.7	55.2	14.0	12.7	3.3	2.5	16.5	8.7	1.5
	無回答	9	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	55.6	22.2	－	－	－	－	11.1	－
性別・年代別	男性:18～24歳	80	55.0	33.8	41.3	22.5	3.8	31.3	13.8	13.8	3.8	2.5	18.8	3.8	－
	男性:25～29歳	48	4.2	22.9	16.7	14.6	12.5	43.8	18.8	39.6	6.3	－	43.8	4.2	4.2
	男性:30～34歳	42	－	31.0	16.7	23.8	23.8	54.8	28.6	19.0	4.8	－	31.0	11.9	－
	男性:35～39歳	26	－	15.4	－	11.5	15.4	61.5	38.5	23.1	7.7	－	42.3	7.7	3.8
	男性:40～44歳	25	4.0	20.0	4.0	12.0	36.0	68.0	16.0	28.0	－	－	48.0	12.0	－
	男性:45～49歳	25	－	－	4.0	8.0	28.0	48.0	36.0	20.0	16.0	8.0	48.0	12.0	－
	女性:18～24歳	127	50.4	31.5	42.5	22.0	11.8	33.1	7.1	15.0	3.1	3.1	15.0	3.9	1.6
	女性:25～29歳	71	4.2	31.0	16.9	25.4	26.8	57.7	16.9	21.1	5.6	1.4	15.5	11.3	2.8
	女性:30～34歳	76	－	25.0	11.8	18.4	28.9	52.6	19.7	18.4	6.6	5.3	26.3	13.2	2.6
	女性:35～39歳	44	－	27.3	4.5	9.1	40.9	79.5	20.5	2.3	－	－	9.1	4.5	－
	女性:40～44歳	48	－	33.3	2.1	10.4	25.0	81.3	16.7	2.1	－	－	16.7	10.4	－
	女性:45～49歳	27	－	22.2	－	14.8	25.9	74.1	7.4	－	－	3.7	11.1	14.8	－
	無回答	9	33.3	22.2	33.3	22.2	22.2	55.6	22.2	－	－	－	－	11.1	－
居住地域別	福岡地域	338	16.6	31.1	19.5	15.1	20.7	53.0	13.3	16.3	5.0	2.7	25.4	8.3	1.2
	筑後地域	104	22.1	25.0	25.0	21.2	12.5	48.1	23.1	19.2	2.9	1.0	25.0	6.7	1.9
	筑豊地域	49	20.4	30.6	18.4	26.5	18.4	53.1	22.4	10.2	－	4.1	16.3	8.2	4.1
	北九州地域	134	14.9	18.7	17.9	20.1	26.1	51.5	21.6	18.7	4.5	1.5	20.9	9.0	0.7
	無回答	23	34.8	26.1	26.1	21.7	30.4	52.2	13.0	4.3	4.3	－	4.3	8.7	－

【職業別】

「適当な相手にまだめぐり会わないから」は農業・林業、建設業、金融業、保険業で７割を超え、また、医療、福祉、サービス業でも６割を超えて高い。「結婚した後の経済力に不安があるから」は学術研究、専門・技術サービス業や宿泊業、飲食サービス業で４割を超えている。「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」は卸売業、小売業で 43.9%、「今は、趣味や娯楽を楽しみたいから」は電気・ガス・熱供給・水道業で 41.7%と全体の割合よりも高くなっている。学生では「結婚するにはまだ若すぎるから」(58.7%)、「今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから)」(57.1%) などの理由が５割を超えている。

図表５－14（２）　独身でいる理由［全体、職業別］

(%)

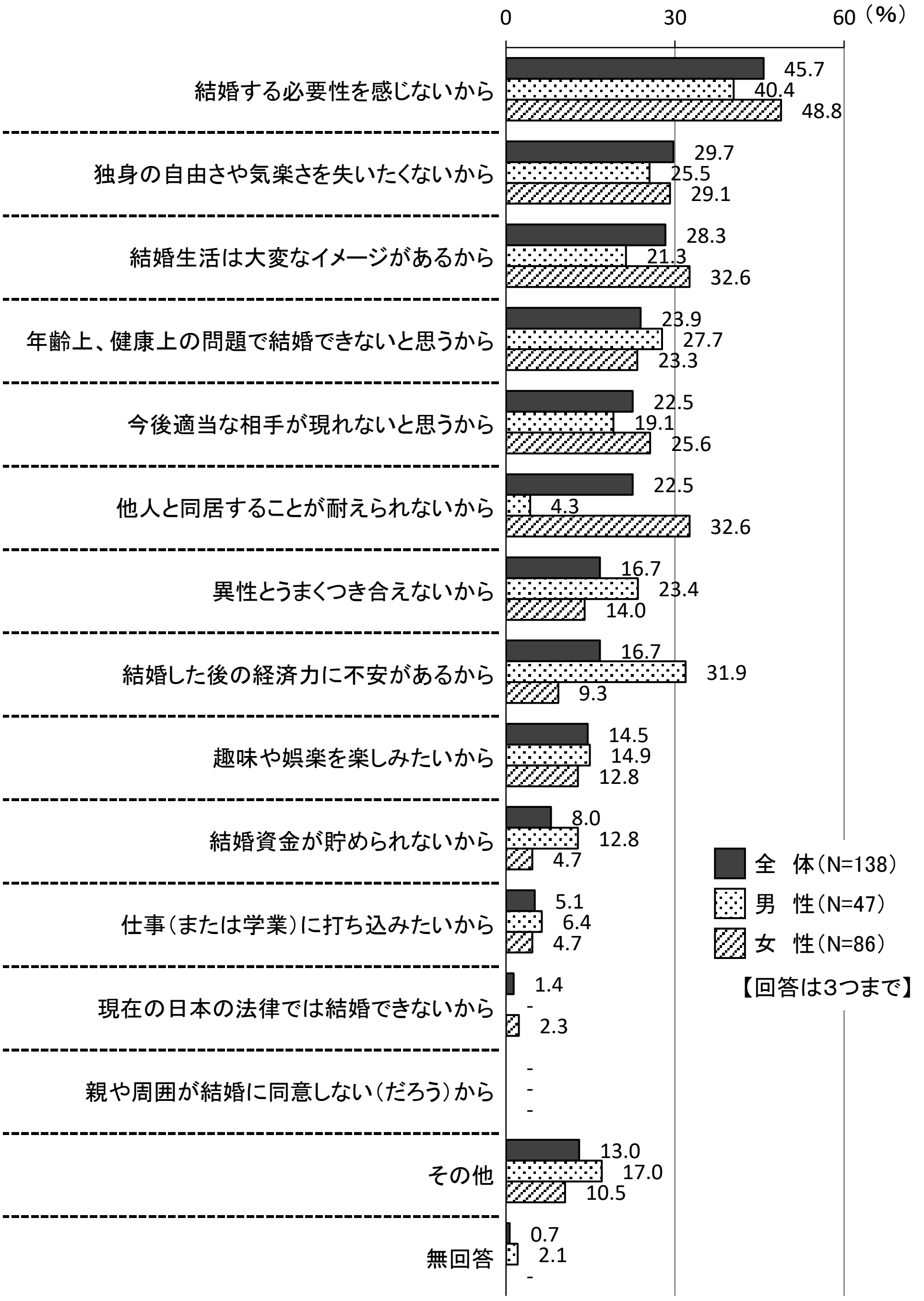
		標本数	結婚するにはまだ若すぎるから	結婚する必要性をまだ感じないから	今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから	今は、趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	適当な相手にまだめぐり会わないから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が足りないから	結婚生活のための住居のめどがたたないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から	結婚した後の経済力に不安があるから	その他	無回答
全体		648 100.0	117 18.1	177 27.3	131 20.2	118 18.2	134 20.7	336 51.9	112 17.3	106 16.4	27 4.2	14 2.2	149 23.0	53 8.2	9 1.4
職業別	農業、林業	4	－	－	－	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	－	－	50.0	－	－
	漁業□	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	鉱業、採石業、砂利採取業	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	建設業	28	3.6	17.9	7.1	21.4	25.0	75.0	3.6	10.7	3.6	－	17.9	10.7	－
	製造業	54	1.9	16.7	7.4	20.4	24.1	59.3	33.3	11.1	1.9	1.9	37.0	13.0	3.7
	電気･ガス･熱供給･水道業	12	8.3	41.7	8.3	41.7	16.7	58.3	33.3	16.7	－	－	25.0	－	－
	情報通信業	21	4.8	19.0	4.8	4.8	23.8	57.1	14.3	42.9	4.8	－	23.8	19.0	－
	運輸業、郵便業	21	－	33.3	19.0	23.8	23.8	47.6	33.3	9.5	9.5	－	38.1	9.5	－
	卸売業、小売業	41	7.3	36.6	4.9	17.1	43.9	46.3	19.5	14.6	7.3	－	34.1	9.8	2.4
	金融業、保険業	17	17.6	23.5	－	23.5	29.4	76.5	－	11.8	－	－	23.5	－	5.9
	不動産業、物品賃貸業	7	－	28.6	－	14.3	28.6	57.1	28.6	14.3	－	－	－	28.6	－
	学術研究、専門･技術サービス業	16	－	31.3	25.0	12.5	12.5	50.0	6.3	18.8	－	－	43.8	12.5	－
	宿泊業、飲食サービス業	16	25.0	25.0	12.5	25.0	25.0	50.0	12.5	31.3	18.8	－	43.8	6.3	－
	生活関連サービス業、娯楽業	16	6.3	43.8	12.5	18.8	37.5	50.0	37.5	18.8	6.3	－	6.3	－	－
	教育、学習支援事業	45	11.1	28.9	22.2	13.3	17.8	55.6	20.0	13.3	8.9	－	17.8	4.4	2.2
	医療、福祉	82	9.8	22.0	15.9	22.0	22.0	63.4	25.6	12.2	4.9	2.4	18.3	6.1	1.2
	複合サービス事業	5	－	60.0	－	20.0	－	60.0	20.0	40.0	－	20.0	20.0	－	－
	サービス業（他に分類されないもの）	47	10.6	25.5	10.6	19.1	27.7	61.7	12.8	21.3	2.1	6.4	27.7	8.5	4.3
	公務（他に分類されるものを除く）	28	14.3	17.9	7.1	17.9	32.1	53.6	10.7	21.4	－	3.6	14.3	10.7	－
	専業主婦･主夫	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	学生	126	58.7	31.0	57.1	11.1	5.6	31.0	4.8	7.1	1.6	3.2	15.9	6.3	0.8
	無職	42	4.8	35.7	4.8	23.8	11.9	47.6	23.8	33.3	9.5	2.4	16.7	11.9	－
	その他	9	11.1	44.4	22.2	22.2	11.1	22.2	11.1	44.4	－	11.1	44.4	－	－
	無回答	11	27.3	9.1	27.3	27.3	18.2	54.5	18.2	18.2	－	－	9.1	9.1	－

（５）結婚するつもりはない理由

SQ4 【問35で 5 と答えた方に】あなたが一生結婚するつもりはないと答えた理由は何ですか。
次の中からあてはまるものを3つまで選んでください。（○は3つまで）

結婚するつもりがないとする人にその理由をたずねたところ、「結婚する必要性を感じないから」が 45.7％で最も高く、次いで、「独身の自由さや気楽さを失いたくないから」（29.7％）と「結婚生活は大変なイメージがあるから」（28.3％）となっている。

図表５－15　結婚するつもりはない理由［全体、性別］



Ⅱ　調査結果

【性別】

男女の差が大きい項目が多く、男性の割合が高い項目は「結婚した後の経済力に不安があるから」（男性 31.9%、女性 9.3%）や「結婚資金が貯められないから」（同 12.8%、4.7%）、「異性とうまくつき合えないから」（同 23.4%、14.0%）などで、特に「結婚した後の経済力に不安があるから」は 22.6 ポイント差と大きい。一方で、女性の割合が高い項目は「他人と同居することが耐えられないから」（同 4.3%、32.6%）で 28.3 ポイント、「結婚生活は大変なイメージがあるから」（同 21.3%、32.6%）で 11.3 ポイントと差が特に大きい。その他の「結婚する必要性を感じないから」「独身の自由さや気楽さを失いたくない」「今後適当な相手が現れないと思うから」などでも女性の割合が高い。

【性別・年代別】

女性の 18～20 歳代で「結婚する必要性を感じないから」が 60.9%と最も高く、また「独身の自由さや気楽さを失いたくない」（39.1%）の割合も他の年代に比べて高くなっている。男性の 30 歳代では「結婚する必要性を感じないから」と「結婚したのちの経済力に不安があるから」が同率の 42.9%と高い。

図表５－16　結婚するつもりはない理由［全体、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	結婚する必要性を感じないから	結婚生活は大変なイメージがあるから	仕事（または学業）に打ち込みたいから	趣味や娯楽を楽しみたいから	独身の自由さや気楽さを失いたくないから	今後適当な相手が現れないと思うから	異性とうまくつき合えないから	結婚資金が貯められないから	他人と同居することが耐えられないから	親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から	結婚した後の経済力に不安があるから	年齢上、健康上の問題で結婚できないと思うから	現在の日本の法律では結婚できないから	その他	無回答
全体		138	63	39	7	20	41	31	23	11	31	－	23	33	2	18	1
		100.0	45.7	28.3	5.1	14.5	29.7	22.5	16.7	8.0	22.5	－	16.7	23.9	1.4	13.0	0.7
性別・年代別	男性:18～20歳代	11	36.4	27.3	18.2	27.3	27.3	－	27.3	18.2	－	－	18.2	－	－	27.3	－
	男性:30歳代	14	42.9	7.1	－	21.4	21.4	28.6	21.4	21.4	－	－	42.9	14.3	－	7.1	7.1
	男性:40歳代	22	40.9	27.3	4.5	4.5	27.3	22.7	22.7	4.5	9.1	－	31.8	50.0	－	18.2	－
	女性:18～20歳代	23	60.9	30.4	8.7	17.4	39.1	26.1	4.3	－	34.8	－	8.7	8.7	8.7	8.7	－
	女性:30歳代	18	27.8	38.9	－	16.7	22.2	38.9	38.9	5.6	33.3	－	16.7	16.7	－	11.1	－
	女性:40歳代	45	51.1	31.1	4.4	8.9	26.7	20.0	8.9	6.7	31.1	－	6.7	33.3	－	11.1	－
	無回答	5	40.0	20.0	－	40.0	80.0	－	－	20.0	20.0	－	－	－	－	20.0	－
居住地域別	福岡地域	75	46.7	21.3	6.7	13.3	29.3	18.7	12.0	8.0	18.7	－	18.7	29.3	2.7	14.7	1.3
	筑後地域	13	30.8	46.2	－	7.7	15.4	46.2	30.8	7.7	23.1	－	23.1	15.4	－	15.4	－
	筑豊地域	12	58.3	33.3	16.7	25.0	16.7	25.0	16.7	16.7	8.3	－	25.0	25.0	－	8.3	－
	北九州地域	32	46.9	37.5	－	12.5	37.5	25.0	21.9	3.1	37.5	－	6.3	18.8	－	6.3	－
	無回答	6	33.3	16.7	－	33.3	50.0	－	16.7	16.7	16.7	－	16.7	－	－	33.3	－

５．「出会い・結婚応援事業」について

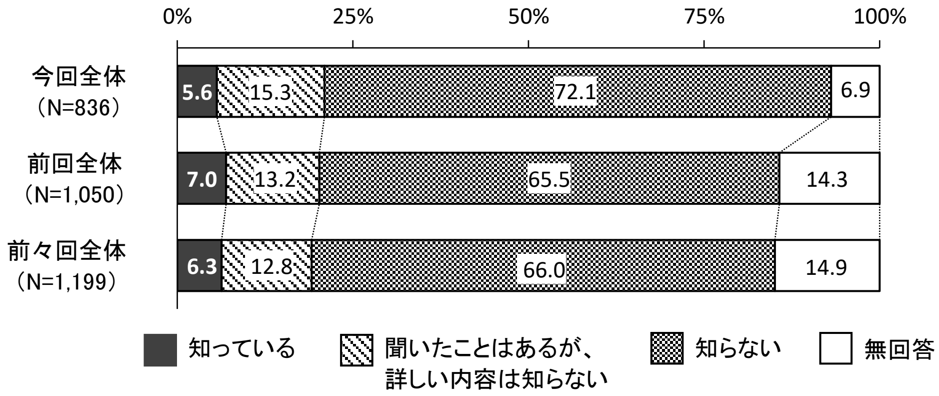
（１）「出会い・結婚応援事業」の認知状況

問36　福岡県では、少子化対策の一環として、結婚の意向はあっても出会いの機会が少ない独身男女に出会いの場を提供する「出会い・結婚応援事業」を実施しています。
あなたは、この事業について、知っていますか。（○は1つ）

「出会い・結婚応援事業」についての認知度は、「知っている」人は 5.6%、「聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない」という人は 15.3%にとどまっている。「知らない」人は 72.1%と大部分を占めている。

過去の調査との比較では、「知っている」、「聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない」を合わせた割合に大きな変化はないが、「知らない」は前回調査よりも 6.6 ポイント増加している。

図表５－17　「出会い・結婚応援事業」の認知状況　［全体］



Ⅱ　調査結果

【性別】

「知っている」割合は女性の方が若干高い程度で、全体的に男女でほぼ同じ結果となっている。

【性別・年代別】

女性では、年代が高い層で「知っている」割合が高い傾向がみられ、35 歳以上では１割を超えている。

図表５－18　「出会い・結婚応援事業」の認知状況［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

(%)

		標本数	知っている	聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない	知らない	無回答
全体		836	47	128	603	58
		100.0	5.6	15.3	72.1	6.9
性別	男性	318	3.5	17.0	71.4	8.2
	女性	504	7.1	14.7	72.0	6.2
	無回答	14	－	－	92.9	7.1
性別・年代別	男性:18～24歳	98	－	15.3	75.5	9.2
	男性:25～29歳	56	7.1	17.9	64.3	10.7
	男性:30～34歳	49	－	20.4	71.4	8.2
	男性:35～39歳	39	7.7	15.4	66.7	10.3
	男性:40～44歳	35	5.7	14.3	71.4	8.6
	男性:45～49歳	41	4.9	19.5	75.6	－
	女性:18～24歳	152	2.6	9.9	79.6	7.9
	女性:25～29歳	85	2.4	12.9	76.5	8.2
	女性:30～34歳	85	9.4	12.9	74.1	3.5
	女性:35～39歳	57	12.3	21.1	64.9	1.8
	女性:40～44歳	68	13.2	17.6	63.2	5.9
	女性:45～49歳	57	10.5	22.8	59.6	7.0
	無回答	14	－	－	92.9	7.1
居住地域別	福岡地域	437	5.7	15.6	72.5	6.2
	筑後地域	125	5.6	16.0	70.4	8.0
	筑豊地域	65	4.6	10.8	81.5	3.1
	北九州地域	179	6.1	17.9	66.5	9.5
	無回答	30	3.3	3.3	86.7	6.7

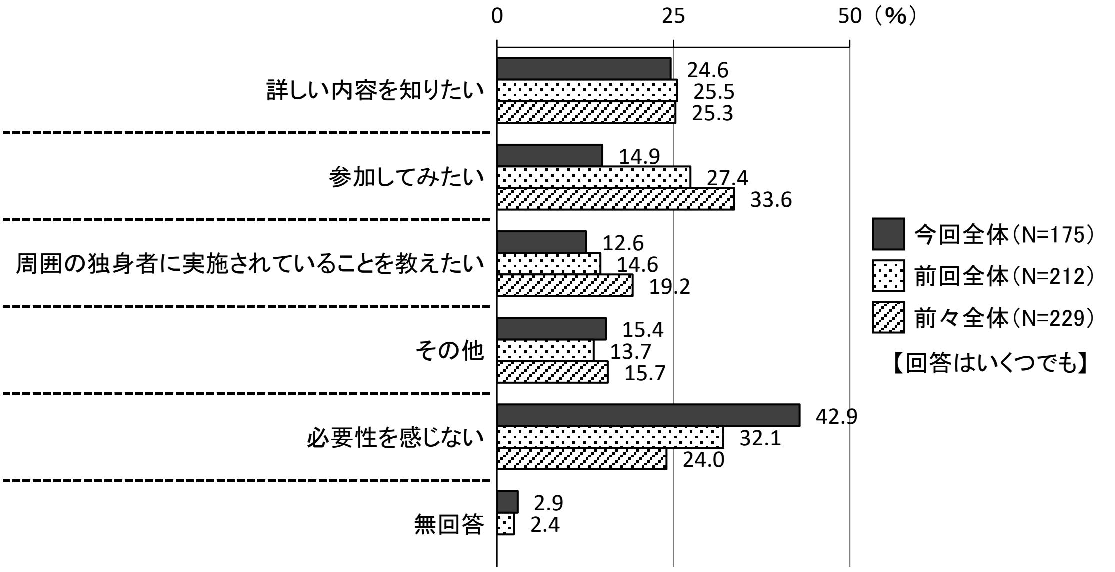
（２）「出会い・結婚応援事業」への参加意向

SQ1 【問36で 1または2 と答えた方に】「出会い・結婚応援事業」についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

「出会い・結婚応援事業」を知っている、あるいは聞いたことがある人に、どう思っているかをたずねたところ、「詳しい内容を知りたい」とする人は 24.6%、「参加してみたい」とする人は 14.9%となっている。「必要性を感じない」とする人は42.9%と最も高くなっている。

過去の調査との比較では、「参加してみたい」の割合は減少し、「必要性を感じない」が増加するという傾向が顕著である。

図表５－19　「出会い・結婚応援事業」への参加意向［全体］



【性別】

「詳しい内容を知りたい」（男性 32.3%、女性 20.0%）と「参加してみたい」（同 20.0%、11.8%）はどちらも男性の方が 8.2～12.3 ポイント高くなっている。女性は「必要性を感じない」（同 33.8%、48.2%）が男性よりも 14.4 ポイント高くなっている。

【性別・年代別】

男女ともに 25～29 歳で「参加してみたい」の割合が２割を超えて高くなっており、また、男性では 40～44 歳でも 25～29 歳と同率の 28.6%と高くなっている。

図表５－20　「出会い・結婚応援事業」への参加意向［全体、性別、性別・年代別、居住地域別］

（%）

		標本数	詳しい内容を知りたい	参加してみたい	周囲の独身者に実施されていることを教えたい	その他	必要性を感じない	無回答
全体		175	43	26	22	27	75	5
		100.0	24.6	14.9	12.6	15.4	42.9	2.9
性別	男性	65	32.3	20.0	15.4	9.2	33.8	3.1
	女性	110	20.0	11.8	10.9	19.1	48.2	2.7
	無回答	－	－	－	－	－	－	－
性別・年代別	男性:18～24歳	15	40.0	20.0	20.0	－	26.7	6.7
	男性:25～29歳	14	35.7	28.6	21.4	14.3	28.6	7.1
	男性:30～34歳	10	40.0	10.0	10.0	10.0	30.0	－
	男性:35～39歳	9	11.1	11.1	－	22.2	55.6	－
	男性:40～44歳	7	14.3	28.6	14.3	14.3	42.9	－
	男性:45～49歳	10	40.0	20.0	20.0	－	30.0	－
	女性:18～24歳	19	15.8	5.3	10.5	10.5	63.2	－
	女性:25～29歳	13	30.8	23.1	15.4	7.7	46.2	－
	女性:30～34歳	19	15.8	15.8	15.8	15.8	42.1	5.3
	女性:35～39歳	19	26.3	5.3	10.5	26.3	42.1	－
	女性:40～44歳	21	28.6	14.3	9.5	9.5	47.6	9.5
	女性:45～49歳	19	5.3	10.5	5.3	42.1	47.4	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－
居住地域別	福岡地域	93	23.7	11.8	11.8	14.0	46.2	4.3
	筑後地域	27	33.3	18.5	22.2	3.7	29.6	3.7
	筑豊地域	10	30.0	10.0	10.0	30.0	20.0	－
	北九州地域	43	20.9	20.9	9.3	20.9	48.8	－
	無回答	2	－	－	－	50.0	50.0	－

Ⅲ　参考資料（使用した調査票）

子育て等に関する県民意識・ニーズ調査

<調査ご協力のお願い>

この調査は、結婚や子育てについての県民の皆様の意識やこどもたちの置かれた状況を把握し、少子化対策を進める上での基礎資料を得ることを目的としています。

今回の調査の対象者は福岡県内にお住まいの方１０，０００人を各市区町村の選挙人名簿より無作為に抽出して選ばせていただいております。

ご回答いただいた内容や調査結果については、すべて統計処理し、調査以外の目的に使用することはありませんので、ぜひ率直な考えをお聞かせください。お名前を書いていただく必要もありません。

お忙しい中、大変恐れ入りますが、調査の目的をご理解いただき、ご協力くださいますよう、お願いいたします。

【ご記入にあたってのお願い】

１．この調査は、あて名のご本人がお答えください。
２．質問番号の順に進んでください。矢印のあるところは、矢印（→）に従って進んでください。
３．お答えいただく○印の数は「１つ」、「３つまで」などあります。あてはまる番号に○印をつけてください。お答えが「その他」の場合には、番号に○印をつけたうえで、その内容を（　　）の中に具体的に書いてください。
〔例〕　①　はい　　２．いいえ
４．「問」ではじまる質問の中に「お子さんがおられる方のみ」など一定の条件にあてはまる方のみにおたずねする質問もありますので、ご注意ください。ＳＱ（補問）は、前問で一定の条件にあてはまる方だけにおたずねするものです。その方のみお答えください。

●　すべての方
　→　1ページ～3ページ（F1～F9）、4ページ～13ページ（問1～問15）
●　お子さんがおられる方
　→　14ページ～23ページ（問16～問31）
●　お子さんがおらず、結婚経験のない方
　→　24ページ～26ページ（問32～問36）

５．調査票の記入が終わりましたら、同封の「返信用封筒」（切手不要）に入れ、**11月30日（木）**までに投函してください。インターネット回答の方は上のＱＲコードまたは、ＵＲＬにアクセスし、回答をお願いいたします。　https://wss3.5star.jp/survey/login/6jx5ultc
６．調査の結果は、令和６年３月を目途に県ホームページにて公開予定です。
７．本調査は、福岡県がＮＰＯ法人福岡ジェンダー研究所に委託し、実施しております。
調査内容に関するお問い合わせは、下記のＮＰＯ法人福岡ジェンダー研究所へお願いいたします。

〔問 合 せ 先〕　ＮＰＯ法人福岡ジェンダー研究所
（調査実施機関）　電　話：０９２－４０１－５８１１

〔調 査 主 体〕　福岡県　福祉労働部　こども未来課
電　話：０９２－６４３－３０１３（直通）

令和５年１１月

福　岡　県

まず、あなたのことについてお尋ねします。

Ｆ１　あなたの性別は。（○は１つ）※差支えのない範囲でお答えください。

１．男性　　２．女性

Ｆ２　あなたの年齢は。（令和５年１０月１日現在）（○は１つ）

１．１８～２４歳
２．２５～２９歳
３．３０～３４歳
４．３５～３９歳
５．４０～４４歳
６．４５～４９歳

Ｆ３　あなたが最後にご卒業になった学校は。（○は１つ）

１．中学校
２．高等学校・中等教育学校・高等専修学校
３．短期大学・高等専門学校（高専）・専門学校・各種学校
４．大学・大学院

Ｆ４　あなたの職業は。（○は１つ）

（1～19 → ＳＱ1、２へ）

１．農業、林業
２．漁業
３．鉱業、採石業、砂利採取業
４．建設業
５．製造業
６．電気・ガス・熱供給・水道業
７．情報通信業
８．運輸業、郵便業
９．卸売業、小売業
10．金融業、保険業
11．不動産業、物品賃貸業
12．学術研究、専門・技術サービス業
13．宿泊業、飲食サービス業
14．生活関連サービス業、娯楽業
15．教育、学習支援事業
16．医療、福祉
17．複合サービス事業
18．サービス業（他に分類されないもの）
19．公務（他に分類されるものを除く）
20．専業主婦・主夫
21．学生
22．無職
23．その他（具体的に　　　　　　　　　　）

ＳＱ１　**【Ｆ4で 1～19 と答えた方に】**あなたの雇用・労働形態は。（○は１つ）

１．自営業、自由業、フリーランス
２．企業、役所、団体などの正規職員
３．パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など

ＳＱ２　**【Ｆ4で 1～19 と答えた方に】**平均的な１日の労働時間（残業及び通勤時間を含む）は。（○は１つ）

１．２時間未満
２．２時間以上４時間未満
３．４時間以上６時間未満
４．６時間以上８時間未満
５．８時間以上１０時間未満
６．１０時間以上１２時間未満
７．１２時間以上１４時間未満
８．１４時間以上１６時間未満

Ｆ５　あなたのお住まいの形態は。（○は１つ）

１．一戸建て持ち家
２．共同住宅持ち家（分譲マンションなど）
３．公営住宅（公社、公団、県営、市町村営）
４．給与住宅（社宅など）
５．借家（一戸建て）
６．借家（アパート、マンションなど）
７．間借り
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　）

Ｆ６　あなたのご家庭の一年間の世帯収入は。（○は１つ）

１．～１００万円未満
２．１００～２００万円未満
３．２００～３００万円未満
４．３００～４００万円未満
５．４００～５００万円未満
６．５００～６００万円未満
７．６００～８００万円未満
８．８００～１０００万円未満
９．１０００万円以上

Ｆ７　現在の同居家族の構成は、次のどれにあてはまりますか。（○は１つ）

１．一人世帯
２．夫婦のみの世帯
３．親と子の世帯
４．親と子と孫の世帯
５．その他（具体的に　　　　　　　　　　）

Ｆ８　あなたの配偶関係は。（○は１つ）

１．未婚
２．配偶者（パートナー）がいる　→　ＳＱ１、２，３、４
３．配偶者（パートナー）と死別した
４．配偶者（パートナー）と離別した

ＳＱ１　**【Ｆ８で ２ と答えた方のみ】**共働きですか。（○は１つ）

１．二人ともフルタイム（正社員など）で働いている
２．一人はフルタイム（正社員など）、一人はパートタイム（非正規雇用など）で働いている
３．二人ともパートタイム（非正規雇用など）で働いている
４．夫（男性のパートナー）のみ働いている
５．妻（女性のパートナー）のみ働いている
６．その他（具体的に　　　　　　　　　　）
７．二人とも働いていない

ＳＱ２　**【Ｆ８で ２ と答えた方のみ】**あなたの配偶者（パートナー）の年齢は。
（令和5年１０月１日現在）（○は１つ）

１．１９歳以下
２．２０～２４歳
３．２５～２９歳
４．３０～３４歳
５．３５～３９歳
６．４０～４４歳
７．４５～４９歳
８．５０歳以上

SQ３　**【Ｆ８で ２ と答えた方のみ】**配偶者（パートナー）の現在の職業は。（○は１つ）

１．農業、林業	13．宿泊業、飲食サービス業
２．漁業	14．生活関連サービス業、娯楽業
３．鉱業、採石業、砂利採取業	15．教育、学習支援事業
４．建設業	16．医療、福祉
５．製造業	17．複合サービス事業
６．電気・ガス・熱供給・水道業	18．サービス業（他に分類されないもの）
７．情報通信業	19．公務（他に分類されるものを除く）
８．運輸業、郵便業	20．専業主婦・主夫
９．卸売業、小売業	21．学生
10．金融業、保険業	22．無職
11．不動産業、物品賃貸業	23．その他（具体的に　　　　　　　　）
12．学術研究、専門・技術サービス業	

（1～19 → **SQ4へ**）

SQ４　**【SQ3で １～１９ と答えた方のみ】**配偶者（パートナー）の雇用・労働形態は。（○は１つ）

１．自営業、自由業、フリーランス
２．企業、役所、団体などの正規職員
３．パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など

Ｆ９　あなたのお住まいの市町村は。（○は１つ）

１．北九州市	16．筑紫野市	31．篠栗町	46．大刀洗町
２．福岡市	17．春日市	32．志免町	47．大木町
３．大牟田市	18．大野城市	33．須恵町	48．広川町
４．久留米市	19．宗像市	34．新宮町	49．香春町
５．直方市	20．太宰府市	35．久山町	50．添田町
６．飯塚市	21．古賀市	36．粕屋町	51．糸田町
７．田川市	22．福津市	37．芦屋町	52．川崎町
８．柳川市	23．うきは市	38．水巻町	53．大任町
９．八女市	24．宮若市	39．岡垣町	54．赤村
10．筑後市	25．嘉麻市	40．遠賀町	55．福智町
11．大川市	26．朝倉市	41．小竹町	56．苅田町
12．行橋市	27．みやま市	42．鞍手町	57．みやこ町
13．豊前市	28．糸島市	43．桂川町	58．吉富町
14．中間市	29．那珂川市	44．筑前町	59．上毛町
15．小郡市	30．宇美町	45．東峰村	60．築上町

◆全員の方におたずねします。

問１　出生率が低下し、こどもの数が減少してきていますが、あなたはこのことについてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを１つだけ選んでください。（○は１つ）

１．非常に問題である
２．やや問題である
３．あまり問題ではない
４．全く問題ではない
（１～４ → ＳＱ１へ）
５．こどもの数が減少してきていることを知らなかった

ＳＱ１　**【問１で １～４ と答えた方に】**あなたは、この出生率の低下の原因は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．住宅事情が悪いから
２．こどもの生活費や教育費に経費がかかりすぎるから
３．出産や育児に対する夫の理解や協力が足りず、妻の負担が大きいから
４．こどもは少なく産んで質の高い教育を受けさせたいと思う人が増えたから
５．家庭と仕事の両立が困難だから
６．結婚平均年齢が上昇したから
７．介護や看護の必要な人が家族にいて、育児との両立が困難だから
８．結婚しなくてもいいと考える人が増えたから
９．こどもを産み育てなくてもいいと考える人が増えたから
10．社会がこどもや子育てに対して寛容ではないから
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問２　近年、結婚しない人の割合や、結婚する年齢が高くなっていますが、あなたはその原因は何だと思いますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．趣味や娯楽を楽しみたいと考える人が増えたから
２．仕事に打ち込みたいと考える人が増えたから
３．子育てをしたくないと考える人が増えたから
４．適当な結婚相手が見つからない人が増えたから
５．女性の大学や大学院への進学率が高くなっているから
６．女性に経済力がついたから
７．独身でいることに対する社会の目が変わったから
８．単身生活が便利になったから
９．収入が低い、貯蓄が足りないなど、経済的に結婚できないと考える人が増えたから
10．時間に余裕がなく結婚を後回しにする人が増えたから
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問３　結婚したいと思う人が結婚するためには、どのようなことが必要と考えますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．若者が就業して安定した収入を得られること
２．若者に結婚や子育ての良い面を伝え関心を持ってもらうこと
３．住みやすい環境を提供するような定住対策を進めること
４．企業や地域などが出会いの場を設定するなどの結婚の支援・応援を行うこと
５．行政が出会いの場を設定するなどの結婚の支援・応援を行うこと → ＳＱ1へ
６．事実婚や同性婚など多様な結婚のあり方が認められること
７．子育てと仕事の両立ができる環境があること
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ１　**【問３で ５ と回答した方に】**結婚したいと思う人が結婚するために、今後、行政に実施してほしい結婚支援・応援策は何ですか。（○は１つ）

１．「出会いの場」（婚活イベント）の創出や情報提供
２．独身男女の出会いや交際を支援する婚活サポーター（仲人など）の養成
３．登録制による結婚相手紹介システムの設置
４．ライフプラン（人生設計）教育の実施
５．出会いから結婚に関する相談窓口の設置
６．交際のノウハウ等を学ぶセミナーの開催
７．多様な結婚のあり方が認められる法律の整備
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問４　あなたにとって、こどもを産み育てるということは、どのような意味を持つと思いますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．自分の生命を伝える
２．自分の志をつぐ後継者をつくる
３．家の存続のため
４．次の社会を担う世代をつくる
５．家族の結びつきを強める
６．老後の面倒をみてもらう
７．こどもを育てることにより自分自身が成長する
８．こどもを育てるのは楽しい
９．夫婦はこどもがいて初めて社会に認められる
10．こどもがいるのが自然である
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　）
12．特に考えたことはない

問５　あなたにとって理想とするこどもの数は、何人ですか。（○は１つ）

１．１人
２．２人
３．３人
４．４人
５．５人以上
（３～５ → ＳＱ1へ）
６．こどもはいらない → ＳＱ2へ
７．わからない

ＳＱ１　**【問５で ３～５ と答えた方に】**あなたの理想とするこどもの数が３人以上なのは、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．こどもの成長にとって兄弟姉妹は多い方がよい
２．こどもが多いほど家庭が楽しい
３．こどもが多くいれば、自分たちの老後を安心して暮らせる
４．兄弟姉妹がいると将来こどもたちが支え合っていける
５．こどもは３人以上いた方がよいという話を聞いている
６．こどもが好きだから多いほどよい
７．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ２　**【問５で ６ と答えた方に】**こどもがいらないのは、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．こどもが苦手だから
２．子育てはお金がかかるから
３．こどもを産み育てるのは体力的に大変だから
４．こどもを産み育てるのは精神的に大変だから
５．親になる自信がないから
６．夫婦（自分）の生活を大切にしたいから
７．家事・育児に対する配偶者の協力が得られないと思うから
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問６　あなたは、実際に何人のこどもを育てられると思いますか（現在おられるお子さんを含む）。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は１つ）

１．１人
２．２人
３．３人
４．４人
５．５人以上
６．こどもを持つつもりはない
７．わからない

ＳＱ１　**【問６の実際のこどもの数が、問５の理想のこどもの数より少ない方に】**実際のこどもの数が、理想とするこどもの数よりも少ないのは、子育ての負担という点で考えた場合、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．育児の体力的な負担が大きい
２．育児の心理的負担が大きい
３．健康上又は年齢的な理由で無理
４．自分の人生を大切にしたい
５．こどもを育てるのにお金がかかる
６．世帯の収入が少ない
７．家事・育児に対する配偶者の協力が得られないと思うから
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ２　**【問６の実際のこどもの数が、問５の理想のこどもの数より少ない方に】**実際のこどもの数が、理想とするこどもの数よりも少ないのは、子育て環境という点で考えた場合、どのような理由からですか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．住居が狭い、部屋が少ない
２．仕事と育児の両立は困難
３．こどもがのびのび育つ生活環境がない
４．こどもの将来が不安である
５．配偶者がこどもを欲しがらない
６．配偶者の育児への協力が不足している
７．こども全員に手が行き届かない
８．教育をめぐる状況に対して不安が大きい
９．子育てに対して社会が寛容ではない
10．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問７　あなたは、仮にどのような制度や環境があれば、（さらに）こどもをもちたいと思いますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．こどもの教育費（高等教育）の無償化・減免
２．こどもの医療費の無償化・減免
３．０－２歳児の保育料の無償化・減免
４．こどもを安心して預けられる保育環境の整備
５．扶養控除制度の拡充
６．児童手当の拡充
７．多子世帯への更なる負担軽減
８．育児関連用品の定期配送・割引券の送付
９．病児保育や延長保育、一時預かりなど多様な保育サービスの充実
10．男性の育児休業取得率の向上
11．育児休業取得者の同僚職員に対する応援手当等の支援の充実
12．子育てに対して寛容な社会の実現
13．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問８　こどもを健やかに育てる上で、次の（Ａ）～（Ｐ）のような環境はどの程度深刻な環境だと思いますか。
あなたの考えに最も近いものをそれぞれの項目について選んでください。（○はそれぞれ１つ）

	非常に深刻である	やや深刻である	あまり深刻でない	全く深刻ではない
（Ａ）こどもが安全で自由に遊べる場所が地域に少ない	1	2	3	4
（Ｂ）不登校や虐待などを理由に配慮を要するこどもが学べる場所や安心できる場所が少ない	1	2	3	4
（Ｃ）こどもが被害を受けている犯罪や暴力が多い	1	2	3	4
（Ｄ）母子・小児医療の医療システムが充実していない	1	2	3	4
（Ｅ）こどもをしつける（しかる・ほめる）大人がいない	1	2	3	4
（Ｆ）地域で育児を助け合う環境が十分整備されていない	1	2	3	4
（Ｇ）こどもが近所の高齢者と接する機会が少ない	1	2	3	4
（Ｈ）こども同士の交流が少ない	1	2	3	4
（Ｉ）こどもが喜んで参加できる地域での活動が少ない	1	2	3	4
（Ｊ）親の問題に関するこどもの相談相手がいない・少ない	1	2	3	4
（Ｋ）いじめが多くなっている	1	2	3	4
（Ｌ）テレビやビデオ（ＤＶＤ）による悪影響が広まっている	1	2	3	4
（Ｍ）インターネットや携帯電話・スマートフォンによる悪影響が広まっている	1	2	3	4
（Ｎ）こどもが直接ふれることのできる自然が少ない	1	2	3	4
（Ｏ）親同士が子育てについて、交流したり学んだりする機会が少ない	1	2	3	4
（Ｐ）家庭の環境や収入によって、教育や習い事、学校外での体験活動などに格差が生まれている	1	2	3	4

問９　あなたは、次の（Ａ）～（Ｋ）のことばや行政の施策・制度について、どの程度知っていますか。
最も近いものをそれぞれの項目について選んでください。（○はそれぞれ１つ）

	知っている	聞いたことがあるが、詳しい内容は知らない	知らない
（Ａ）母体と胎児の健康管理のための妊婦健康診査	1	2	3
（Ｂ）市町村からの妊婦健康診査の費用の助成制度	1	2	3
（Ｃ）妊娠後、妊婦健康診査を受けず、出産が迫って初めて医療機関を受診する、いわゆる「飛び込み出産」	1	2	3
（Ｄ）不妊治療を行う際に治療費の一部が助成される制度	1	2	3
（Ｅ）毎年１１月に企業や店舗、団体が家族で楽しめるイベントや割引サービスを展開する「ふくおか・みんなで家族月間」	1	2	3
（Ｆ）希望する方に対し、さまざまな事情により家庭で生活できないこどもの養育をお願いする「里親制度」	1	2	3
（Ｇ）１８歳未満のこどもを持つ子育て家庭に対し様々な応援サービスを提供する店舗を募集する「子育て応援の店」	1	2	3
（Ｈ）子どもが病気の際に家庭での保育が困難な場合に、病院等に併設された施設等で児童を一時的に保育する病児事業	1	2	3
（Ｉ）結婚応援に関する自主宣言を行い、出会いイベントに関する活動を行う「出会い応援団体」	1	2	3
（Ｊ）常にこどもの最善の利益を第一に考え、こどもに関する取組・政策を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」	1	2	3
（Ｋ）本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを日常的に行っているこども「ヤングケアラー」	1	2	3

～「子育て応援の店」とは～

・「子育て応援の店」は、１８歳未満のこどもを育てている子育て家庭に、様々なサービスを提供する店舗です。福岡県ではこどもや子育てを社会全体で応援する気運づくりを行うため、このような「子育て応援の店」の募集・登録を進めています。
子育て応援の店シンボルマークステッカーの貼ってある店舗でサービスを実施しています。

子育て応援の店
シンボルマーク

サービスの種類
①　やさしいサービス　（例　ミルクのお湯）
②　便利な設備　　　　（例　ベビーベット）
③　おトクなサービス　（例　お菓子や粗品プレゼント）
④　パスポートサービス（「子育て応援パスポート」を提示した方が受けられるサービス）

※④を提供するお店はアプリでも探すことができます。
現在地から「パスポートサービス」を提供するお店を探せる地図アプリで、
ダウンロードして登録すると「子育て応援パスポート」が使えるようになります。
アプリは以下からダウンロードできます。

iPhone:
App Store からダウンロード

Android:
Google Play からダウンロード

～里親制度とは～

親の病気、家出、離婚、そのほかいろいろな事情により、家庭で生活できないこどもがいます。
里親とは、このようなこども達を、自分の家庭に迎え入れて養育する人のことをいいます。
里親制度とは、児童福祉法に基づいて、里親となることを希望する方にこどもの養育をお願いする制度です。
里親制度としては、以下の５つの類型があります。

・養育里親：養子縁組を目的とせず、様々な事情により家庭で生活することができないこどもを養育する里親
・専門里親：養育里親のうち、虐待等により心に傷を受けたこどもや障害のあるこどもなど、専門的な知識と技能を用いて養育する里親
・養子縁組里親：養子縁組を前提としてこどもを養育する里親
・親族里親：両親の死亡等の理由により、家庭で生活できないこどもを引き取り養育する３親等以内の親族による里親
・新生児里親：特別養子縁組を前提として新生児を病院から直接里親宅へ委託し、より早く家庭的な養育環境をつくる里親

※　里親になるには、児童相談所の窓口でご相談ください。

～ヤングケアラーとは～

ヤングケアラーとは、「本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っていることにより、こども自身がやりたいことができないなど、こども自身の権利が守られていないと思われるこども」のことをいいます。

障がいや病気のある家族に代わり、買い物・料理・掃除・洗濯などの家事をしている

家族に代わり、幼いきょうだいの世話をしている

障がいや病気のあるきょうだいの世話や見守りをしている

目を離せない家族の見守りや声かけなどの気づかいをしている

日本語が第一言語でない家族や障がいのある家族のために通訳をしている

家計を支えるために労働をして、障がいや病気のある家族を助けている

アルコール・薬物・ギャンブル問題を抱える家族に対応している

がん・難病・精神疾患など慢性的な病気の家族の看病をしている

障がいや病気のある家族の身の回りの世話をしている

障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている

県ホームページ QR コード

※お近くの相談窓口は県ホームページからご確認ください。
https://kodomonofukushi.pref.fukuoka.jp/young-carer/

問１０　あなたは、少子化対策として、どのような施策が必要だと思いますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は１つ）

1．出会いの場を提供して結婚のお手伝いをする事業を実施した方がよい
2．こどもを安心して育てられる環境を整備した方がよい
3．女性が仕事を続けられる環境を整備した方がよい
4．子育てをしている家庭への経済的な支援を充実した方がよい
5．男性が家事・育児に関われるような環境を整備した方がよい
6．結婚や出産は個人の問題であり、行政が関与すべき問題ではない
7．若者の就労支援や賃金上昇を図る事業を実施した方がよい
8．こども・子育てにやさしい社会づくりのための機運醸成を図った方がよい
9．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問１１　こども基本法の制定により、こどもに関する取組を社会の真ん中に据える「こどもまんなか社会」の実現を目指して、こどもの意見を行政の施策に反映させることになりました。次の（A）～（G）について、あなたの考えに最も近いものそれぞれの項目について選んでください。

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない
（A）こどもに関することは当事者であるこどもの意見を聞いたうえで決定すべきである	1	2	3	4
（B）こども自身の成長やこどもが安心して過ごせる社会のためには、こどもが意見を言える環境を整えることが必要である	1	2	3	4
（C）こどもは守らなければならない未熟な存在であり、大人が中心となって施策を決めるべきである	1	2	3	4
（D）こどもは基礎学力や社会経験が不十分であり、意見を施策に反映することは危険である	1	2	3	4
（E）こどもが意見を表明することは当然の権利であり、意見を尊重すべきである	1	2	3	4
（F）こどもが社会について興味を持ち、主体的に考える力を身につけるために重要なことである	1	2	3	4
（G）福岡県では、こどもが大事にされていると感じる	1	2	3	4

問１２　あなたは、学校や家庭以外のこどもの居場所としてどのような居場所が必要と思いますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．図書館や公民館、児童館など、全てのこどもを対象とした公共の施設
２．公園やプレーパークなど、全てのこどもを対象とした外遊びの場
３．施設の種類を問わず、多年代のこどもや大人たちと自由に交流できる場
４．放課後児童クラブや放課後子供教室など、放課後のこどもを対象とした場
５．学習支援やこども食堂など、勉強を教えたり食事の提供を行う場
６．教育支援センター（適応指導教室）やフリースクールなど、学校に居場所がないこどもたちを対象とした場
７．児童養護施設や自立援助ホームなど、家庭に居場所がないこどもたちを対象とした場
８．悩みごとの相談にのったり、サポートしてくれる場(電話やメールを含む)
９．ＳＮＳやメタバースなど、オンライン空間
10．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
11．必要と思う場所はない

問１３　こどもの居場所の一つであるこども食堂に対してどのようなイメージを持っていますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．色々な目的のこどもたちが集う場
２．こどもから高齢者まで多世代が交流する場
３．貧困対策など、困難な家庭を支援する場
４．共食の機会の提供など食育の場
５．イベントや体験活動を通じた青少年育成の場
６．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

プレーパーク
　プレーパークは、こどもたちが思いっきり遊べるように、極力禁止事項をなくし、木登りや泥んこ遊びなど、日常なかなかできなくなった遊びを通じて、こどもたちの自主性や冒険心を育くみ、生き生きと成長できる遊び場。

教育支援センター（適応指導教室）
　不登校の子どもが社会的に自立できるように学習や集団への適応等の相談・指導等を行う各市町村が設置している施設。学校での学習のサポートだけではなく、体験活動、専門家によるカウンセリング等、様々な支援を行う。

フリースクール
　何らかの理由から学校に行くことができない、行かない、行きたくても行けないこどもたちが、学校の代わりに過ごす場所。不登校やひきこもりをはじめとした事情を抱えるこどもたちを受け入れ、学びの場を提供。

自立援助ホーム
　なんらかの理由で家庭にいられなくなり、働かざるを得なくなった原則として１５歳から２０歳まで(状況によって２２歳まで)のこどもたちに暮らしの場を与える施設。生き生きと生活できる場、安心して生活できる場を提供し、大人との信頼関係を通して社会で生き抜く力を身に付け、子どもたちが経済的にも精神的にも自立できるように援助する。

問１４　あなたは、こどもを健やかに産み育てるためには、県や市町村の子育て支援及び少子化対策にどのようなことを期待しますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．家事や子育てに対する男女共同参画の考え方の普及・啓発
２．妊娠から出産におよぶ母子保健サービスの充実
３．保育所等の施設数の拡充
４．延長保育、休日保育など多様なニーズにあった保育サービスの拡充
５．ファミリー・サポート・センターやベビーシッターなどの子育て支援の充実
６．学童期のこどもの放課後対策の拡充
７．児童館・児童センターなどの健全な遊び場やこどもが様々な体験活動ができる場の整備拡充
８．子育てサークルなど地域の助け合い活動の育成やこども会活動などへの支援
９．育児に関する休暇・休業を取りやすい職場環境の整備
10. 育児のための時間短縮・フレックスタイムなど勤務時間の柔軟化
11. テレワーク（インターネット等を活用した場所や時間にとらわれない働き方）による在宅勤務などの新たな就業形態の開拓・普及
12. 良質な住宅の供給や低金利の資金融資など住環境の整備
13. 出産費用の援助や保育所や幼稚園等の費用負担の軽減など子育てのための経済的支援の拡充
14. こども医療費助成の拡充
15. こどもが様々な体験活動ができる場や機会の拡充
16. 保育等に関する行政手続きのデジタル化・簡素化
17. 妊娠・出産、子育て等に関する相談窓口の一本化や様々な行政サービスのわかりやすい情報発信
18. こどもの貧困、ヤングケアラーなど困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援
19. その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問１５　あなたは、今後、男女がともに子育てをしていく、いわゆる「共育て」の推進のためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．「男は仕事、女は家庭」などの性別による固定的な役割分担の意識を改めること
２．企業中心という社会全体の仕組みを改めること
３．仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
４．労働時間短縮や育児に関する休暇・休業制度を普及させること
５．夫婦の間で十分に話し合い、家事などの分担をすること
６．家事などを男女で分担するような育て方や教育をすること
７．男性の仕事中心の生き方・働き方を改めること
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※お子さんがおらず、結婚経験がある方はここまでです。
お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**１１月３０日（木）**までに投函してください。

※お子さんがおらず、現在までに結婚経験のない方は**24ページの問32**へお進みください。

◆お子さんがおられる方のみにおたずねします。

※お子さんがおらず、現在までに結婚経験のない方は**24 ページの問 32** へお進みください。

問１６　現在、あなたのお子さんは何人いらっしゃいますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

１．１人
２．２人
３．３人
４．４人
５．５人以上

問１７　あなたのお子さんは、次のどれにあてはまりますか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。（○はいくつでも）

１．乳幼児（３歳未満）
２．未就学児
３．小学生
４．中学生
５．高校生
６．大学生・短大生・専門学校生
７．社会人
８．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　）

問１８　あなたは、子育てをして良かったことや楽しかったことはありますか。ご自身の感じ方について、下の（Ａ）～（Ｈ）の項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ１つ）

	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そうは思わない
（Ａ）家族との会話がはずむようになった	1	2	3	4
（Ｂ）配偶者との信頼が深まった	1	2	3	4
（Ｃ）こどもを通じて友人ができるなど付き合いが広がった	1	2	3	4
（Ｄ）子育ての経験が仕事や趣味の活動などに役立った	1	2	3	4
（Ｅ）子育てによって自分も成長していると感じられる	1	2	3	4
（Ｆ）自分のこどもは結構順調に育っていると思う	1	2	3	4
（Ｇ）こどもを育てるのは楽しくて幸せなことだと思う	1	2	3	4
（Ｈ）こどもがかわいくてたまらない	1	2	3	4

問１９　あなたは、子育てをする上で悩みや不安があります（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

１．かなりある（かなりあった）
２．少しはある（少しはあった）
３．以前はあったが、いまは特にない
→ **ＳＱ1、2、3、4へ**（１～３）
４．特にない（なかった）

ＳＱ１　**【問１９で １～３ と答えた方に】**心理的な面での、あなたの子育ての悩みはどんなことです（した）か。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．子育てについて配偶者の協力が得られない
２．子育てについて親の協力が得られない
３．子育てというものが全般的によくわからない
４．こどもの病気や心身の発育・発達の遅れが気になる
５．こどもの心身の発達に応じたしつけや教育の仕方がよくわからない
６．こどもとふれあう時間が少ない
７．子育てに追われて自分のやりたいことができない
８．こどもを通じての近所づきあいや、こどもの親同士のつきあいが負担になる
９．こどもの成績や勉強の指導が不安だ
10．自分自身の親としての適性に自信がない
11．自分自身の体力や健康などに自信がない
12．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ２　**【問１９で １～３ と答えた方に】**環境面での、あなたの子育ての悩みはどんなことです（した）か。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．近所にこどもの遊び友だちがいない
２．近所にこどもを安心して遊ばせる場所がない
３．近くに保育所や幼稚園などこどもを預ける場所がない
４．学校の先生との連絡があまり取れない
５．こどものいじめについて気付けない、教師が気付いていない
６．こどもの保育費用にお金がかかる
７．こどもの教育費や稽古ごとなどにお金がかかる
８．住居が子育てに十分な広さではない
９．社会環境や自然環境の悪化に不安がある
10．食物の安全性に不安がある
11．子育てと仕事や家事との両立がしにくい
12．近くにこどもが楽しめる施設がない、利用料が高い
13．こどもの周囲にＳＮＳや動画があふれている
14．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ３　**【問１９で　１～３　と答えた方に】**あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安などを相談した相手はだれです（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

１．配偶者
２．自分や配偶者の親など、年上の親族
３．自分や配偶者の兄弟姉妹など同世代の親戚
４．友人や知人
５．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
６．相談相手はいない

ＳＱ４　**【問１９で　１～３　と答えた方に】**あなたが子育てをしていく上で、悩みや不安を相談するのに利用する（した）ものはあります（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。
（○はいくつでも）

１．地域の子育てサークル
２．子育て支援センター
３．保育所・幼稚園・学校等の先生
４．児童相談所
５．県や市町村の行政窓口
６．教育センターや教育事務所
７．病院
８．民生委員・児童委員
９．公的機関の電話相談
10．テレビ・ラジオ・雑誌などの相談コーナー
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
12．特に何も利用しない

問２０　あなたは、子育てに関する情報をどのように入手しています（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

１．親族（親、兄弟姉妹など）
２．近所の人、知人、友人
３．子育てサークルの仲間
４．保育所、幼稚園、学校
５．市町村役場や市町村の機関
６．市町村の広報やパンフレット
７．テレビ、ラジオ、新聞
８．子育て雑誌
９．インターネット
10．地域情報誌
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
12．特にない

問２１　あなたは、自分の家事・育児への関わり方は十分だと思います（した）か。下の（A）～（K）の項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ１つ）

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である
（A）こどもの世話をする時間	1	2	3	4
（B）こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間	1	2	3	4
（C）こどもに接する上での精神的な余裕	1	2	3	4
（D）夫婦でこどもや子育てについての話をする時間	1	2	3	4
（E）家事をする時間	1	2	3	4
（F）家族で食事をする機会	1	2	3	4
（G）家族だんらんの時間	1	2	3	4
（H）こどもの気持ちや考えに対する理解・関心	1	2	3	4
（I）こどもの発達や教育への理解・関心	1	2	3	4
（J）誕生日などのイベント、学校行事等の対応	1	2	3	4
（K）こどもが病気のときの対応・世話	1	2	3	4

問２２　あなたの**配偶者（パートナー）**の家事・育児への関わり方は十分だと思います（した）か。下の（A）～（J）の項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ１つ）

	十分である	ある程度は十分である	あまり十分ではない	不十分である	該当する配偶者がいない
（A）こどもの世話をする時間	1	2	3	4	5
（B）こどもの相手をしたり、勉強をみたりする時間	1	2	3	4	5
（C）こどもに接する上での精神的な余裕	1	2	3	4	5
（D）家事をする時間	1	2	3	4	5
（E）家族で食事をする機会	1	2	3	4	5
（F）家族だんらんの時間	1	2	3	4	5
（G）こどもの気持ちや考えに対する理解・関心	1	2	3	4	5
（H）こどもの発達や教育への理解・関心	1	2	3	4	5
（I）誕生日などのイベント、学校行事等の対応	1	2	3	4	5
（J）こどもが病気のときの対応・世話	1	2	3	4	5

問２３　あなたは地域でのこどもを通じたお付き合いの中で関わっている人はいます（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

1．こどもを通じて関わっている人がいる ⟶ **ＳＱ1へ**
2．保育所や幼稚園の送り迎え、近所での買い物などの際に、あいさつをする程度の人がいる
3．こどもを通じて関わっている人はいない
4．わからない

ＳＱ1　**【問２３で １ と答えた方に】**こどもを通じて関わっている人はどのような人ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1．こどもを預けられる人
2．こどもをしかったり、注意してくれたりする人
3．こどもをつれて家を行き来する人
4．こども同士を遊ばせながら、立ち話をする程度の人
5．こどもを連れて、一緒に遊びや旅行に出かける人
6．子育ての悩みを相談できる人
7．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問２４　あなたは、地域の子育てサークルにこれまで参加したことがありますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

1．参加している（参加したことがある） ⟶ **ＳＱ1へ**
2．参加したことがない ⟶ **ＳＱ2へ**

ＳＱ1　**【問２４で １ と答えた方に】**あなたは、地域の子育てサークルに参加してどのように感じましたか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1．もっと広げていくべきだと思う
2．育児の悩みなどが解決できた
3．親同士の交流で育児ストレスが解消できた
4．自分の子育てに自信が持てた
5．育児に関する知識が増した
6．悩みの相談相手ができた
7．親の交流で友達が増えた
8．子育てサークルにボランティアを増やすべきだと思う
9．子育て終了後は地域のサークル活動に参加したい
10．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
11．あまり役に立たなかった

ＳＱ２　**【問２４で ２ と答えた方に】**あなたが、地域の子育てサークルに参加しない理由はどのようなものですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

１．どんなものか知らない
２．育児に関する相談者がいるので、必要性を感じない
３．興味はあるが、身近にない
４．人間関係がわずらわしい
５．自分の子育てに干渉されたくない
６．参加したいが、仕事をしているので参加できない
７．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問２５　休日や夜間にこどもが急病になったとき、どのように対応されています（した）か。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。（○は２つまで）

１．１１９番で電話をし、救急車で病院へ行く
２．福岡県救急医療情報センターや＃７１１９に電話し、受付可能な医療機関などを問い合わせる
３．かかりつけ医療機関でみてもらう
４．近くにある休日や夜間でも対応可能な救急病院にいく
５．買い薬等で対応し、翌朝になって病院にいく
６．＃８０００を利用する
７．小児救急医療ガイドブック「必携！こども救急」を利用する
８．インターネット・ＳＮＳを利用し、対応策や診療可能な医療機関を調べる
９．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

＃８０００（小児救急電話相談事業）
　小さいお子さんをお持ちの保護者の方が休日・夜間の急な子供の病気にどう対処したらよいのか、病院等の診療を受けたほうがよいのかなど迷ったときに、小児科医師・看護師へ電話による相談ができるものです。
　この事業は全国同一短縮番号（＃８０００）をプッシュすることにより、相談窓口に自動転送され、小児科医師・看護師から患者の症状に応じた適切な対処の仕方や受診する病院等のアドバイスが受けられます。

問２６　休日や夜間にこどもが急病になったとき、小児救急医療について、困ったことがあります（した）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

１．よくある(よくあった)　→ **ＳＱ1へ**
２．時々ある(時々あった)　→ **ＳＱ1へ**
３．困ったことはない

ＳＱ１　**【問２６で １または２ と答えた方に】**あなたが小児救急医療について困ったことは、具体的にはどのようなことでしたか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

１．みてもらう病院で何時間も待たされた
２．近くにある病院ではみてもらえず、小児科医を何時間も探した
３．急患をみてくれる病院がなく、救急車が長時間右往左往した
４．小児科の専門医にみてもらいたかったのに、みてもらえなかった
５．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問２７　小学生までのこどもが発熱やインフルエンザなどの病気となったが、あなた自身は仕事があるとき、病児保育（病後児保育を含む）を利用しますか。次の中から最もあてはまるものを選んでください。

（○は１つ）

1．利用する ⟶ **ＳＱ2へ**
2．利用したいが近隣にない等のため、別の対応をとる ⟶ **ＳＱ1、2へ**
3．利用しない ⟶ **ＳＱ1へ**

ＳＱ１　**【問２７で ２または３ と答えた方に】**どのような対応をしていますか。次の中から最もあてはまるものを選んでください。（○は１つ）

1．仕事を休む
2．親族、知人を頼る
3．ベビーシッターを利用する
4．自宅に一人で留守番させる
5．その他（具体的に　　　　　　　　　　）
6．こどもが現在中学生以上

ＳＱ２　**【問２７で １または２ と答えた方に】**病児保育（病後児保育を含む）を利用するために、今後充実してほしい施策はありますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。

（○は２つまで）

1．施設の増加または定員数の拡大
2．予約のオンライン化
3．医師連絡票や事前登録票のオンライン化
4．市町村域をまたいだ利用促進
5．医師連絡票の利用負担軽減
6．その他（具体的に　　　　　　　　　　）

医師連絡票
病児保育を利用する際に、児童を診察した医師が入院の必要性はない旨を署名した書類等。

問２８　あなたの世帯では、過去１年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とするものが買えなかったり、支払できなかったことがありますか。下の（Ａ）～（Ｅ）の項目ごとにあてはまるものを選んでください。（○はそれぞれ１つ）（ただし、嗜好品や高価な衣服、貴金属、宝飾品は含みません。）

	よくあった	時々あった	まれにあった	全くなかった
（Ａ）食品	1	2	3	4
（Ｂ）衣服	1	2	3	4
（Ｃ）電話料金	1	2	3	4
（Ｄ）ガス料金	1	2	3	4
（Ｅ）水道料金	1	2	3	4

※　電気料金、ガス料金、水道料金は、支払いできなかった月が
１～２か月の場合「まれにあった」、
３～８か月の場合「時々あった」、
９か月以上の場合「よくあった」、
としてください。

問２９　あなたのお子さんは将来、現実的に見てどの段階まで進学すると思いますか。次の中から最もあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

1．中学まで
2．高校まで
3．短大・高専・専門学校まで
4．大学またはそれ以上
（1～4 → SQ1へ）
5．まだわからない

ＳＱ1　**【問２９で １～４ と答えた方に】**そう考えた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1．お子さんがそう希望しているから
2．一般的な進路だと思うから
3．お子さんの学力から考えて
4．家族の経済的な状況から考えて
5．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
6．特に理由はない

問３０　あなたは、あなた自身やパートナーの妊娠・出産を機に仕事を辞めたことがありますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○は1つ）

1．はい ⟶ **SQ1へ**
2．いいえ

ＳＱ1　**【問３０で １ と答えた方に】**あなたが仕事を辞めた理由はどのようなものです（でした）か。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1．家事・育児により時間を割くために辞めた
2．仕事を続けたかったが、仕事と育児の両立の難しさで辞めた（就業を継続するための制度がなかった場合を含む）⟶ **SQ2へ**
3．妊娠・出産前と比べて、仕事の内容や責任等について、やりがいを感じられなくなった（なりそうだった）
4．妊娠・出産に伴う体調の問題で仕事を辞めた
5．勤務地や転勤の問題で仕事を続けるのが難しかった
6．契約が終了する見込みだったため仕事を辞めた
7．妊娠・出産や育児を機に不利益な取り扱い（解雇、減給、降格、不利益な配置転換、契約を更新しないなど）を受けた
8．出産や育児等に直接関係ない理由で辞めた（あるいはもともと辞めるつもりだった）
9．特にない

ＳＱ２　**【ＳＱ１で ２ と答えた方に】**詳細な理由について、次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

1．勤務先に産前・産後休業や育児休業の制度が整備されていなかった
2．勤務先に短時間勤務や残業を免除する制度等などの両立できる働き方の制度が整備されていなかった
3．制度は整備されていたが、産前・産後休業や育児休業を取れそうもなかった（取れなかった）
4．制度は整備されていたが、勤務先で短時間勤務制度や残業を免除する制度などの両立できる働き方の制度を利用できそうになかった（利用できなかった）
5．勤務先に育児との両立を支援する雰囲気がなかった
6．夕方から夜間（18～21時）までの時間帯に勤務時間があった（交代制・シフト制などによるものも含む）
7．自分の気力・体力がもたなそうだった（もたなかった）
8．保育所などの保育サービスが受けられそうもなかった（受けられなかった）
9．配偶者・パートナーの協力が得られなかった（得られそうになかった）、配偶者・パートナーが辞めることを希望した
10．家族の協力が得られなかった（得られそうになかった）、家族が辞めることを希望した
11．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

※お子さんがおられて、現在就業されている方（パート・アルバイト等含む）はここまでです。
お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**１１月３０日（木）**までに投函してください。

◆お子さんがおられて、現在就業していない方のみにおたずねします。

問３１　あなたは、こどもを預けることができれば働きたいと思いますか。（〇は1つ）

1．働きたい　⟶ **ＳＱ1、2へ**
2．働きたくない
3．わからない

ＳＱ1　**【問３１で １ と答えた方に】**働く際に最も優先することについて、次の中からあなたの考えに最もあてはまるものを選んでください。（〇は1つ）

1．残業がないこと
2．早朝・夕方出勤がないこと
3．シフトが弾力的であること
4．短時間勤務であること
5．休日が土日、祝日であること
6．勤務場所が自宅から近いこと
7．賃金
8．やりがい
9．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ2　**【問３１で １ と答えた方に】**希望される勤務時間は何時から何時までですか。次の中からあてはまる方を選んでください。（〇は1つ）
なお、２を選んだ方は、何時頃から何時頃までを希望されるのかをご記入ください。

1．フルタイム（正社員と同じ時間、日数で働く労働者）
2．短時間勤務　→　開始時間（　　　）時頃　から　終了時間（　　　）時頃まで

※お子さんがおられて、現在就業されていない方はここまでです。
お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**１１月３０日（木）**までに投函してください。

◆お子さんがおらず、結婚経験のない方のみにおたずねします。

問３２　あなたは結婚に対してどのようなイメージをもっていますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。(○は３つまで)

１．好きな人とずっと一緒にいられる
２．精神的、経済的に安定する
３．こどもが持てる
４．親から独立できる
５．家事が楽になるなど生活していく上で便利になる
６．親を喜ばすことができる
７．時間やお金を自由に使えなくなる
８．家事をするのが大変
９．子育てをするのが大変
10．他人と家庭を築くのは面倒
11．相手の家族・親族との付き合いが面倒
12．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
13．わからない

問３３　あなたにとって、独身生活にはどのような利点があると思いますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。(○は２つまで)

１．行動や生き方が自由である
２．異性との交際が自由である
３．お金の使い方が自由である
４．住宅や環境の選択の幅が広い
５．家族を養う責任がなく、気楽である
６．友人などとの広い人間関係が保ちやすい
７．職業をもち、社会とのつながりが保てる
８．現在の家族とのつながりが保てる
９．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
10．特にない

問３４　結婚することは、あなたにとってどのような利点があると思いますか。次の中からあてはまるものを２つまで選んでください。(○は２つまで)

１．経済的に余裕がもてる
２．社会的信用を得たり、周囲の人と対等になったりできる
３．精神的な安らぎの場が得られる
４．愛情を感じている人と暮らせる
５．自分のこどもや家族を持てる
６．性的な充足が得られる
７．生活上便利になる
８．親から独立できる
９．親を安心させられたり、周囲の期待にこたえられたりする
10．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
11．特にない

問３５　あなた自身の結婚に対してどのようにしたいと思っていますか。次の中からあなたの考えに最も近いものを選んでください。（○は１つ）

１．できるだけ早く結婚したい
２．いずれ結婚したい
３．理想的な相手が見つかるまでは結婚しなくてもかまわない
４．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　）
（１～４）→ SQ1、2、3へ
５．一生結婚するつもりはない → SQ4へ

ＳＱ１　**【問３５で １～４ と答えた方に】**あなたは何歳ぐらいのときに、何歳ぐらいの相手と結婚したいと思いますか。自分と相手について希望する年齢を具体的に下の（　　）の中に記入してください。

自分が（　　　　）歳ぐらいの時に、相手が（　　　　）歳ぐらいの人と結婚したい

ＳＱ２　**【問３５で １～４ と答えた方に】**あなたは結婚相手を決めるとき、何を重視しますか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．相手の学歴
２．相手の職業
３．相手の収入などの経済力
４．相手の人柄
５．相手の容姿
６．共通の趣味の有無
７．自分の仕事に対する理解と協力
８．家事・育児に対する能力や姿勢
９．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ３　**【問３５で １～４ と答えた方に】**あなたが現在独身でいる理由は何ですか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．結婚するにはまだ若すぎるから
２．結婚する必要性をまだ感じないから
３．今は、仕事（または学業）に打ち込みたいから
４．今は、趣味や娯楽を楽しみたいから
５．独身の自由さや気楽さを失いたくないから
６．適当な相手にまだめぐり会わないから
７．異性とうまくつき合えないから
８．結婚資金が足りないから
９．結婚生活のための住居のめどがたたないから
10．親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
11．結婚した後の経済力に不安があるから
12．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

ＳＱ４　**【問３５で ５ と答えた方に】**あなたが一生結婚するつもりはないと答えた理由は何ですか。次の中からあてはまるものを３つまで選んでください。（○は３つまで）

１．結婚する必要性を感じないから
２．結婚生活は大変なイメージがあるから
３．仕事（または学業）に打ち込みたいから
４．趣味や娯楽を楽しみたいから
５．独身の自由さや気楽さを失いたくないから
６．今後適当な相手が現れないと思うから
７．異性とうまくつき合えないから
８．結婚資金が貯められないから
９．他人と同居することが耐えられないから
10．親や周囲が結婚に同意しない（だろう）から
11．結婚した後の経済力に不安があるから
12．年齢上、健康上の問題で結婚できないと思うから
13．現在の日本の法律では結婚できないから
14．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

問３６　福岡県では、少子化対策の一環として、結婚の意向はあっても出会いの機会が少ない独身男女に出会いの場を提供する「出会い・結婚応援事業」を実施しています。
あなたは、この事業について、知っていますか。（○は１つ）

１．知っている
２．聞いたことはあるが、詳しい内容は知らない
→ **ＳＱ１へ**（１、２）
３．知らない

ＳＱ１　**【問３６で １または２ と答えた方に】**「出会い・結婚応援事業」についてどう思いますか。次の中からあてはまるものを選んでください。（○はいくつでも）

１．詳しい内容を知りたい
２．参加してみたい
３．周囲の独身者に実施されていることを教えたい
４．その他（具体的に　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）
５．必要性を感じない

～「出会い・結婚応援事業」とは～
福岡県では、「結婚したいと思っているけれど出会いの機会が少ない・・・」という独身男女に対して、出会いの場を提供し、結婚のきっかけづくりを行う「出会い・結婚応援事業」を実施しています。
官民が一体となって、パーティーやマナーアップ講座等の様々なイベントを企画し、その情報をあらかじめ登録されている独身男女の方々に対して、メールマガジン「あかい糸めーる」で無料配信しています。
メルマガ会員は随時募集です。
詳細はコチラをご覧ください。　［あかい糸めーる］［検索］

お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。
ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**11月30日（木）までに投函**してください。

子育て等に関する県民意識・ニーズ調査報告書

令和６年３月

発行　福岡県　福祉労働部　こども未来課

〒812-8577　福岡市博多区東公園７番７号

TEL　092-643-3013　FAX　092-643-3765

E-mail　kodomomirai@pref.fukuoka.lg.jp

福岡県行政資料	
分類記号 ＨＢ	所属コード 4600119
登録年度 5	登録番号 0001